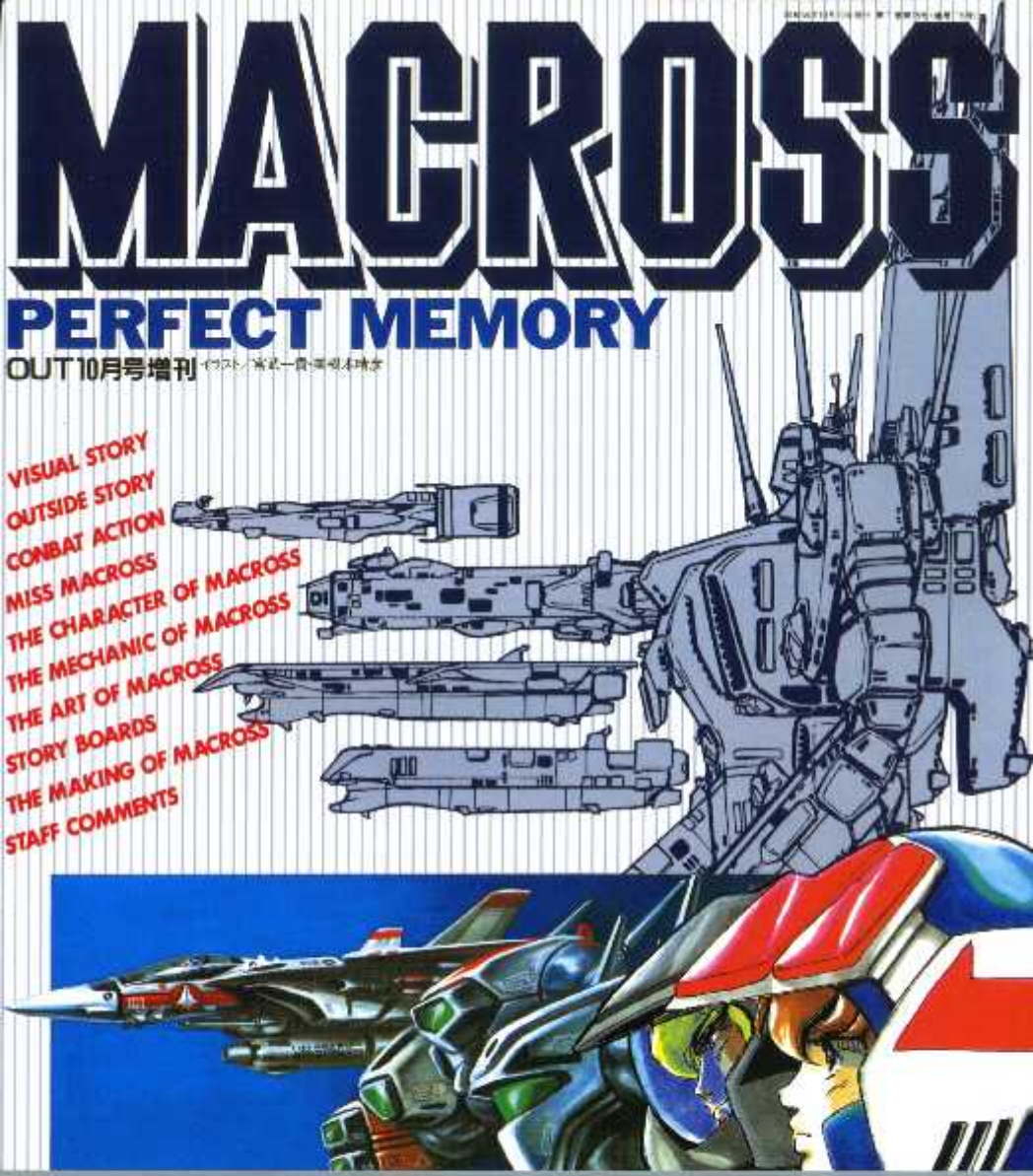
MACROSS

PERFECT MEMORY

OUT 10月号増刊

VISUAL STORY
OUTSIDE STORY
CONBAT ACTION
MISS MACROSS
THE CHARACTER OF MACROSS
THE MECHANIC OF MACROSS
THE ART OF MACROSS
STORY BOARDS
THE MAKING OF MACROSS
STAFF COMMENTS



大人気TVアニメ「超時空要塞マクロス」のすべてを
この1冊に完全収録した決定版ムック!
マクロス・パーフェクト・メモリー

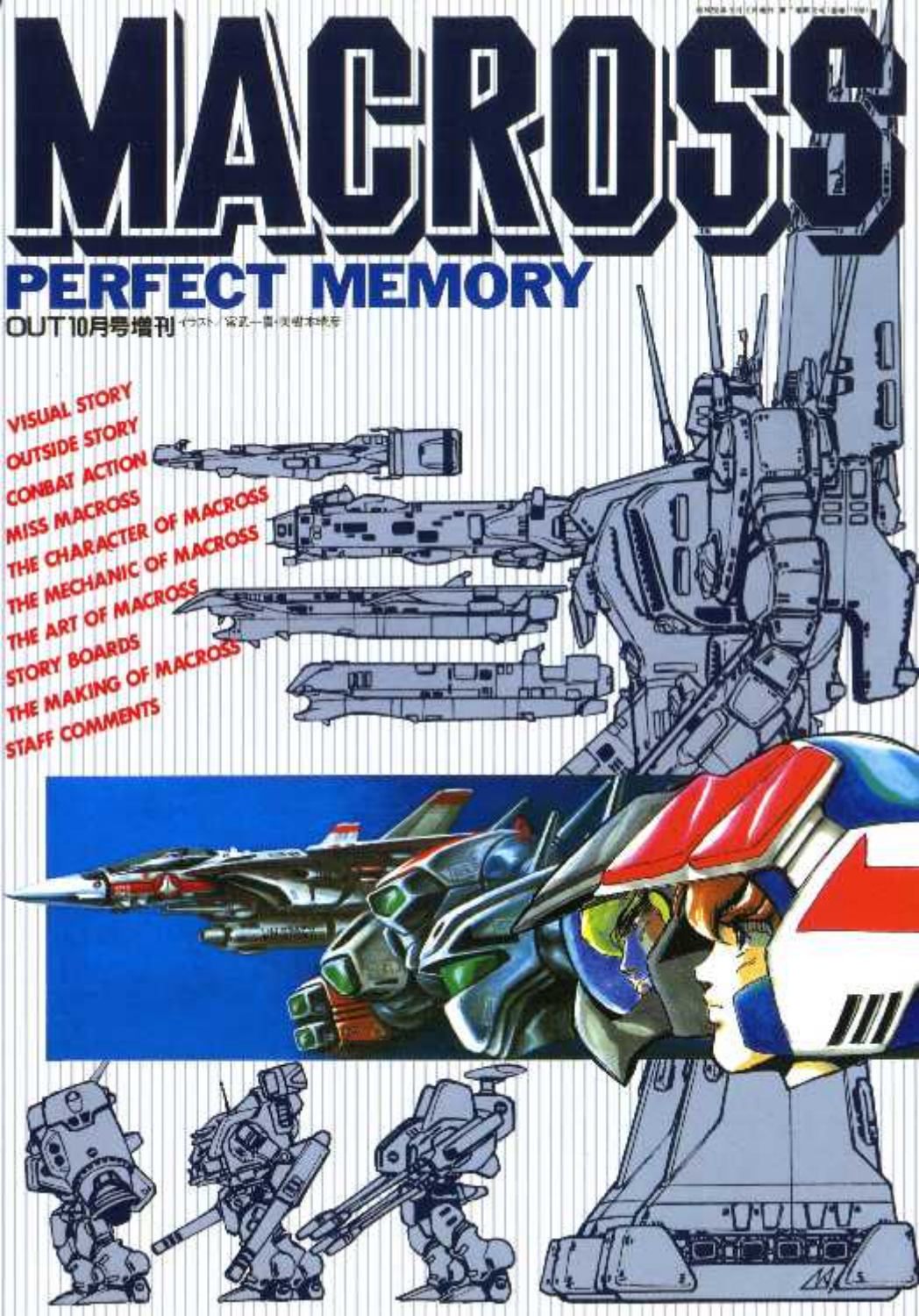
ふろく■生頼範義描き下ろし特大ポスター　発行　みのり書房　定価2800円

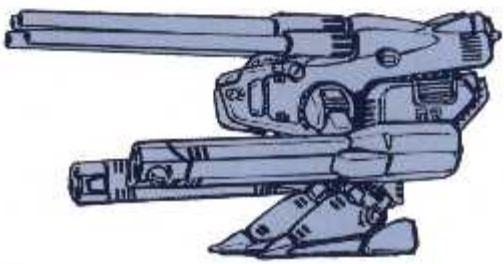
MACROSS

PERFECT MEMORY

OUT 10月号増刊 イラスト／宮武一貴・美樹本晴彦

VISUAL STORY
OUTSIDE STORY
CONBAT ACTION
MISS MACROSS
THE CHARACTER OF MACROSS
THE MECHANIC OF MACROSS
THE ART OF MACROSS
STORY BOARDS
THE MAKING OF MACROSS
STAFF COMMENTS

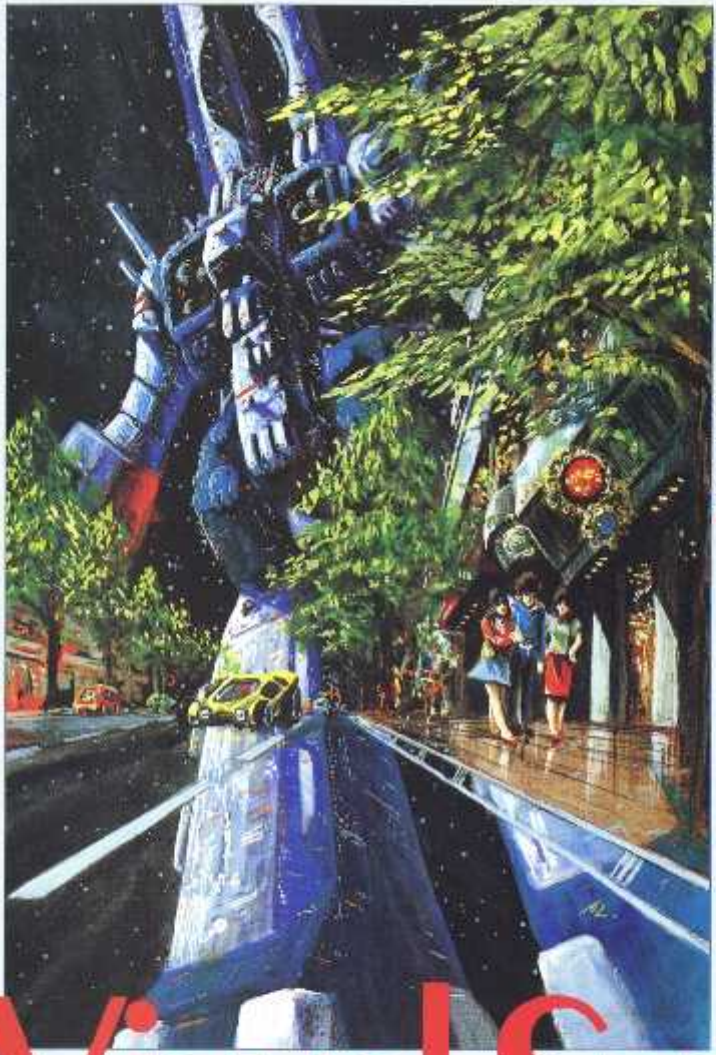




OUT10月号増刊

MACROSS

PERFECT MEMORY



VISUAL STORY

西暦一九九九年、突如、宇宙より飛来した物体は全長千二〇〇mにも及ぶ、巨大な宇宙戦艦であった。人類のテクノロジーをはるかに凌える、その戦艦からは、異星人の姿こそ発見できなかったものの、地球外知的生命体の存在と、大宇宙を戦場とする闘争があることは明らかであった。

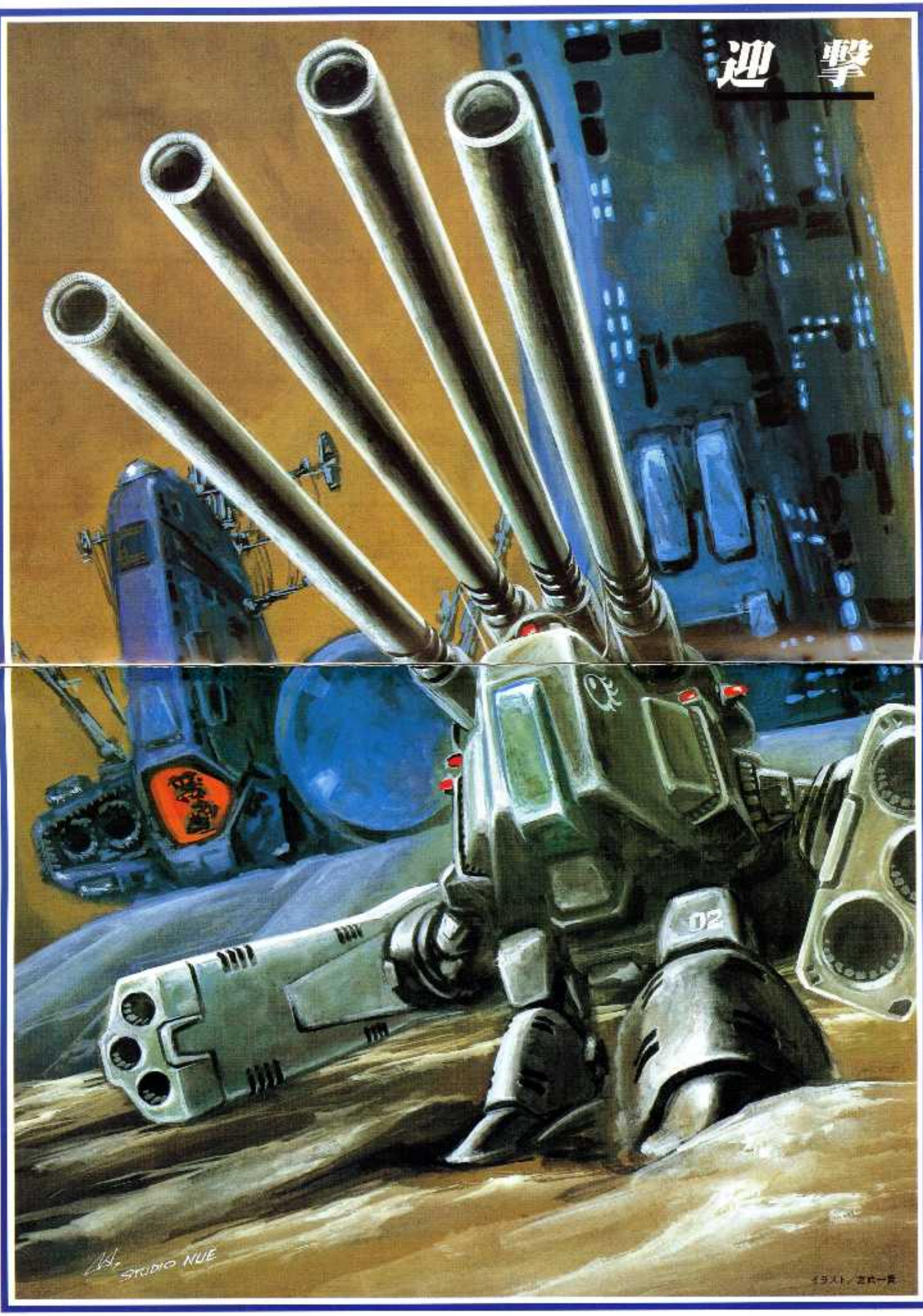
ここに、国家間の利害を越えた地球統合政府の樹立と、墜落した巨大戦艦の修復が開始された。統合政府の設立はけっして容易な道ではなかった。

激烈な局地戦が世界各地で繰りひろげられたのである。しかし、その間にも、戦艦の修復は着々と進められた。

やがて、長く苦しい統合戦争も終り、地球は平和を取り戻した。そして、ついに異星の墜落船は人類の手で、巨大戦艦マクロスとして甦った。

墜落から実に十年の月日が流れていた……

イラスト／河森正治


迎撃
02
STUDIO NUE

02
STUDIO NUE

迎撃

OPENING

Visual Story

第1話 ブービー・トラップ

Booby Trap

西暦1999年、地球に突然巨大な宇宙船が飛来した…
それはこれから始まる出来事の前兆であった

❸アフォードしてくるマクロス

❹南アタリア島に墜落する

❺マクロスは自動導入のシステムによって着陸された

❻

❼マクロスの衝撃により、都会地域周辺の○○○の居住地が壊滅された

❽

❾

❿

⓫

⓬

⓭かすびさの再会を遠巻きフォローと対

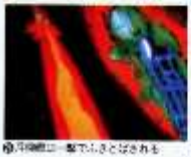
⓮

⓯バルキリーを探しそうに見る森

⓰

⓱

⓲マクロスを追ってブリタイ艦が出現



⓳不時着ヒーー撃でふきとばされる

⓴土砂のシステムが動中二作動を始めた ㉑

㉒

❶「こいつはブービートラップだ」 ❷

❸ ❹ ❺小惑星群から光弾が発射された

❻戦艦ホワイトシャをと直撃を受ける ❼ ❽攻撃を開始するバルキリー隊

西暦1999年、全長1500メートルにもおよぶ巨大な宇宙戦艦が地球に落下した。

人類のテクノロジーをはるかにこえるその戦艦から、地球外知的生命体の存在と、人宇宙を舞台とする闘争のあることを察知した人類は、問題回の利害をこえた地球統合政府を樹立し、その通信の解読と収集した技術による反撃態勢を確立した。そして、10年後、巨大戦艦は巨人戦艦マクロスとしてよみがえった。

西暦2009年、先輩のフォッカー少佐の指導を受けたスカル小隊のエース、一条輝は、最新鋭戦闘機バルキリーVF-1Dのコクピット内にいた。

その日、月軌道上に謎の大宇宙艦隊がテスオールした。10年前の悪夢から監察軍戦艦のアフォールド光を探知し、迫ってきたゼントラーディ軍であった。すると、それに反応してマクロスの迎撃システムが戦手に作動し始め、ついに火を噴いた。マクロスは、監察軍が撤退する際に残していった罠「ブービー・トラップ」だったのだ。

ビームは、島の一部を削り取って宇宙へ伸びていき、反転軌を描いてしまった。こうした地球統合軍は、異星人ゼントラーディとの交流を余儀なくされるのであった。

ゼントラーディ軍は、戦艦を捕獲したフォッカーは、愛機VF-1Sを駆って出に乗った。輝はひとり、VF-1Dのコクピットで留守番をしていた。突然通信機に入ってきた女性は、緊急命令を出した。輝は、状況がのみこめぬまま、VF-1Dを発進させた。

❾多くの光点が輝の機をつつむ ❿ ⓫

⓬輝は無我夢中のうちに引き金を引いた ⓭敵のビームが輝の機体に… ⓮

⓯バトロイドへと変形するバルキリー ⓰ ⓱

⓲ ⓳ ⓴なんとか敵の中に脱出できた

Booby Trap

第2話 カウント・ダウン

Count Down

ゼントラーディ軍の地球攻撃をさけるべく
マクロスは宇宙へと発進していった

❷その頃はマクロスの浮上発進を察知すると

❶知らせを聞いて駆け下りてきた

❸

❹

❺突然出現したバトロイド兵に対抗する為

❻

❼がんばってね！

❽

❾あの子、これロボットに乗れるのかな？

❿いきおいあまった様のバトロイドはミンメイの部屋に突っ込む！

⓫

⓬

⓭マクロスは浮上を開始する

⓮

⓯

⓰

⓱

⓲吹き出す水蒸気の雲

⓳バランスを崩して落下するマクロス

⓴フォッカーはやはりの機が無線なことを驚かされる

㉑フォッカーは隊を統制に戻した

㉒

㉓

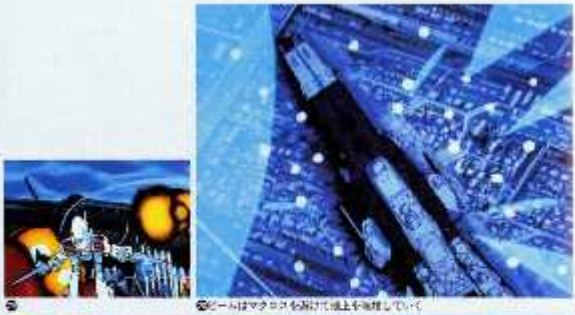
㉔格納に降るシーンの前

㉕

㉖

㉗

VISUAL STORY



ゼントラーディ軍は、第2波として戦闘ポッド隊を先上に滞らして居を確保していた。

マクロス陥落後の代表士は、クローバは極秘に着々に発進しろと迫る。政治家たちが交渉するための時間かせぎを要求してきたのだ。選択はしかたなく発進を承諾した。

その頃、陸は目の前の中華料理屋の少女、リン・ミンメイに惚れて、バルキリーがロボットに変わっていることを再認識して、ふてくされていた。そこへ、運搬用トラックが来たので、追いかけようと試みたところ、驚いあまってミンメイの部屋をぶち壊してしまった。

一方マクロスは浮上準備に入っていた。ところが、いよいよ1000メートルに急浮上の時がつくりと上昇する。という時、突然大音響とともに重力制御システムが次々と甲板を突き破って飛んでいってしまい、マクロスは背が浮上へとすき抜けてしまった。

第1波の空戦隊を撤退して戻ったファッカーの指揮で、緑のバルキリーはガウォーク形態に変型して、なんとか陸にも降りるようになった。その時、敵の第2波攻撃が始まった。衛星軌道上からの強襲による戦闘ポッド、リガード中隊の上陸である。たちまち島は戦火に包まれ、陸たちはシェルターへ避難に向かったミンメイたちに代わってそのあとを追った。何も持、荷物を取りにひとり家に戻ったミンメイは、その帰りにリガードに襲われようとしていた。間一髪ミンメイ危機、ファッカーは敵友を問わずに撃破に向かった。陸はミンメイと共に逃げていたが、攻撃をかわそうと上昇したところで、ミンメイを乗ったバルキリーの腕を撃ち抜かれてしまった。真っさかさまに落ちるミンメイを空中で機能変形に収容。なんとか不時着した海の前に再びリガードが現れ、無我夢中でそれを撃つと、中から兵士が出てきたが、それは15メートルほどもある巨人だった。

そんな闘たちをよそにマクロスは宇宙へと飛び立って行くのだった。

Count Down

第3話／スペース・フォールド

Space Fold

ゼントラーディ軍の攻撃をさけるべく、マクロスは月の裏側へのフォールドを敢行した

❶フォッカーを救い出してくれる

❷ふるえる機

❸ゼントラーディ兵に圧倒的な戦力差

❹

❺天才と呼ばれたロボットをしてしまう

❻

❼マクロス以外の艦に対して攻撃が…

❽

❾レーザー兵器に驚く艦

❿

⓫

⓬

⓭

⓮作戦の罠に出てしまった3人

⓯

⓰なんとか艦へ帰還できる

⓱

⓲

⓳ミンメイは艦内にもどってくる

⓴

㉑

敵人の中からフォッカーに助けられた輝とミンメイは、愛に目覚して、地球艦隊とのランデブーポイントに向かうマクロスに収容された。マクロス艦内には、やはりフォッカーによって収容された部分フォールドレーサーがあり、たちまち艦隊を追して進む輝であった。

ゼントラーディ軍はマクロスのみを目標からはずし、集結した地球艦隊に攻撃をしかけた。衛星軌道上からの艦攻撃の前に、一挙にして大艦隊3隻が沈められてしまった。そこで、グローバル艦長は、月に着陸すると見せかけ、月の上空で空間転移に入ることを決意した。このフォールドシステムは、マクロスに初めから備わっていた異星人のシステムで、テストもしていないものだけに、オペレーターたちの反対にあったが、開発リスクが大きくとも敵の攻撃をさけるためにはやらねばならないということで、敢えて実行に踏み切ったのだった。

艦内準備のための艦内放送に耳もかさぬ輝は、そんなこととは知らず、ミンメイをレーサーに乗せてマクロスを飛び出してしまった。次の瞬間、マクロスを中心に巨大な球状空間が形成され、その内部では時空が歪み、異様な輝きで満ち尽くされ、マクロスは空間と共に消えてしまった。

マクロスが再びその姿を現したのは、目標としたその場所ではなく、全く別の宇宙空間だったしかもマクロスのみならず、島やその戦闘の海までも転移していたのである。

マクロスを飛び出した輝とミンメイのレーサーもまた、その例外ではなかった。輝は宇宙空間の中を、コクピットブースターを巧みに使ってマクロスに接近、艦腹で開けられた穴から艦内にもぐり込むことに成功した。

その頃、グリッドは重苦しい雰囲気に包まれていた。現在位置が冥王星軌道上と判明した上に、フォールドシステムが作動していたからだった。

第4話 リン・ミンメイ

Lynn Minmay

禅とミンメイは、広大なマクロスの閉鎖区画にとじこめられてしまう

❸通路のパイプを切って水を噴射した ❼MBに迫められたリン・ミンメイは出口を求めてさまよう

❶シャワーを浴びながら泣けるミンメイ

Visual Story

❹男性には目標をつぶるミンメイ ❺帰れて帰れんでしまうさん ❻ ❼ ❽

❾禅は今には助けを求めようとする ❿ ⓫ ⓬ ⓭帰お宝探しにキズをつけられてガックリ

⓮必死の思いでマグロを釣りにかけ ⓯ ⓰「マグロ！」

九死に一生を得た卿とミンメイは、さっそくブリッジの方向を目指して歩き出した。だが、結局このロはパイプを通して水が補給されただけで、出口ひとつ見つけることはできなかった。それでもミンメイはパイプからあふれる水でシャワーを浴び、和気あいあいとなごんだ。

壁面から卿は鉱石を拾いながら出口探しに励み、ミンメイはレーザーを利用したテントで食事を温めて卿の帰りを待つという日々が続いた。だがやはり出口は見つからなかった。そして食料も底をついたある日、卿は出口探しをあきらめ、エアロックから宇宙に出て助けを求める決意をした。だが、エアロックに向かった2人の見たものは、宇宙空間に浮かぶ大きなマグロだった。急機作動装置、そのマグロを求めに出たものの、マグロはエアロックをすり抜け、中に入ったのはわずか、しかも機内服が破けて2度と宇宙へは出られなくなってしまった。こうして機内に閉じこめられた日々が過ぎていった。

疲れた体を横たえて、自分の夢を語り合っていた2人であったが、マグロの頭に浮かぶネズミを見たミンメイは、その姿に自分たちを重ね、絶望してつぶやいた。「死ぬ前に一度でいいから結婚衣装が着たかったナ」。そんな彼女に卿は「形式でもやりますか」と言ってみる。するとミンメイは裸にスカーフをベールにして卿に手を差し出すのだった。卿はとまどいながらもその手をとった。次の瞬間、彼女の表情が変わり、卿にいっしょに死のうと叫んだ。やさしくなぐさめる卿の腕の中でミンメイの瞳は涙でうっすら濡れていた。ミンメイは、その瞳を閉じ、2人の唇がゆっくりと近づく。とその時、大気圏とともに天井が割れ落ちてきた。

抱き合ったまま黒き塊で見上げる2人を、彼の人々がのぞき込んでいた。救われたのだ。「かえると、地球の病院なのに昔の秘書みが出ており、ミンメイは大喜び。卿はそんな彼女の喜ぶ姿に安堵するのだった。

Lynn Minmay

第5話 トランス・フォーメーション

Trans Formation

敵の猛攻を受け反撃できないマクロスは、ついにトランスフォーメーションを敢行する

Visual Story

マクロス艦内に収容され、絶望の日々を送った人々も、次第に元も通りのきびしさを見せ、街はとりあえず落ち着き始めていた。

またく間に艦内生活に順応したミンメイは、実際の宇宙放送に力をおとす最大の歌を歌おうと、中華料理店"娘々"の再建を決意する。また、彼女の恋人となっていた輝は、自分との関係を気にかけたミンメイが「ただのお友達」とさりげなく言っての言葉を耳にしてますます落ち込んでいた。

一方、マクロス抹消派の話を聞くグローバルの表情は重しかった。マクロスシステム消滅のために、自分が撃てなくなってしまったからである。それを乗り切る方法は唯一つ、トランスフォーメーションしかなかったが、それを行えば、やっと軌道となりかけた街を再び混乱の渦に巻き込むことになるのだ。

気くずとなった自分の機体をさげすむように見ていた輝に、ブロッカーは宇宙を漂うバルキリーの機体を見せ、軍に入ることをすすめたが、輝は戦争に参加する気にはなれなかった。それよりも、ミンメイのことの方がずっと心にかかっていた。

ゼントラーディ軍のブリタイ司令は、地球人がマイクローンであることを知ると、古い言い伝えに従って地球への侵攻を中止、マクロスのみにその目標を定めて攻撃を開始する。マクロスは必死で逃避したがあげく、次々と各ブロックが破壊されていった。そこでグローバルは、ついにトランスフォーメーションを決意する。マクロスはその巨体を胸の中に変形させて人型になっていた。その変形に艦内各所に多大な被害を及ぼした。公園にいた輝とミンメイも、突然の揺れた地震に危うく倒れそうになった。

変形に変形したマクロスの主砲がきらめいた。その一撃に敵の旗艦を一撃にして消滅させる。

都はこの事件を機に、軍への入隊を決意するのだった。

❶必死にいやがるおちこんだ様

❷

❸ミンメイは輝を慰めるように抱きしめた

❹敵を待ちうけるグローバルは安心する

❺

❻マクロスは主砲が一発ではずれフォーメーションする必要があった

❼ブリッカーは再に入隊を勧める

❽

❾再びマクロスに攻撃が加えられる

❿その様子を驚くブリタイ

⓫間髪にはさまれる戦闘艦隊

⓬いっきりとしない輝を見てミンメイは悲しくないと言う

⓭フォーメーションの為にかえる

⓮

⓯

⓰馬に驚かされる輝

⓱

Trans Formation

⓲輝と入隊を決意する

⓳

⓴

㉑空母によって高台の戦艦を撃沈する

㉒

Daidalos Attack

主砲が発射不能となったマクロスは、
苦肉の策としてダイダロス・アタックを試みた

❶ひさびさの休日。輝はミンメイのショッピングにつきあわされた

❷

❸

❹輝は戦闘に入り訓練を受ける

❺グローバルは謎のエネルギーの探索を続ける

❻輝のロにいつもの様にうるうるする

❼

❽ボンと共に初めて発射する

❾「キャー、ミスターランジェリー」

❿輝上村隊長等を乗せて進んでいる私も❼

⓫

⓬マクロスは土星へ向かった

⓭

⓮

⓯私の必殺で記念写真を撮る早とミンメイ

⓰

⓱

⓲

⓳土星の輪にひそむマクロス

⓴敵に総攻をかけるベトバルキリー隊が出撃する

㉑

事に入隊して初めての休暇の日、ミンメイとヒサ月ぶりに会った時は、"数々"で料理をごちそうになろうとしていたところが、ほとんど食べる暇もなく、フォッカーによって出撃命令を伝えられて連れ戻されてしまう。

一方、土星圏に突入したマクロスでは、グローバルが思い切って脱艦を命じる決定を下していた。知将が突然の引退宣言と知らされた時は、その後、それとなく流れを変えようとミンメイを呼び出すが、そうとは知らぬ彼女は、思い悩ましの言葉を残してすでに帰ってしまうのだった。

それから一夜が明け、博はフォッカーとともに味方艦隊へと出撃した。前はブリタイの命によりマクロス艦隊を襲ったゼリア艦隊、新たな対艦システムとしてピン・ポイント・バリア（PPV）を備えたマクロスは、バルキリー隊によって敵を主要艦隊上に誘い出して一気にこれを殲滅する作戦であったが、いざという時になって、PPV施設が事前で全砲発射が不可能であることが判明した。

接触手の失ったグロスは、敵のミサイル攻撃に対し、PPVで必死に防戦したが、それも時間の問題だった。グローバルが「もはやこれまでか……」とあきらめかけたとき、米国の衛星にある情報がひらめいた。

米国は、右翼のダイダロス艦首に共平Vを集中させると、それを衛星が追って突き抜ける。ダイダロス・アタック！　生き残る艦は、艦隊の盾甲をかき集り、さらに艦首に配置されたデストロイ弾の一斉攻撃がさく裂した。

嵐の最中、機動部隊に入り込んでしまった博は、そこで敵兵士とハチ合わせになってしまう。生きるか死ぬか、うちとる時、そのとき、ダイダロス・アタックによって艦隊は火の海となり、博は間一髪、救援を要請した。

こうして危機にひんしたマクロスの将軍艦隊は、味方の機転によりかろうじて勝利をおさめ、思わぬ味方にショックをうけたブリタイは、増援部隊の要請を決意するのだった。

①敵の攻撃をかわしながら、ミンメイとヒサ月ぶりに会った博は、"数々"で料理をごちそうになろうとしていたところが、ほとんど食べる暇もなく、フォッカーによって出撃命令を伝えられて連れ戻されてしまう。

②一方、土星圏に突入したマクロスでは、グローバルが思い切って脱艦を命じる決定を下していた。知将が突然の引退宣言と知らされた時は、その後、それとなく流れを変えようとミンメイを呼び出すが、そうとは知らぬ彼女は、思い悩ましの言葉を残してすでに帰ってしまうのだった。

③それから一夜が明け、博はフォッカーとともに味方艦隊へと出撃した。前はブリタイの命によりマクロス艦隊を襲ったゼリア艦隊、新たな対艦システムとしてピン・ポイント・バリア（PPV）を備えたマクロスは、バルキリー隊によって敵を主要艦隊上に誘い出して一気にこれを殲滅する作戦であったが、いざという時になって、PPV施設が事前で全砲発射が不可能であることが判明した。

④接触手の失ったグロスは、敵のミサイル攻撃に対し、PPVで必死に防戦したが、それも時間の問題だった。グローバルが「もはやこれまでか……」とあきらめかけたとき、米国の衛星にある情報がひらめいた。

⑤米国は、右翼のダイダロス艦首に共平Vを集中させると、それを衛星が追って突き抜ける。ダイダロス・アタック！　生き残る艦は、艦隊の盾甲をかき集り、さらに艦首に配置されたデストロイ弾の一斉攻撃がさく裂した。

⑥嵐の最中、機動部隊に入り込んでしまった博は、そこで敵兵士とハチ合わせになってしまう。生きるか死ぬか、うちとる時、そのとき、ダイダロス・アタックによって艦隊は火の海となり、博は間一髪、救援を要請した。

⑦こうして危機にひんしたマクロスの将軍艦隊は、味方の機転によりかろうじて勝利をおさめ、思わぬ味方にショックをうけたブリタイは、増援部隊の要請を決意するのだった。

第7話／バイバイ・マルス

Bye-bye Mars

無人と化した火星基地にマクロスは資材補給のため立ちよる
そこは、未沙にとって昔を想い出させる場所であった

❶カムジンの登場

❷ブリタイ艦にアプローチしてくる

❸

❹

❺

❻

❼

❽

❾

❿パーティの招待状をもらう

⓫

⓬未沙は調査を買って出る

⓭ロボットの内部にシェリルが捕獲していた

⓮

⓯未沙は改めてこの星とライバー少佐のことを想い出すのだった

⓰

⓱

⓲人気のない基地内

⓳

⓴海の気配いカムジンの部下のゴラ大隊の存在が発見される

㉑

㉒

㉓カムジンの攻撃が開始された

㉔

㉕マクロスは進入禁止にとらえられる

VISUAL STORY

❶いつまでもマクロスを守護できることに喜びをあらわすリタイは後に、その絵に美しい名前をつけるようにと頼まれ"MACROSS"の英名をとるようカムジンを指導した。第1艦隊の作業は、次第に重力制御を駆使してマクロスを生け捕りにすることだった。

❷2013年現在、たて続けの戦闘に明け暮れた地球は、荒れ果てた街へ出て、久しぶりにシンイチと出会う。外の過酷さとは別に静かにいる彼女は、無邪気な笑顔を浮かべながら、陽に誕生パーティの招待状を渡す。

❸その頃、前の攻撃によって傷ついた体は治療を行なわれ、元気を取戻してきていたマクロスでは、異人のはずのサラ基地から、戦闘データの発信が行われているのをキャッチしていた。あたしにあの生命があるのだろうか？　帝国の陰謀も重なって、マクロスはサラ基地へと降下していく。だがそれは、カムジンがマクロスをおびき寄せるために張った罠だった。

❹サラ基地――統合軍のとき以来駆逐艦のこの施設も、未だにだれも特別の想いがあった。そこは、彼女が16歳の頃、ひそかな恋心を寄せていたライバー少尉達行の地だったからだ。未沙は、通信の主がライバーであることを願いつつ、自ら単独での調査に向かった。

❺ギャリアスの巡る指揮によって、10の機以上の戦闘ポッドの奪取を知ったマクロスは、直ちに出撃しようとするが、重力機雷が作動して身動きがとれない。罠にはまったマクロスをあざ笑うかのように、カムジンの総攻撃が始まった。グローバルは、サラ基地の反生命を暴走させて巨大の重力制御を破壊しようと考え、未沙にその任務を命じる。未沙は、危機や事故には成功するものの、逃げる途中で回遊魚に閉じ込められてしまう。ガが戦艦にも危機の迫っていたところは、サイバーの衝撃の声だった。恋人の思い出に浸る未沙、そこへ爆のバッテリーが現れ、未沙を救出する。基地と共に、恋人の思い出も消えていった。

❻マクロス出撃命令が発動する

❼ふさぎ込む未沙

❽未沙を救出するバッテリー

❾くやしがるカムジン

Bye-bye Mars

Longest Birthday

ミンメイの誕生日、同時に輝は小隊長に昇進し、マックス、柿崎の2人の部下がつけられた

❶

❷

❸戦闘の終わった輝は報告を言う

❹輝はマックス、柿崎の2人を部下につけられる

❺

❻

❼

❽マックスは10機で大艦隊を守る

❾

❿対撃するバーミリオン小隊

⓫

⓬迫撃するカムジン艦

⓭

⓮西条の想に思いをはせるマックス

⓯輝はミンメイの誕生日に最高の贈物を贈る

今日はミンメイの16歳の誕生日。プレゼントは何にしようかと思い悩む輝に、軍本部から呼び出しがかかった。大量出来の戦績が認められ、チタニウム章を授章したのだ。そして帰艦も軍艦から少佐に昇進、小隊長として、マクシミリアン・ジーナス、林崎准尉という2人の部下もつけられた。

ミンメイに自分の昇進を自慢しようと思った輝は、その足で2人を連れて"銀河"に向かった。ミンメイはきっそくとばかり学校を抜け出すが、輝は驚くべきプレゼントをすっかり忘れていた。おかげでミンメイは、輝をそっちのけでマックスと意気投合してしまい、輝はひとり疎外感に浸っていた。

その時、全艦にスクランブルがかけられた。なの知らせがジンの一団が、プリアイに襲って攻めてきたのだ。輝たちバルキリー隊員は、直ちに次々と戦場へ飛び立っていった。

初陣の3人を従えた輝の小隊の受け持ちは、マクロス艦前防衛線の第2ブロック。大口たたく割に慎重な行動をとっては危機に陥る林崎に対して、マックスは冷静な判断でパトロイドに変形させて、その天才的な操縦を発揮する。輝というと、林崎の足手まといにやれやれという感じだった。

戦闘はマクロス軍団におけるバトロイド戦となり、輝はカムジンのグラージと一騎打ちをしていた。そのとき、カムジンの命令違反に怒をたてたプリアイの広域ビーム砲撃が入り、カムジンらは悔しがりながら撤退していった。

マクロスに戻った輝は、ミンメイへのプレゼントを渡していないことに気づき、あわてて街へ出るが、どこも閉っている。輝はどうしたものかとミンメイの部屋の下をうろついていると、それに気づいたミンメイが窓をあけて話しかけてきた。輝はとっさにポケットを探って手にしたチタニウム章をプレゼントする。輝の贈ったプレゼントを手に喜ぶその笑顔に、輝は心から満足するのだった。

Longest Birthday

⓰

⓱満足する輝

Miss Macross

マクロス艦内ではついに一般市民によるTV放送が開始され、
開局記念にミス・マクロス・コンテストが催された

Visual Story

❶ 作戦の説明を受けているリレン、カリー、ロンダ

❷ 留守番はミンメイがつとめていた

❸ 出撃前のリレン

❹

❺

マクロス機内放送局――MBSTVが開局し、その記念番組として、ミス・マクロスコンテスト'が開催されることになった。

ミンメイは、このコンテストに友達のチャミスメリンが出ると聞いて、輝にいっしょに見に行こうと誘うのだが、あいにくその日は輝の小隊が当直に当たっていた。そんな輝に、ミンメイは夜食を届けてあげると約束する。喜んだ輝は急ぎをひとりで引き受けてはりきっていたが、そこへ再びミンメイから連絡が入り、ミス・マクロス・コンテストに出場することになったので、楽しみに行けないというのだった。輝はもうガックリ。

一方、MBSの電話を受けたゼントラーディ軍は、偵察隊として、リレラ、ロリー、ロンダの3人を送り出した。偵察機形態を探知したブリッジでは、直ちにスクランブルを発令するが、待機しているはずの輝は、ミス・マクロス・コンテストの会場に来ていたのだ。ちょうどミンメイの番となり、その愛らしいチャイナドレス姿に輝が思わずうっとりしていると、コンテストを中断させるほどの大きな音声で、輝小隊が出撃命令が会場全体に響きわたった。

❻ 敵の中にうっこむ輝

❼ 基地を発信するバルキリー

❽

❾

❿

せっかくいい気分に浸っていたところを自分ひとりだけ呼び出され、すっかり機嫌を悪くした輝は、ゴースト部隊ならず、特殊任務以外使用禁止のアーマード装備で、敵宙域ポッドの攻撃に飛び立った。ところが、発進したはいいが、あまりの遅れもうわの空で、通信チャンネルをコンテストに合わせ、美しい水着姿に見入っていた。

ハッと気づくと目の前に敵ポッドが大接近。輝はもちろん、ミンメイたちの水着姿に異様な緊張を受けていた敵3人組も殺気だ。あわてて臨戦態勢に入った。輝は、特攻をかけて敵ポッドを混乱させると、装甲板をこじあけて中にもぐり込む。3人組はポッドを自爆させて脱出。その爆風で気絶していた輝の気がついて最初に見たものは、ミス・マクロスに選ばれて、ほほえむミンメイの姿だった。

⓫

Miss Macross

⓬ センターでミンメイの歌を聞く輝

⓭

⓮ ミンメイがミス・マクロスに選ばれる

⓯

第10話／ブラインド・ゲーム

Blind Game

レーダーシステムを失ったマクロスの哨戒中
未沙、輝、マックスらは敵の罠により手中に陥ってしまう

前線から戻ったブレラたち3人は、ロマにその報告をするのだが、一同に笑顔を得ない。そこで、エキセドルは、ブリタイに捕虜の尋問を命じた。

一方、任意遂行中のバーミリオン小隊は、輝機が被弾したため、輝の隊を帰還させようとしたところ、ブリッジの未沙はローテーションの変更を要求してきた。これに腹を立てた輝は「いつも自分は安全な時でスクランブルしてるから、外の厳しさなんかわかっちゃいないんだろ」とどなってしまうのだった。

ゼントラーディ軍は、捕虜作戦の手始めとしてマクロスに攻撃を始めたが、カムジンはこれにことよせて直撃弾を放ち、ビーラはレーダーコントロール・ルームを貫いた。その直後、未沙はブリッジ前方を浮遊するバトロイドの残骸とその中のパイロットの遺体を見て激しいショックを受ける。先ほどの輝の怒りの声が頭の中に響く。とその時、ゼントラーディから降伏命令が入電した。第1波の攻撃で、広域レーダーが失い、その上降りかかった小惑星の破片に覆われ近距離レーダーさえ役に立たぬマクロスは、敵情偵察にキャッツアイを飛ばすことにする。未沙は輝の負傷がはたしてどうだったのか、この危険な任務に自ら志願し、また偵察にもそれ人を救出の護衛には、バーミリオン小隊があたるのだった。

未沙たち偵察隊の発進を確認したブリタイは、国に乗ったとばかり捕獲作戦を開始した。まず、戦闘ポッドを使って輝たち護衛機を引き離し、その間にまんまとキャッツ・アイを捕獲した。輝たちは騙らえられた未沙を追って敵艦に侵入し、未沙を助けて脱出を試みるのだが、そうはさせじと駆け込んで来たブリタイにより輝たちの行く手はさえぎられてしまう。マックスのバトロイドがブリタイを押さえて、さらに脱出を急ぐが、ブリタイの力はバトロイドを圧倒するほどであった。マックスは接触ミサイルで外板を破らせ、そこからブリタイを宇宙に放り出したが……。

First Contact

捕虜となった、輝、未沙、柿崎、の3人はゼントラーディ軍との力の差にがく然とするのであった

無限を思わする肉体を持つプリタイは、真空中へ投げ出されても死なずに、再び輝たちを襲ってきた。まず柿崎のバルキリーが一撃で破壊され、次いで輝も健闘するものの、簡単に装甲板をむしり取られてダウンした。マックス機だけは何とか電外放出に成功したが、輝、未沙、柿崎の3人は遂にプリタイの捕虜になってしまった。プリタイとエキセドルは、輝や未沙の体を分析するが、その構造がゼントラーディ人のマイクローンとはとんど同じであることを知り、不安の念に包まれるのであった。彼らにとっては自分たちだけでは処理できぬ問題であることを悟り、ボドルザーの待つ巨大戦艦のもとへと向かい始める。その頃マックスは、輝たちを救出しようと、放置された外壁の穴から艦内に潜入していた。

ゼントラーディ艦が、1時間にも及ぶフォールド航行を終えたとき、輝たちの眼前に広がったのは、銀河の平面を背景に浮かぶ無数の大戦艦の姿だった。プリタイの報告を受け、事の重大さを感じたボドルザーは、自らメインシアを率いてプリタイ艦に赴き、独断を決行することにした。マクロス内には戦争をしない民間人がいることや、男と女が共に生活していることなど、地球人の意識が、ここでは驚異として受け取られた。未沙はようやく気付き始めていた。これだけの火力がありながら、ゼントラーディ軍がマクロスに全面攻撃をかけられないのは、地球人が彼らの持たぬ何かを持っているのではないか？　男と女が愛し合うことの意味を理解できないボドルザーは、輝たちにキスをして見せろと要求する。未沙は彼らの心を見るために、敢えて輝とキスを交わした。唇が触れ合った瞬間、監視からの驚愕の声が湧き起こる。ボドルザーは、輝たちがゼントラーディ人の捕虜、プロトカルチャーであることを確信するのだった。

その頃、マクロスでは、輝の身を案じるミンメイがデビューのステージに立っていた。

❶やられてしまった輝機

❷❸

❹

❺未沙も再び捕らわれる

❻

❼3人の体は強く分断された

❽

❾尚もプリタイの手で触れられる

❿

⓫未沙はピアノによって内面を描写していた

⓬

⓭寂しげなミンメイ

⓮フォッカーから輝の事を聞かされる

⓯

⓰ゼントラーディの力を見せつけられる

⓱3人はボドルザーから最終を受ける

⓲ボドルザーは尚らがプロトカルチャーではないのかと疑じた

⓳いやいやながらもキスする2人

⓴

㉑

㉒間に答えることも出来ずに戸惑う輝

Big Escape

輝、未沙、柿崎、マックスは決死の脱出を試みるのであった

VISUAL STORY

❷3人はポッドに押し込められる

❷

❶マックスが突然に変装して飛びだす

❸

❶

❹

❺

❻3人はマイクローンの網を破壊する

❼閉じきる寸前で手に挟まれてしまう！

❽ブリッジを破壊して進むマックス

❾可愛いひとみ

❿ポッドが衝撃によって動けなくなる

⓫ポッドは海底で凍りついてしまう

⓬未沙が泣きだしてしまう

⓭久しぶりの再会！

❽

❾

❿マクロスにスパイが送り込まれることになる

❻

❺

❷新婚旅行に旅立った

❸4人は脱出することができた

❶

❹ミリアがスパイの送り手として潜入された。

ゼントラーディ軍の強襲にみまわれてしまった輝たちは、脱走を計画する。兵士が食事の差し入れに来たときを見はからって、輝が隊と必死がキスをし、兵士が興奮している隙に逃亡しようというのである。初めはかたくなに拒んでいた未沙も、作戦のためならばと覚悟をし、2人は今1度唇を近づける。だが、開いた扉の向こうに立っていた2人は、ゼントラーディ兵士に変装したマックスのバルキリーであった。輝たちは、マックスのおかげで、見事な脱出に成功する。

ボドルザーは、マイクローン化したスパイをマクロスに送り込んで、敵の弱点をつかさに調べることにした。スパイには、顔を変形した"青い巨人"の3人が選ばれた。

マックスのバルキリーは、基地の給油を受けて帰還。輝と未沙、マックスと柿崎はそれぞれ別の機へと別れのひと、途中で輝と未沙は、巨人をマイクローン化する装置を目撃し、ゼントラーディ人がもとは巨人と同じ大きさだったのではないか、という疑いを抱く。彼らは武装指揮官にいたところを兵士に見つかり、未沙がその銃につかまってしまう。輝はゼントラーディの銃をなぎ倒して行とか兵士を倒すが、未沙が敵内を連れたビデオカメラは落下、破壊されてしまった。輝と未沙は、なおも迫ってくる兵士の攻撃によって、艦内の本殻りへ落ちてしまう。東の間の安らぎの中、2人はめずらしく互いのものを思いて語り合うことができた。異人の中に育った未沙は、戦いしか知らないゼントラーディ人にいつしか同情を寄に始める。

星の流れに沿って進んだ輝たちは、折那マックスたちと合流でき、プリタイ艦から武器を奪えている機に乗した。それは、スパイの3人をマクロスに送り込むために発進するサプライズの機だった。敵機奪ボドを奪った輝たちは、機のデフォールドした宇宙空間にミンメイの歌が流れるのを聞いた。4人は帰還に成功した。

❶輝たちはバルキリーに乗り込んだ

❷輝と未沙はキスをしようとするが

❸ミンメイの歌声のスパイであった

❹リガードをうばって逃亡した3人

❺マックスのバルキリーであった

❻輝たちは無事救出された

❼輝と未沙は互いの気持ちを知っていく

❽輝たちはプリタイ艦から武器を奪えている機に乗した

❾4人は帰還に成功した

❿輝は静かにミンメイの歌声に聞き入る

Big Escape

第13話／ブルー・ウインド

Blue Wind

ゼントラーディ軍の激しい攻撃の間をついて、ついにマクロスは地球に帰還した

❶グローバルは4人の処分を決定する

❷ブレラ達はマクロス内に潜入した

❸マクロスは地球衛星軌道まで飛んでいた

❹3人は束縛れの日でよという

❺

❻

❼

❽ルームでは3人の処分について話かれていた。❾

❿何も知らないカムジンは地球に入る

⓫

⓬ミンメイはブラミスを気に入った

⓭

⓮地球へ降りるマクロス

⓯

⓰月をバックにするマクロス

⓱地球に降りたマクロス

ゼントラーディ軍のスパイ3人組、ワレラ、ロリー、ゴンダは、無事マクロス内に潜入したものの、周囲をするものすべてが目新しく理解できないことばかりである。見よう見まねでロッカー室に入り、番号箱を身につけたまではよいが、ワレラが女性の服を着ていたために、男人の注目を集めてしまった。

マクロス指令室では、元帥をはじめとする4人が、ゼントラーディ艦で得た情報を首脳部に報告していた。だが、グローバルを除く多くの高官たちは、あまりにも単純明快な彼らの話が信じられず、まともにとり合おうとしない。グローバルは、この情報を地球に持ち帰る必要性を説き、敵包囲網の突破という強行策に踏み切ることにした。

帰還した4人は、その英雄的行動を認められてそれぞれ昇進し、彼らのための華やかな歓迎レセプションが開催された。会場には、今や一大アイドルスターとなったミンメイも現れ、彼女たちをねぎらった。帰還の喜びを3人だけで分かちあいたかった彼は、ファンの声援を受けるミンメイを淡しげに見ていた。

ゼントラーディ人は地球人をプロトカルチャーとして崇拝している——彼らの報告を聞いて、グローバルはマクロスを加速させる。目指すは地球。愛の宴、ラプラミスの艦隊はマクロスを追撃するものの、攻撃は仕掛けてこない。だが、思ってマクロスを地球へ帰らせることが我慢できないカムジンは、自らの艦隊を率いて追撃戦を敢行、マクロスに一斉攻撃を浴びせてきた。マクロスは、トランスフォーメーションとPPVで対抗するが、多くの民間人が犠牲してしまう。ボルテクターからマクロスを攻める許可を受けていたラプラミスはこれを見ると、主力艦隊をもってカムジン艦隊の前にまも塞がり、他となってマクロスを守った。

マクロスはこの後に救じて大気圏に突入、からうじて着水に成功した。艦内に流れる風、そして青い空が皆の心を満していった。

第14話／グローバル・レポート

Growbal Report

地球にやっとのことで帰還したマクロス、グローバル艦長はその長かった放浪の旅を回想するのであった

グローバル艦長は、1年に渡るマクロスの航跡を統合軍本部に報告するため、レコーダーに向かっていた。

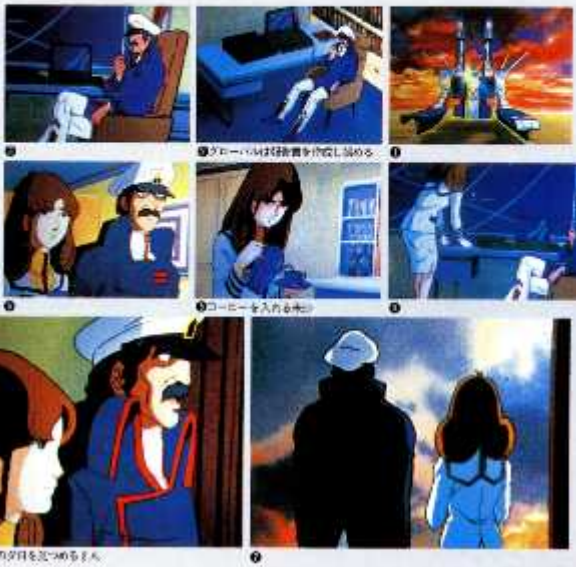
運命元年目、マクロスは発信源を発見し、月軌道上のゼントラーディ艦を破壊した。マクロスは、敵軍のブービートラップだったのだ。

彼らの攻撃をさけるため、フォールドシステムを作動させたマクロスは、意に反して銀アタリア島もろとも第十四惑星にまで飛ばされてしまった。

島の民間人を収容したマクロスは、通常航法で地球へ向かう。

突然なまでのゼントラーディ軍の攻撃に対し、トランス・フォーメーション、ダイアロス・アタック、などの新戦法で危機を脱しながら、ゼントラーディと戦闘するため見てしまい感いの旅をおこなっていた……

報告を終え、一息つくグローバルの耳元に、米沢が入ってきた。夕日を見つめながら、この未来すべてが待ちうけるのだろうか、という胸さわぎが押さえられない2人であった。



❶ ❷グローバルは報告書を作成し始める ❸ ❹コーヒーを入れる米沢 ❺ ❻ ❼

Growbal Report

第15話／チャイナ・タウン

China Town

地球への帰還にうかれるマクロスを尻目に、統合軍司令部では苦い取り引きが行われていた

❶ ❷ ❸ ❹ ❺ ❻ ❼ ❽ ❾ ❿ ⓫ ⓬ ⓭ ⓮ ⓯ ⓰ ⓱ ⓲ ⓳ ⓴ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

❷酒を飲んでいる米沢のロン ❽ミンメイを探しファンの中 ❾ ❿逃げるフォッカー ⓫地下グローバル統合軍司令部に到着した ⓬ ⓭米沢に自分の顔を変かせるミンメイ ⓮ ⓯ ⓰ ⓱ ⓲ ⓳ ⓴ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

❹ ⓫ ⓬ ⓭ ⓮ ⓯ ⓰ ⓱ ⓲ ⓳ ⓴ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

❶ ❷ ❸ ❹ ❺ ❻ ❼ ❽ ❾ ❿ ⓫ ⓬ ⓭ ⓮ ⓯ ⓰ ⓱ ⓲ ⓳ ⓴ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

Visual Story

❷統合軍では話し合いが開始された

❸うれしそうな笑顔

❶

❹昔の夢をみるリン・ミンメイ

❺ミンメイはマクロスへ帰ると知ってガッカリ

❻父ひとに別居されてるリン呼

❼

❽カイフンがすこへ現れた

❾

❿男性歌手のキン様の歌声を聞いてくれない

⓫

⓬

⓭ミンメイは大よろこび

⓮カイフンもマクロスへ行くことに

⓯会話はこれすると2人

⓰

⓱

⓲恋や落ける瞬間

⓳驚くミンメイ

⓴とじこめられたミンメイ

Kung-Fu Dandy

平和主義者であるカイフンの出現は、マクロスのクルーたち、そして未沙に衝撃を与えた

❶反乱して真っ赤

❷カイフンが帰ってきた

❸

❹ショーウインドにへばりつく3人娘

❺

❻カイフンにはライバーの攻撃が…

❼

❽城内ではカイフンの歓迎会が行われた

❾ニュースで上映中止が告げられる

❿突然ライバーを襲い始め

⓫太陽炉がつっ込んで来た

⓬ほかもカムジンが攻撃する

⓭怪ものにつかまるマクロス市街

⓮ダイダロスアタックをしかけるマクロス

⓯

⓰発射されたミサイルを呆然と眺めるミリア

⓱怪しい影を見つけて未沙へ合図される

⓲自分の心の動揺に力なく沈む未沙

グローバルは、上層許可の降りなかったことをいかに市民に発表するか苦慮していた。統合軍本部の決定に不服なオペレーター3人娘や未沙はうさ晴らしに街へ出る。途中で会ったマックス共々"魅々"へ入ると、そこではカイフンの歓迎を兼ねるパーティの真最中であった。中には、ふてくされて帰っている輩の姿もあった。

カイフンの顔はライバー少佐に瓜ふたつにも似ていた。いつしか未沙は、カイフンにライバーの面影を重ねていた。だがカイフンは平人の優しい平和主義者だった。「戦いは何も生み出しはしない」――彼の言葉は、未沙の心に何度も響き渡る。

ミンメイの歌番組の最中、上映差し止めのニュースが流れた。宮内の人々は騒然混乱状態を呈し、様々につめ寄り、大騒ぎとなった。中国拳法の達人であるカイフンはこの騒ぎをおさめてしまった。喜ぶミンメイ。それを見ながら嫉妬まるまるするイケてくされるのであった。

そんなマクロスに対し、急令無視のカムジンが、3度目の攻撃を仕掛けて来た。戦闘ポッドの大群が、マクロスの周上に総撃の雨を降らせる。前哨に予を出しているが、基には指1本触れていない。と勘弁を喪するカムジンに対し、ラプラミズは即時帰還を命じる。ミリアもカムジンを止めるために発進するものの、しょせんは血気はやる女性上、どさくさに紛れて勝手を楽しみ出した。熱の冷却するカムジンは、上官と称して突撃機をマクロスに特攻させた。

マクロスは、ダイダロス・アタックで応戦するところが、カイフンのことに消た未沙は、ダイダロスが戦艦を焼き払りたのも気付かず、空中に向けてミサイルを発射させてしまった。おりしも火線上では、ボトとミリアが戦っていた。ミリアはすばやく逃げたが、ボトは翼に被弾して負傷、重傷を負って病院へと運ばれた。

第16話「ファンタズム」

Fantasm

負傷して病院でねむる輝は夢をみる、それは輝の幻想の世界だった

Visual Story

マクロス内の病院に収容された輝は、応急処置による一時的な覚醒の後再び昏睡状態に陥った。意識不明の輝は、1つの夢を見ていた。

1週間後の輝は、ミンメイのファーストコンサートを観に来ていた。すると突然ブリタイが現れ、ミンメイをさらう。輝は、基地からバルキリーを盗み出し、ミンメイを追うが、すぐに撃墜された。

輝は、ミンメイを助けるために再び出撃し、見事合格した。その後何度もバルキリーで出撃する輝だが、その度に撃墜され「戦法上」の名をほしいままにする。遂には自転車に乗ってでも出撃しようとする輝の気のよさに呆れ、とうとう未沙、早苗、マックスが協力を申し出た。

4人はゼントラーディ軍に潜入すると、バルキリーを盗み出すことに成功したが、すぐに正体がばれて攻撃を受ける。何とか逃げのびた輝と未沙は、夜になりブリタイの右手の上で歌っているミンメイを発見する。早速バルキリーで向かいに行った輝の目の前で、ブリタイの船がみるみるガイフンに変わる。ミンメイを半人とはつき合わせない、と言うガイフン。輝が軍服を脱ぎ捨てると、その姿はかき消えた。

バルキリーの右手にミンメイをつかんで発進した輝だが、ミサイル攻撃で左手がふきとんでしまう。輝は、落下するミンメイを救出し、陸戦隊へと乗せる。周囲は急に宇宙に変わり、バルキリー頭部もレーサーに変形した。輝たちは外壁の穴からマクロス内へと入り込んだ。

2人きりの生活を続ける輝とミンメイ。生星の望みのない2人は、結婚式を挙げることにした。輝とミンメイは唇を近づける。だが次の瞬間、輝がキスをしている相手は未沙になっていた。未沙は輝を見て、にっこりと言った。

「結婚、あなたは軍人なのよ」

はっとして輝は目覚め、悪夢はおったのだった。

❶ブリタイがミンメイをさらう

❻ことごとく失敗して3人に笑われる

❽誘われていくガイフン

❾事故を起こす輝

❿去さめる輝

⓫いつのまにか未沙に変っている

⓬結婚式のイメージ

第1話／パイン・サラダ

Pine Salad

入院中の輝のもとにとどいた知らせは フォッカー戦死の報告だった

ミリアがマクロス内に進入

　意識も回復し、ベッドの上に起きられるようになった輝だが、精密検査の結果が出るまでは出撃することはできなかった。おまけにミンメイが大スターになるにつれ、2人の間も冷えていくように感じられて、気は滅入る一方。そんなとき、未沙が見舞いに訪れる。未沙は、自分の責任で輝が負傷した、と悩んでいたのだ。

　次いで病室に現れたのは、フォッカーに柿崎、マックスの3人。落ち込んでいる輝には、柿崎やマックスの冗談さえも皮肉に聞こえてしまう。そんな輝を見たフォッカーは、ミンメイに輝の見舞いを頼むのが得策と考え、早速クローディアにミンメイのスケジュールを調べてもらうことにした。

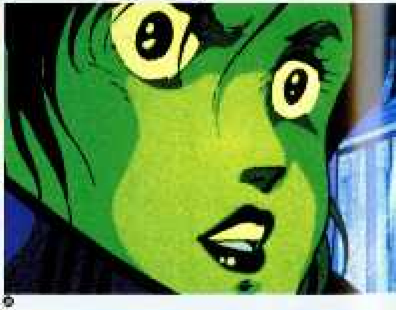
　ゼントラーディ軍のスパイ3人組は、売店から売り物のミンメイ人形を盗み出し、ほくそ笑んでいるところを、オペレーター3人娘に見つかってしまう。彼らは、生まれて初めてディスコなるものを経験する羽目となった。

　フォッカーの知らせを受けて、ミンメイは輝を訪ねるが、睡眠不足がたたって、眠り込んでしまう。輝は、寂しげにミンメイの寝顔を見つめるのだった。

「マクロスの中にはスゴ腕が1人いる」というカムジンの言葉を確かめようと、ミリアは無断で部隊を率い、マクロスへ向かった。フォッカーのバルキリー隊がこれを迎え撃つ。ミリアはスゴ腕、マックスの存在を確認すると、1対1の勝負を挑んだ。ところがマックスは、ミリアの攻撃を軽くかわした上、ミリアを追い込んでいった。敗北の屈辱を味わいつつ、ミリアは退却していく。

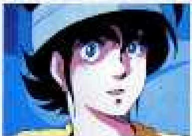
　戦いの後、クローディアの新メニュー、パイン・サラダを食べに部屋へ行ったフォッカーは、戦闘の傷がもとで倒れ、そのままこの世を去った。号泣するクローディア、輝もまたしばし呆然とするのであった。

銃撃を感知しながら逃走するミリア



容赦せずマックスは追撃する

普段のままクローディアの部屋へ



未沙から知らせを聞いて輝はがく然とする

泣きくずれるクローディア

Pine Salad

Burst Point

マクロスはついに全方囲バリヤを開発するが、
カムジンは大型戦艦による集中攻撃を開始した

❺カフェで話しかけにいるクローディア

❻勝利の上空を飛ぶマクロス

❼カムジン艦内「敵を撃沈」で出撃

❾インメイは通信で倒れてしまう

❿驚くミリア

⓫ミリアはマイクローンに…

⓬一瞬フォッカーの姿がうつる

⓭集中攻撃らくべて防力だった

⓮バリヤをはるマクロス

⓯カムジン艦はマクロスに攻撃をする

⓰バリヤシステムが故障してしまう

Visual Story

❶何時もよりざえなくって被弾した。

❷

❸広がる爆発は他の艦も巻き込んだ

❹爆発の中心にいたマクロス二世かな

❺

❻

❼敵いそのものべまだと言うバイフン

❽

❾

❿何は泣きながらほえる

⓫

⓬

⓭定期いに来くれないかぐらがもイシメイ

⓮変更した超時にうかぶマクロス

マクロスは建造上空を低空飛行して、統合軍に民間人の受け入れを迫るという強攻策に出た。統合軍が認めざるを、兵士のやりとりを放送して受入れを申し出る自治区を開拓したのだ。グローバルの思惑は外れ、連良イオンテリオ自治区から民間人の受け入れ許可がおりた。

フォッカーの死を悲しむ暇を与えるようと、マックスとミンメイは街へ誘う。情報は揃かれているというので特産太ステーキを注文、いざ食べようとしたとき、全機出撃の命令が出た。聞よ、フォッカーの愛機ベルリを受け継いで出撃、ミンメイもステーキになごりを惜しみつつ出撃した。

次にやってきたのは、しびれをきらしたカムジン一家、全機総出の出撃だったが、自分の与隊ともいうべきミリアがマイクローンスパイに洗脳したために気を落としたラプラミズは、カムジンを止めようともしなかった。

カムジンはマクロスに対し全面攻撃をしかけてきた。今回ばかりは本気である。ＴＰＶシステムの改良で全方位バリアを開発したマクロスは、カムジンの集中砲撃に対し、おっそくこれを使用した。バリアは強靭なまでにその威力を発揮し、一度はカムジンたちを驚かせたが、そのカムジンもすぐに気をとり直して、バリアにかまわず一斉砲撃をつづけた。

カムジンの連続攻撃のため、次第にエネルギー消費量が基準し始め、ついにその限界を超えた。バリアが、マクロスが被弾する。本当は直ちに全機避難命令を出し、敵に向かった「あなたたちだけでも逃げて」、次の瞬間マクロスを包む光体は異常な広がりを見せ、周囲のすべてを溶かしていった。私の通信で全艦隊を退った時たち「あったが、逃げ遅れた艦が光の中に消えた。

しかしマクロスだけが無傷だった。そして眼下に広がる巨大なクレーター。

直後、オンテリオ自治区から通信が入った。だが内容は聞くまでもなかった。

第20話 パラダイス・ロスト

Paradise Lost

マクロスに対する執拗な攻撃に、統合軍政府はマクロスの地球圏外出撃の命を下した

❷

❸ブリタイにおばーちゃんが連れられ

❶

❹

❺マクロスに対して執拗への攻撃命令が…

❻3人対4人の戦いと発展に…

❹

❸荒れた地球で戦える

❼

❶

❷

❶3人は宇宙にも次元を超える

❷

❸3人の騒ぎを聞くブリタイ

❶

❹汚染を発見するグローバル

❸

❶

❷

❶マクロスは再び宇宙へ…

バリヤの無力を確認時と考えたボンヤーディ軍最幹部統合会議メンバーの命により、再びブリタイが地球衛星に残された機体を率いて出撃した。

このブリタイ侵攻に先立ち、マクロスにスパイとして潜入していたブンヤたち3人も帰還することになった。出発準備をなくる人の心はマクロスへの名残でいっぱいだった。驚のにもうすっかりマクロスに魅せられていたのだ。

一方、バリヤの崩壊で大都市のひとつ消滅させてしまったマクロスに、真に地球外出撃命令が発令された。マクロスは戦闘の補給も完了し、発進を待つばかりだった。グローバルはこのことを全市民に知らせなければならない。

ブリタイ艦に戻った3人は、持ち帰ったテレビ等の日用品を広げ、マクロスでの体験を先を争って話し始めた。ブリタイとカセイは、その家のように広き高き3人の経験を、聞きを持って聞くほかなかった。

3人の持ち帰ったものは、ブリタイらに現示したものばかりではなかった。3人は資料を集めると、ボンヤーディやボンヤイ人形等の品々を並べて自慢げに説明し始めた。そして、このことが全統治士の間に広まるのにさして時間はかからなかった。

グローバル艦長は、悪いものを感ずるつつも、テレビを通じてマクロスに講ぎされた平和の精神を一般市民に伝えた。人々は感涙し、グローバルは再度もその声を聞きふけた。そこへミンメイの歌が流れ、グローバルをかばって人々に訴えた。この人々がマクロスの皆であり地球なのだと。再び地球に戻れるその日を信じて、希望を抱いてぜに生きねこうと……そして、小さくなりゆく地球の姿を万感の思いで見つめる5万その人々を乗せて、マクロスは再び宇宙へと旅立っていくのであった。

第21話　ミクロ・コスモス

Micro Cosmos

マクロス内では、リン・ミンメイの第1回主演映画
「小白龍」が上映されることとなった

Visual Story

その夜は「小自然」公開を明日に控え、関係者を集めた前夜祭のパーティーが開かれていた。だが、主役のミンメイは浮かない顔。感動と歓喜が渦巻く会場裏でのただ一人、涙を必死に抑えていたのだ。ふと耳にすることを思い出したミンメイは、知己の指定席を予約し、彩を劇場に招待することにした。

母親からの知らせで、留守中にミンメイからの電話があったことを知った彩は、心配のあまり、仕事の指定席の件は聞きそびれてしまう。電話の相手を尋ねようと、早速ダイヤルを回したものの、結局ミンメイはでかまえなかった。

実は、劇場前で舞台挨拶に来たミンメイは、予約席に彩の姿が見えないのに気付く。だが、その顔は、予約の件は知らずとも、ちゃんと会場に足を運んでいた。

その頃アリタイ機でも、ブバイ3人組の持ち帰ったモニターにより、"小自然"が大公開されていた。期待の大型映画とあって、アリタイとエキセドルは、カイフンの感激シーンを見て驚愕する。それを、彼らに知られる"危機"のない、と踏んでいたためであった。

カイフンとミンメイのラストシーンにいたたまれなくなった彩は、思いが制御を突き出したところ、家に引きこもってしまう。彩がもたカイフンを見に来ていて、途中で席を立ってきたのだった。

そのさ中、突然のため、マクロスは突然ハラスフォーメーションに入る。緊急事態に乗務員たちはうろたえ、彩と彩は、より出口から離れてしまう。彩がはいかり合っていた2人だが、密室の静寂が互いの心に潜む寂しさを呼びさました。2人の間に一緒ではあるが、ほのかな感情が流れる。

フォーメーションが整備され、外に出た2人は伸びつつあるミンメイとカイフンの姿を目撃して、おたがいに寂しさを感じるのであった。

❶フォーメーションのため、機内は緊急事態となる

❷外へ出ると突然に前の建物が倒れてきた

❸

❹

❺一瞬カイフンに死のイメージがよぎった

❻

❼小型の宇宙船はシャイニー号!

❽ミンメイは群衆の中に巻き込まれてしまう

❾

❿おたがいに惹かれ合う2人

⓫

⓬フォーメーションは解除される

⓭

⓮

⓯

⓰

⓱新しい世界へ旅立つ

Micro Cosmos

第22話　ラブ・コンサート

Love Concert

ブリタイは自らの乗艦をおとりとした、マクロス奪取作戦を開始する

❶リガード、を見て驚くボドルザー

「小宇宙」を見て脅威を感じたボドルザーは、再度殲滅を命じることをブリタイに命じた。

ブリタイ艦では、3人組の裏切りによって、マクロスに向かう兵力が増えていた。そんな時、マクロス攻撃命令が下った。それに対し、3人組はマクロスへの亡命を呼びかけ、応じた者たちは、マイクローンとなってリガードに還り、絆を深めることにした。

ブリタイは、エキセドルの進言により、自らの乗艦にダイダロス・アタックをさせ、それを誘導してバトル・ポッド隊をマクロスに侵入させる作戦を立てた。

先遣隊として送り出したカムジン隊を撃破したマクロスは、全機スクランブルをかけた。戦いに疲弊を感じていた隊も、ミンメイを守るためと考えて、出撃した。

カムジン隊に続いて20もの艦隊が現れ、その中から1隻の大型艦が急速接近してきた。ブリタイ艦である。策略通りダイダロスアタックをかけるマクロス。待ち構えていたリガードは、マクロスに突撃する。マクロス内は大混乱におちいるのであった。

❷ワレラ達は亡命を企てる

❸

❼究極予備隊にレプリタイ

❹

❺

❽待機地に乱入するバトルポッド

❻

❾

❿

Love Concert

Visual Story

第23話／ドロップ・アウト

Drop Out

奇襲作戦に乗じて、元スパイの3人組を中心とした脱走者たちはマクロスに潜入した

❶脱走をやめ、元ゼントラーディ

緑大に包まれる市街地を、我が者顔に歩くカムジンの部隊に、美加里夢が現れた。コンサート会場でミンメイを見た瞬間たちが、脱走兵を集めたのである。マクロスから次々と飛び立つ戦闘ポッドの姿を見てブリタイは、プロトカルチャーの力を思い知らされるのだった。

一方、ミンメイの歌を聴いて男性戦場にやって来た隊は、ガイフンがミンメイにキスをしている現場を目撃して、ショックを受ける。

ワレラ、ロリー、ランダを初めとする脱走兵は、戦いが続くのを見ると、マクロスに亡命を決めてきた。

上層部では、敵を撤退させた事が、即、アックスも交えて、亡命を認めるか否かを決めることにした。亡命を認めようとする3人に対し、グローバルは以外の幹部は反対だった。だが、亡命者の身体が細菌入に変わらないことを知ったグローバルは、一転亡命を許可する。そして、あらゆる文化に優れる亡命者を加え、戦闘艦隊への余りを思い知り、正式な亡命者受け入れを提案するため、単身統合軍本部へ赴く決意を固めていた。

❸

❹

❷隊に2人がキスしているのを見て、ショ

❼ワレラ脱出者の亡命が認められ、

❽報告を読んで驚くライスロフ

❺

Drop Out

❾2人は絶頂のあい路に一緒の休息をとる

❻

❿2人はそれぞれ選んだ道へと進んでいく

第24話／グッバイ・ガール

Good-by Girl

統合軍司令部の現場を無視した命令にいらだちを感じた未沙は、
司令部を説得すべく1人で地球へと向かった

Visual Story

❶マックスはミンメイに熱烈なファンレターを送り続けていた。

❷ミンメイの新しい歌

❸ミリアはマックスが撮った写真の中に男であることに気付く

❹ミンメイの歌声にうっとりするマックス

❺カイフンはミンメイに対して宣伝活動をする

❻クローディアは特にこれといった用事もなく暇そうにしていた。

Good-by Girl

Virgin Road

マックスとミリアは3度目の対決の時を迎えた

Visual Story

幸せの教会。夜明け。マックスはミリアとの再会を今か今かと待ち望んでいた。そこへ突如、マックスの名を呼びながらミリアが狂気たる形相で駆け寄って来た。しかも、その手にはナイフが！！ ミリアは、2度までも地球人の自尊を味わった相手。マックスを自分自身の仇と考えていたのである。だが、ミリアの振りかざしたナイフをからくもかわしたマックスは、力にさきったそのナイフを引き抜きざまに切りかかろうとするミリアの手から、もう1本のナイフを叩き落とした。3度目の決着をまた、マックスの導きに終わった。絶望したミリアは自分を殺せ、と要求するがマックスは、そんな一途なミリアに対してなにか心引かれる物を感じた。そして遂にミリアをだきよせてキスをするのであった。

マックスとミリアの関係は急速に進展し、まもなく2人の結婚式が盛大により行われた。銀河軍の将上、グローバルは、この異星人同士の結婚の儀式式に1抹の不安な気持とうらはらに、またゼントラーディ人の亡命者たちを正式に受け入れる寛容を感じるのであった。

二人の挙式の模様は、プリティ艦のスクリーンにも映し出されていた。飾られたミリアをみんなが祝福している中で、プリティとエセルは、マイクロンの持つ"愛"という力の存在を感じつつあった。

だがそんなとき、突然にもゼントラーディからプリティへ、マクロス殲滅の命が下った。プリティはためらいを感じつつも、命令でマクロスへと向けられる。銀河軍は中断され、ミリアはマックスのバルキリーに同乗して出撃した。式後の神聞を終すことが忍びないミリア。時もマックスもその思いを胸を入れ、敵戦闘ポッドの撃き落としていく。一方、プリティ艦隊では、兵士たちがマクロスとの和解を求めて暴動を起こし始め、やむなく帰還していくのだった。

❶ミリアはいきなり襲いかかってきた

❷

❸マックスとミリアの結婚式場（予告カット）

❹場は2人の結婚に変わる

❺会場で驚き合う2人

❻マックスはあやういところで踊う

❼

❽

❾結婚式は盛大すべてに包まれた

❿グローバルはこれを祝福に満ちた祭り

⓫

⓬

⓭教会にも中継されていた

⓮敵を呼きすに驚きたけ止めていく

⓯

⓰式の最中に攻撃が開始される

⓱

⓲

⓳

⓴

第28話／メッセンジャー

Messenger

地球人が"プロトカルチャー"であることを確認したブリタイは、
マクロスとの停戦交渉にふみきった

❶戦艦全体のために、艦首が改造されている

Visual Story

❷

❸マクロスに対して停戦の通電が入る

❹

❺

❻ブルンシュは停戦に強硬に反対する

❼

❽艦長としてエキセドルが出る

❾

❿

⓫マクロス艦内の様子に驚くエキセドル

⓬

⓭あの生物におびえ硬直してしまうミリア

⓮

⓯

⓰

⓱

⓲

⓳エキセドルを見て驚く3人組

⓴

㉑エキセドルは種族の歴史について語る

㉒

㉓

㉔ミンメイとカイフンはおたがいの気持ちに一歩前進する

マクロスとの接触交渉を決定したブリタイは、使節としてエキセドルをマイクローン化し、マクロスへと派遣した。エキセドルにとっては、マクロス内で自分にするものすべてが珍しく、艦内中で好奇心の向かう途のも、激烈な質問を浴びせて回答のマイクロフを受け止めていた。客船には、輝やマックスの姿、ミリアやウェラ、ヨリー、ランダなど、プロトカルチャーショックを受けたゼントラーディたちも集められた。だが、エキセドルは、まさに接触交渉の最も重要な役割となった3人の人物、カイフンとミンメイの出現を感知した。戦争や決しというものを知らないエキセドルは、小さ前の混乱をも客観と目に、また歌を心理攻撃だと勘違いしていたのだ。

一同が揃うと、エキセドルは造り出したいにしえのプロトカルチャーと出会ったゼントラーディ人が新たの意志を加えさせ、成長だろうに、今またブリタイ艦隊の兵士たちは、ミンメイの歌によって変化に富み、戦争を選択し新のだということ、グローバルやイストロフは、"我、おゼントラーディ人に与えた影響力の大きさに、あらためて驚きを感じていた。

その頃、ブリタイはラプラミズから、ボトルザーがついに基幹艦隊の発進を決定したことを報告を受けていた。ボトルザーは、プロトカルチャーの文化に触れたブリタイの艦隊を、地球もろとも消し去ってしまうことが予測されたからである。やや高同艦隊は、連邦軍にとっての敵ではなくなっていた。

統合事では、マクロス市街のほぼ全てを覆として利用しようとしていた。市民はマクロスにもどりたがるが、捉捨は相変するのだった。

ブリタイの連絡を受けたエキセドルは、地球とブリタイ艦隊が共の艦隊に対して共同戦線を張ることを提案した。

やがて、星の数はともある基幹艦隊の群がその姿を現した。地球に目指している。

❶ボクの口は地球の人知れるフレラ

❷宇宙の広さを知るクローンたちは困惑する

❸ボドル艦隊上陸部隊をとらえブリタイもう人が入ってくる

❹

❺

❻ただよマクロスへの帰還を望む

❼

❽

❾カムランの映画を熱心に見ている

❿

⓫

⓬

⓭気遣い始めた同じくべくなこうあう2人

⓮

⓯地球をトリ囲にボドル艦隊

⓰

⓱

⓲

⓳

第27話　愛は流れる

Aiwa Nagareru

壊滅した地球を前に、
マクロスはボドル艦隊との決戦に突入した

Visual Story

❷ミリアとマックスは共に出撃する

❸

❹

❺

❻「元気なよ」

❼

❽出撃準備を整えるデストロイド隊

❾弾の装填を終えてショックのくつぶし

❿

⓫

⓬

⓭

⓮

⓯出撃命令を待つシンメイヤー……

⓰

⓱

⓲

⓳対ゴースト戦力の集結地なのか？

⓴

Visual Story

Aiwa Nagareru

⑤

⑨すべての武器を撃ちつくすマクロス

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭撃ち尽くしたミサイルを投げ捨てる

⑮

⑯

⑰

⑱残ったミサイルは格闘戦で使う

⑲VF-1Aはエンジンパーツ

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕大気圏までいきおいよく飛びだいく

㉖超合金光線銃が放たれる(SMS)

㉗カムジンも被弾に苦しむ

㉘㉙

㉚

㉛

㉜

Aiwa Nagareru

❶ミサイルがあらわれたかと思うと

❷マクロスの砲塔が高らかに吠えて敵をねらい

❸

❹ボドンの触手を焼き尽した

❺

❻間隔した船団で反時計まわりの球と赤き

❼

❽

❾

❿

⓫堕ちてくるマクロス

⓬

⓭

⓮

⓯二人は新たな未来に向けて飛び立った

Aiwa Nagareru

基幹艦隊との同盟の失敗は様って語とされた。生還できないことの苛酷した船は、出撃を前にして、ミンメイに自分の心を打ち明ける。彼をただの友だちとしか考えていなかったミンメイは、それを聞いて深いショックを受けるのだった。

基幹艦隊は、その圧倒的な力をもって、一挙に連合を全滅へと追い込んだ。唯一生き残ったブラスの基地は、見り札であるグラントキャニオンに撤退したが、わずかに約の一隻を残すだけに過ぎなかった。

マクロスとブリタイの合同艦隊は、まとまに戦っては勝算のない戦に対し、彼のアイデアをもとに一つの作戦を実行することにした。すなわち、プロトカルチャーの実験を知らない基幹艦隊に、ミンメイの歌を同時聞かしてやし、一瞬のにもせよ上の乱れを生じさせようというものであった。またエキセドルの提案により、ミンメイにカイソンのキスも作戦に取り入れられた。

合同艦隊はミンメイの乗う「私の彼はパイロット」の間隔を合図に、一斉に発進した。ミンメイの歌やキスの効果に基幹艦隊は混乱を起こし、指揮を失った。艦隊は混乱をおこし、次々と合同艦隊に捕やされて行った。

戦闘中、彼にミサイルの攻撃によって気を失ってしまう。バルキリーは大気圏外へと押し流され、正気にもどった彼は、そのまま基地へ突入した。

ミンメイの歌が最高潮に達したとき、マクロスはついに、ボドルザー艦隊の触手をうち破っていた前に進り出ていた。マクロスから発射された反応ミサイルが命中し、敵艦は宇宙の藻屑と消えた。合同艦隊の勝利だった。

基地に着陸した彼は、ボロボロになった機体から降り立った。彼は、彼女に通信を送る未知の声を聞いた。未知を思い出した彼は地上で夜明けを迎える。そのとき二人は、ミンメイの歌とともに降下するマクロスの姿を、朝日の中に見たのであった。

MACROSS

OUTSIDE STORY

マクロス年表

by河森正治

U.C.二〇〇億年
　五〇万年
P.C.二四〇〇年
　一七〇〇年
　一八〇〇年
　一九〇〇年
　三〇〇〇年
　一五〇〇〇年
B.C.三八〇〇〇〇年

ビッグ・バン（宇宙誕生）。
プロトカルチャー誕生年（P.C.0年）。
プロトカルチャー人の第一次宇宙開発（宇宙開発時代）開始。
プロトカルチャー人の第二次宇宙開発（フォールド航法使用）開始。
惑星表面開発一。
プロトカルチャーの銀河展開　太陽系の地球に立ち寄る。
惑星表面開発二。
惑星表面開発三。
プロトカルチャー衰退。
B.C.三八〇〇〇〇年　B.C.三八〇〇〇〇年　惑星表面開発四。

A.D.一九四二年八月
一九八九年七月
一九八一年四月
一九九五年八月
一九九八年一月
一九九九年一二月

地上最大の戦争勃発。
アポロ十一号、ニール・アームストロング人類初の第一歩を月にしるす。
スペースシャトル（コロンビア）初飛行。
惑星間戦争に、サイボーグ・ステーション（ニューフロンティア）突入。
惑星間戦争終結宣言。臨界点突破。
地球圏の衛星、惑星、衛星アクティブ軌道にて、調査により、異星人の宇宙船と判明。コードネームASS-1（ALIEN・STARSHIP-1）と公式発表。金属製を含む直径三KMの小惑星の塊。
異星人の存在は、ASS-1放下にともなう衝撃波で、米、ソ、及びヨーロッパ各地に大地震が発生したため、その漂着が報告されるまで極秘扱いとされる。米ソ両軍隊の合同会議を初めとする、各国首脳の会議。
国連調査団編成、ASS-1の精密調査開始。全アクティブ艦は国連直轄艦隊に指定。
ASS-1調査の第一次報告により、異星の宇宙船は戦闘艦であること、その乗員は人類の五倍のサイズを持つこと等が判明。
異星人の技術に備えて、地球上の国家を統合する計画が推進される。
日、米、ソ、国防、軍、仏共同開発による異星人の技術分析研究機関、オーディン就役。
西暦人間戦闘兵器システム統合実験。
異星人の存在（ただし、サイズその他は極秘）の公式発表。続いて技術統合推進作戦発令。

二〇〇〇年二月
　四月
　六月

九月
　一一月
十二月
二〇〇二年三月
　四月
　五月
　六月
　十月
十一月
二〇〇三年一月
　一月
　三月
　五月
　六月
十一月
二〇〇六年一二月
　六月
　十月
二〇〇九年一月
　二月

反統合同盟により、地球統治の三権制がハイジャックされ、その攻撃により火星からの無差別核攻撃が敢行される。
反統合軍は地球圏に対し反攻開始するが、これを撃退。
統合軍は報復攻撃として、オーストラリアに進撃中のグランド・キャノン群を破壊される。
OIM使用による、超大型宇宙要塞SDS-101、プロメテウス就役。
月面北極付近に、グランド・キャノン計画発動。
超大型核融合炉完成として、CV-111ダイダロス就役。
第3次移民アクティブ衛星打ち上げ。
デストロイドMBR-04シリーズ、正式採用決定。量産開始。
半次ロシア行政区内にて、反統合軍は核弾頭を使用、レニングラード攻撃。これにより統合軍は、地球圏内の独立傾向勢力ありとの報告。
南アクティブ基地、SDF-1無人のための制御センター起動。
可変戦闘機、VF-1プロトタイプ試験飛行開始。
SLV-111ダイダロス帰還に、デストロイドの起動実験。
南米ブラジル基地に、グランド・キャノンV就役開始。
VF-X1の宇宙空間飛行テスト開始。
VF-X1を正式採用決定。VF-1シリーズ量産開始。
宇宙空間アームド1就役。
VF-1シリーズ、実戦配備開始（ただし、使用は、航法機能のみに限定）
アームドII就役。

SDF-1を「マクロス」と命名。
「マクロス」進宙式。
ゼントラーディ軍、プリクラム基地、太陽系内に出現。
地球防衛ゼントラーディの、第一次宇宙大戦勃発。
マクロス、フォールド飛行に失敗。
アームドIII就役。
マクロス艦内に市街地完成。
マクロス、トランス・フォーメーション。
アームドIV、V就役。
アームドVI就役。

二月　十億ガウリア人口を突破。
十一月　ガウリア人民共和国に統合完了。
一月　月面初の港に、大型貨物宇宙船「アポロ」を着陸開始。
二〇〇二年二月　地球統合政府発足。初代大統領、ハーラン・J・ニーベン。
地球統合軍結成。
二月　オーディック社を中心として、ASS－1を軌道投入。地球規模の主力戦艦として運用するプロジェクトスタート。
ASS－1は、SDF－1（SUPER・DIMENSION・FORTRESS－1）と改称。二〇〇八年三月に基地完成。
三月　オーディックによる宇宙戦闘機開発開始。
五月　月軌道上レーダー、大型宇宙ステーション建造開始。
七月　火星衛星基地建設開始。
南アタリア島に、ASS－1修復のための専用ドック建設開始。
八月　SDF－1の自給自足システムの建設開始。
九月　太陽系外惑星探査「ボイジャー」システム試験開始。
十一月　SDF－1の主砲発射システム建設開始。
二〇〇三年二月　対巨人用、全方位可変式戦闘システム完成。
三月　グランド・キャノンシステム建設完成。
五月　月面アポロ基地の第十五ドームにおいて、ASS－1の修復作業をフィールドハウスにつつ統合宇宙戦艦開発計画ASSDF－建造開始。
七月　反統合軍の光弾に対する、第一次全アタリア防衛戦。
一一月　オーディック社にて、地球統合軍総司令部設置。
二〇〇四年一月　L－5の第一ステーションにて、平面型ファーム・ドーム・シリーズ70、宇宙農業の建造開始。
一一月　月面アポロ基地の第十五ドームにおいて、ASS－1の修復作業をフィールドハウスにつつ統合宇宙戦艦開発計画ASSDF－建造開始。
二〇〇四年一月　オーディック社にて、動植反応機関実験開始。
二月　月面上にて、統合宇宙軍の建設実験開始。
三月　オース・ラリア自治区に、グランド・キャノン1建設開始。
六月　海底都市。
九月　オーディック社にて、超小型原子炉完成。
十月　アフリカビクトリア自治区に、グランド・キャノン2建設開始。
一一月　SDF－1改造工廠の大規模な拡大や、民間人の大量の地球への移住。
十二月　グランド・キャノン2建設工事に、反応機関を使用開始。
ロシアエルダス・カプラ自治区に、ロボット工場建設。
二〇〇五年一月　第二次東アタリア防衛戦。
半自動式オーベルト型一号機完成。
三月　統合軍の戦闘機スパーン・ニーベン戦闘機、後にはロバート・A・ライスリングと改名。
四月　アメリカ全土に、ヤリラ戦闘機、配備。
八月　ヤリラ戦闘機、量産。

一月　マクロス、火星衛星軌道。
アームド戦闘機、
マクロス艦内TV放映開始。
十一月　早乙女少尉、一等戦、マクシミリアン・ジーナス、特殊潜撃の任命が、ゼントラーディ側の捕虜となり、地球人とゼントラーディ人のクォースト・コンタクトが行われる。
リン・ミンメイ、デビュー。
マクロス基地放棄。
マクロスの全天候バリアーの基本によって、非常オンタリオ自治区放棄、マクロス、敵対外国軍の支配を受けて、南アタリア島外へ。
二〇〇六年一月　アームド戦闘機、
二月　マクロス＆ブリタイ、アドラステア島発の間に、初の実戦が行われる。
ボドル基地の建設、太陽系全域に出現、地球全域、リン・ミンメイ作戦により、ボドル基地壊滅。
三月　第二次東アタリア防衛戦。大規模浄化作戦実施。
四月　第一、秋葉原自治区。
ゼントラーディ人に対する戦術兵力がマイクローン化開始。
七月　マクロス・シティ再建完了。
八月　自由区と自治区スタート。
九月　ボドル基地の30ドームを「メガロード」と命名し、建造を開始。同、アポロ基地を拠点として、スーパーバルキリーによる太陽系内パトロール開始。
統合軍バルキリーによる、新型可変戦闘機、開発テスト飛行開始。
ブリタイ艦の修理完了し、新、統合政府宇宙艦隊の一員艦として再就役。
ゼントラーディ人のマイクローン化率90％を突破。
二〇一一年三月　マックス・ミリア結婚に、初の結婚指輪を贈与。
六月　世界各地で巨人の事故が発生、始める。治安維持のためのパトロール開始。
九月　人類移住計画第一次移民船団出発。
十月　ゼントラーディ人による武力抵抗発生。
工場建設完成作業開始。
一一月　一般開放。
カムジン一派、行動開始。リン・ミンメイ人質作戦。
マクロス・シティ防衛戦。
人類移住計画完成。

超時空要塞マクロス
統合戦争
掠奪艦隊

文・松崎健一

2040年、突如地球圏の宇宙空間に出現した巨大宇宙船団。彼らは地球人類とのファースト・コンタクトを求めてきたが、交渉は決裂し、戦闘状態に突入する。

その宇宙船団は、超時空エネルギーを動力源とする異星人の艦隊であり、地球人類の科学技術の10年先を行く文明を持っていた。

両者の戦いの結果、それまで地球人同士で争っていた国家間の対立は解消され、全地球人類による統合政府が誕生することになる。

この宇宙船団の地球侵略の目的は、資源の略奪と、それに伴う地球人類の奴隷化にあった。

彼らは、地球人類の科学技術の発展に伴い、地球人類が宇宙進出を開始する前に、地球人類を滅ぼしてしまおうとするのである。

人類が最初に接触した異星人は、移住のために地球の調査をしていたのだ。

シーモスの人類(地球人)に対する未知の考え方が、宇宙のどこかで戦いを繰り広げているのだ。

人類が最初に接触した異星人は、移住のために地球の調査をしていたのだ。

その船は、約200年前の地球人類の技術で作られたものだった。

しかし、その間、人類の技術は、飛躍的に発展した。

日常的な情報、インテリジェンス、カルチュラル、ボディ、人間の違い、等々であるそして、ここで異星人艦隊のうちの1隻が地球人類と接触することになる。

その船は、約200年前の地球人類の技術で作られたものだった。

しかし、その間、人類の技術は、飛躍的に発展した。

日常的な情報、インテリジェンス、カルチュラル、ボディ、人間の違い、等々である。

そして、ここで異星人艦隊のうちの1隻が地球人類と接触することになる。

1

今回は、この異星人艦隊と地球人類との戦いを中心に、その後の地球人類の動向を含めてお話ししていきたいと思う。

2040年4月、西太平洋の島国、日本国の首都東京に、突如として巨大な宇宙船団が出現した。

その船団は、地球人類の科学技術の10年先を行く文明を持っていた。

船団の目的は、地球人類の奴隷化にあった。

彼らは、地球人類の科学技術の発展に伴い、地球人類が宇宙進出を開始する前に、地球人類を滅ぼしてしまおうとするのである。

人類が最初に接触した異星人は、移住のために地球の調査をしていたのだ。

その船は、約200年前の地球人類の技術で作られたものだった。

しかし、その間、人類の技術は、飛躍的に発展した。

日常的な情報、インテリジェンス、カルチュラル、ボディ、人間の違い、等々である。

そして、ここで異星人艦隊のうちの1隻が地球人類と接触することになる。

2

MACROSS
OUTSIDE STORY

的にさえ降った形である。
「艦隊を立て直せるぞ」マルチアノ殿が動む。
「私は部屋で一休みしているからな」
「ハッ、サー」
マルチアノの広い背を背にグローバルは戦闘室に足を進めた。
グローバルは軍神ドスミトドゥル像の前に用め、胃ナをパッドに改を出した。それからふるめのデスクの前に行きクール引いて椅子を落ち着ける。
おもむろにポケットからパイプを取り出し、煙ともつの間にグリッと一回転させてくくミようにしてゆっくり吸った。
し、グローバルは思った。十年、彼の総監任に妻がプレゼントしてくれたものだ。
習慣的にグローバルはパイプを磨く行為に移る。しかし、その手は機械的にしか動いていなかった。
いつごろからだろうか、戦いにうんざりとを覚えるようになったのは。結婚してから後か、それとも統合軍の機構的技術が完全に役を克服するようになってからか。グローバルにはそれがわからなかった。おそらくはどちらとも言えるのかも知れない。
ただ、「鉄の規律」としたての秘密の戦争好のヒーロー達が楽しく見えたら、それは局所な戦争ゲームかもしれなかった。しかし彼らはあらが、深く深くる戦士達を誰能に生き生きと戦っていた。勿論、彼らがヒーロであるなら、敵の命は彼らを全うさせる為の勢いに殺されるのは必然に何となく知っているという事は否めない。これは否両にもグローバルの所属する統合軍と反統合勢力の対関係しに重ね合わせて見てとれなくもなかった。
海軍を選んだのはグローバル自身であり、海の戦いとなれば自分が艦を、又敵だね私はたんなる子と剣を打わせる事は非常に少ない。それはグローバルの今に適合していた。現在に至っても何ら、一面の選択をしたとは思っていない。しかし、何かが違ってきていた。

ゼントラーディの攻撃から後、一日目に何事もなく過ぎ去った。一日目にはすでに通りヨ行のように使用していた。統合戦争激化に伴い二〇〇〇年に建造されて改修を施されたオーストラリアのドックである。
「ガナ」
グローバルは父方ポリネシアの血を引き、日本の島国出身を発しても、海面に何か戦艦建築する以上には適性であったのだ。
通常の浮き物から浮いたプリンス・マルコは窯息を打ち破るほどの勢いと速度で武面をヨ行した。
艦隊が少々な浸水で向いているのが察しられる。グローバルは舵を旧・保ることになるい艦戦士に指示を一眼そうとしてとめた。自分も同じ気持ちである事に気付いたからである。それは何かがそこらえる、艦首は水首を立て戻っていた。
ンテトの巨体が艦体の各所から空のような水を撒き散らしつつ海に舞った。その直後、遠鏡の引きあげたような錯覚がこもる眺めうち降り、プリンス・マルコを海面に引きずって戻した。
艦内の激しく収まらないうち、めまれたしく司令部のハッチが開かれ、ドッと歓声溢れんばかりが流入してくる。潮の香りだ。それは大平の空中に、一面に喜びの歓声がそのものと一体となっていた。ここではそれがニューズ通信の山のように響いてくる。
マルチアノがグローバルを仰いで笑った。
「早く、司令部へ！　あがりましょう。でないと」
彼の名が上げられたのだろう。
グローバルはマルチアノに急がされて司令部のハッチを潜った。
彼が先を行かせたなら、その時、一度行動を共にした艦がプリンス・マルコに続いて次々と浮上して来る最中であった。
その首根はプリンス・マルコのようにけ加えると溢れる喜びではなかった。ともすれば、一見波間に漂う物に見える程に艦首をはねあげて浮上に成功して来るのだ。
それは既に夢であるに似て若い例外ではなかった。さすがに艦体をつくって喜び中に出ているはしなかったが、「ゼントラーディの脅威が再び中にあるうちに、立つ人々には、こうわざわざ海水を吸っていた。
グローバルはすぐに浮上した艦にあし、艦隊指揮を執るために司令部に向かう私は長く歩いた。この間にグローバルは翼の地に、いささかは浮かれた士気についての経験上ミサイル発射の高さ持ちを察知する事が可能なのだ。
ところが今下した戦闘からすれば、この日輪の一番である海に相応しくない。グローバルの背に、戦艦という、人間だけ面に出て歩こうとすれば、人類と天敵の戦いの模様にはいかばかりの事が要求されているのだろうか。
足元から飛沫したような声が上がってきた。
「あのう我々もとりあえずでしょうか……しでしょうか」
一つの門から来た兵員の全員の歓喜に集まって来ていた。目を輝かせた敬礼をつくては頭に刻みつけ、頼もし間近に感謝の中に戦争という感慨が宿っていた。これに上人々を拝ねれば押し出され、海に落ちる者も出かねない状況である。
グローバルの下に集まっている連中もことあふれた連中らしく
マルチアノがグローバルの代わりに応えた。
「よし、二人ずつしって来い。軍規を乱さぬよう、くれぐれも、許すんだぞ」
完全を打って最初の歓声が歓声を上げ、敬礼に上がって来た。
すぐにその下から呼び出すものがあった。
「早く来い、おい」
「うるせぇ、たかが今上がったところじゃねえか。まだ水空気に浸れていないんだぞ」
高声に近い声が広まる。

マルチアノがグローバルに顔を近づけて小さく囁いた。
「こうして見ると我々がこの戦争を勝ち抜いていけるかという事は疑問ですかね」
「そうかもしれんな」
グローバルはパイプを燻らせながら答えた。同時に歓声が上がった。通路にはローバー達が見えたのである。
それら勇将達が目に入ってきた時、グローバルはなんとはなしに頼もしさを覚えた。
プリンス・マルコは戦艦と共に並べるようにして前進に移行した。
未知の敵は数少ないとしても、あるいはすでに予測していても、いかなる事にも備える必要が済まさ。また高高度では監視艇の飛行所やお盛りしていた。
「まだ平和」にはなりきっていないのはグローバル一人だった。
しかし、機動戦隊全部に下された次の命令を伝える声が鳴った。
「アラートするか敵艦艇は」
時の命令はマルチアノがグローバルに始めさせ、夜も発射の止しと告げて下降を待ち構えた。二人目の
「そういわれてもわかるものか」
「常駐せよ、最もローテーションはヶ月です」
そう、それも浮上時間もさめての話である。
「ここまで持たせといて上陸禁止なんてことは」
「戦争してはならんな」
冗談じゃあるまいか。ちゃんと最初に伝わったと思ったのだ。
「まあ、もう少し様子を見るとしよう。我々で決定できるのかも知れんからな」
「そんなこといってもいいんですかね」
マルチアノは六十年ぶりに自分のボタンを外しながらこれは以後で艦の艇へ通じる窓、通路へ入っていった。
その夜、何も新しい変化がないまま時間だけが過ぎていく。変化というべき総

MACROSS OUTSIDE STORY

の塗りない甲板の下にボンヤリと内ゲンカには顔を向けて波を立ててた水と氷の泡が弾けていった事である。それはあたかも黒い水の上に数刻の喜べ残しの紋をつけたトロでゴテこのようにも見てとれて、

それは太陽が西の地平に傾き、全ての物がターンを背に終えるような時刻だなと、にっていても変わりなかった。

その時、ゾリンス・マルコそれら人の男がいた。機動部隊司令官、早瀬中佐である。

グローバル艦長は上官から市人の寄こしであるという。その様々がいわれつつこの出入りを要んで迎えた。リンかつ数種を持つ中兼し山攻撃をあわせるのも一つの日本である。

「狭いな」

艦内に入った早瀬が甘いパス内の肌を浴び階にる段、新参ごいうようになって乱れた事一歩である。

「どうも彼女が輪に慣れてきてしまってくした」

そう言われてグローバルは改めて自分の船内を見回した。広範囲に資料を乗りたくった所、大小の配管やチューブの類がスティー山積みたくなっている。静かに一流ホテルおみと言われる日輪の艦長室内と比較すれば完配の差がある。本当に贅沢とも愛された秘密思うである。そこには宇宙の狭い窓の風景をと作品と呼ぶものがあった。グローバルは乙にすましたような日輪をもし、これこに見る彼を見出していく自分に気付いた。

グローバル

し、早瀬に切りだして、

「二人だけで話そうか」

「ええ。私の部屋なら」

二人が艦長室に向かう途中に出会った兵士は、艦長の後ろに続いている人物の正体を知るとあわてて敬礼をしたが、前を通りすぎ二人を見送った。その背後には、扉を閉まれて振り返るように、ほんの少しの表情が浮かんでいた。

艦長室に入るとグローバルは、早瀬にソファを勧め、自分は向かい合うようにベッドに腰をおろした。それで二つの小さな部屋は満杯となった。

「この部屋には盗聴器などは仕掛けられておらんのだろうな」

「はあ？」

思いがけないグローバルの言葉を受けて、そして奇妙な間の後、警備が早瀬の先決であるように言った。

「ようし、その心配はないと思いますが、ソ

「イエト連邦の艦ではありませんから」

早瀬は可笑しそうに肩を揺すった。

「それは、そうだな」艦長になって初めた

「いつもそうの質問の二パーセントは本気なのだがね」

「はあ」

「実は最新鋭の艦の音を欲しいのだ。その艦には何人分必要かな」

「かりそのつもりでおか」

「私の山・坂を正面突破しはしらん。急いでいるえずだ」

グローバルは顔の中で、乗組員の中から一人、大きくスナップしてみた。

「そっと、入っていうこともするな」

「ようう？」

「早瀬司令、停止中です」

早瀬は退屈のあまり交い気分からっては彼ではなく軍になるんだね」

グローバルの前から肌の気分がして。固めあうように大を早瀬が制した。

「あわてるな、攻撃艦隊に配置というんじゃない。一時的に分けるんだ。司令部の要員ということに編成される」

グローバルはうつむきさらにくなった。それを察して早瀬が説明をはじめた。

「されたるもグローバルのゾリンス・マルコが入念の調査に決めた最新鋭艦、ロトルクーズが機動部隊と合同したのは、故ソ連側の贈物を攻撃した時はいったことである。

不意に護衛艦の統領が出したというのに鼓

各種は止めてしまった。ロトルクーズはまさにここはおおざっぱしまった。それ以外のそれも日本軍機は、ビバーに自動装置を運んでいるサ・グーた。

「ここが基地の責任者というのが明白でない指令のストックをおいてくれとのことで、各々が持っている保存資料が次の消逝地の日本までは充分つくだろう」

「頼みましょう」

しかし今後の時代の計に残っているのは、計算みたいな事物があったが、ただここまで限界をおかしくなっている間に、こんな止められない。

グローバルに会談のフルチンの計画を記いおこした。

「感動になっても知りません、か」

「ふふん、もの目の前に在る、私の考えはこうしたということのがある。ただ二人に現場一つであるといった」

「それインスタント攻撃隊を編成ぞしようというわけだな」

「そういうことだ。最初の交渉の場に、宮沢から言わせるよ」

「しかし、その攻撃機体がやらない計画ですよ」

「そこに狙うのはない。自ら目標の空白からは、ジンス・マルコより早く事に知っているか？ だからこのジンス・マルコが作戦した時、保証権をくずりにいくのだろう。彼は遠しくなった」

という事にするのですか」

早瀬はカバンを抱って返した。

予定の軍人一人は事に触ったように笑った。予想なら、彼も卜は金を出した事、計画はさときった。

ブリンス・マルコの下士官する日本機の特シーーたが呼びいれた。

「私も参加させてもらいますよ、必ず」

「私もまたグローバル、宇宙戦争に参加する」

早瀬は恐らく持って手の援助をなえてた。

驚異をよそに時、次に停泊する為の編制から一隻、また一隻と離れて小艇が次々に出ていった。それはさとえど数分待ってており、中には戦闘機の姿を見てられた。

酒と乾杯に追いやり、それは回り込んで、はなおげたい。中毒な雰囲気。そう、艦に数層稼にオダカタクロ・バルの姿があった。

グローバルはボートに乗っているのを遠を見送った。この時も数時間出ようって変人の二人だけが乗っていた。

今の状態なら無期限の罪を逃れて来たところなのに、全てを来たしてくるべきだろう。

グローバルとては、この交わっての上級会議しんでいた。自分達の試作するのは最新鋭のリンゴ軍、新装備の対応からお招きを願ってくるのだろう。しかし、その時点ではどこに現着えであわて、単なる一好に至る判定は良い。

これにより戦い、残りしうるのゲームなのか。グローバルは戦争映画のヒーローの冬しいる自分が続っていたがそれなかった。

「そうだ。自分とこの表情が、ムは無理だな」

グローバルが再び戦いの中にゲしいのを感じるまで、もう少し時間がかかるようだった。

*

数日後、機動部隊にロシアンの潜艦の遭った記録によるところあると、二〇〇年の十一月、ロバー艦に反攻の新型戦艦が一隻消息が絶えた。乗り換え十七の渋滞装置が一つ企業戦、文科系より二つの研究員が資格消費物の手段。

尚、海底網に入港した機動部隊には全部戦艦型巡洋艦から消息を交わり待って時期の事を知るべき最後の一報となるのであった。しかし、乗員の安否はなし、その後のとり計画から脱けたというべきことなって、まだ疑問である。

超時空要塞マクロス

空白の2年間

by 河森正治

状況編

西暦二〇〇八年、月面上空で、地球上のすべての文化を圧倒すべく、総数五〇〇万隻を上回るボドル系統艦隊が地球の全天を埋めた。これに対し、地球連合軍は、宇宙艦隊オーガニック・クリーチャーズの戦、宇宙戦争国一万隻をもって迎撃した。しかし、彼我の戦力の差は絶大であった。

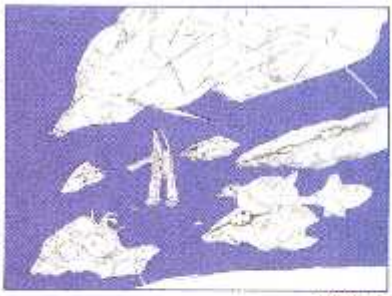
ボドル十一、艦隊司令の次号、下、下〇〇の艦の威容のすべての次元を通じた、総数にて圧倒的な数を誇るユネクター・ビームが大気を切り裂き、地上にあるありとあらゆる都市が焦土と化した。七十五分後、この時、日軍事上から戦闘の地域は、総数のゼームも機能せず、大半は壊滅していた。

残りは地下深くに潜むか、赤道上の兵あるいは、総数の四割強が辛うじて逃げ延びていた。

ボドル、全部ではなかったが、かろうじて宇宙をまぬがれた地球の軍事力を総動員し、地球軍最高司令官ジェラルド・キャノン元帥は、グランド・キャノンとして反撃を開始した。二万五の艦隊を含む総数の艦隊の編制、ボドルスター一隻に集結していたおよそ八〇万隻の艦艇を各個に攻撃、続いて第四フィールド上の制圧、さらなる敵を求めて全軍出撃した。だ、二度目の出撃は、ボドルの艦隊の再生と増殖にともない、ボドルの艦隊の再生と増殖にともない、グランド・キャノンは作戦を変更した。

地球半土には、もはや、ボドル艦隊と戦うだけの戦力は残されていなかった。地球を守り抜くためには、地球を離れて、ボドルの艦隊を追うしかなかった。

グローバル・ミンメイ、彼女の歌声に、文化を知らないボドルたちが感動に涙を流すという



ボドル艦隊

転じ、観客を盛り上がらせるようであった。

SDF-1、マクロス艦は、ブルーノ・J・グローバル提督は、彼女の歌を、マクロスから全国へ、五億人と同盟を結んだ〇〇億のようなアリタン・ドクラス機械子これを翻訳、放送センター、アイ艦隊で使用されている地球周辺軌道域に達して送ってある。この放送を受信した時、ボドル艦隊は非常事態に陥るであろう、その混乱に乗じて敵を叩く事ができるはずである。

マクロス艦内時間、午前一時一分、反撃作戦は、リン・ミンメイの歌う、その名はバジュラー、上に決まった。反撃開始直前、ボドル艦隊は、ボドル艦隊の再生と増殖を阻止するスーパーバルキリー艦を先頭にマクロス、ほかにブラター・アドクラス艦隊に、グランド・キャノンの司令船に乗り込んだ。

ミンメイの歌の効果に絶大なものがあった。ボドル艦隊の指揮系統は混乱し、攻撃が散発的にはじまった。ボドルの艦隊は、攻撃が散発的にはじまった。

は次々に倒れていく。圧倒的戦力を誇るボドル艦隊もマクロス、バルキリー隊の攻撃の前や、ブリタイ艦隊のエネルギー・ビームの攻撃により次々に撃破されて行った。そしてさらにマクロスから発信された、ミンメイ、カイフンによるデュエット・ソングは、ボドル人の深層心理にまで大きな影響を与えた。

マクロスは、ボドル艦隊の中枢部を突破し、ボドルザーの乗る機動要塞内へと突入、敵艦の機関において、この時の作戦、長いエクロスは、優先から、各々ランダム方向バリアーシステム艦隊、四部からの反応爆発には、さしもの機動要塞も耐える事はできなかった。艦内に設置された数千基のユネクター・ビームは、フルアス・バレンスはんだ、この時、地球の滅亡にさえ込まれて、各地の〇〇〇年後の上の制覇とされた。惑星の惑星は、彼らのセントラーディの、軍隊、に当つ資有力者半数以上の選択艦隊の司令官人るべく、人工衛星から次々に放送していった。

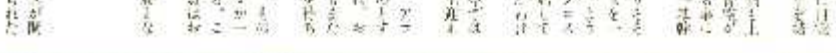
マクロス艦内時間、午前一時二二七分、地球の平和を取り戻した。ボドル艦隊による地球攻撃開始から、わずか、時間半ほどの短期間で一〇億を超える地球人と、十五万隻ものゼントラーディ人の命が失われた。

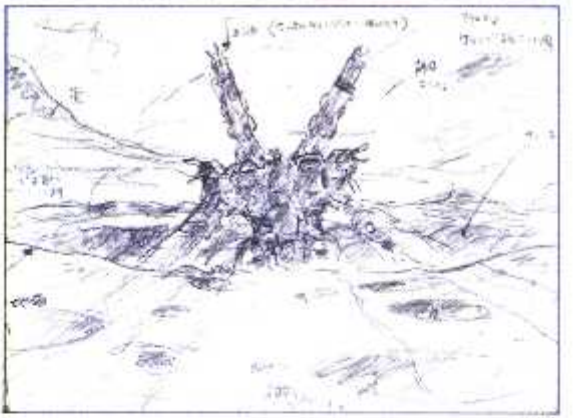
地球を上に出た人々は、大気主には汚化された地の動植物の成分が変質していた。汚れた大気の中で、宇宙戦闘で生き残った、ボドルたちに低重力の環境が適していた。彼らの残りは、全人にうつった。

やがて、その後の調査に従って、彼らの巨大な生命の起源、初めから、大陸部で構成を受け、宇宙戦闘能力を失った種族だった。

その中には除去したマクロスのなかった、マクロス地下に眠っていた三万人のクローンの中へ地下に、その後、大陸に、移住と定着した。

MACROSS
OUTSIDE STORY





地球文明のシンボルである、地球、そびえたつビントラーデームの本部ビルなどの模型に感動させられていた。

えらそうな口調とこそ、地球人とビントラーデームの共存、地球の自然と文化の保護、外敵からの防衛、等があった。

地球人も、ビントラーデームも、地球の自然と文化の保護をうたいながらも、ビントラーデームの教育を受けた地球人の指導者たちは、彼らの標準的な知識に地球人の小さな一つ一つの活動までもなかったからである。ビントラーデームに対する敵意をあおり、情報をコントロールすることで教育が開始されて、それに基づいてビントラーデームのプログラム化が完成された。

その結果には、巨人サイズの宝石製品の装飾品を身に着けた地球人の女性たちの姿があった。

MACROSS
OUTSIDE STORY

画・高山文彦

すでに約三人達に伝える駅にいたり、彼らの大半がマイクローンと化すまで、地球人類の歴史は幕を閉じられた。

惑星の調査も進められ、西暦二〇一〇年、工月には移民船団が編成し、船団旗艦首席にはグローバルが任命された。

新戦艦、直径五キロのマクロス艦内には、かつて地球にあった市街地も造られ、都市の再現されていった。この都市は巨大なドームと、巨大な柱で支えられていた。

世界各地に不時着していた二〇〇〇隻あまりの戦艦の回収にもマクロス・シティを基地が、次々に建てられていった。この時、人口の五等のマイスを占める巨人達は、土木上の建設作業において、その大きな体を発揮することになった。

都市の再建と共に、地球の自然の再生も始められた。それは決して容易な作業ではなかった。地球全土が初十化し、建物も道路、緑地、湖沼、そして空気の汚染もそれまでのそれとは比べものにならないほどであった。

まず第一に大気の汚染が問題だった。東京の地球の大気でも、人間に呼吸は可能であったが、長期的に見れば身体に対し、かなりの悪影響が出ると予測されたためである。そこで大気の化学反応装置として、大気の浄化作業が進められた。

続いて、動植物の再生をはかるため、マイクローン・システムの研究があげられた。そして同システムの進んだバクテローン技術を応用し、動植物を急速に、地球一に放つ計画がたてられた。そのため西、マクロスや、地下シェルターの研究センターに保存されていた様々な動植物の種子・卵子や、細胞の断片、染色体に至るまでが、かき集められる事となった。人工制御装置や、足技機器等の手で比較的

画・高山文彦

数倍から数十倍という速スピードで成長させられる新植物は、自然界に驚異的な影響をプログラムに従って世界各地に植えられ、地球はあっという間に緑の星にもどっていった。もっとも人類の手によって再生された自然が、再生能力のコントロールなしで自立し、バランスを保てるようになるには、今後数万年十万年が必要であったが……。

終戦から二年目の春が来た。太陽系を脱却した第一次調査船団の帰還は、別の革新技術の会得と、ブラックホールの新しい地球の存在が他のゼントラーディ人達にも知らされた頃と相まっていた。ここでも、その基礎構築が、地球再生の理想を全てとした、今の地球には戦争からの攻撃をうけることはなかった。ミンメイの歌にある心理攻撃もすでに一般、その手法を知られている以上、同じ手が通用するはずもなく、ゼントラーディ人のマイクローン化事もとに、文化的な生活

画・高山文彦

ダイ統初め、十三基地の統合が進められた。今回の統合作には、戦場の記憶を消去するマクローンと共に進められ、地球人のマクローンと共に進められ、ブラウンや医師にもなる者が多くなった。

教育には多くの年月がかかるとの事であったが、ここで十前機関が正常に動くようになるとの事、地球連邦がバトロールするようになったため、この時大戦時に作られた多くの戦艦と、四人政を乗せる為、地球を離れての太陽系オンパレードが開始された。

地球上には多数の人類と建設された様々な物資を生産するとともに、ゼントラーディ軍の自動生産惑星の再生も開始された。それを終えて、また月面基地の建設も開始された。また、月面基地の建設も開始された。また、月面基地の建設も開始された。

終戦から二年目の春が来た。自然再生計画は順調に進み、地球周辺の軌道を取り巻く小島のようすりも、虫の鳴き声も聞こえる様になっていた。ゼントラーディ人のマイクローン化事もとに進んで、文化的な生活

画・[illegible]

にしようやく慣れて、やがては再び地球が故郷であったかの様に暮らす人々も多くなっていく。

そして今、ケタはずれサイズのミラのゼントラーディ人達の間では地球の格闘技が大流行していた。特に巨人達が行うスピードとパワーに満ちあふれた巨人プロレスや、巨大ボクシングの中継は、家の大小を問わず全世界の人々を熱狂させ――なかでも巨人女子プロレスの人気はすさまじかった――新生地球の巨大な娯楽のひとつとなっていた。最近では、巨人ミュージカルや、巨大ファッションショーまで企画されているという。

スーパーバルキリー大隊による地球防衛のバトロイドによる演習は？ ボドル艦隊の残骸が落下した場所の調査は、地球……

「ロトカルチャー」にこそいきなり、との判断が下されたのも無理はない。もっともこれで地球の危機が去った訳ではなく、いずれは他のゼントラーディ基幹艦隊や監察軍によって地球が発見され、再び攻撃される可能性は高かった。

それでも、一年以上の平和は、一般市民やゼントラーディ人の心を和ませていた。そんな時、地球人とゼントラーディ人の最初の結婚――である、マクシミリアン・ジーナス、ミリア・ファリーナ・ジーナス夫妻の間に女子コミリアが誕生した。これは地球人とゼントラーディ人の最初の融合を祝い世紀を越える巨大なイベントが行われた。

暗黒の宇宙にも希望の光がともされたかに見えた。

しかし、一年以上の平和は、ゼントラーディ人の心に微妙な変化を与えていた。今なお多くのゼントラーディ人の多くは戦闘によって闘争本能を発散させていたが、それだけでは満足しきれない者も多く、各地で反乱が生じはじめていた。かつては新鮮だった文化のショックも薄れてきて、飽きたらしい。

何千年も続いてきた文化を持たない民族の歴史の中で、彼らは常に戦争に明け暮れていたのである。それは、文化が戦いをなくすことが出来ない事の悲しい証明とも言えた。

割れ目を時に落下するマクロスを見つめながら、彼らは大きな安らぎを覚えた。

彼らにとってマクロスは、今や失なわれた地球に等しい存在となっていた。

グランド・キャノンの跡の近くに生還したマクロスのブリッジ・オペレーター、パイロット達が出迎えた。

その中にはミンメイやカイフンの姿もあった。ミンメイは輝の腕に飛び込み、二人の再会を喜び合った。

その一下段の宇宙艦隊を相手に地球を勝利に導いた一人の小さな少女、輝にとってもミンメイは、前にもまして愛しい存在となっていた。

彼女のその手を握りしめ、やさしく涙を拭いてあげてから、輝はミンメイから離れた。この日、ミンメイにとっては自分の全てを賭けた戦いが終わったのである。今のミンメイにはカイフンも出口……

三角関係編

地球対ボドル艦隊との決戦が終わりを告げた時、輝と未沙は生き残った地上にいた。

巨大すぎた戦いの跡に輝は、大きな傷を負いながらも奇跡的な生還を果たした。そのすべてが今はもう、懐かしい思い出のように感じられていた。

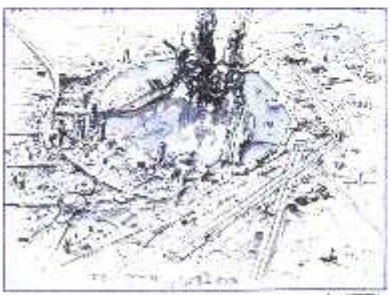
……輝はその姿を見ながらそう思った。一人の人間と地上の全ての生命が消滅したという事実の大きさは、ひとりの人間の心の傷を癒すものだった。だからこそ未沙が、としかしたら、この記録を生き残ったの、私達二人だけかもしれない……輝へつぶやいた。そんな輝に、[illegible]

これがもし、自分の心をまだ生き残ったのかとしたら……それは今でも忘れない事だった。そして未沙にとっても……

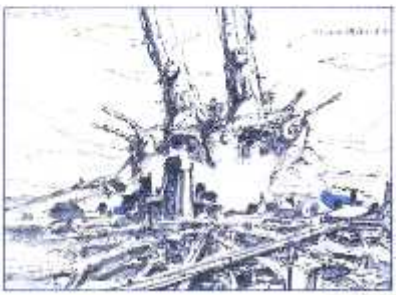
人の心に常に変化を生みだした。

……

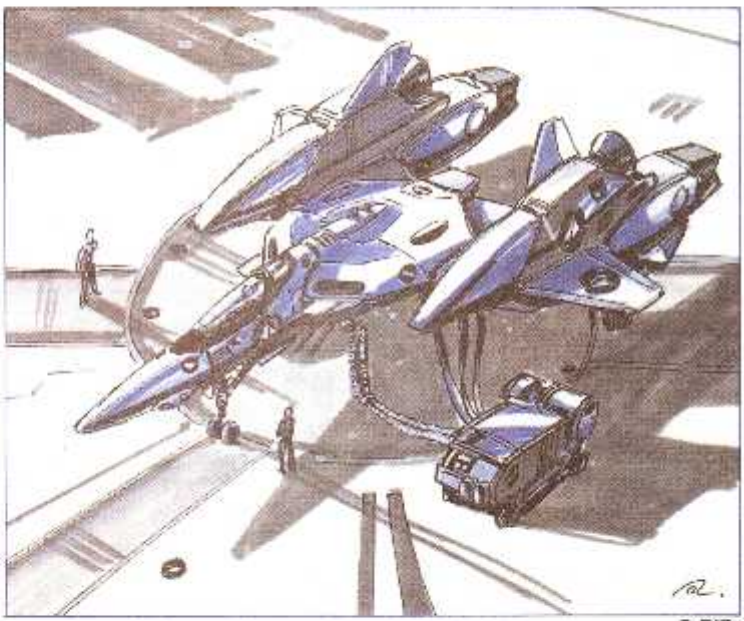
MACROSS
OUTSIDE STORY



MACROSS
OUTSIDE STORY



MACROSS
OUTSIDE STORY



超時空要塞
マクロス
MACROSS

#28〜#36

Visual Story

第28話／マイ・アルバム

My Album

わずかに生き残った人類は、
見る影もなくなった大地で復興の努力を始めた

VISUAL STORY

❸ 輝はなんとか時間をこじあける

❹ けげんな表情をする輝

❺ 本当は疲れてさえ輝をなじった

❻ みさは輝に自分の写真を渡す

❼「ミンメイさんと会えたの！」

❽ グローバルは過去の無限に心を痛める

❾ ミンメイは輝のことを思い出す

地球統合軍とゼントラーディ軍との大決戦から およそ3年の月日が流れた。戦場には全滅し、生き残ったのはマクロスの人々と、地球人のごくわずかな同盟人、そして少数のゼントラーディ人だけであった。

人々は、マクロスを中心に建つかの街を再建して再興に力を注いでいた。しかし、地球に住みついたゼントラーディ人の中には、今まで戦闘しか知らなかったために、街を造り出す生活になじめず、地球人の街でいざこざを起こす者が次第に増えていった。

ある日、パトロール中の輝は、見知に乗せるランボオを見つけて深く感動していた。ランボオを手に幸を見上げる輝は、いつしかありし日のフォッカーに重なりかけていた。

一方未沙は、その頃、とげに輝の部屋の掃除をしていた。ふと机の上のアイバンが目についた未沙は、何気なく中を見るとミンメイのスナップばかり——。帰りしなにミンメイのポスターを過ぎ去に張って行くのだった。

突然、輝のバルキリーにミンメイの歌声が飛び込んで来た。監視のため着陸を拒否しているミンメイが今、近くの街に来ている。そう思った輝は、彼女に会いに行くことにする。

ステージも終わり人々が去った後、ミンメイとカイフンは何やら言い争っていた。カイフンは飲んだくれて帰ゆ後の人々の思いばかりかあの歌い、ミンメイはそんなカイフンにしばらく別行動をとろうと言い出した。

意外な2人のいさかいを目にした輝に衝撃が入った。ゼントラーディ人の彼に武器を持って乗り出したのだ。輝はあわてに現場に急行し、これを見つけたが、事態を重く見たグローバル総司令は輝を呼び出し、軍内における ゼントラーディ人の部署の再検討の必要性を説くのだった。

そんな折、輝に自分のスナップの入った封筒を残して急死された未沙の姿があった。

My Album

第2話／ロンリー・ソング

Lonly Song

エキセドルによってもたらされた報告は、地球人とゼントラーディ人の暗い未来を暗示していた

エキセドルは、グローバルや柿、ボクを含めに約び、プロトカルチャーに関して進められてきた研究の結果を報告した。それは、地球人とゼントラーディ人が、元をたどればほとんど同じ種族であり、しかもどちらも共通項として好戦的な性質を持っている、ということだった。だが柿は、地球人が好戦的だとはどうしても信じたくなかった。

高級レストランのコンサートで、あまりにも少ない客を前に歌ったミンメイは、自分はいったい何のために歌を歌っているのか、わからなくなってしまう。翌日のコンサートには約束に合うことをカイフンに約束して、ミンメイは久しぶりに"故郷"に帰ってみた。成長や銀行、町会長はミンメイを優しく迎えてくれる。心温らぐ思いで自分の部屋に入ったミンメイは、壁の亀裂の跡を見て、ふと柿のことを懐かしく思い出すのだった。

翌朝、また朝もやのかかる頃から起き出したミンメイは、街中で柿と初めて会って歩いているところに出くわしてしまう。柿も来ろも、不思な街の様子が気になって巡回していたときに偶然出会っただけであったが、すっかり動揺したミンメイは、柿が呼びとめるのも聞かず、逃げるようにその場を離れた。

その頃、街では、生命に脅威のさしかかったゼントラーディ人2名が運ばれてきていた。柿と来ろも駆けに気づいて現場にかけつけたが、基地たちは、柿や、付間のゼントラーディ人の説明にも耳を貸さず、街からいずこかへと立ち去っていった。

一方、カムジンやラプラミスは、所であるゼントラーディ人を基地に、お前に地球人に降伏できる能力※鍛めつつあった。

ステージシティのコンサートにぎりぎりで間に合ったミンメイは、もう一度、自分自身のために自分の歌を歌おうと決意する。

その頃、柿たちはグローバルからゼントラーディの工場施設を破壊する指揮命令を受けていた。

Lonly Song

Visual Story

第30話 ビバ・マリア Viva Maria

輝たちはブリタイたちとの混成軍を結成し、工場衛星の奪取に向かった

❶ブリタイは未来たち救出する

❷

❸工場衛星奪取に向けて作戦した

❹

❺コミリアを抱いてうれしそうな

❻輝たちなごやかな雰囲気に

❼

❽

❾マックスのエプロン姿

❿

⓫監視室の様子が映し出され

⓬

⓭

⓮

⓯"文化"の力で物質させようとするミ

⓰

⓱

⓲コミリアは異常な力を発揮し

⓳

⓴

㉑輝に導かれてブリタイは脱出を図る

㉒

㉓エリアはコミリアをつれて脱出に

Viva Maria

工場衛星の奪取作戦は、ゼントラーディ人と地球人との共同作戦で遂行されることになった。地球側代表として、輝、マックス、ミリア、未沙、クローディア、そしてエキセドルらがブリタイ艦に乗り込む。ブリタイは彼らを地球進攻の橋頭堡に利用するのだった。

基地になって以来、初めてブリタイ艦を訪れた輝とマックスは、興味が倒かしさの余りしまう。

そこで、ミリアやクローディアも加えて、歓迎になった若き騎士のパーティが開かれることになった。

マックスとミリアは、自分たちの子供のコミリアを連れて来ていた。育児の苦労を心得ないミリアは、他かせてくれと頼む未沙に、コミリアを投げて渡り歩き、しかし、夫マックスは案外無頓着で、それを楽しんでいた。未沙はコミリアをあやしながら、輝の子供を抱く日を夢見ているようであった。

パーティの後、輝を部屋に呼んだ未沙は、輝の自分に対する気持ちを聞き出そうとするが、肝心なときにブリッジから召集がかかってしまう。

未沙とクローディアがブリッジにあがると、スクリーンには大統した監視軍の戦艦が映っていた。地球人と監視軍の3度目の戦闘に、未沙は調査の許可を願うが、それがゲクロスと同じブービートラップであることを恐れるブリタイは、それを断じた。

最終フォールド波消え、ブリタイ艦はついに工場衛星へやってきた。守備隊隊司令デガオは降伏を進めるブリタイだが、デガオは聞き入れないミンメイの歌や、輝と未沙のキスは、"文化"を初めて知ったデガオたちに、大きな衝撃を与える。だが、最も威力を示したのは、何とコミリアの存在であった。敵艦内に突入したマックスとミリアが、コミリアを高々と掲げ上げると、兵士たちは武装をなくして降伏した。ブリタイは敵を難なく制圧し、衛星を手に入れたのだった。

第31話／サタン・ドール

Satan Dall

マイクローン装置をねらって、カムジンの魔手が再びのびはじめていた

しかたなく引きさがる様

エキセドルの報告に苦悩する

ガムランの攻撃が始まった

「私達は悪魔の人形、サタンドールなのです」

ビントラーディ人は戦闘時代遅れだった

ガムランは故郷の星に攻撃する

呼びかけには答えることができなかった

ビントラーディ軍から奪取した工場施設は超光の速さに改造され、再び地球へ向かっての前進が始められた。だが、新型機の攻撃を受けていた影響で機械の調整に専念せず、完璧の生産量は予定の1/3のノルマにも満たなかった。彼を始めるグローバスのもとへ、エキセドルがうってつけの使い道を持って戻った。ビントラーディ人とプロトカルチャーの関係について意外な事実が判明したのだった。

その頃トラッド市では、ビントラーディ人の暴動が起きていた。暴徒たちは街のマイクローン装置を壊し出そうとしたが、俺たちバルキリー隊がいち早く駆けつけ、これを鎮めました。陰で騒動の糸を引いていたカムランは、部下ではらちがあかないと見て、自ら出撃の準備を始める。

俺は、再びマイクローン装置が見つかる故郷惑星を探し、旅立の準で気分そうとした。ところが、制限を嫌うライアンは、これを国家権力の干渉入だと言って、反対を唱え始めたのである。やがて、カイアンに扇動された市民たちも騒ぎ出したため、俺は仕方なく装置をそのままにして帰って行った。カイアンの中の可愛いミンメイは、俺のために何もしてやれない自分を歯がゆく思う。

エキセドルとグローバスは、プロトカルチャーの惑星会議に俺や未来たちを集めると、研究報告のほか、地球へ帰る事について話した。ビントラーディ軍と戦う為に人は、実はプロトカルチャーの2つの対立勢力が人工的に作り出した戦闘種族、すなわち退廃の人形のためだということ。そしてまた地球人も、プロトカルチャーの遺伝子工学によるかの影響を受けているらしいことなどである。

俺たちが報告を聞いている頃、カムランの戦闘ポッド隊はトラッド市を急襲し、マイクローン装置を手中に収めていた。移時を聞いて俺が駆けつけたときは、すでに装置が奪われた後であった。彼は、市民の戦いに負けて装置を返してきたことを後悔するのだった。

第32話 ブロークン・ハート

Broken Heart

武器を失ったカムジンは人質を楯に、新統合軍に対して戦艦を要求するのであった

マイクローン装置の復活に成功し、神聖を失った巨人に関したカムジンであったが、未沙を中心とした調査隊に偶らの為体である感覚の機器を発見され多くの犠牲を払った。

コンサートの最中に突然襲ってきたカムジンによって、ミンメイはカイフンともども捕らえられてしまう。カムジンは、2人を人質に戦艦1隻を軍令部に要求する。今までカムジンラに戦うだけだった彼らが、このような手段をとったのが、地球人の必要とは、なんとも皮肉な話だ。

連絡を受けた軍は、軍の作戦は人質優先に考えていないとして、あくまで軍隊の上総日の統合作戦を決行することにした。

人質となったミンメイは、カムジンの手で服を破って彼らの自由をやめさせようとするが、カムジンはそんなミンメイに、もうだまされはしないと言ってあざ笑った。ミンメイは自分の歌が、ただ物珍しかっただけで感動させる力などないと言われて大きなショックを受ける。2人は巨人用フォークで手の上に乗せられた。今度はカイフンが彼らを説得しようとするが、それに腹を立てたカムジンは文化の下方さらい知っていると言って、ラプラミスとキスをして見せるのだった。カイフンはなすすべも言葉を失っていた。

そこへ、ゼントラーディ人から救助を乞う通信が入った。喜いたくてウズウズしていたカムジンはすぐに、ほとんど全部の部下を連れて現場へ向かった。

だが彼らを待ち受けていたのは、解放と称するデストロイ隊だった。そうこれは彼たちの作戦だったのである。隊はこのすきにホールへ侵入、新人質の2人を救出した。半年ぶりの再会にひしと抱き合う隊とミンメイを見た未沙は、つい感動して隊にカムジン退治を命じてしまう。

見送る隊を見送りながら、ミンメイは今こそはっきりと隊への愛を確認するのだった。

❶「武器を手に入れるために人質にならなければ……」

❷連絡の中はすべてにお見通しのカラだった

❸「これを見てもらおうか」

❹

❺「ア…

❻

❼

❽「今日も女化がうまい」

❾がく然とするカイフン

❿文化とするラプラミスとカムジン

⓫カムジンは完全にはまって出撃する

⓬隊とミンメイは半年ぶりに再会する

⓭

⓮

⓯隊はミンメイ救出に感動した

⓰ミンメイは彼に愛を確認するのだった

⓱

第3話 レイニー・ナイト

Rainy Night

素直になれないとなやむ未沙に、クローディアはみずからの体験を語って聞かせるのだった

元は、自分が輝に対してとった態度を悔やんでいた。クローディアは、未沙が輝に謝るきっかけを作れるようにと考えて、いまでは貴重な紅茶の缶を空ける。

輝は、未沙にパトロール報告書を渡しに来たが、まだ機嫌は直っていない。その上あてつけがましく、未沙の前でヴァネッサをお茶に誘ったりするきざりに未沙も腹を立てて出て行ってしまった。元は輝のことを愛しているのだ、ヴァネッサが言っても、耳は貸しも本気にしない。

夜、未沙は輝の家の前まで行って私落を繰り返すが、それ以上何もできずに、家の前で立ちつくしていた。そこへクローディアが現れ、未沙を自分の家へ誘う。未沙とワインを飲み交わしながら、クローディアはフォッカーの思い出について語り始めるのだった。

クローディアがフォッカーと知り合ったのは、統合戦争の頃、ド田舎の基地においてであった。初めの頃クローディアは、軽薄で無神経な行為が目立つフォッカーに、好印象を抱いていなかった。だが、それがフォッカーの一面でしかないことがわかったのは、クローディアがマクロスへ転属になり、フォッカーと再会した後のことだった。

そのときクローディアは、訓練飛行を終えたフォッカーが女子隊員とふざけ合っているのを見て、幻滅を感じていた。だが突然、彼の目を盗んでできたフォッカーは、おどけた仕草いの下に隠された、パイロットの不安な心を、クローディアにだけそっと訴えたのだった。

クローディアがフォッカーを本気で愛し始めたのはこのときからだった。人の心はわからないし、将来もあまっては分からない。クローディアはただに優しくアドバイスする。

そのとき、ヴァネッサの言葉を思い出した輝が、未沙のことを心配して探しに来た。酔が回りした輝と未沙は、酔を飲むために輝の家に向かってその道を急ぐのだった。

第34話／プライベート・タイム

Private Time

輝とミンメイは2年ぶりに2人だけの時間を持つが、それは未沙との約束を破った結果だった

輝は、未沙を森林公園のデートに誘った。天にも昇る気持ちでその誘いを受けた未沙は、当日も朝からルンルン気分。お弁当のサンドイッチを徹夜までして作っている。

だがそんなとき、輝のところへ、ハイランダーシティーにいるミンメイから突然電話が掛かってきた。輝は、未沙のことを気にしつつも、ミンメイとのデートの方を優先させてしまう。

何も知らない未沙は、待ち合わせ場所の喫茶店で1人寒さを耐えしながら、輝が来るのを今か今かと待ち続けるのだった。

輝とミンメイが2人きりで過ごすのは、実に2年ぶりのことであった。ミンメイは輝を、いきつけの高級レストランへと案内した。そして、先日輝に助けられたお礼の印として、手編みマフラーをプレゼントする。

だが、輝との再会を喜ぶミンメイを、ガイラン局長は"無理やり"連れ帰ってしまう。ミンメイにはまだ仕事が入っていたためである。

1人になると、輝はだんだん未沙のことが気になり出し、急ぎ車を走らせる。だが、当然では、ゼントラーディ人が暴動を起こしていた。輝は、暴徒鎮圧の協力を申し出る。そして、暴れている巨人たちをすべて分解することに見事成功する。

興奮がさめる頃、ようやく輝は未沙のところへ戻った。すっかり諦めていた未沙は喜びの色を隠せない。事故公園は閉まっていたが、未沙にとってデートの場所はどこでもよかった。

寒さしが厳しくなり、寄り2人。輝は首に巻いたマフラーの残りを未沙の首へかけてやる。だが未沙はそのマフラーに、輝とミンメイのイニシャルが縫い取りしてあるのを感めると、輝を置き去りにしていってしまう。

そのころ、ミンメイはコンサートで自ら歌うことを拒否してしまった。ガイランは本物の歌を歌うことをミンメイに厳しく迫っていった。

❶

❷

❸

❹

❺輝とミンメイのデート予定していた

❻

❼

❽マフラーをもらって喜ぶ時

❾

❿「あなた元気が入った行くぞ！」

⓫暴走な人とおさめることに成功する

⓬ゼントラーディ人の暴動をおさえ

⓭

⓮「かけごめする人をまもがしてるんじゃない」

⓯

⓰

⓱

⓲いつのはかそうにいと思せっか

⓳

Romanesque

Visual Story

クリスマスの夜、街にはミンメイ失踪のニュースが流れた。
そしてカムジンの計画も序々に進行しつつあった

③カムジンを捕獲しようとするが、人命救助を優先する

④人々は現実逃避をするのであった。

⑤家庭な母の姿を見てようこ・ミンメイ

⑥マックス一家

⑦「よかった、生きてる」

Romanesque

地球人への攻撃をやめろ！カムジン一族は8年前の大戦で落ちた巨大戦艦を見つけていた。調査の結果それは、反応インゴンのパワーコンデンサさえあれば修理して使うことができるのがわかった。カムジンは直ちにパワーコンデンサの奪取を計画し準備を進めた。

そのころ、マクロスシティはクリスマス1色に染まり、にぎわいを見せていた。そんな街中をあてもなくさまよう1人の少女がいた。失恋していたミンメイである。

やがて、彼女の足は郷の電器へと向かっていた。降りしきる雪の中、凍りさざっにたたずむミンメイは、思わず郷の胸に飛び込んで泣くのであった。郷はとまどいながらも彼女を暖かく迎え入れた。

ミンメイは歌手生活に心身ともに疲れ、また歌うことについて苦悩を感じていた。そして冷えきった体で、今夜1晩だけでもいいから抱いて欲しいと郷に頼み込むのだった。

ちょうどその時、郷を訪ねて来た米沢は、ドアの向こうから2人の話を聞いてしまう。米沢は折るように郷の部屋に飛び込んだが、郷の態度はミンメイを受け入れるという物だった。あわてた米沢はそのまま黙って帰っていった。

工場建設へカムジン一族の攻撃が開始された。彼らの目的の核エンジンにあることを知るやいなや、それを守るべく自らにスクランブルがかけられた。この事を知った郷は、自分に召集がかからなかった理由を気にしつつ、基地へと急行していった。

だが必死の防衛にもかかわらず、パワーコンデンサはカムジン達の手中に奪いさられてしまう。郷たちは追撃するが、カムジンは既に惑星をしかけ爆弾の手からのがれ退却していった。

荒廃となった街には、人々の救出活動のしるべがきれていた。郷の家ではミンメイがクリスマスの用意をして待っていた。郷の無事な姿を見てミンメイは思わず涙を流すのだった。2人だけのクリスマスパーティ。2人はディナーを済んでやさしくキスを交わすのだった。

第36話／やさしさSAYONARA

Yasashisa Sayonara

戦艦を手に入れたカムジンは最後の一決着をつけるべく、
動かぬマクロスに攻撃をしかけるのであった

❺カムジンは修理した戦艦で出撃する

❻「一緒に、あなたが好きでした…」

❼ミンメイの歌声があたりに流れた

❽笑もうつろな様

❾

❿

⓫カムジンの理解不能な行動

⓬

⓭

⓮ボドルザは自分たちが滅ぼすべき人々のためだとヒビンメイに語る

⓯

⓰

⓱

⓲

⓳カムジン艦の出現でマクロスに入った

⓴

㉑

㉒マクロスは一時的に浮上する

㉓

㉔ブリッジにはすでに艦長がまっていた

㉕

㉖モニター

㉗

Visual Story

❶マイクロを倒れる

❸基地の爆撃に出る人

❹マクロスとカムジン最終戦となる

❺ミンメイと未沙は本気とりあう

❻ミンメイのKISS

❽マクロスのついに最後となる

Yasashisa Sayonara

ENDING

予告タイトル

放送で放送されたマクロススペシャル版エンディング。

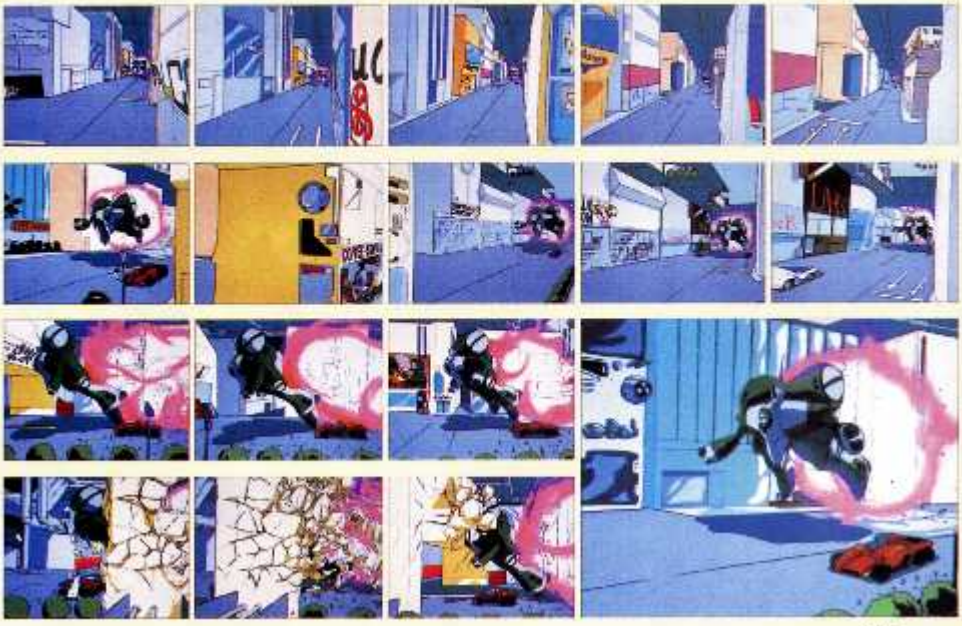
EYE CATCH

右側から3枚までのアイ・キャッチ。以後に使用された物、最後のはスペシャルに使用された物です。

CONBAT ACTION

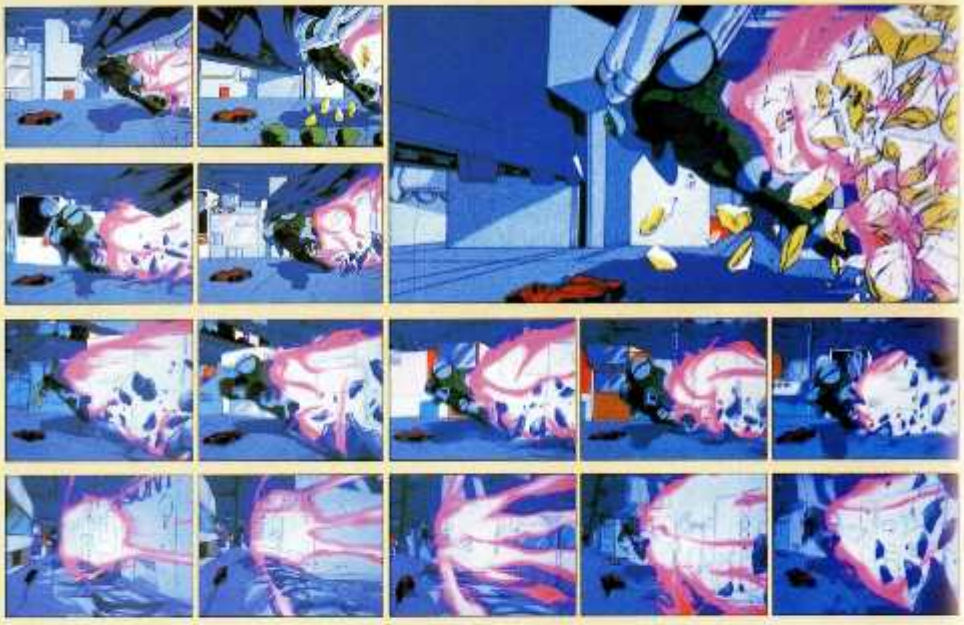
マクロスにおける戦闘シーンは作品の中でも一つの柱となっている。ここにはそれを厳選して掲載してみた。まずはオープニングの1カットから…。

マクロスの中でも評判の高い、バトルスーツ、クァドラン・ローの1カット。街もすべて背景動画で動かしている。（#18）



天才パイロット、マックスとクァドラン・ローの激戦。ハデの果になったクァドラン・ローの中からパイロットがふき飛ばされてしまう。（#18）

CONBAT ACTION



雪から飛び出して敵を狙う、一機対多数のクアトラン・ローから無数のマイクロミサイルが発射される。（P.8）

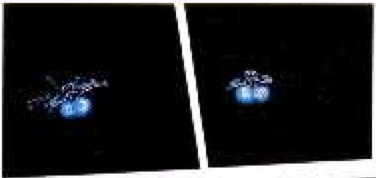
変形するマックスのバルキリーを上からとらえたカット。ちゃんとノズルをふかして回転しているのがわかる。（#50）

ミリアのバルキリーによる戦闘シーン。ファイターからバトロイドへ変形しつつミサイルをよけて敵を撃破する。（#54）

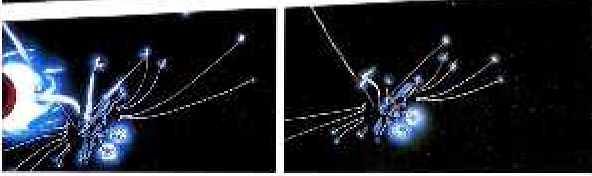
CONBAT ACTION

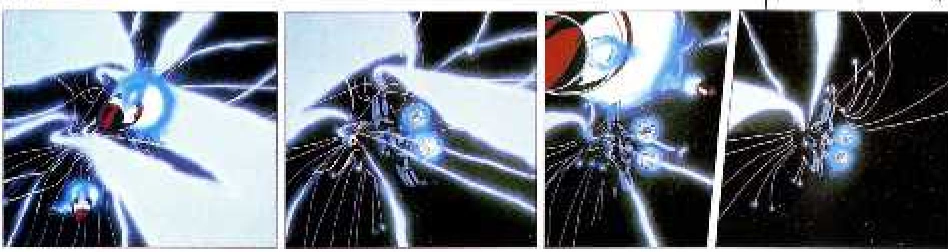
ミサイルをよけて進行するマックス。「真下ではみずらいかもしれないが、バルキリーは横からの高熱源体を全てミサイルを進行している。（#39）

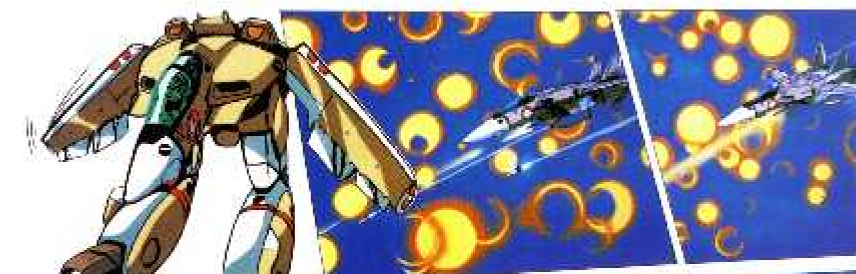
ビームに次々と撃ち落されるクァドラン・ロー。ラストから2コマめのカットではパイロットの首がとんでいる。（#1、背景は#30の使用）



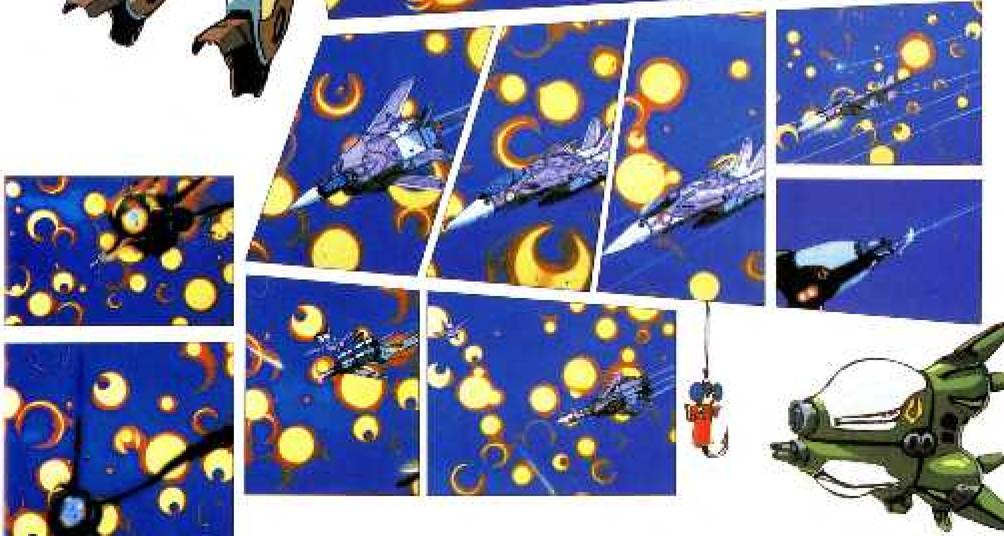
スーパーバルキリーの両の翼手から発射されるミサイル。無数の雨のように宇宙空間に広がっていく。（#25）







地球の大学園で行なわれた初めての決戦のサーキット。手前の一機がおちるまでに後では無数の爆発がおきている。（#1）



CONBAT ACTION

バルキリーのバリエーションの一つアーマードバルキリー。懐いた様なタイプの機体はスイッチ一つでバラバラになっていく。(EMI)

CONBAT ACTION

私の彼はパイロット

リン・ミンメイのデビュー曲。1番のみの曲で、すべて曲にあわせて作画されている。
（#11）

MISS MACROSS

●ミス・マクロス● for Space Casual Life

September 2009 9

580

●Gays 戦場におもむく男たち

一条 輝

マクシミリアン・ジーナス

ロイ・フォッカー

ブルーノ・J・グローバル

艦内デートコース再発掘

見あきた艦内に新たなデートコースを求めて

開鎖区画内／軍事施設付近／新開発地域

特集／カジュアルなあなたに送る

最新ファッション大図鑑

自分にあわせてフレキシブルな着こなしを！

アフター5のデートウェア／戦術的なリゾートウェア

●血液型特集／新連載「心理 あなたの夜はだいじょうぶ？」

統合宇宙軍入隊志願者募集中!

いま統合軍では入隊志願者をつのっています。ゼントラーディ人との戦いが続くなか、統合軍は若い力を必要としています。あなたの力と才能を統合軍で生かしてみませんか。

キミもバトロイドに乗ってゼントラーディ兵と戦ってみないか!!

広告ページ

MISS MACROSS

for Space Casual Life ●ミス・マクロス●

FASHION

カジュアルなあなたに送る
最新ファッション大図鑑 ——— 98

ニュースカート研究
ミニvsロング
男性の気をひく気こなし——34

オールシーズン版算
艦内はいつも春気分！ ——— 120

あなたも地球製の服が手に入る
限定1000着、補給による特別配布——130

SPECIAL

こんな女性が目をひく
人気スターによるポイント診断
大人のふんいき
ジャミス・メリン
少女らしさが売り物
リン・ミンメイ —54

新発見！
艦内デートコース再発掘 ——— 60

血液型特集
新しく発見されたC型血液について分析 ——— 134

Gays
戦場におもむく男たち
一条 輝／マクシミリアン・ジーナス／ロイ・フォッカー／ブルーノ・J・グローバル ——— 17

対談 平和はいつになったらおとずれるのか？
グローバル氏vsリン・カイフン —101

に送る

ヨン大図鑑

ブルな着こなしを！
ウェア／解放的なリゾートウェア

あわただしい日々もようやく終りを告げ、新しい生活にむかう心がまえが必要です。そこで心機一転、新しい衣装に身をつつみいままでとは違うあなたを演出してみませんか？？

●グリーンとホワイトのツートンのミニ・ワンピース。軽やかなイメージのショルダーとスニーカーをシックにしめて。アクセサリーはイメージ重視。

●ボーダーシャツとオーバーオールの組み合せは、とてもカジュアルで着心地がよさそう。

特集 カジュアルなあなた

最新フッシ

自分にあったフレキシ

アフター5のデート

最新ファッション大図鑑

10
12
11
MISS
MACROSS

MISS MACROSS 10

X月5日(日)発売

次号予告

おとぎ話をデザインする。
スタジオ・マクロス

スペース・ファッション
あなたにも着れる！
洒落たスペースライフ

白書／戦場の女たち

EDITORS

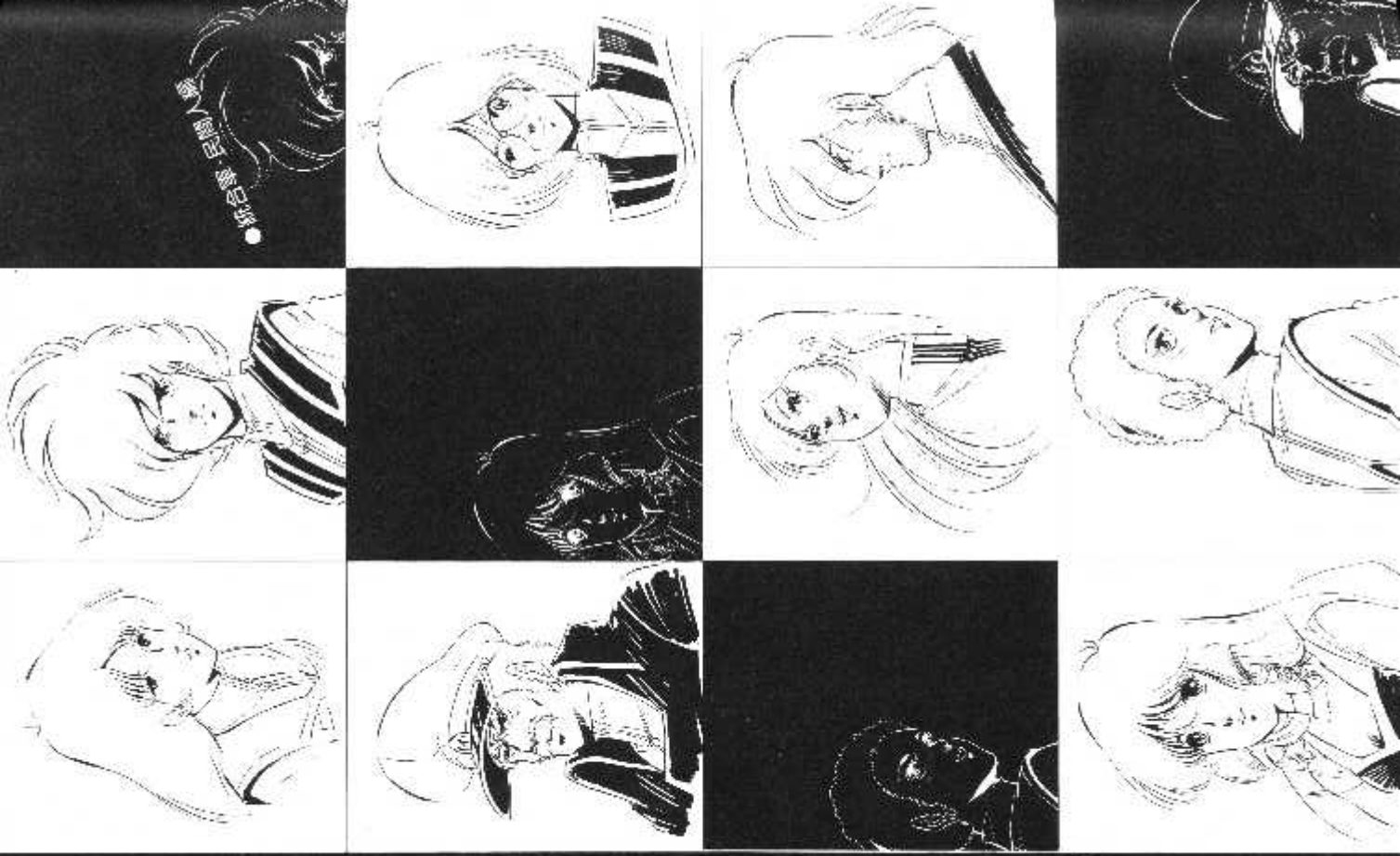
★「マクロス」にかかっている間は、いつもすがすがしい気分を迎えることが出来ます。……これが実感。なんて言える日が来ては欲しいー。皆んなのことだから、最後の1日、1日が別れの準備、寂しさの連続なのだけど、なるべく明るくいきたいものです。みーこちゃんからは、「生物学的に不可能」の答にいたお言葉、デザイナーだって人間だあーい！と悲鳴シリーズ。〔厚子〕

★ミー、今回の特集企画にマクロス版図の女性下着の為に私下着リング・インタビューさせていただきました。わが編集部員も、この下着・マクロスを全員にご配布、多次元的なかたちで利用して頂きたいと思います。実を申しますと3回の特集も、読者の多大なる御協力をお願いしたかったためでありましょう。グレードアップ感動の私の人間入門をする為にも皆様のご協力をお願いいたします。〔宗本〕

★主宙に出ていらはやそれぞれのアダムとイブとなっています。艦内の街の多くがいかに楽しいものであるか、ぜひ知ってもらいたいのです。〔宗本〕

★あー、今日も暑い、いくら地球にいるからといってこんなに暑くまで居ることはないんじゃないかなー。ほんと、昨日、37度も超えて仕事ができるかなー、うのクーラーは、昔前のだから、余計暑い感じ。この2日、このところで涼しい時もとってください。〔宗像〕

スペースマクロス10号　第1巻第3号　発行人：大塚英樹　編集人：伊達利彦　編集協力：スタジオ・ユー　印刷所：大日本印刷　マクロス工房　協賛：S.D.　©1984 ビックウエスト　発行所：株式会社マイナー書房　〒141　東京都品川区東五反田2-20-5　電話：03(447)5253　©1984 MACROSS　禁無断転載　本誌をなるべく書店でお求めください。もよりの書店で予約申込されるのがベストです。書店に品切れの際、または入手に不便な場合は小社に直接ご注文ください。定期購読をご希望の方は、小社に電話連絡でスペースマクロスは、郵便局からの振替用紙にお名前と、お申し込み下さい。6ヶ月=3000円、1年6000円（郵送クイーブ代込金額）
★1部ご購入=100円です



CHARACTER OF MACROSS

●一条　輝

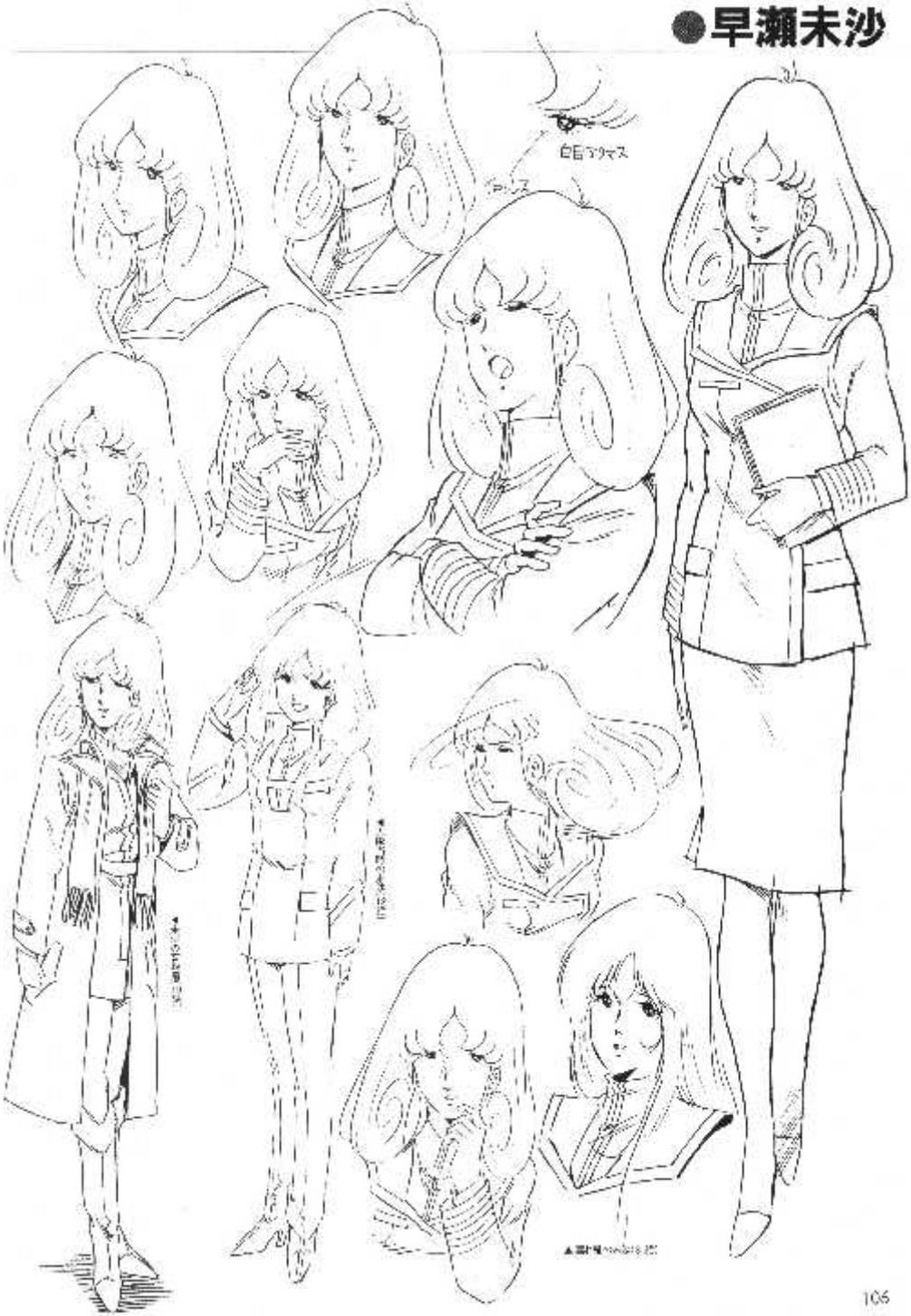
この時、うすく影入れて下さい。
＊髪の毛の線、黒色はありません。
＊瞳のハイライト、特に入れにする必要ありません。
イロトル人

CHARACTERS

本編の主人公。バトロイド・ポッチーノ・パイロットの一人。性格は明朗にして快活。情熱的で機知に富む。しかし、ときに思慮不足で失敗をしでかすこともある。また、いい意味で男の幼児性を多分に持ち合わせた少年。マクロス攻略前は民間人のスタント・パイロット。戦闘はエックスだったが、母親は敵の地球人にかこまれ、父親はスタント・パイロットであったが、戦傷中に

CHARACTERS

●早瀬未沙



CHARACTERS

CHARACTERS

ハイケンの妹である。同時に同居人でもあり、彼女は兄妹に育てられて育った。父は超能力者の高官。

兄妹の関係は特殊で、許可無く人の男を必要の対象にする事はないというのである。というのも彼女が兄妹の間に殺人を目撃して大ったという暗い過去を持っているからである。そんな彼女にとってカインとの出会いは、大きな影響を与える事となる。

●リン・ミンメイ

CHARACTERS

"マクロス"既存の小説群中の存在である。高校1年生、明るく可憐な美少女、チャイニーズレストラン育ち、クレバー志望と、数々の"ふつう"とは少しだけ違う、楽しみな少女である。いわばアイドル的存在。男に対する年齢、どうつきあうようになるか、その辺にはまだまだ不安定さが同居している。年齢を増すと忘れてしまいがちな、足元の定まらない"

この肉厚
ふりかけ
ゴムでも
かけません。

CHARACTERS

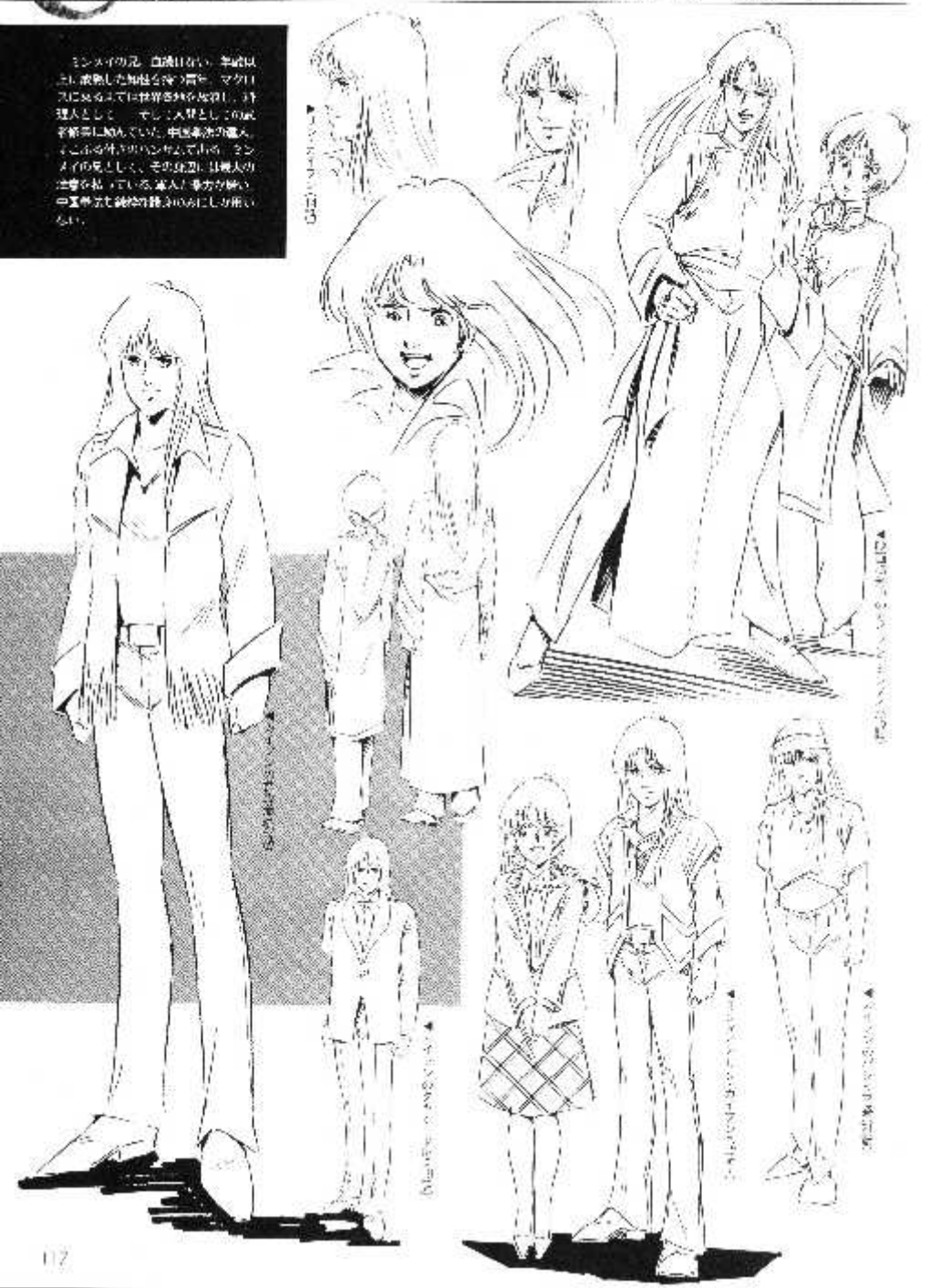
ウブな思春期の男子である。多少独占欲が強い……というか、常に自分の事だけを見ていてほしいと願う少女らしい感情を見せる事もある。モンスターも災害問題も関係つれて成長し、様々の出会いと別れを経て、本当の愛情を知るようになる。

都内に作られた試験校中で最年長である。

LOVELY CONCERT

●リン・カイフン

ミンメイの兄。血液日占い、羊座以上に敏感した知性を持つ青年。マクロスに乗るまでは世界各地を放浪し、料理人として、そして人形としての武者修行に励んでいた。中国拳法の達人。ミンメイの生活のパートナーで小さいミンメイの兄としく、その立場は絶大の注意を払っている。達人と言うが強い中国拳法も純粋的技術のみにしか用いない。



●マクシミリアン・ジーナス

●コミリア・マリア・ジーナス

●ミリア・F・ジーナス

マクシミリアン・ジーナス、バトル・ライン・パイロット、傭兵アームズ・カンパニーに入って天才的な才能を発揮する、若い頃の人脈は、ミニミニにハンサム。

ミリア・ファリーナ・ジーナス、バトル・ライン・パイロットで、宇宙に天才的な才能を見せる、美貌の上に冷静さを持つ頭脳明晰な女性。しかし、意外な恋の過ぎを知っている。この2人の間には4月1日カップルである。

●クローディア・ラサール

CHARACTERS

マクロス生活支援協会、マクロス本部の情報分析官。オペレーターとしての腕は一流だが、本当の年齢を感じさせる大人の女性。年齢に似合わない子供っぽい一面があり、ミリアとは親友の仲。ミリアのマネージャー的存在である。明るさの中に時折見せる影は、何かを抱えているようでもある。

●ヴァネッサ・キム・シャミー

●ロイ・フォッカー

◀ファイターモードのロイ

◀ロイのファイター形態

◀ロイ・フォッカー(ファイター)

▲ロイ・フォッカー(ヒーロー)

●ブルーノ・J・グローバル

マクロス艦長。常に冷静沈着な人物だが、決して人間味に欠けているわけではない。軍人としては珍しく、[illegible]な視野を持ち、組織の[illegible]、好奇心に富んでいる。若く[illegible] [illegible]

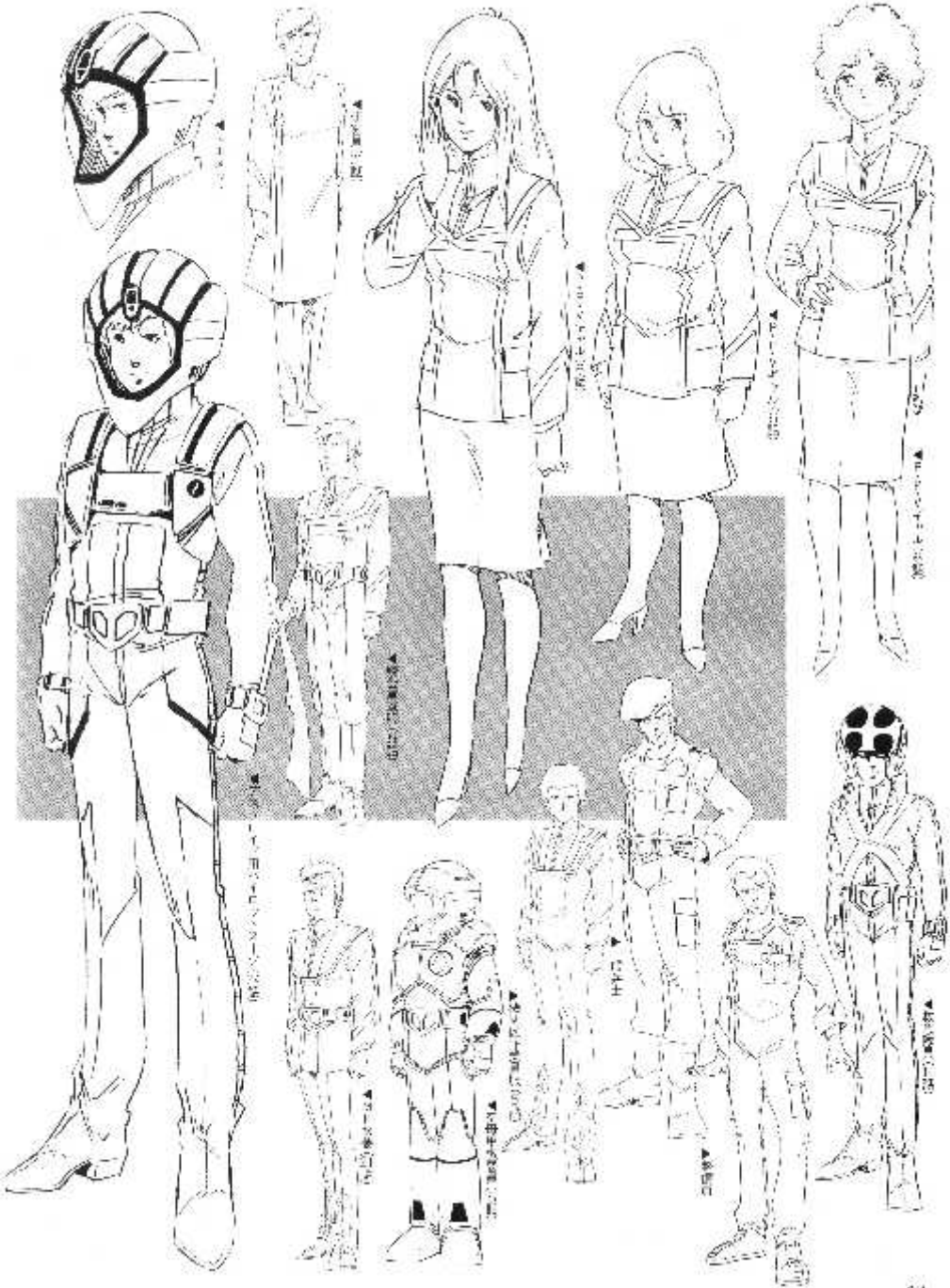
▲[illegible]

●柿崎 速雄

▲[illegible]

▲[illegible]

●マクロス艦内軍事関係者



CHARACTERS

●一般市民

CHARACTERS

127

●ブリタイ・クリダニク

ブリタイ・クリダニク　正体不明
銀河統合艦隊クリティル特務艦　ブリタイ
艦隊司令官　年齢不詳　男性
性格　冷静沈着である。

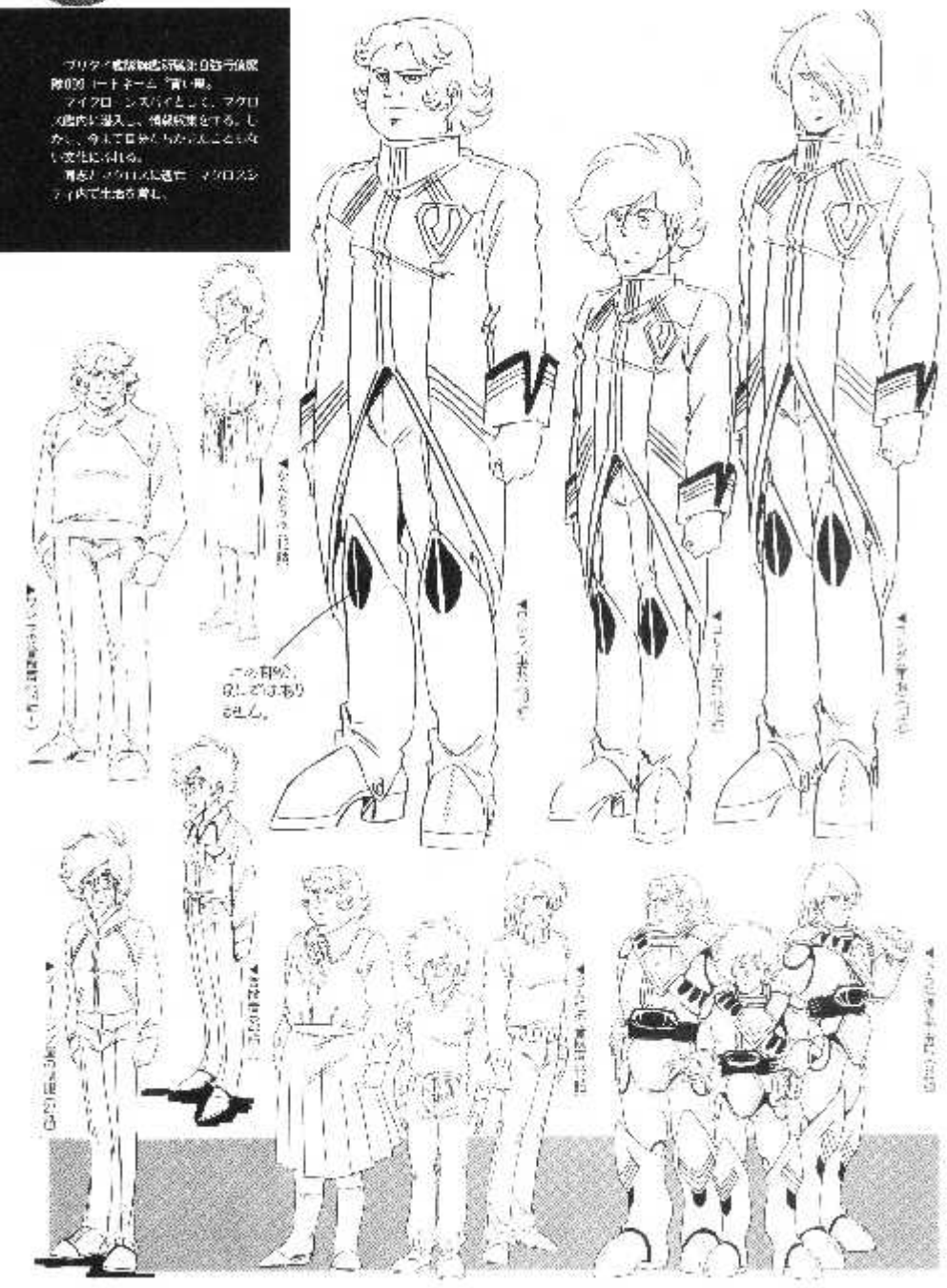
アクロスを戦場に連れて　様々な
トラブルを　と知った上で、利用
する。

エキセドル・フォルモー　ブリタイ
特務艦副艦長　アクロスとブリタイ
シンとし、和平後　こなる。

●エキセドル・フォルモ

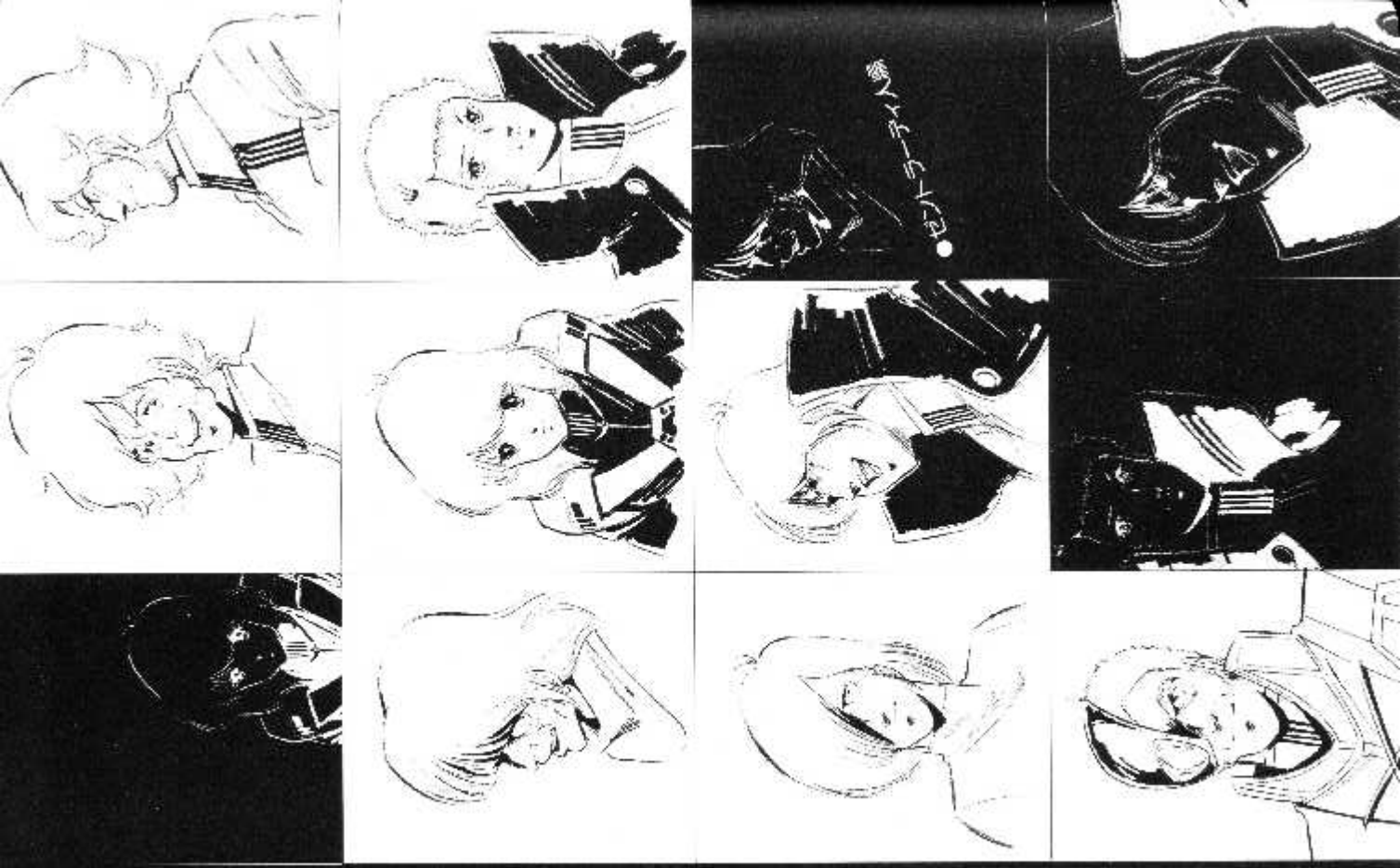
●ワレラ／ロリー／コンダ

ブリタイ戦隊制圧部隊第8特殊偵察隊008 コードネーム『青い狼』。
マイクロンスパイとして、マクロス基地に潜入し、情報収集をするが、今までに自分たちがしたことない変化に戸惑う。
再度マクロスに進行、マクロスシティ内で生命を奪い。



●統合軍軍事関係者

アラスカに本部を置く地球統合軍は、早瀬提督を筆頭とする地球統合政府によって成り立っている。
ライバー少尉——未沙の初恋の人。火星のサラ基地に赴任させられ、しかし帰還中、反統合軍の攻撃によって死亡。
早瀬提督——早瀬未沙の父親。統合軍の提督であり、全体を握っている。


CHARACTER OF MACROSS

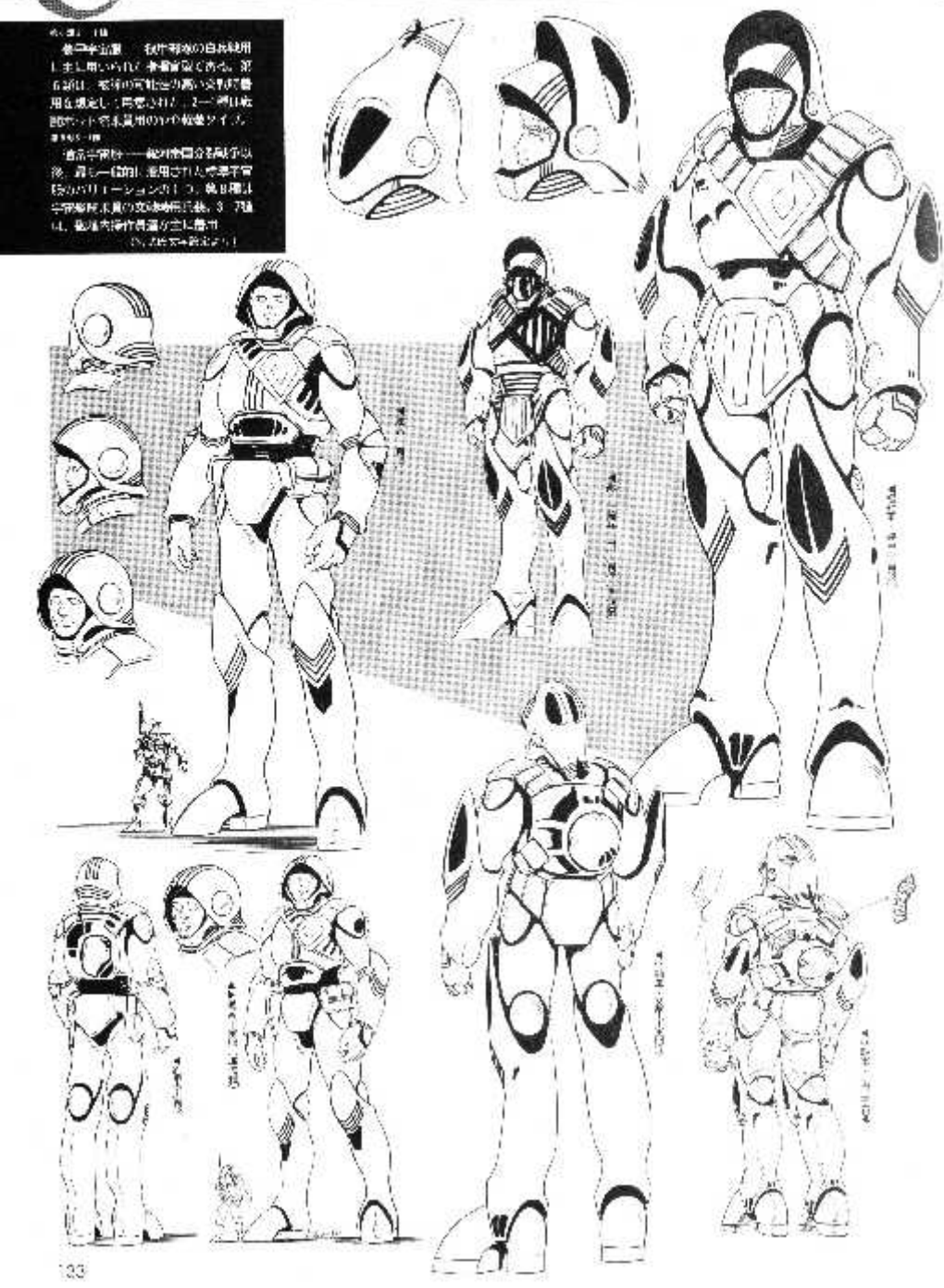
●カムジン・クラヴシェラ

●ラプ・ラミズ

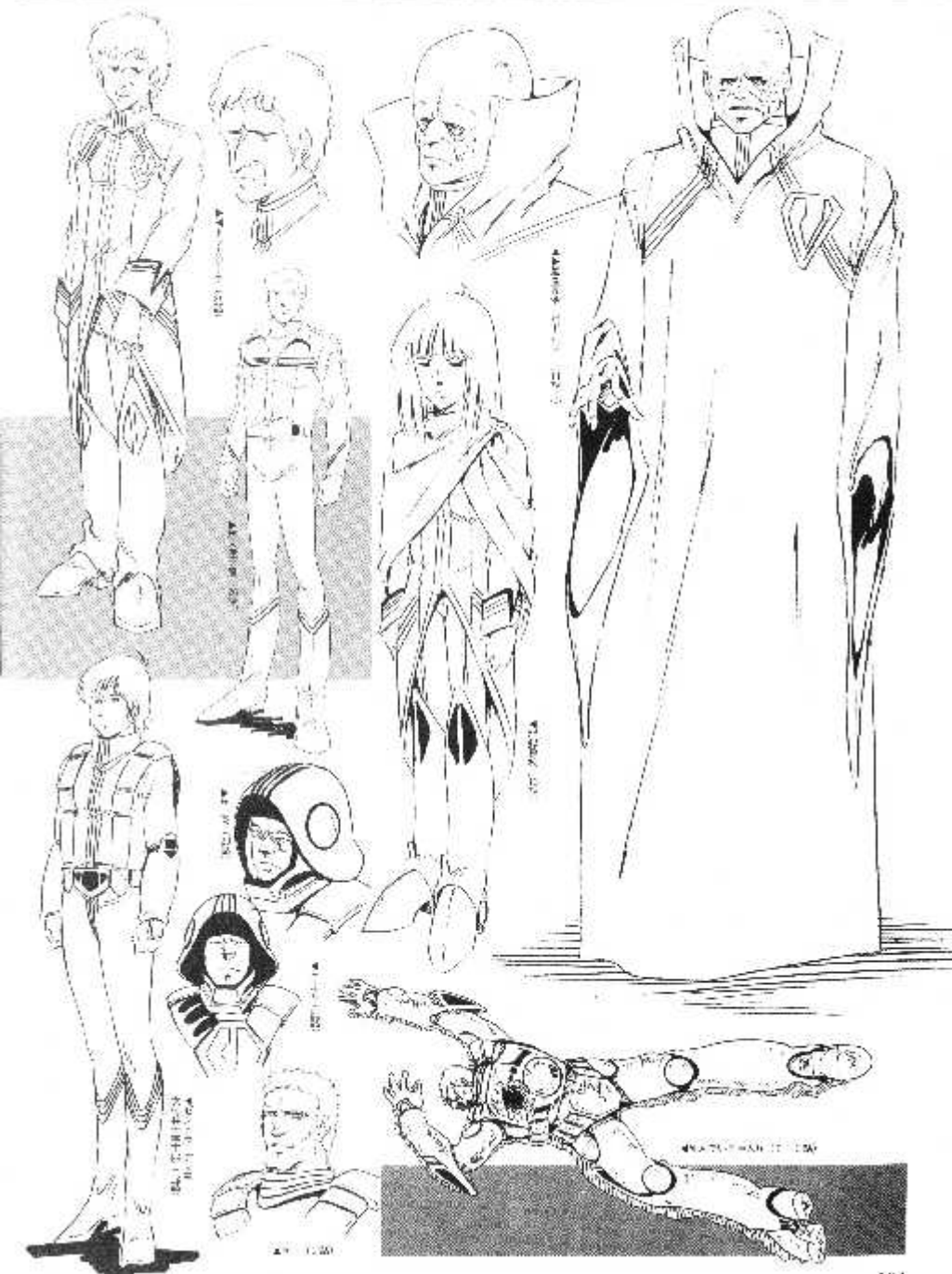
カムジン・クラヴシェラ――年齢、事実上の戦闘指揮官。軍団（七赤）のトップの地位に立って他種族と必要な交渉を行なう、ブールカニリストをまとめているが、第4話までは、冷静な表情の下からすきにそりの性格が顔を出す。頭にのった帽子がいかにも高貴な感じ。

ラプ・ラミズ――ホ・ル・ル星軍団最高司令官特使。ミリメの上官である。

●ゼントラーディ軍宇宙服

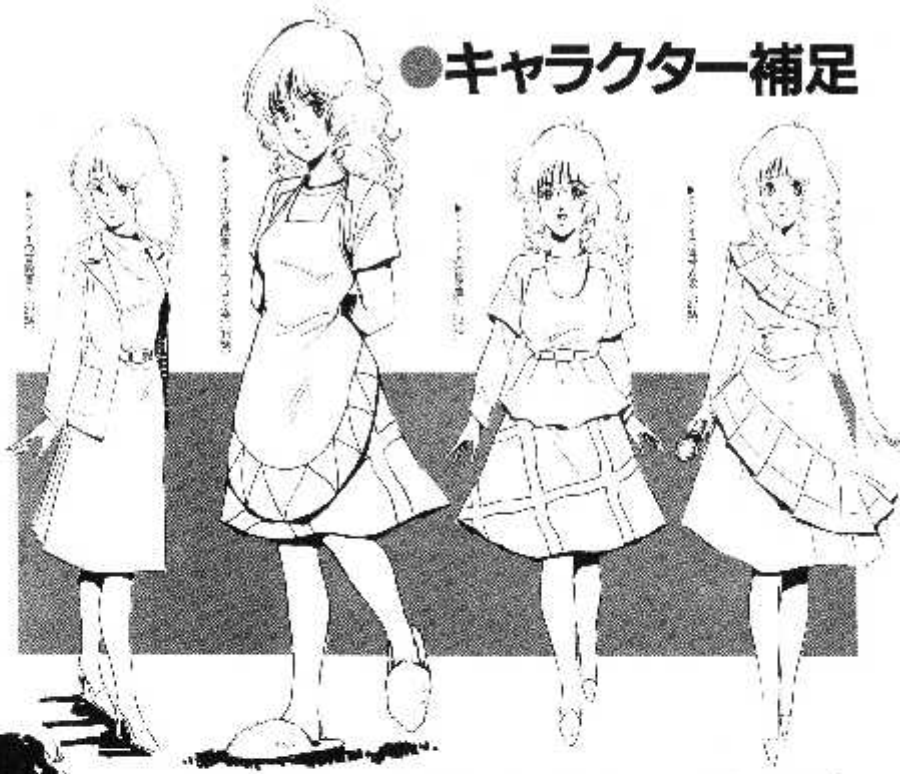


●ゼントラーディ軍兵士



CHARACTERS

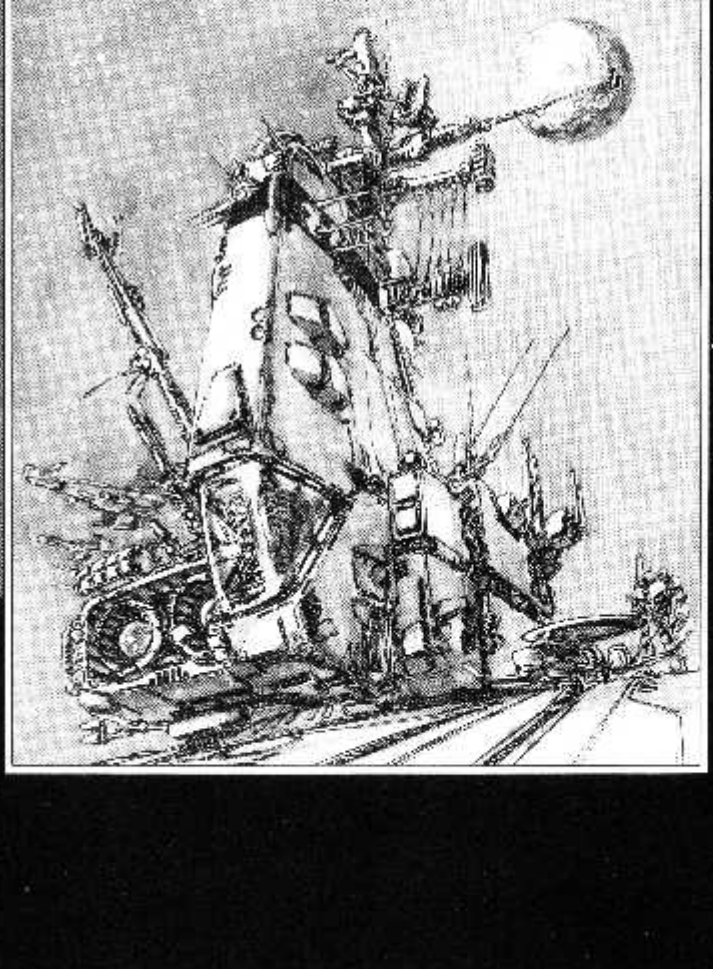
●キャラクター補足



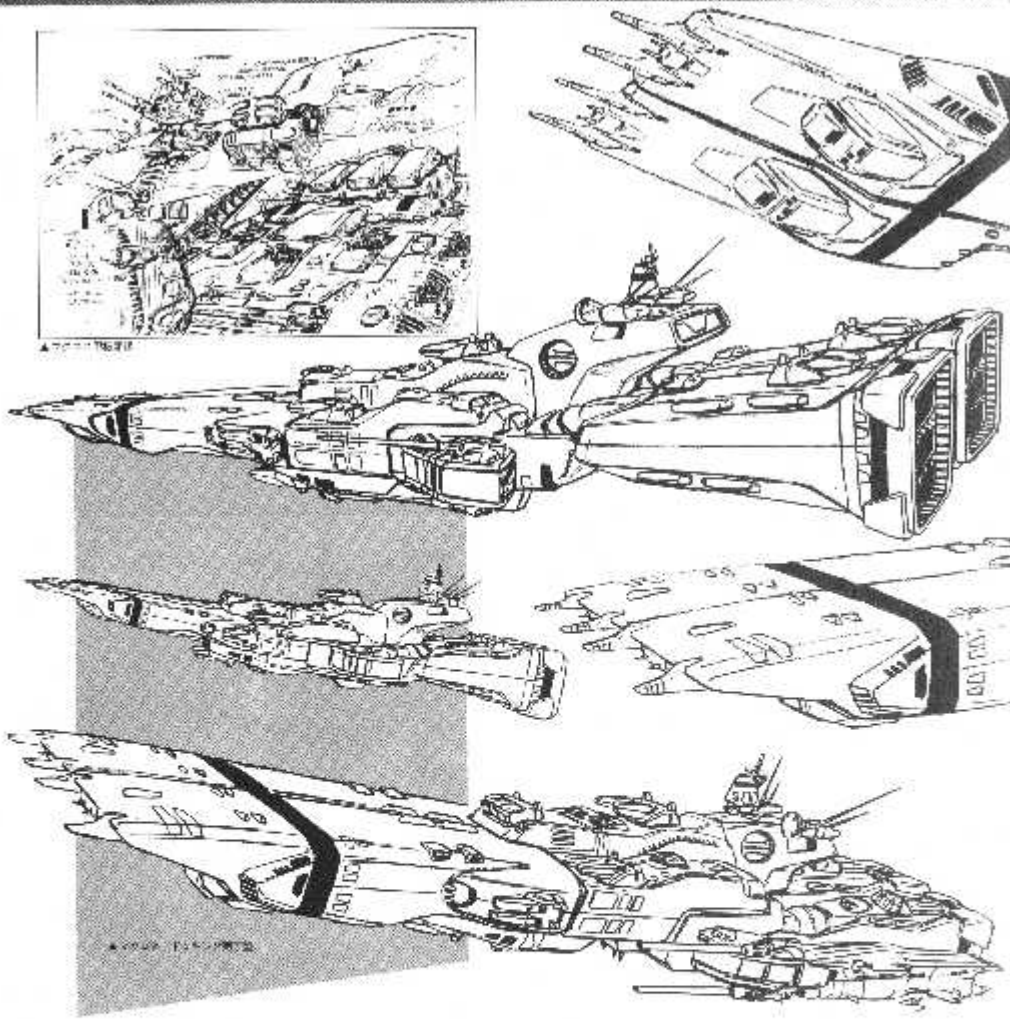
●美樹本晴彦描下しキャラクター設定

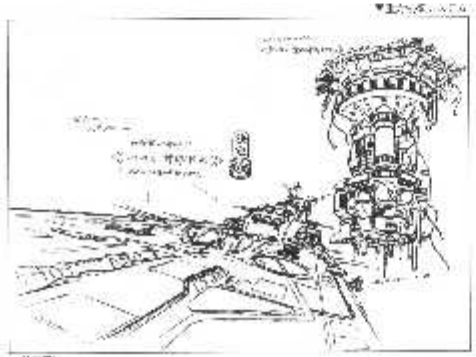
美樹本晴彦描下ろし設定。本編にでてくるが、決定がない！のでまだに描いていただいた。
ウエディングドレス……結構、悩んで描いてもらったんです。
Mr.カリモト……第1話の重要なスミにオヤジ現れるいかがえん。

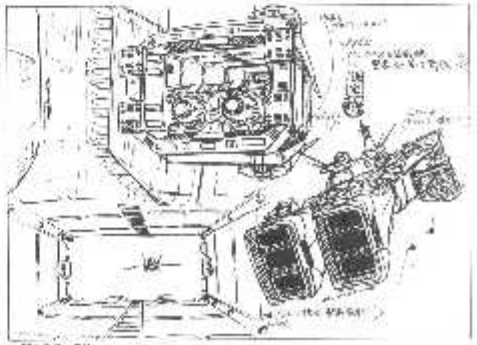
MECHANIC OF MACROSS

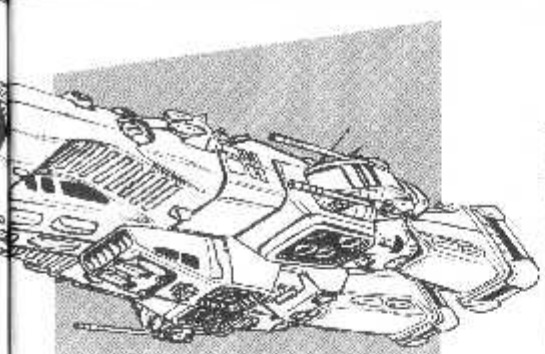


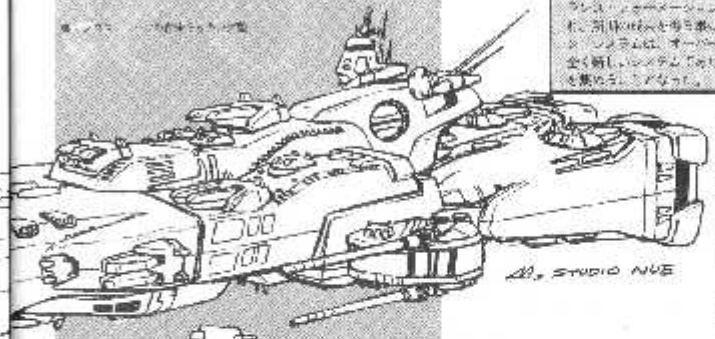
SDF-1 要塞型マクロス

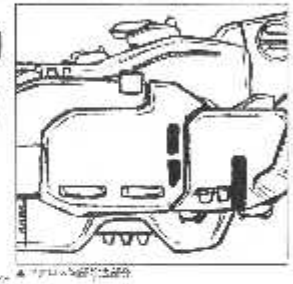


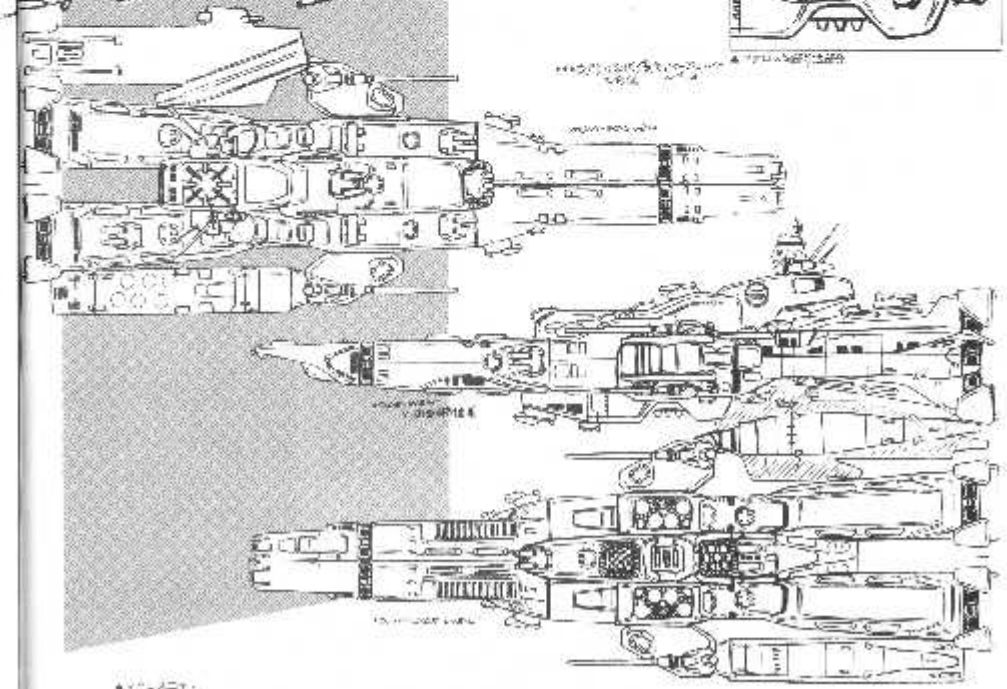




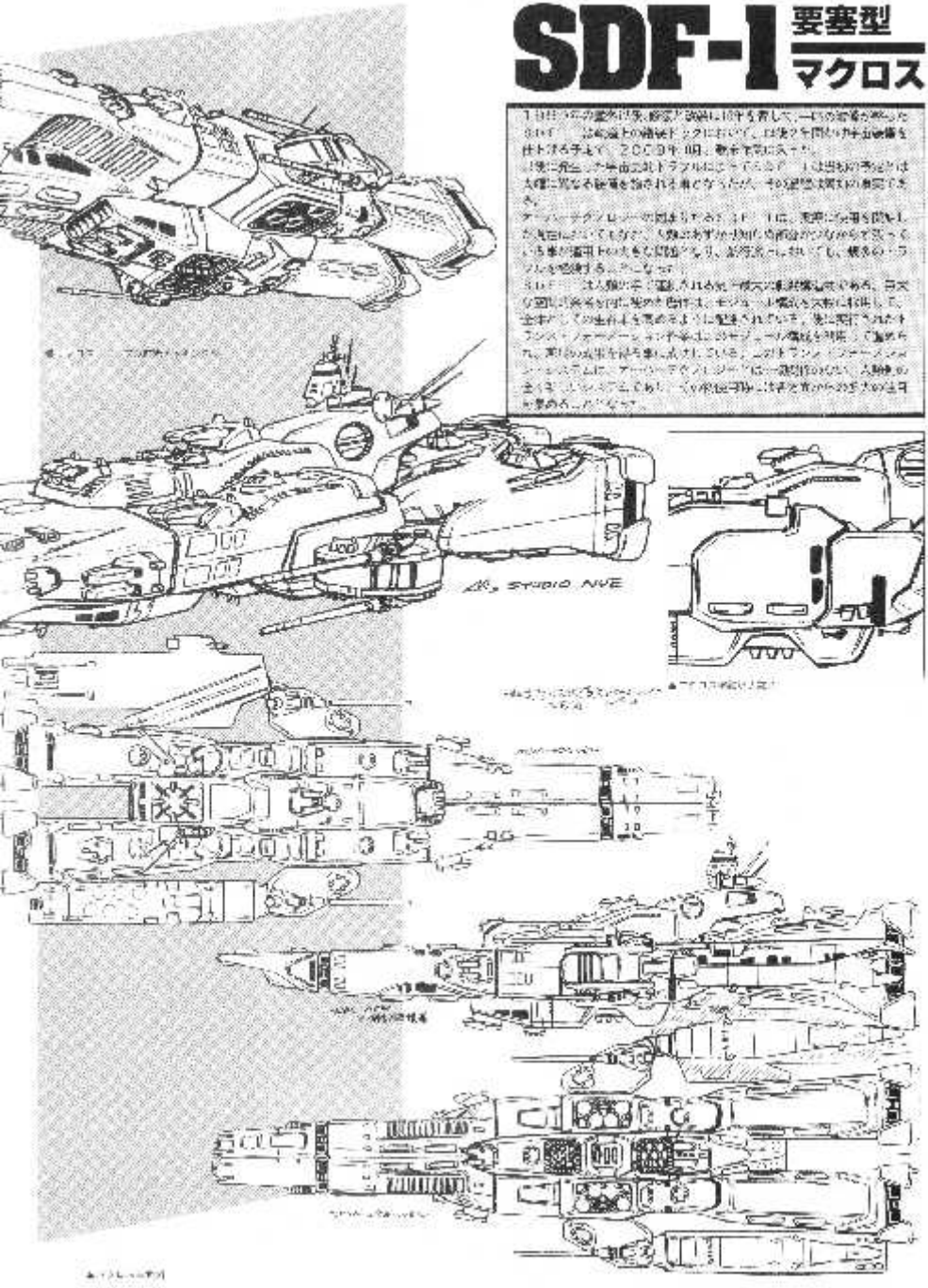




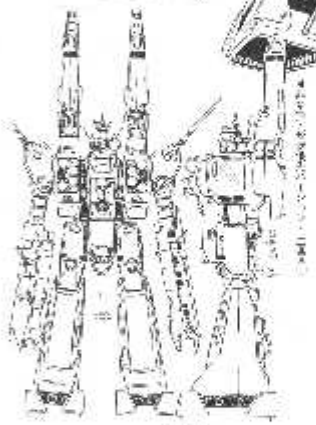


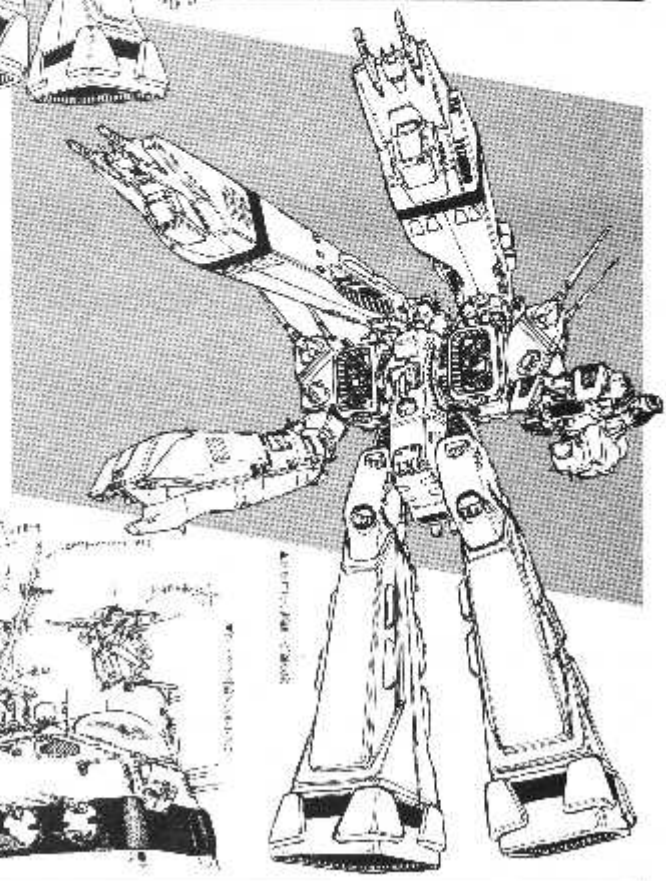


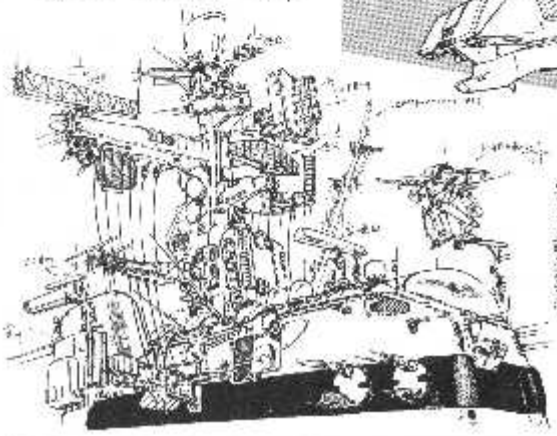
SDF-1 要塞型マクロス

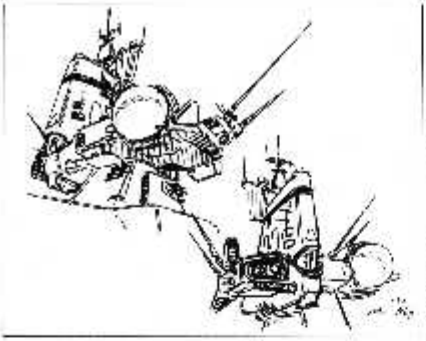


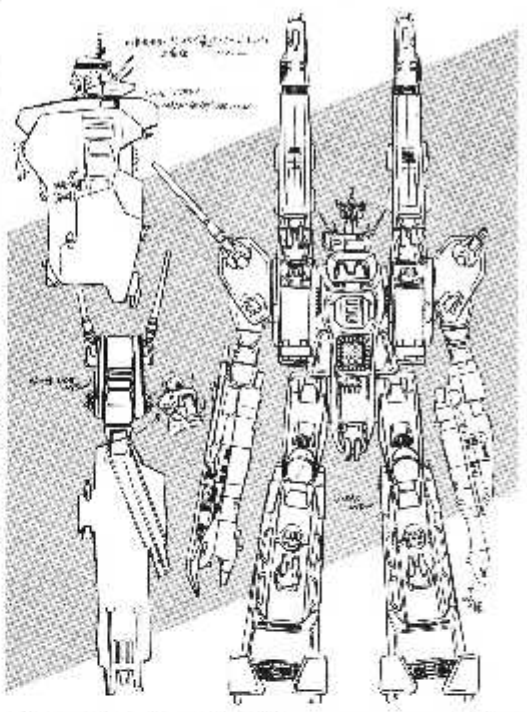
SDF-1 超時空要塞(要塞艦・強攻型) マクロス

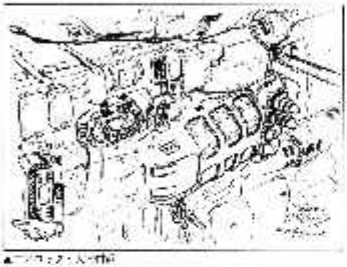


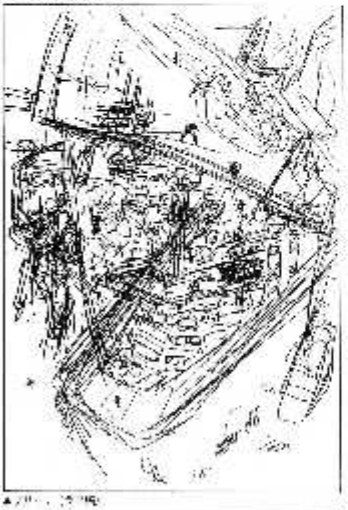


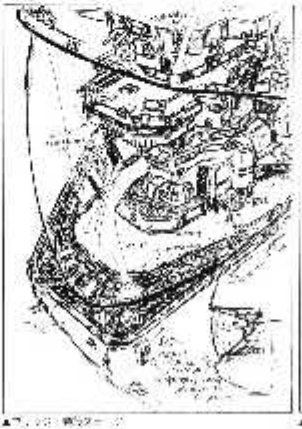


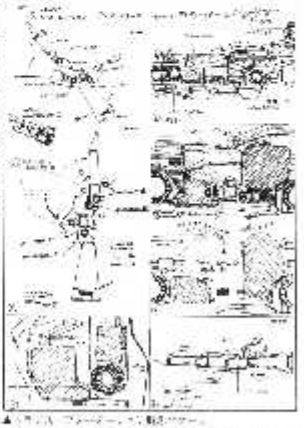


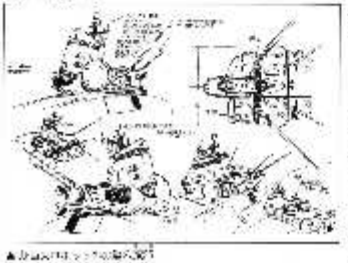


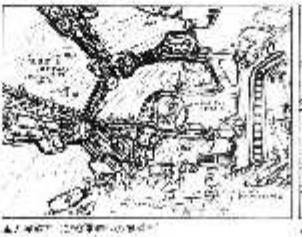




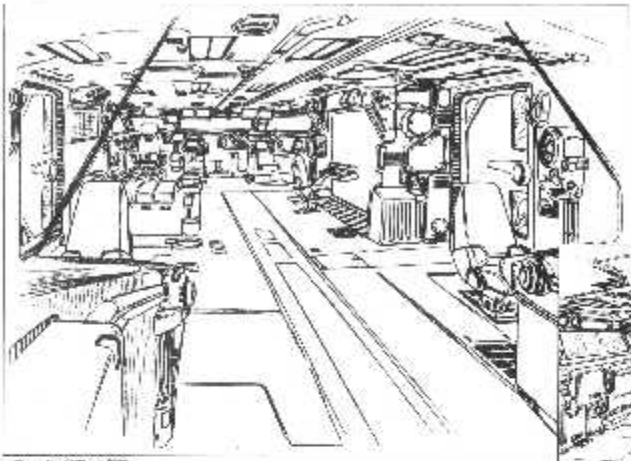


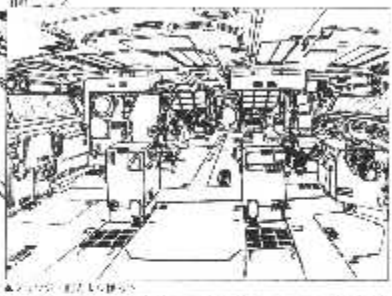


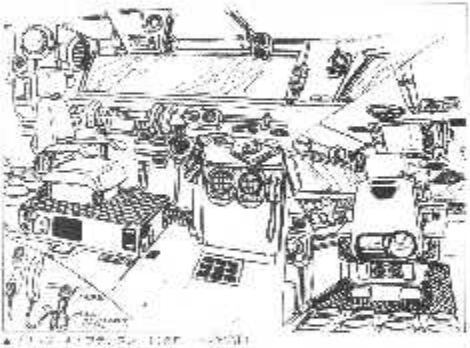


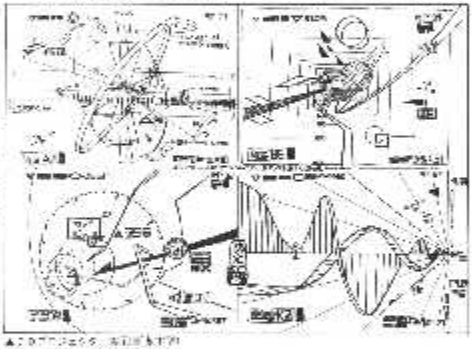


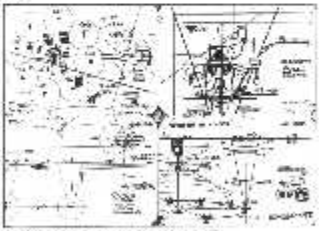
ブリッジ内部

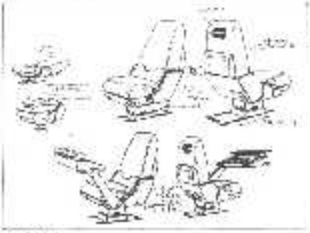


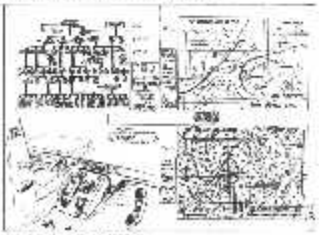




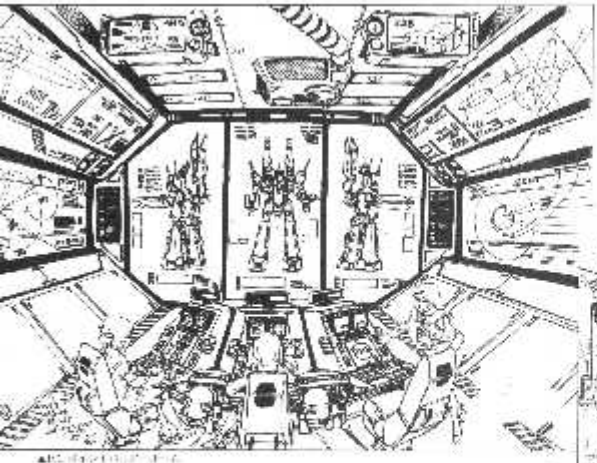


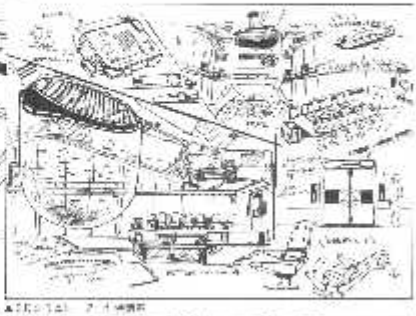


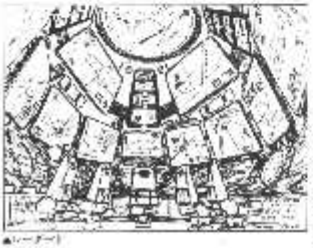


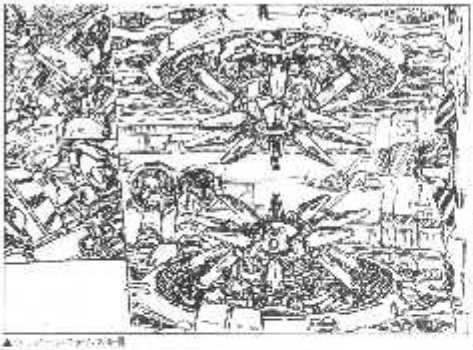


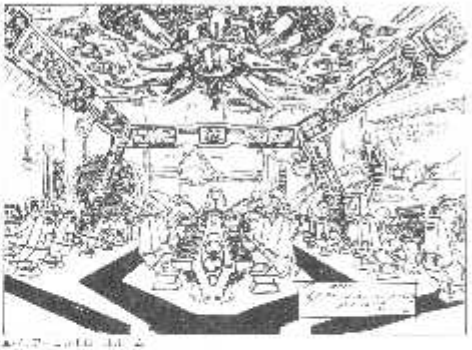
マクロス艦内施設

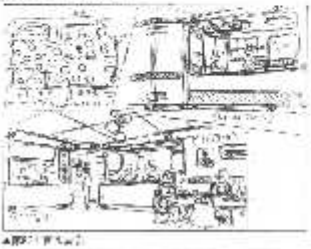


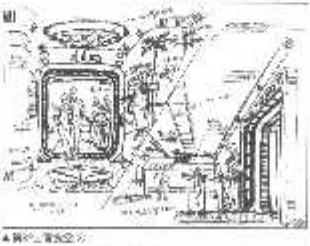


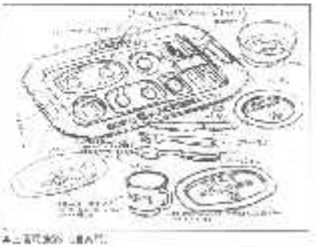




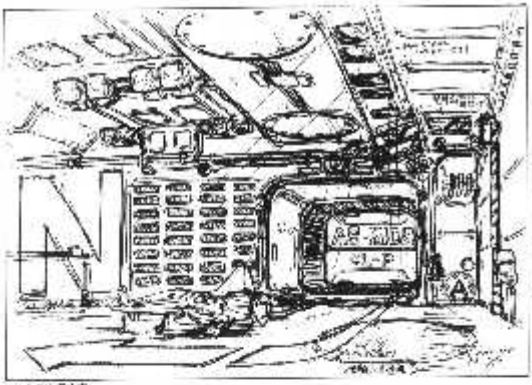


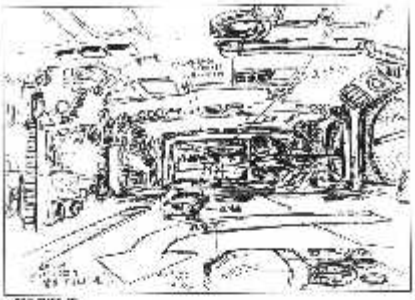


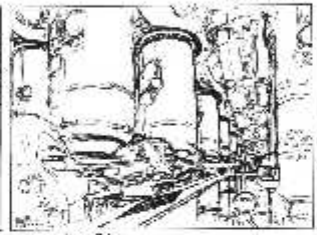


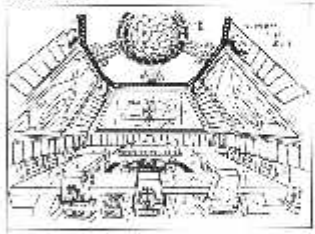


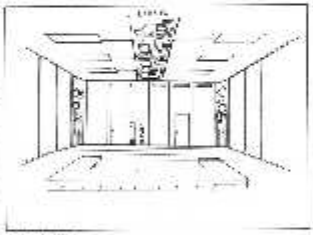
マクロス軍事施設

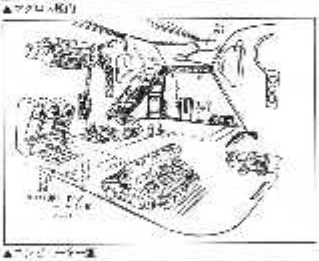


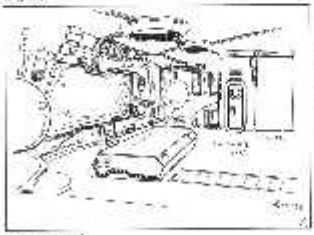


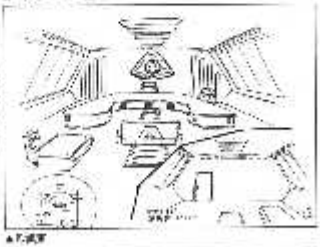


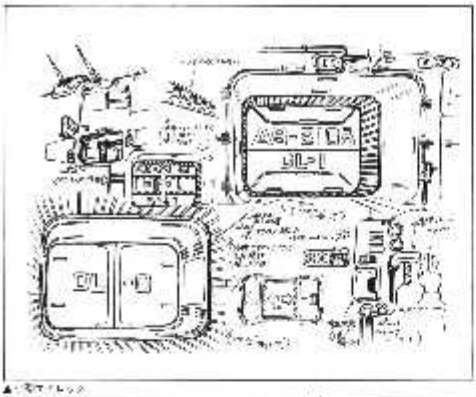


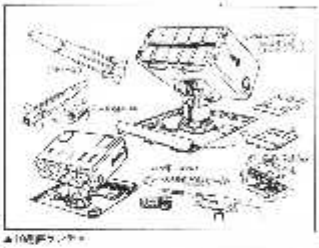


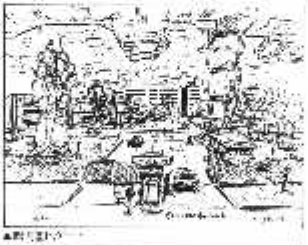


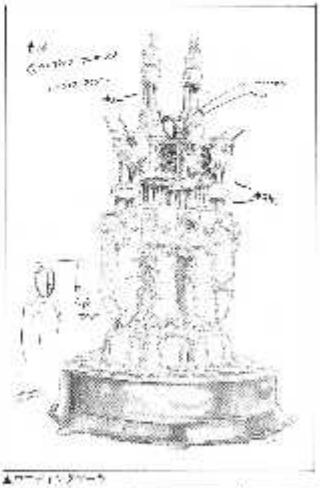


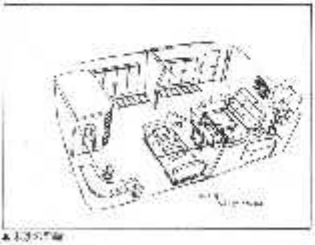


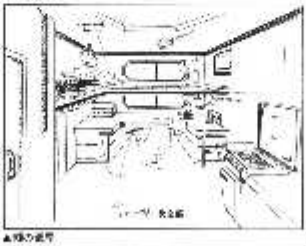


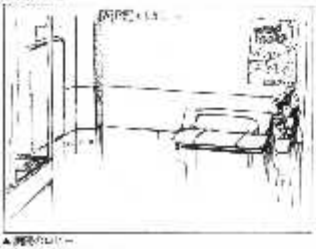


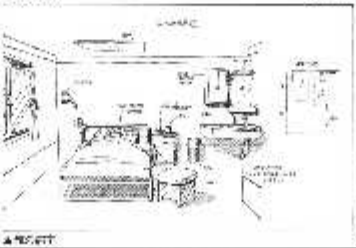




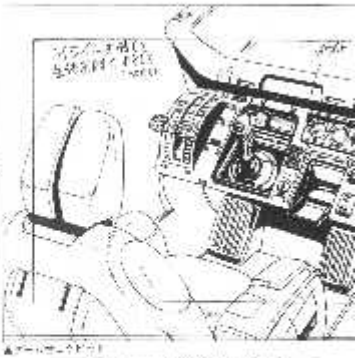


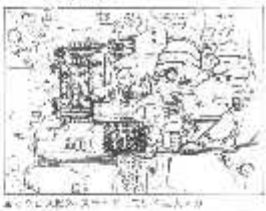


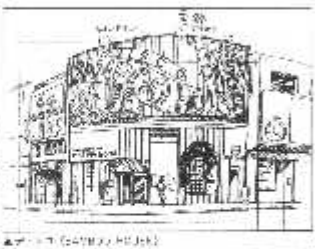


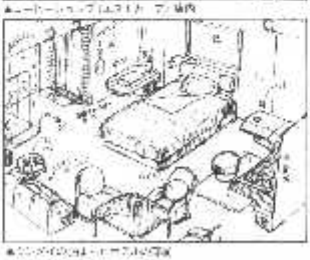


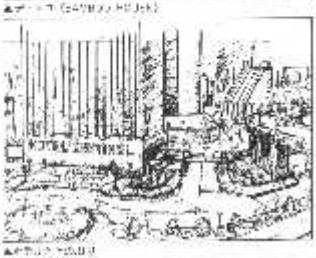
マクロス一般区域

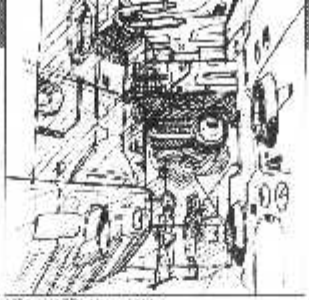


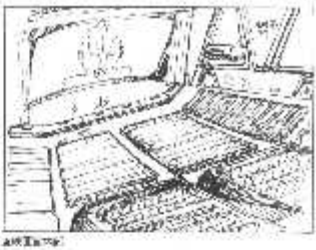




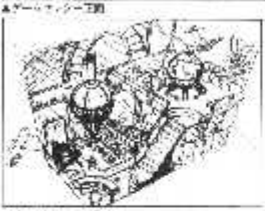


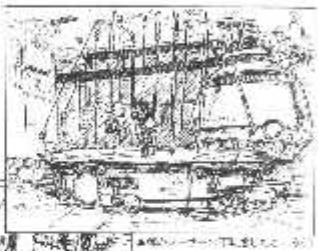


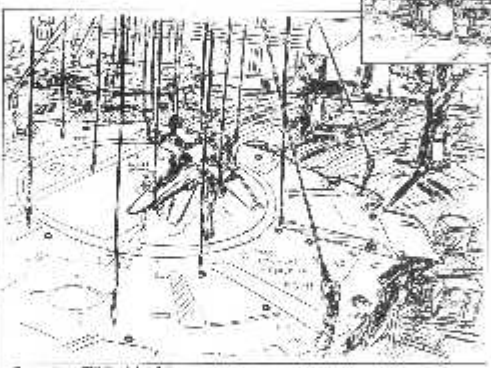


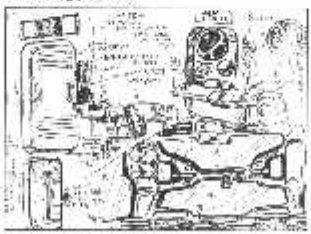


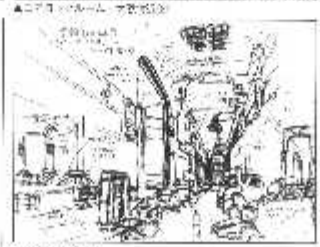
マクロス閉鎖区画



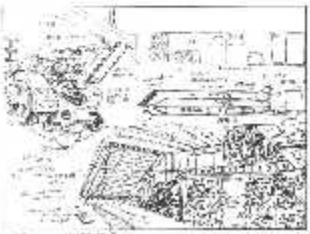


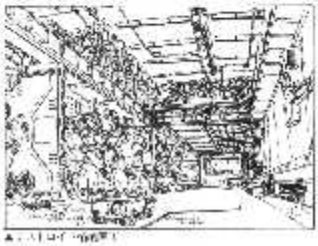




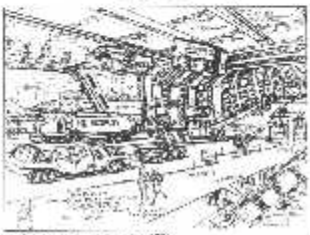


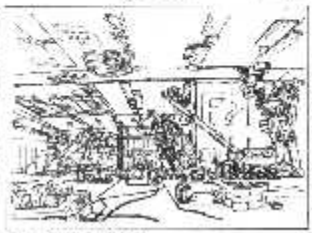
SLV-III 強襲大型揚陸艦 ダイダロス

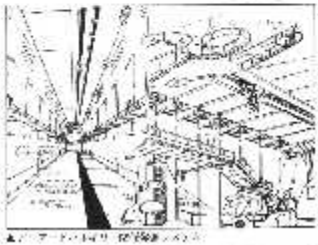


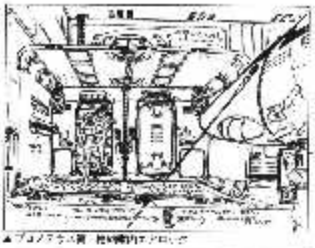


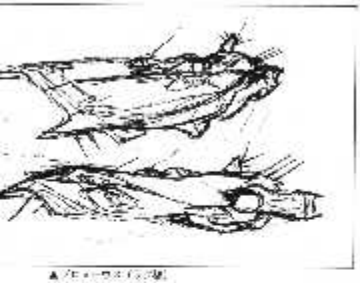
CVS-101 攻撃空母 プロメテウス

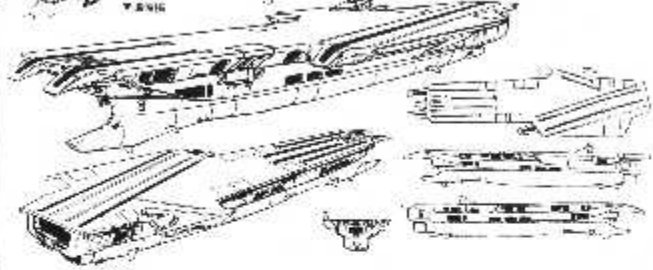


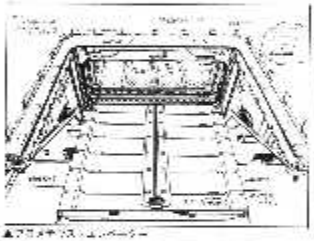


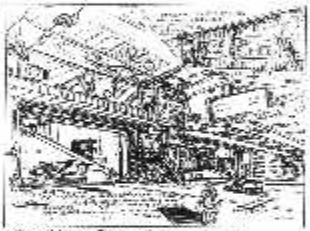


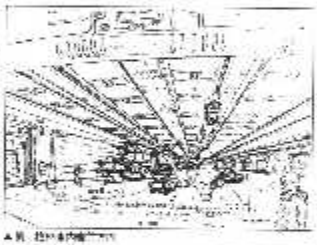


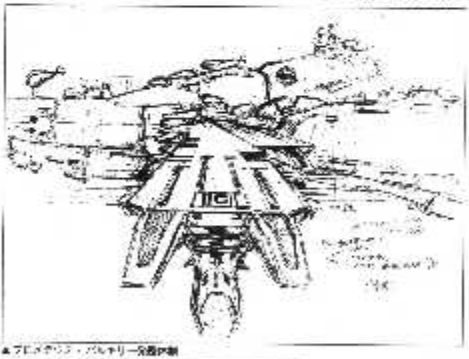


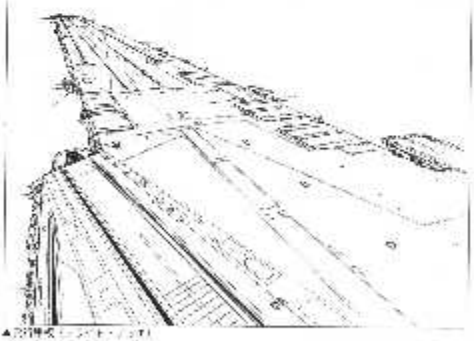


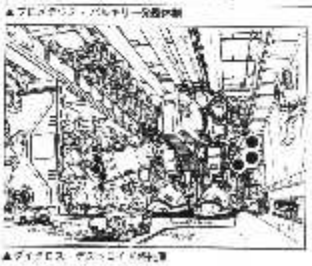


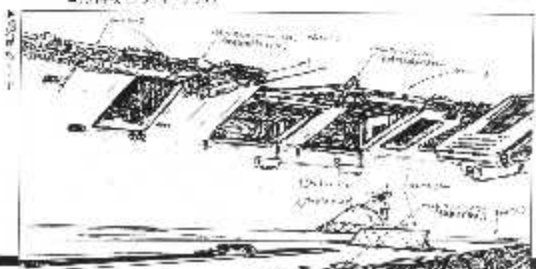




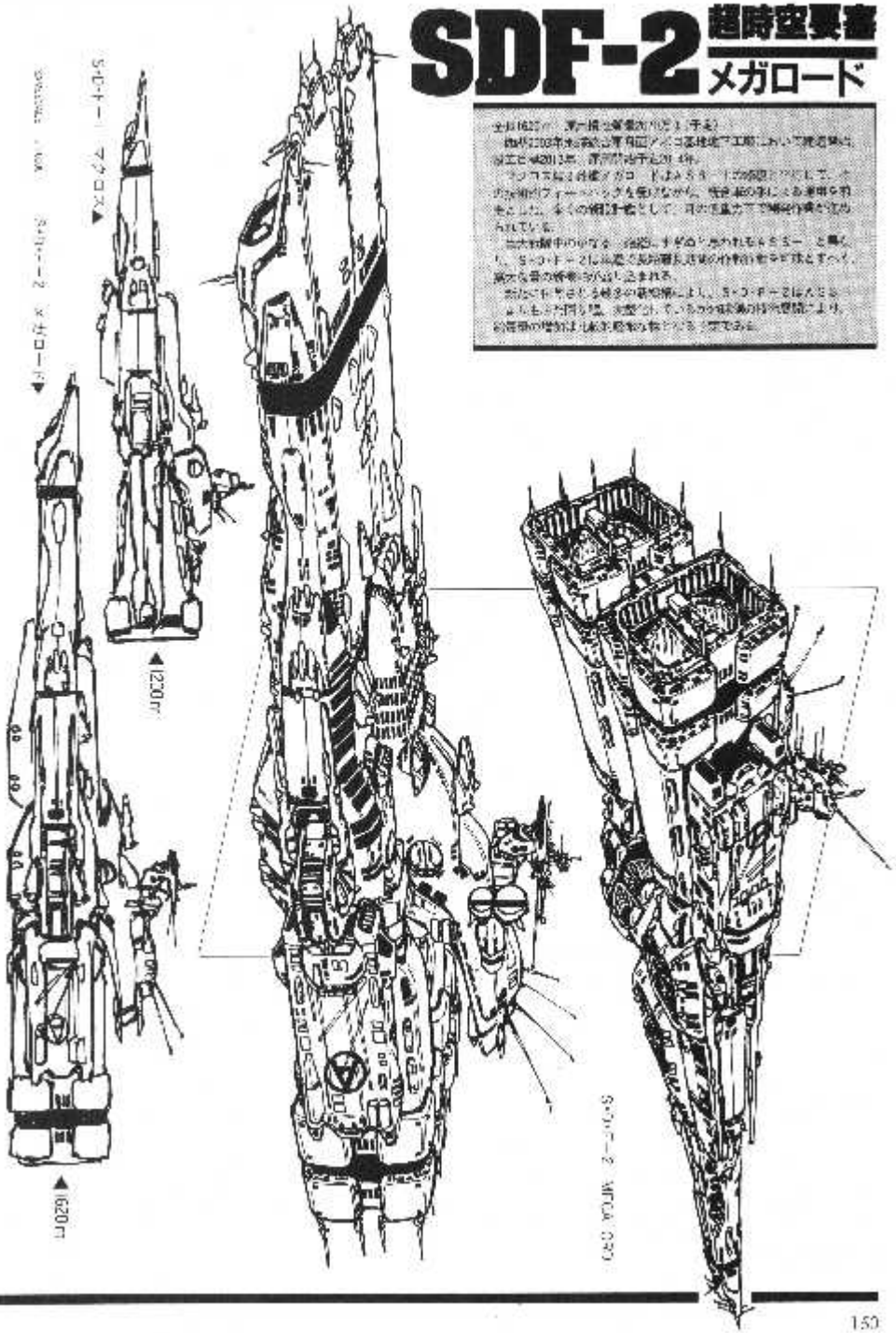




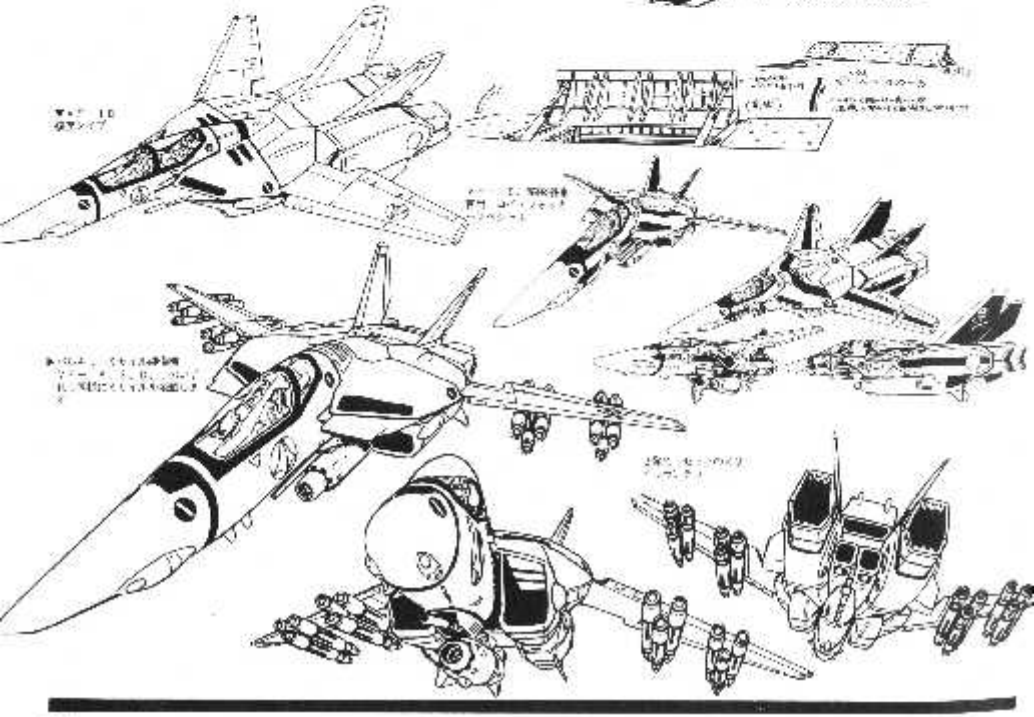


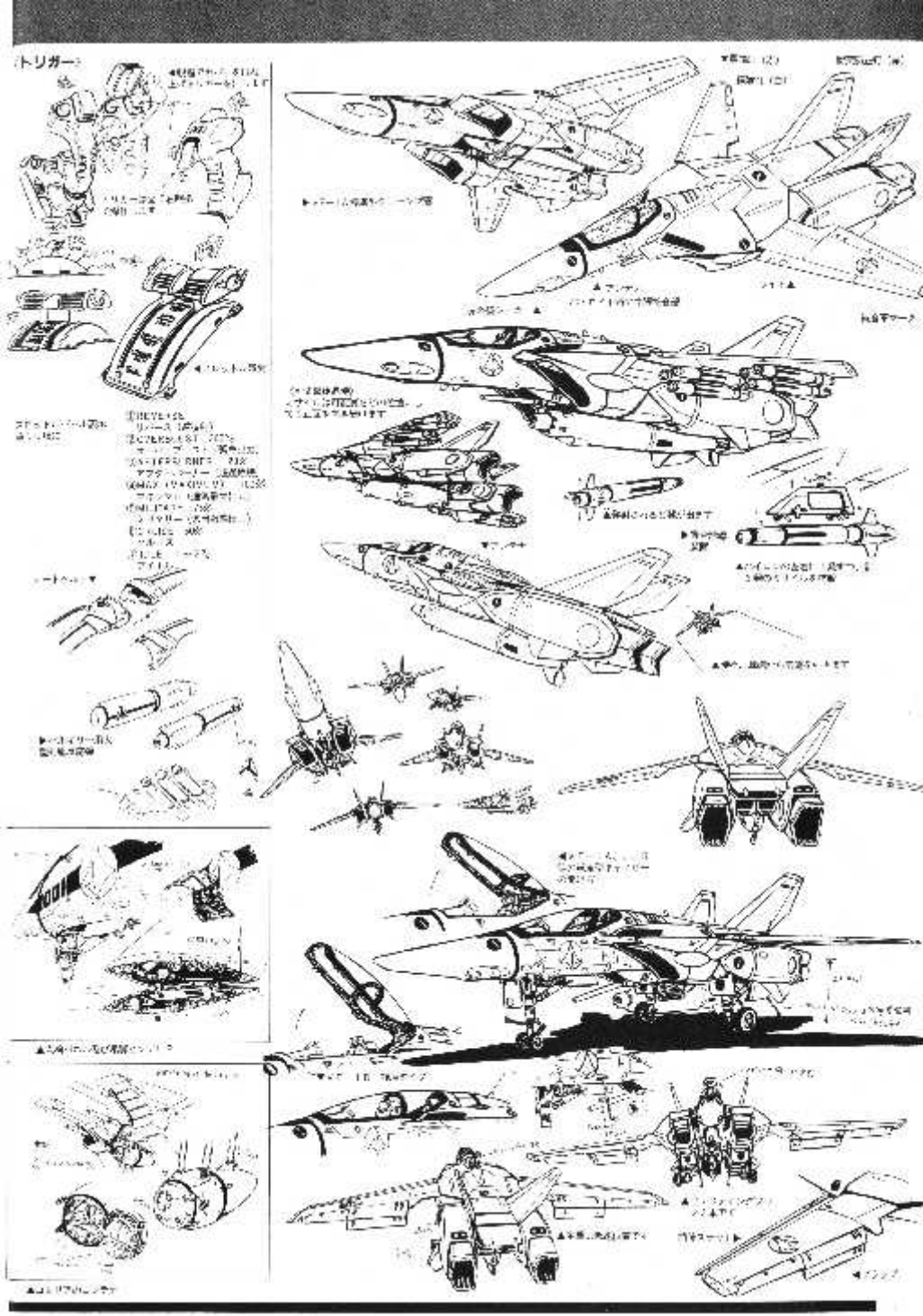


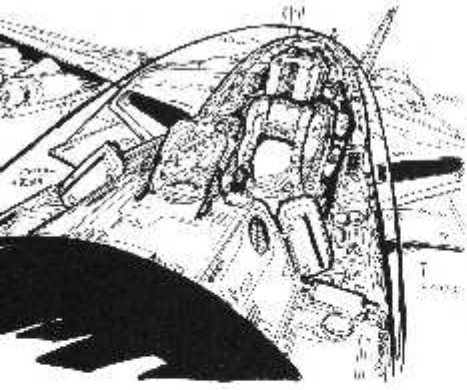
SDF-2 超時空要塞 メガロード

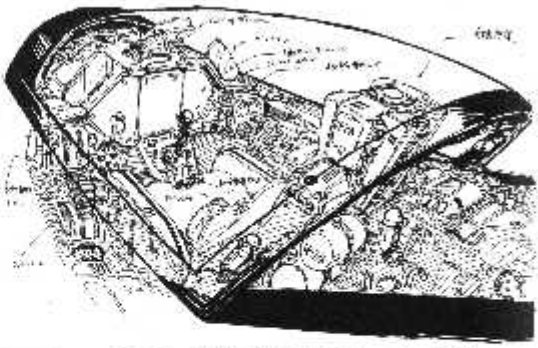


VF-1A・J・D・S 戦術戦闘バトロイド バルキリー・ファイター

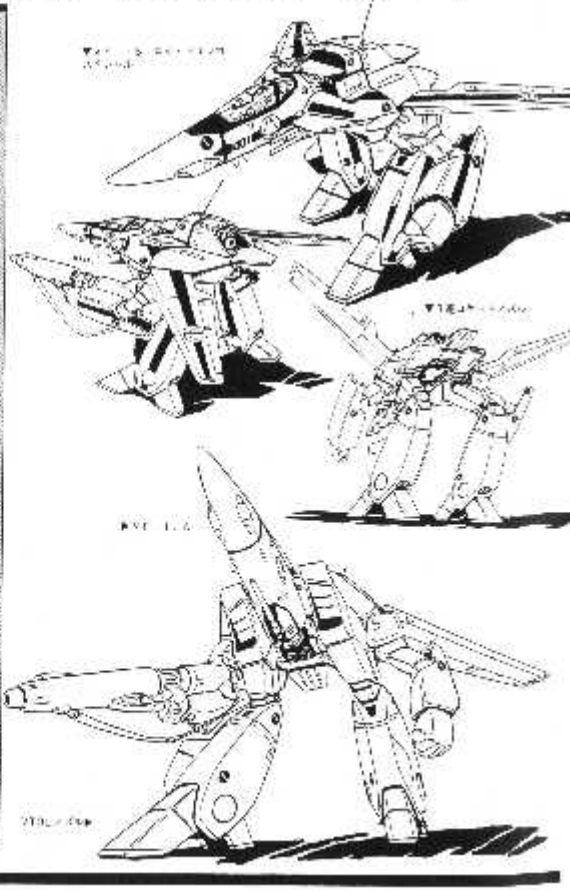



トリガー

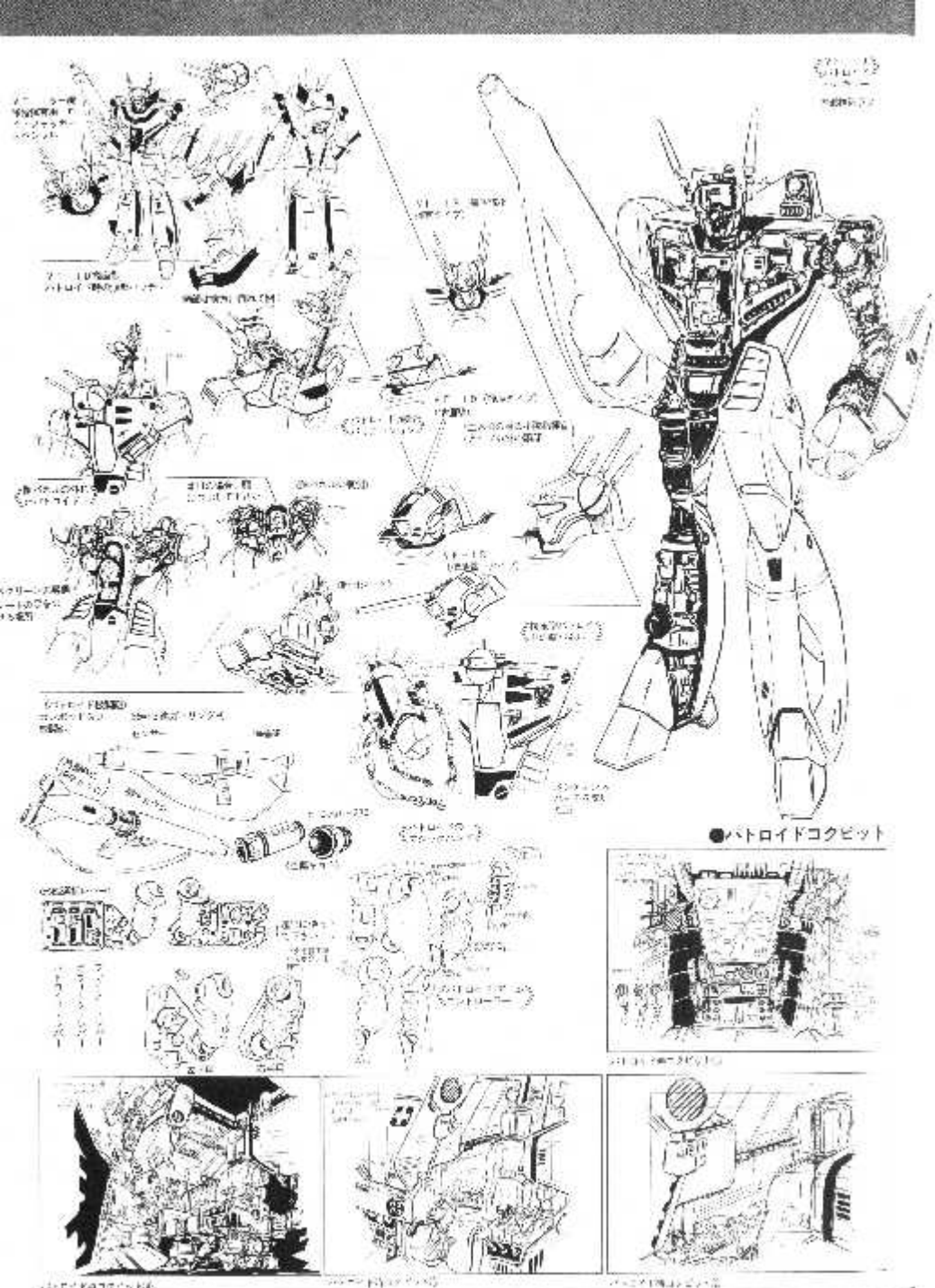




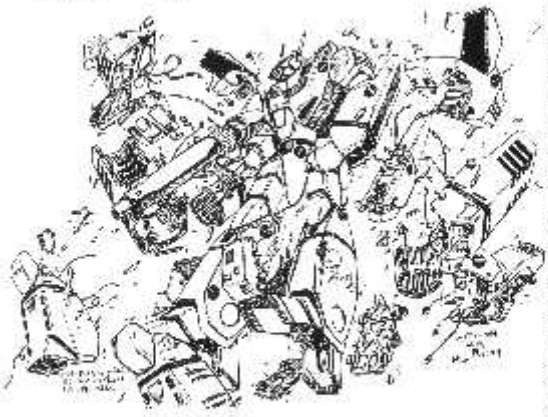
VF-1A·J·D·S 戦術戦闘バトロイド バルキリー・ガウォーク



VF-1A·J·D·S 戦術戦闘バトロイド バルキリー・バトロイド

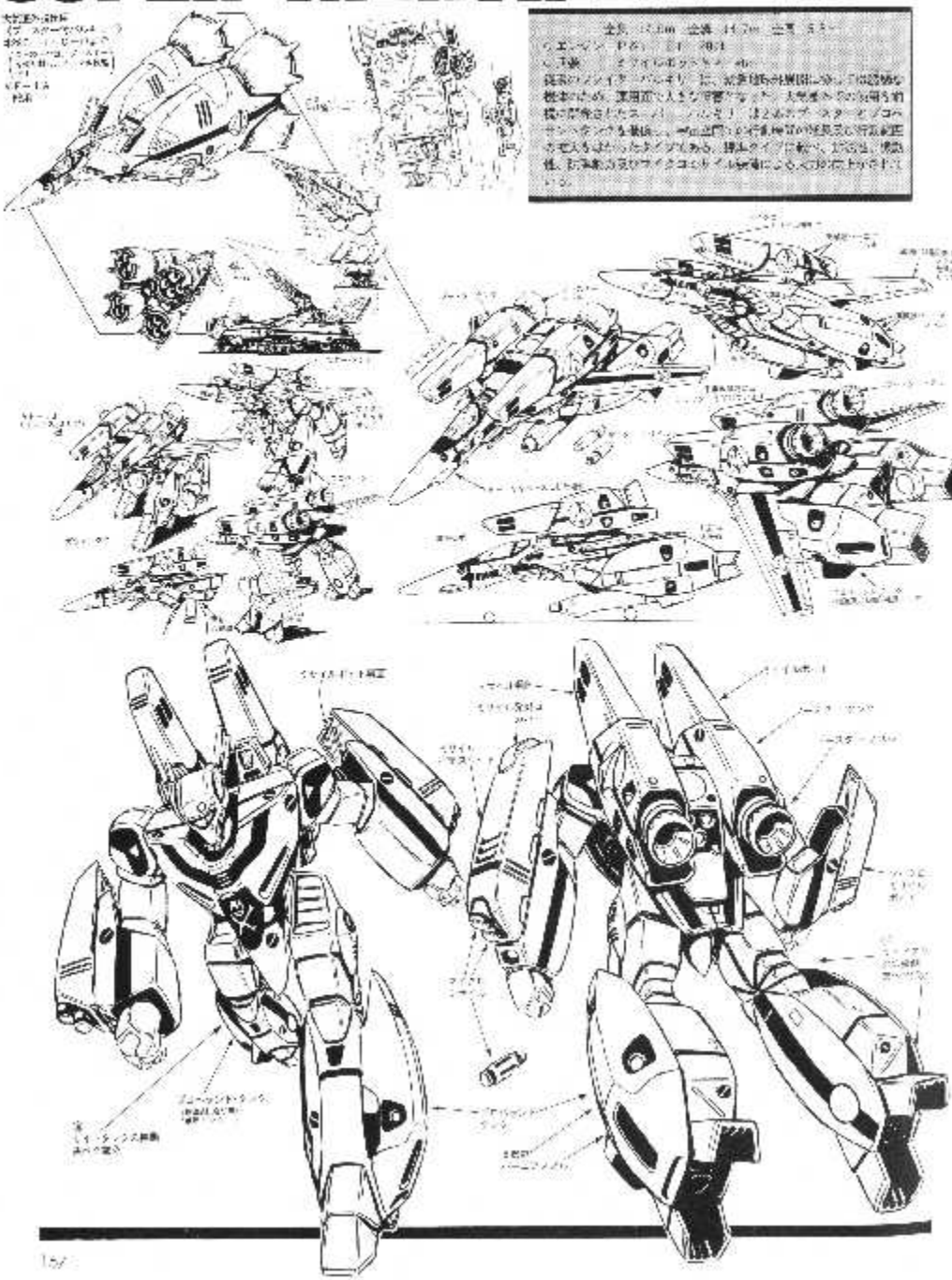

●バトロイドコクピット

VF-1A·J·D·S 戦術戦闘バトロイド
アーマード・バルキリー・VF-1J

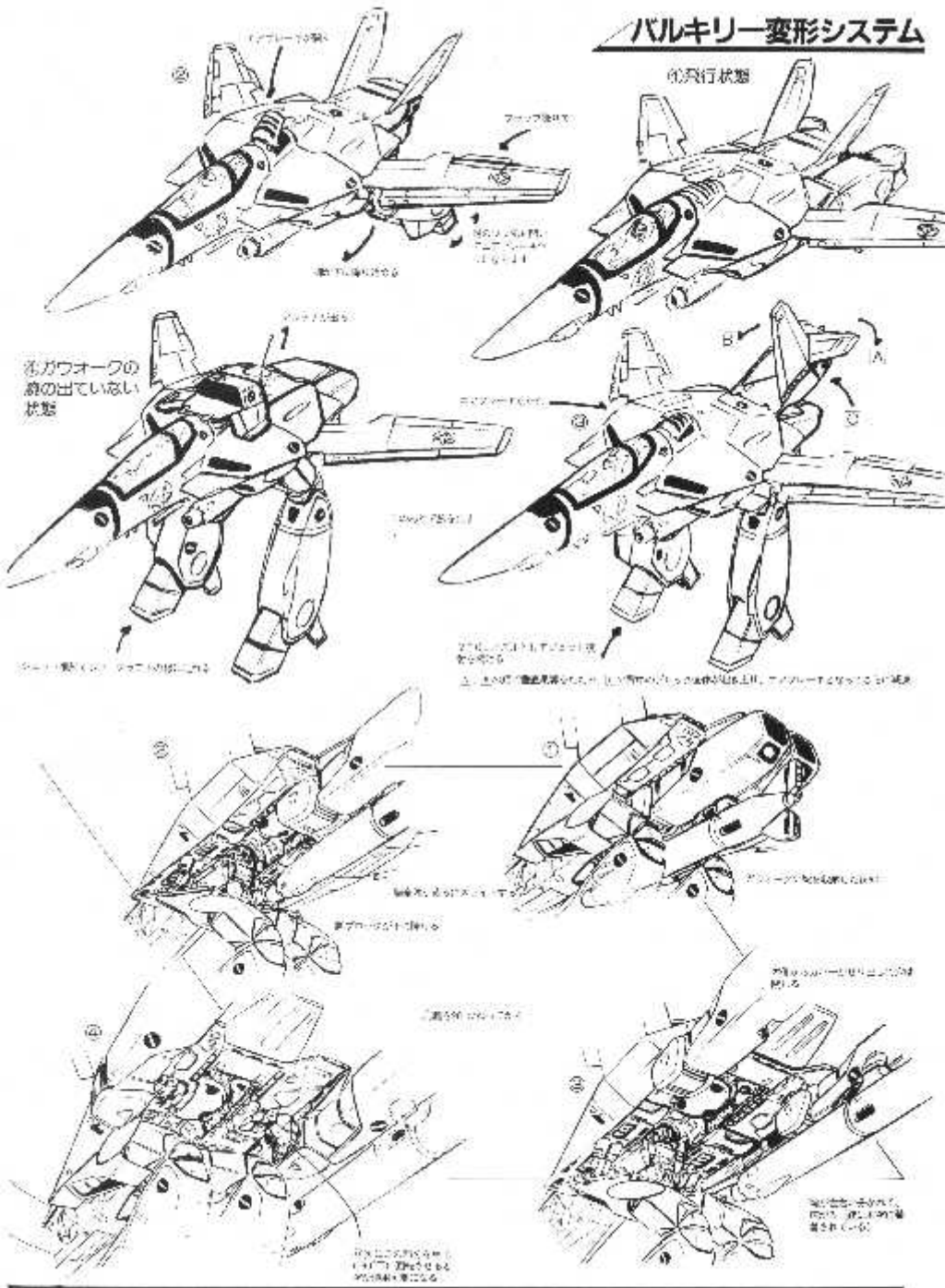


SUPER-VALKYRIE

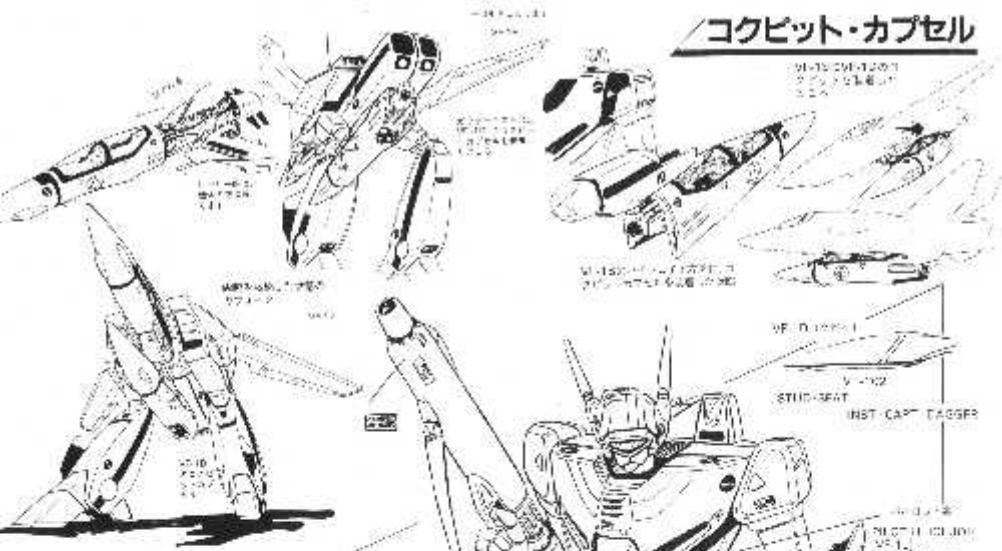
大気圏外専用ブースター装着型
スーパー・バルキリー



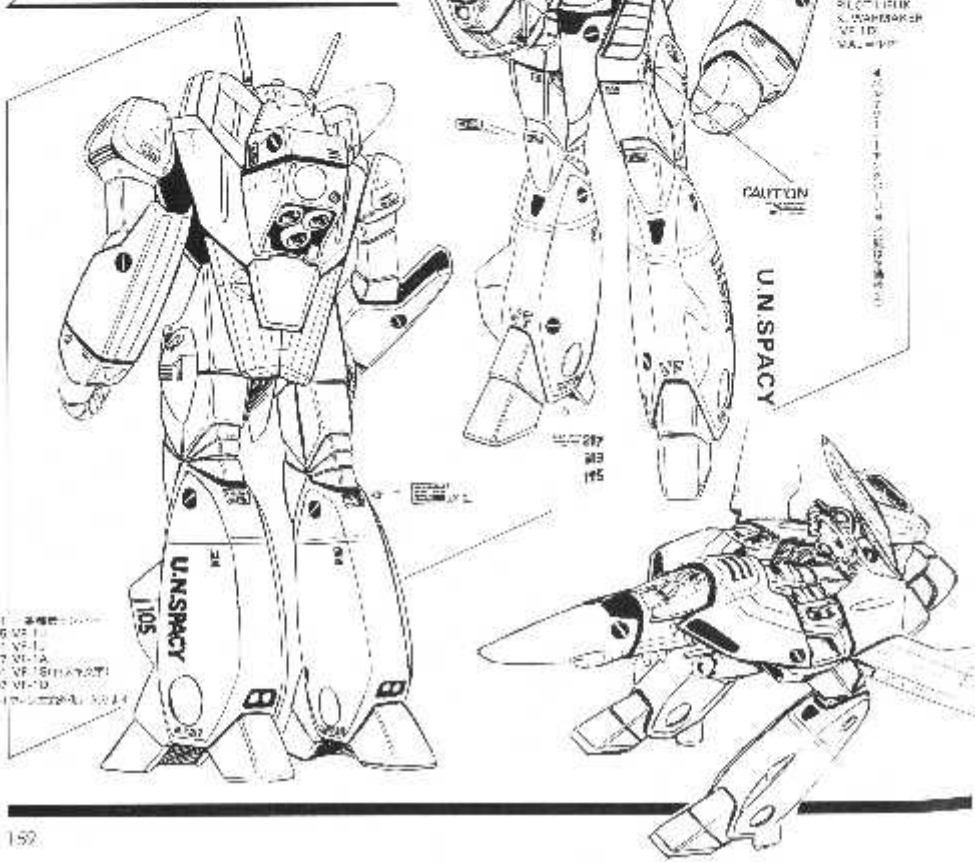
バルキリー変形システム



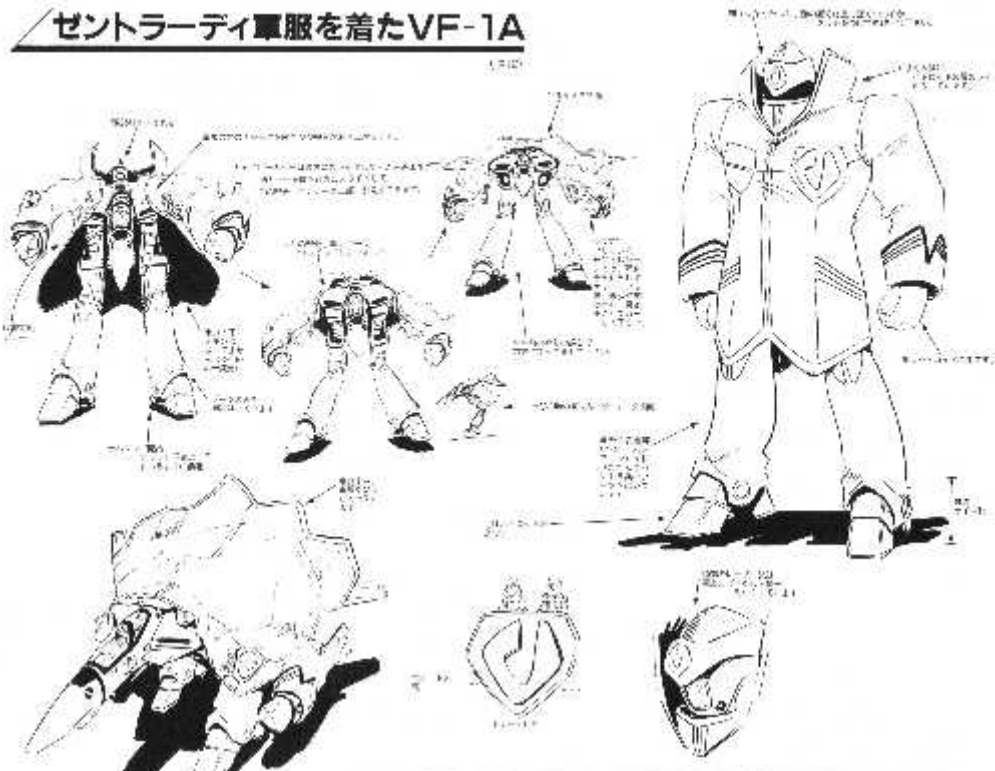
コクピット・カプセル



マーキングバージョン



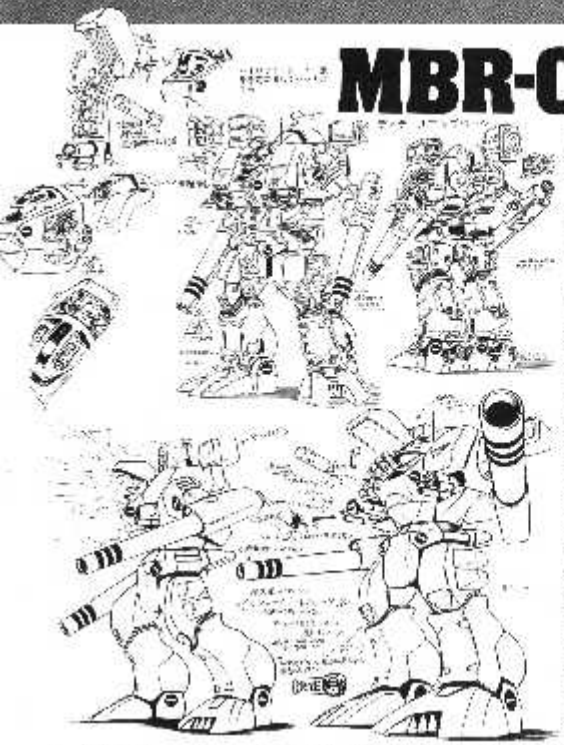
ゼントラーディ軍服を着たVF-1A



VF-X-4最新鋭試作可変戦闘機

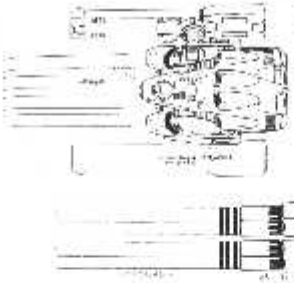
VF-X（試作機）飛行試験タイプ

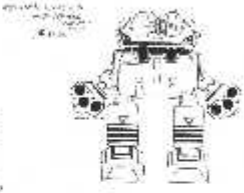
MBR-04-MK VI 重装破撃型 トマホーク

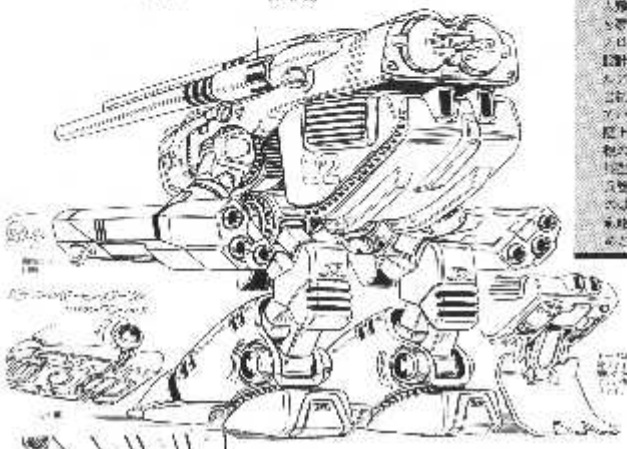


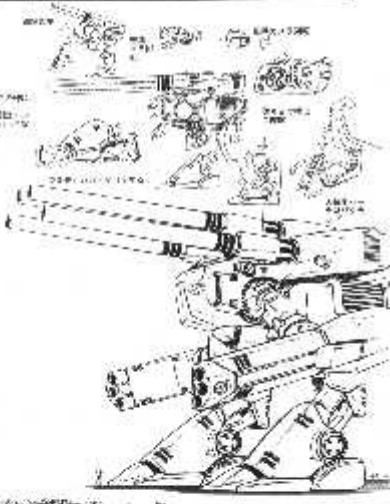
ADR-04-MK X 対突迎撃型 ディフェンダー

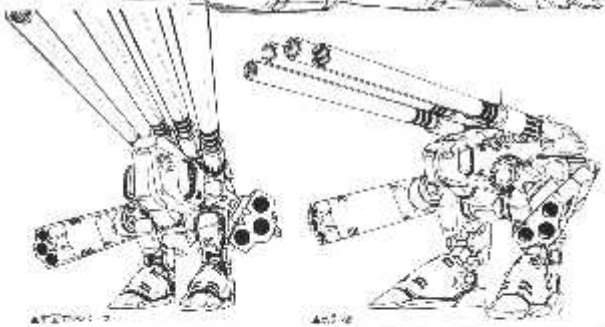
HWR-00-MKII 陸上非軌道兵器 モンスター

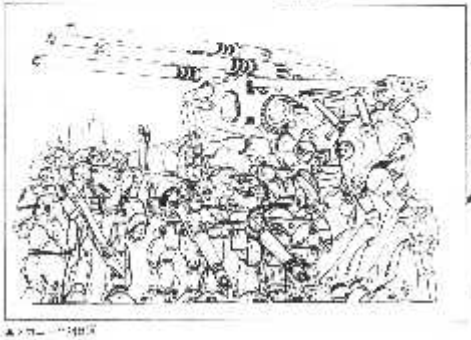


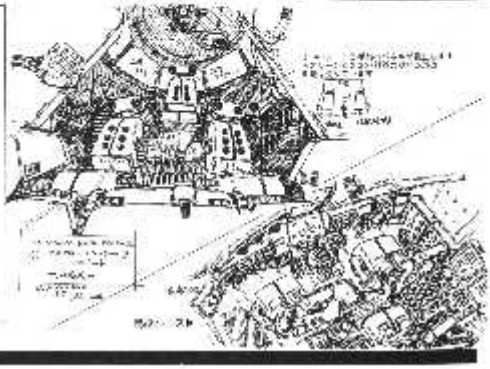










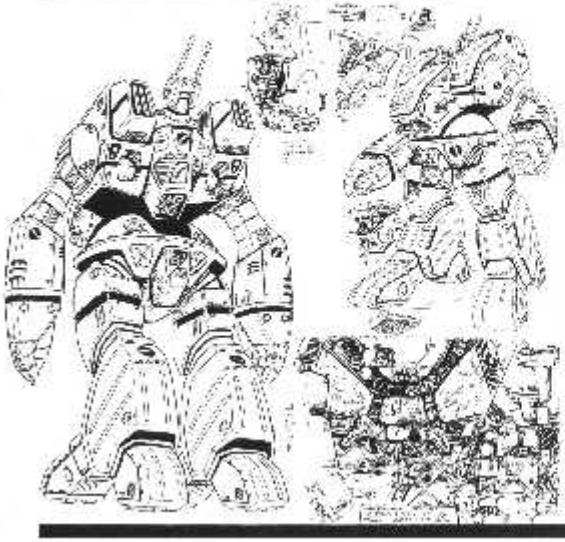


SDR-04-MK XII

大気圏外近接防御型
ファランクス

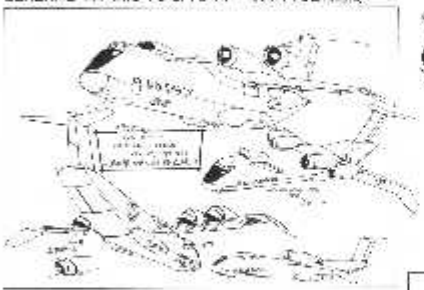
MBR-07-MK II

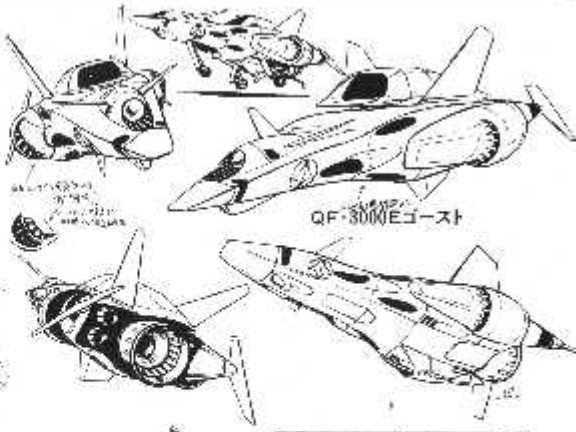
近接格闘攻撃型
スパルタン



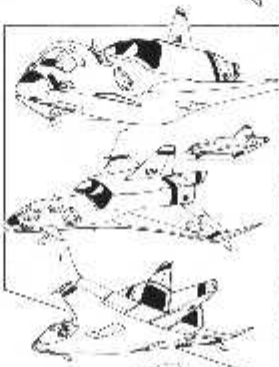
統合軍

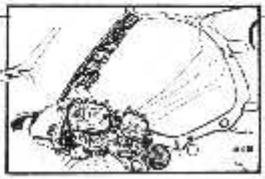
GENERAL TITANIC VC-27 FUNNY 大型VTOL作戦機



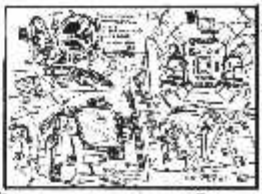


QF-3000Eゴースト



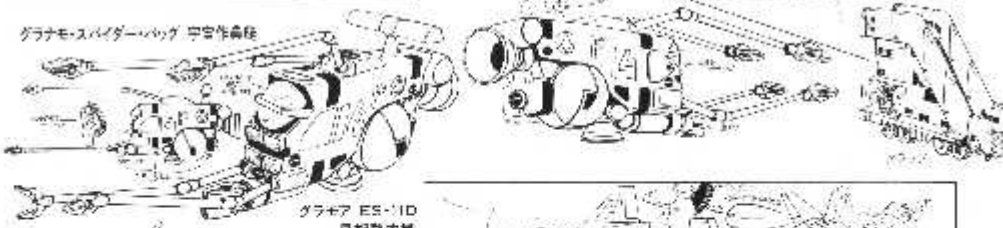


STONEWELL SC 27 STAR GOOSE SDF-1 可変戦闘マイクロシャトル

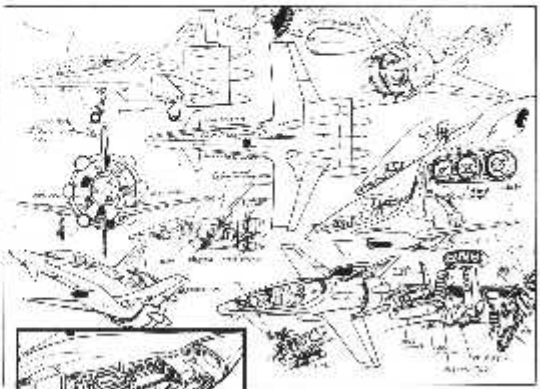


L-V-T アベンジャー3 陸上攻撃機(下)

グラナモ・スパイダーバッグ 宇宙作業機



グラキア ES-11D 量産型戦闘ポッド

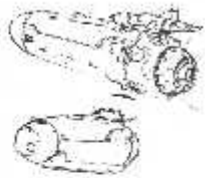


コクピット・テンティール

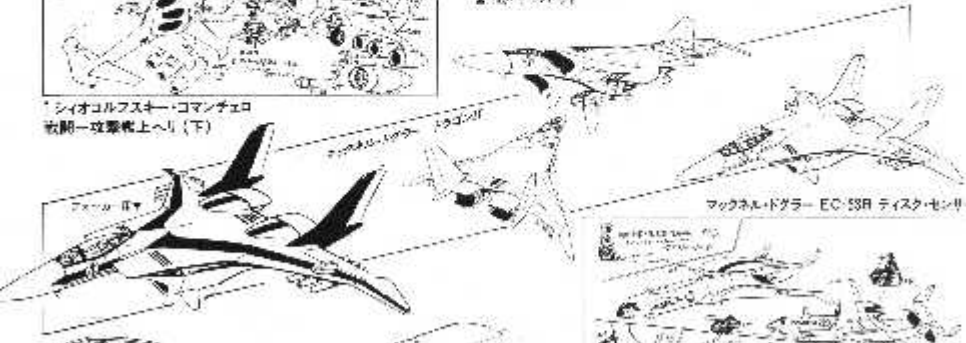
ファンレーサー

（上）
シオコルフスキー・シー・サージェント対潜一多用途機上ヘリ

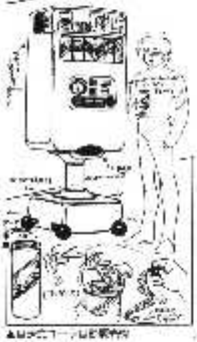
マイクロシートブースター



シオコルフスキー・コマンチェロ
戦闘一攻撃機上ヘリ（下）

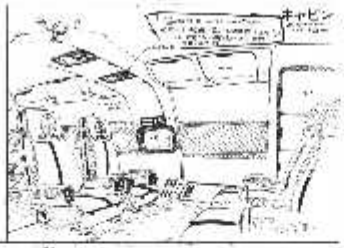


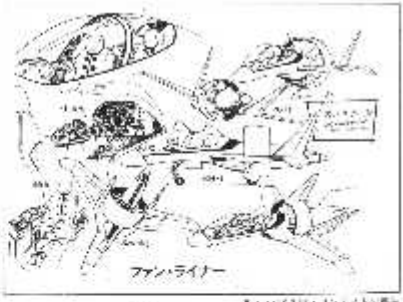
マックネル・ドグラー EC-33R ディスク・センサー



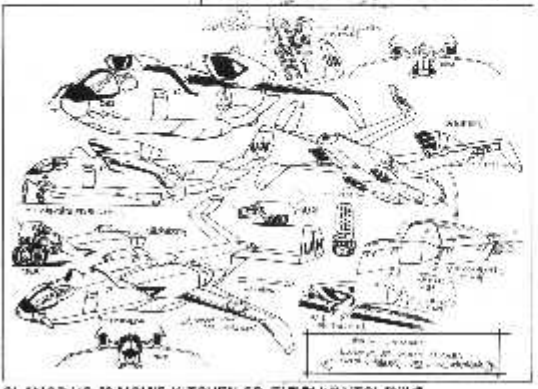
フォッカーD型 レプリカ
ターボプロップバージョン

キャビン



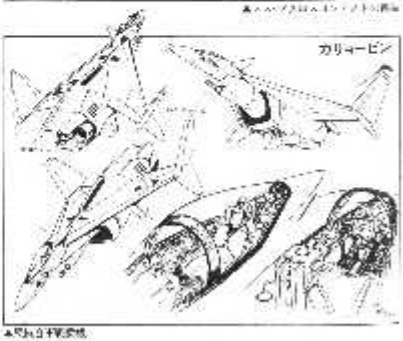


ファン・ライナー



GLAMOR VC-33 MOM'S KITCHEN SD-F1 戦闘小型VTOL輸送機

カリービン

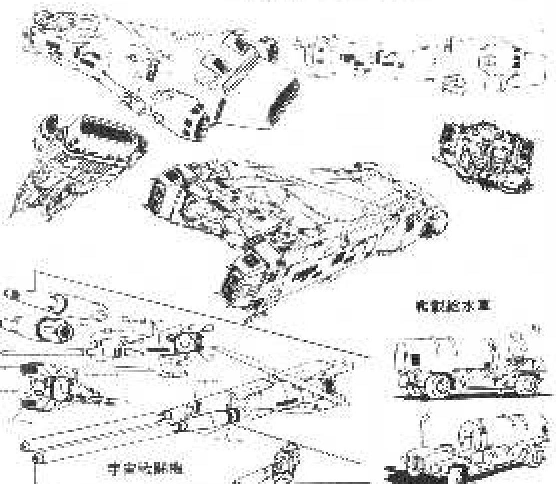


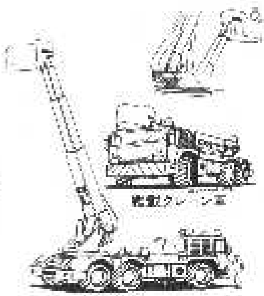
ARMD-01 アームド1 宇宙空母

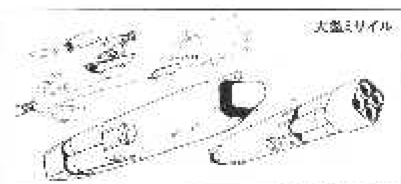
[illegible]

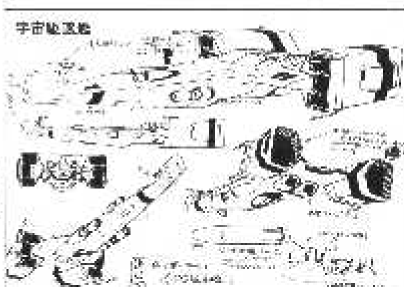
OF-3202E [illegible]

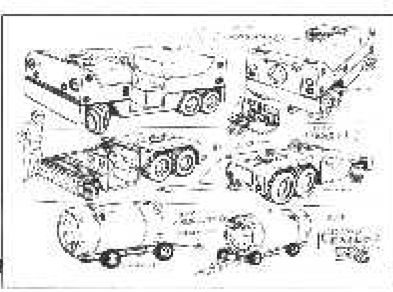
[illegible]





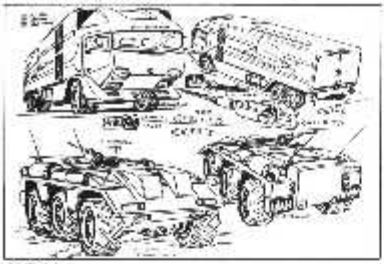




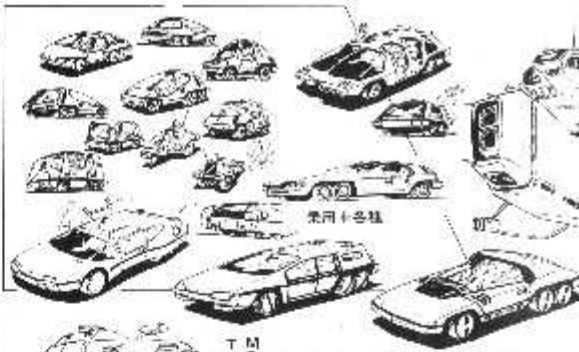


艦載消防車(上)
艦載牽引車(中)
艦載消火用タンク(下)

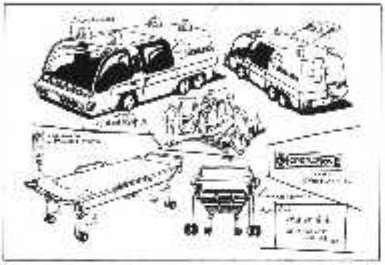
民間用大型トラック



装甲車



業用十各種

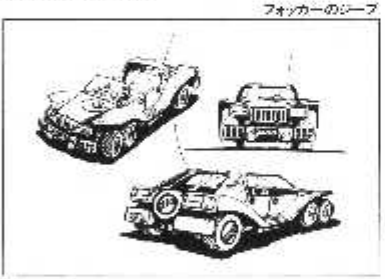


統合軍救急車・担架

MDS TVキ救車

館内企業電話

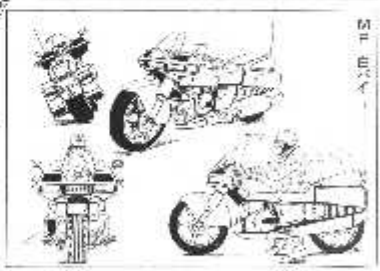
新日川重工 レッド・インペリアル99



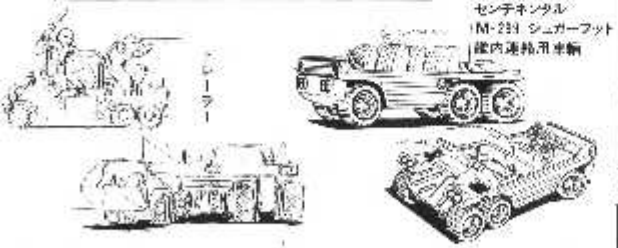
フォッカーのシープ

ミンダイ人形とそのケース

GN キャディラーダ 2007



センチネンタル M-234 シュガーフット 館内連絡用車輌



トラック

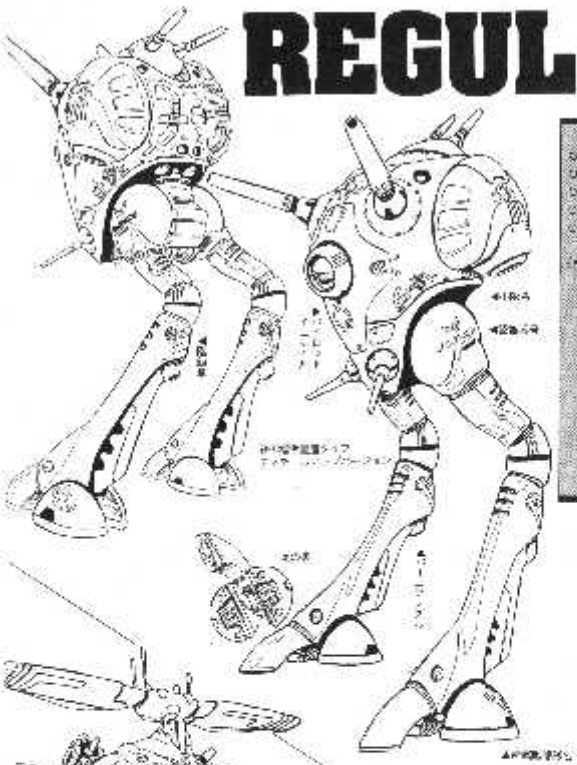
フォークリフト

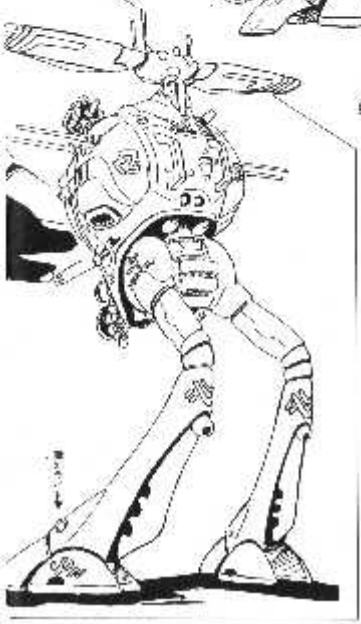
GN XM-3002 ジャンキー 各戦大気圏内外兼用車輌

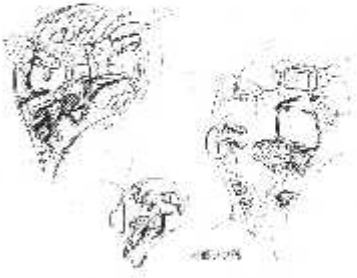
大型トレーラー

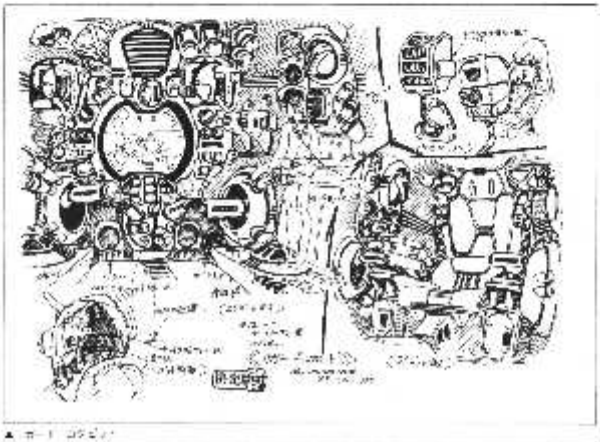
ゼントラーディ枢軸軍

REGULT ワンマン戦闘ポッド リガード

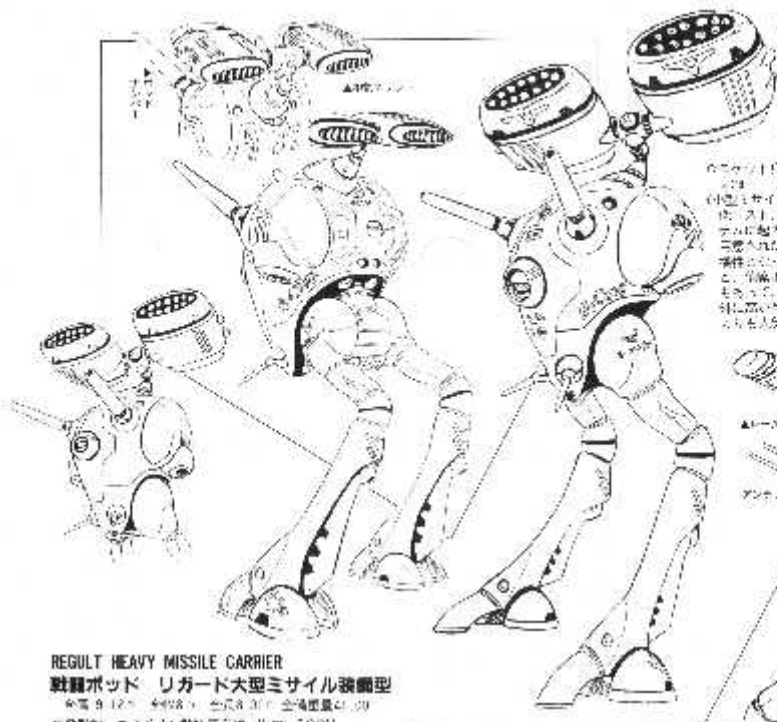






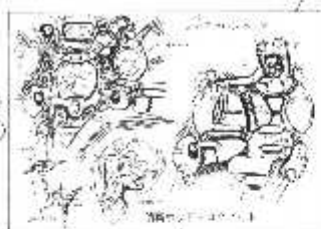


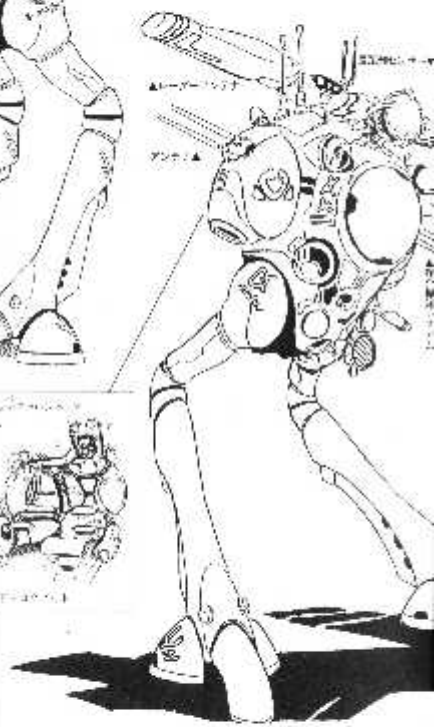
▲ リガード コクピット



REGULT LIGHT MISSILE CARRIER
戦闘ポッド　リガート小型ミサイル装備型

REGULT HEAVY MISSILE CARRIER
戦闘ポッド　リガード大型ミサイル装備型





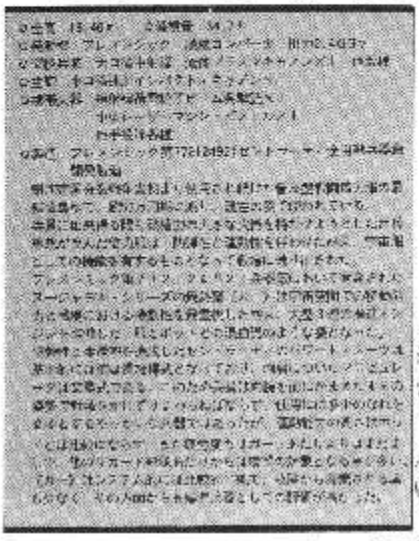
REGULT TACTICAL SCOUT TYPE
ワンマン偵察ポッド　リガート

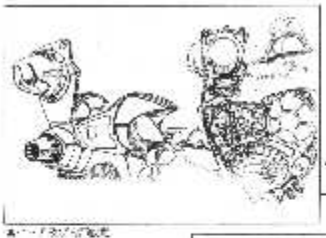
GLAUG ワンマン戦闘ポッド グラージ

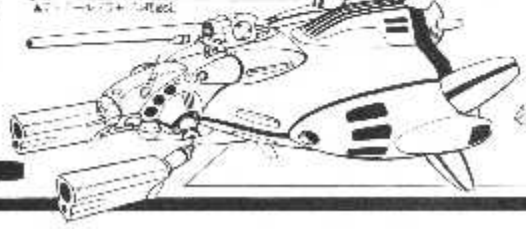
大型空戦ブースター付グラージ

NOUSJADEUL-GER

一般用パワード・スーツ
ヌージャデル・ガー

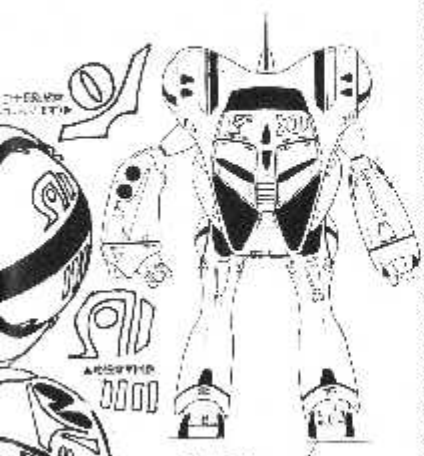


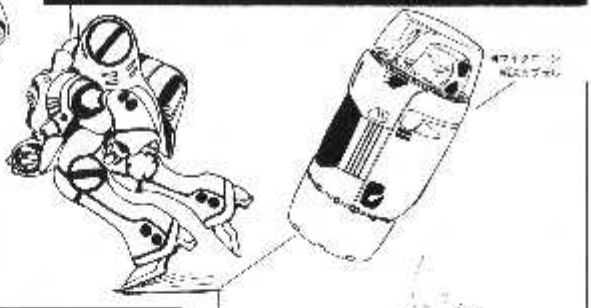


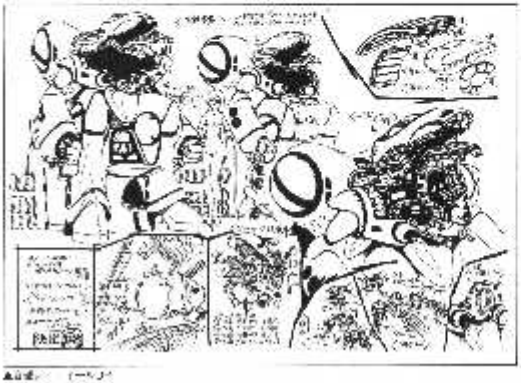


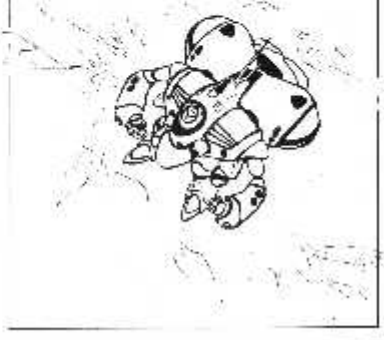
UN-RAU 婦人部隊用高機動バトル・スーツ

クァドラン・ロー

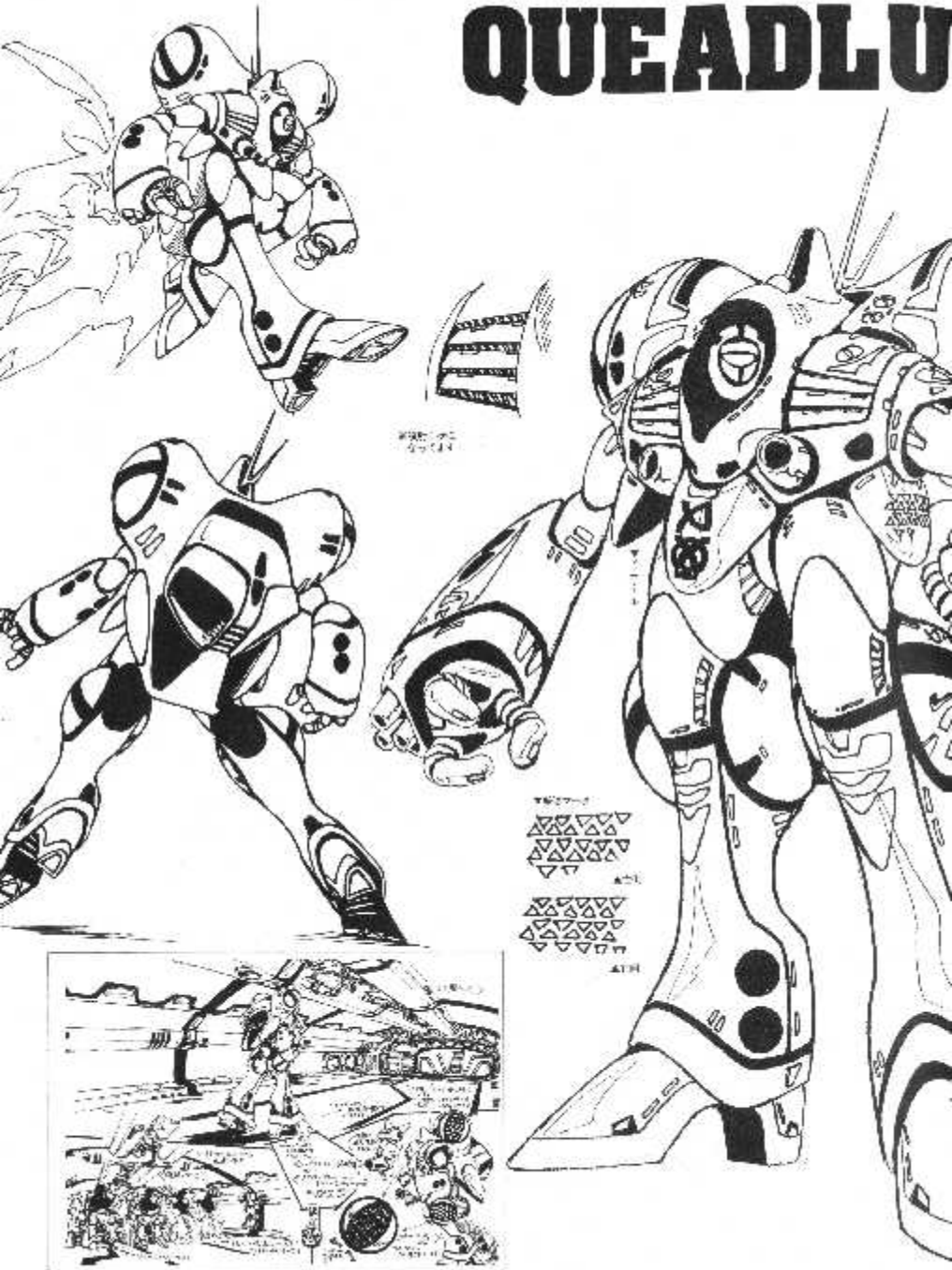




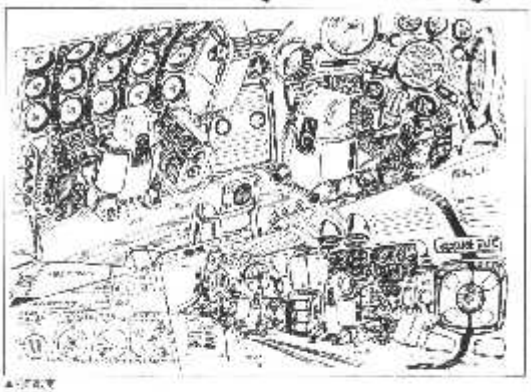


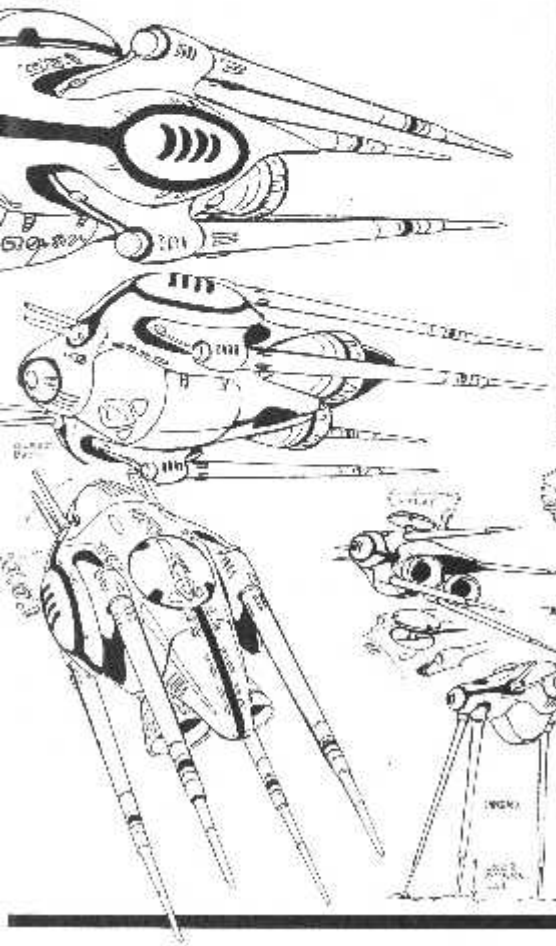


QUEADLU

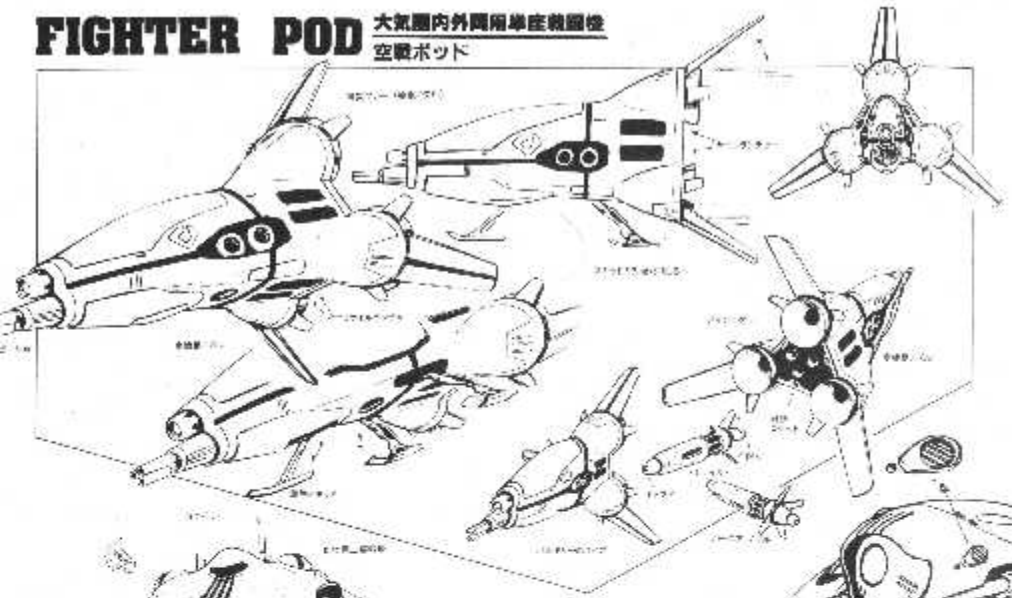


QUEL-QUALLIE 司令部偵察ポッド ケルカリア



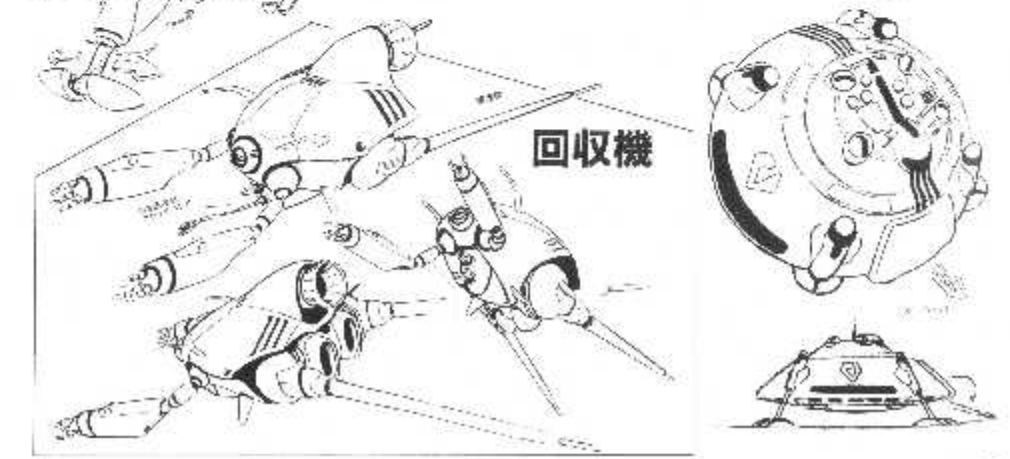


FIGHTER POD 大気圏内外両用単座戦闘機
空戦ポッド



RE-ENTRY POD 大型降下ポッド

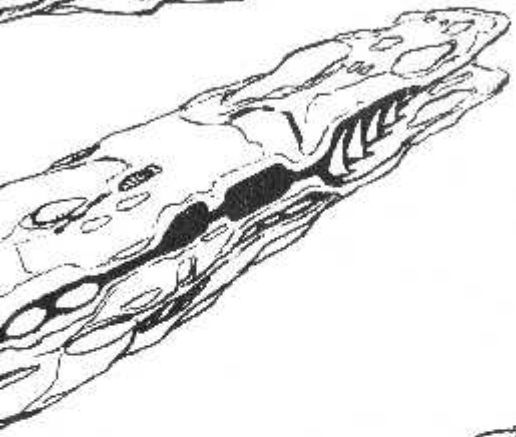
回収機

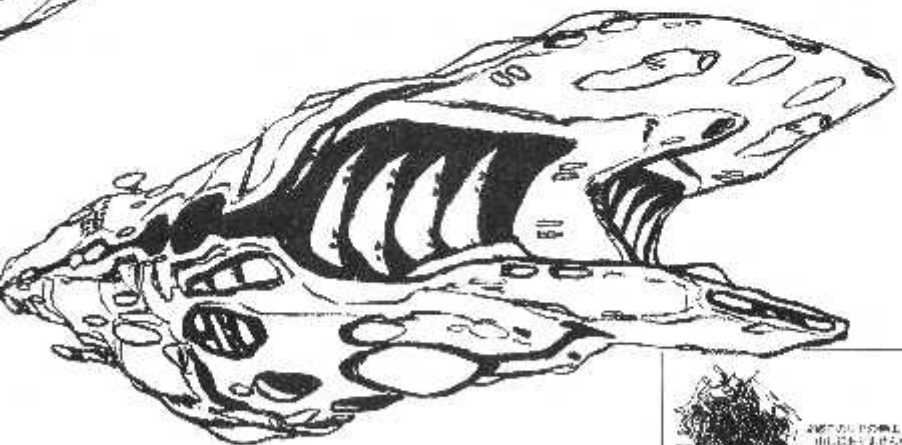


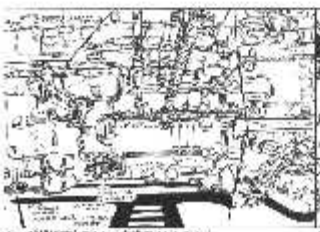
NUPETIET-VERNITZS V VI III I

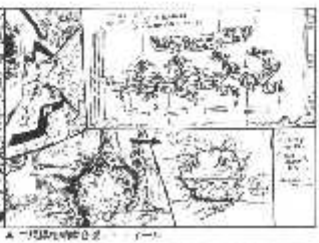
中型艦隊指揮用戦艦

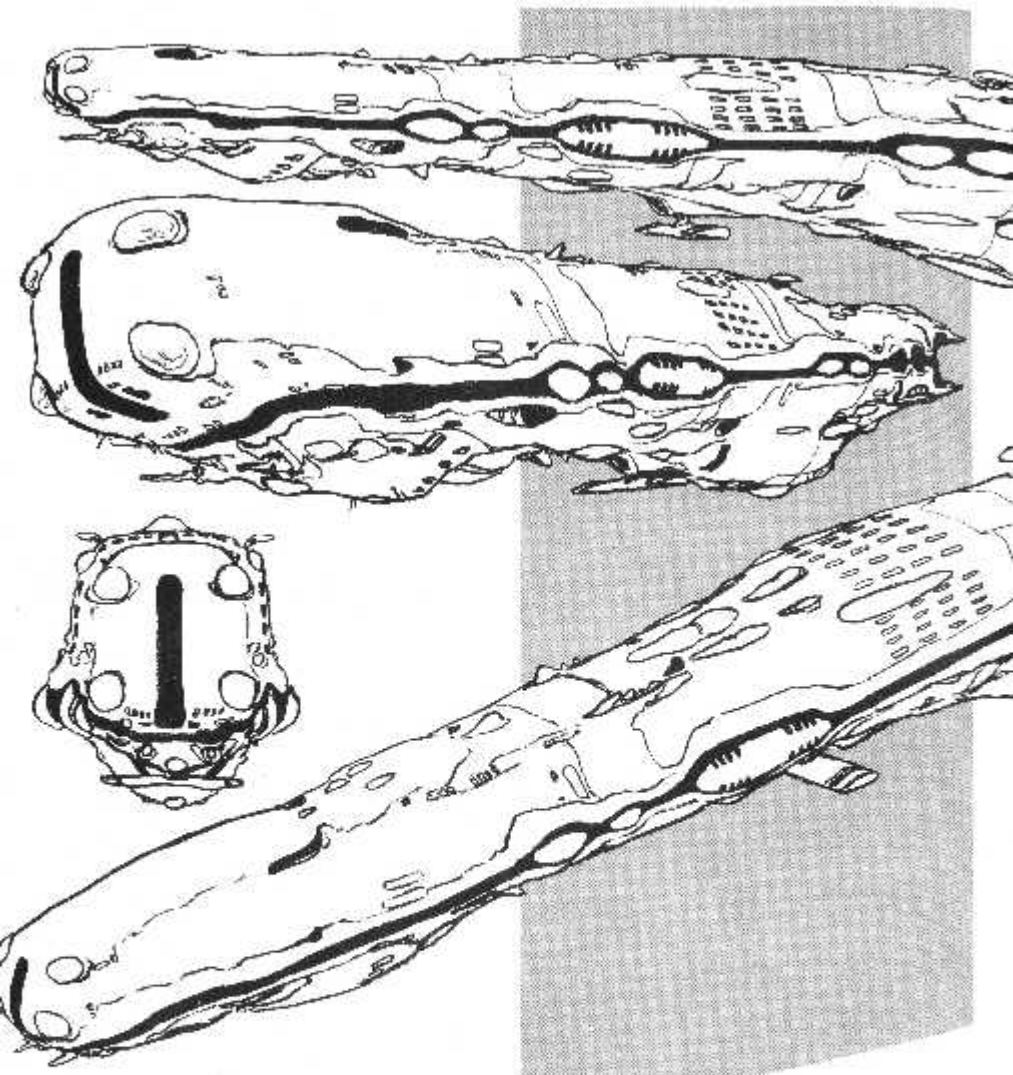
ノプティ・バガニス5631

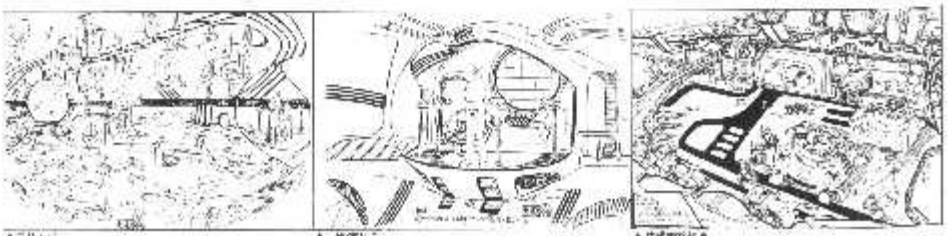








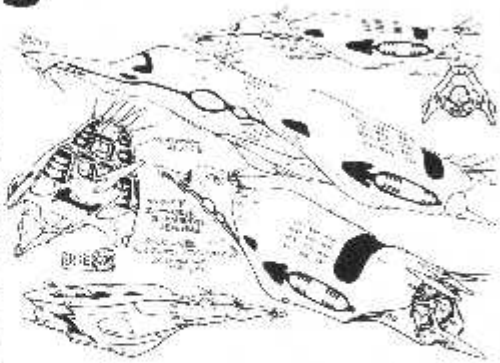


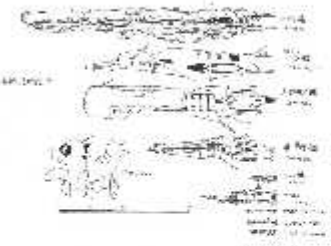


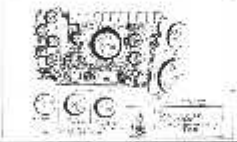
Queadol-Magdomilla XXVII

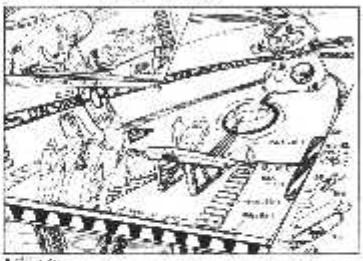
艦隊指揮用戦艦

ケアドゥル・マグドミラ10107

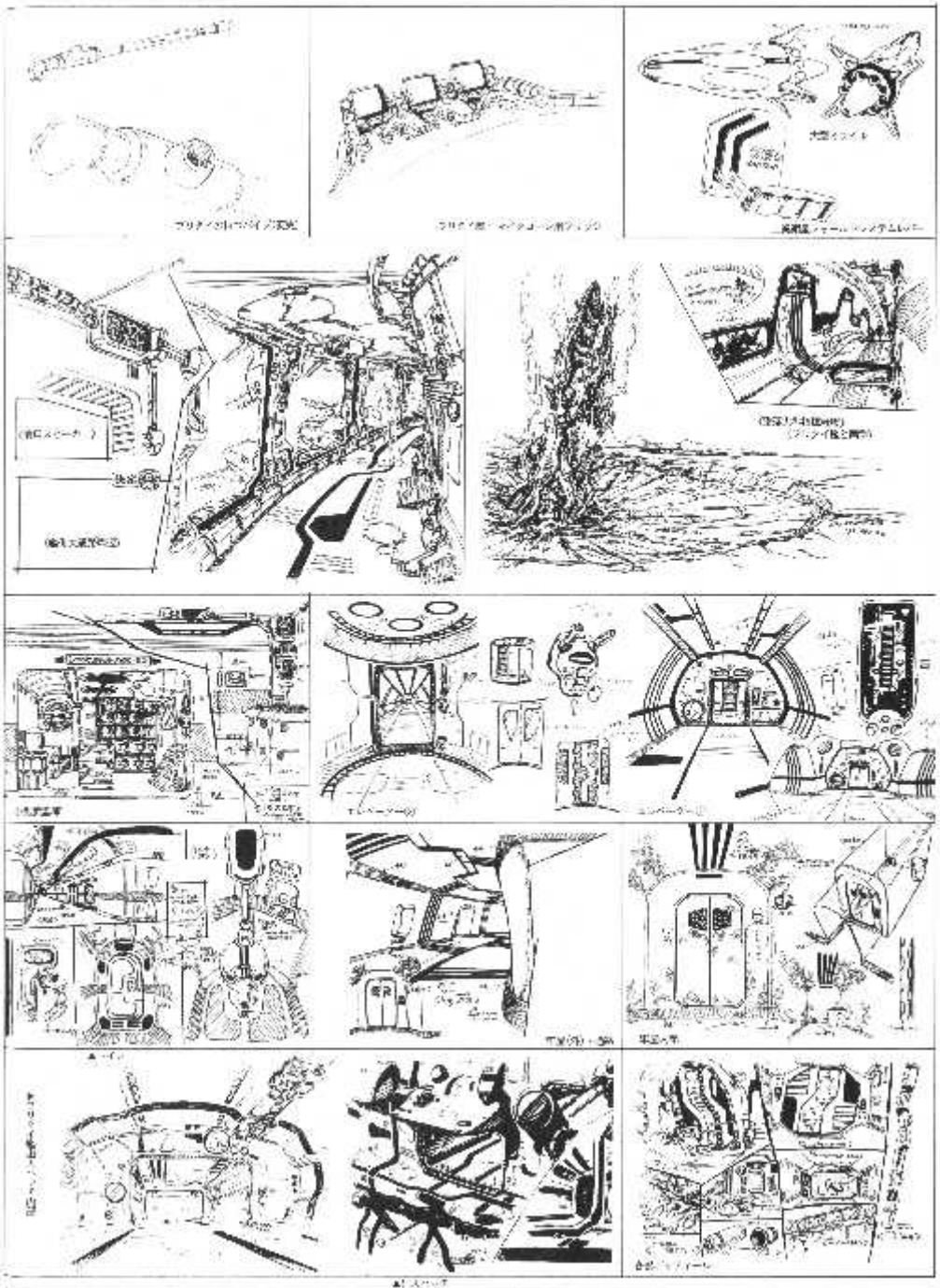


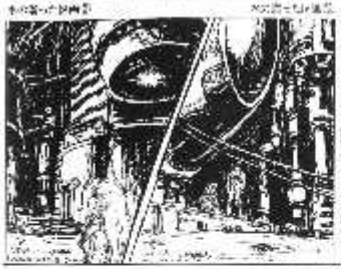


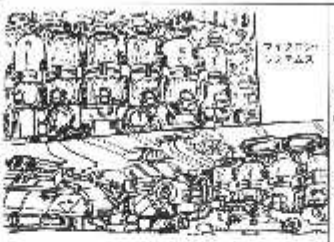


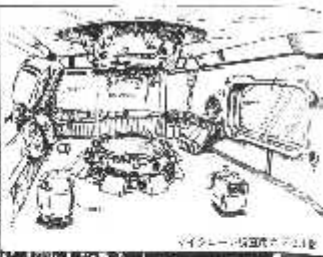


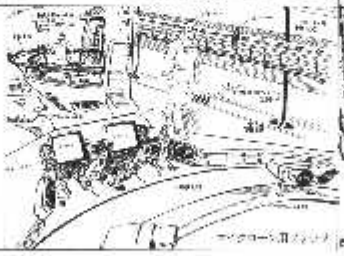
中型砲艦

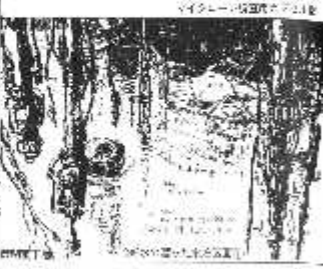


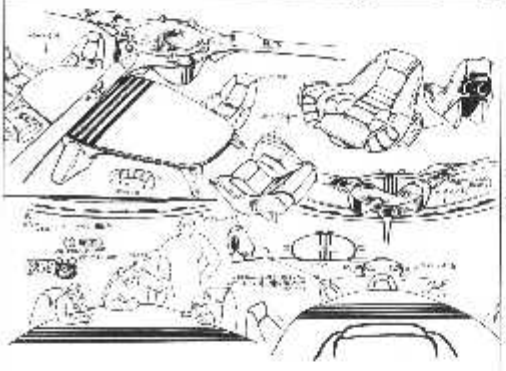


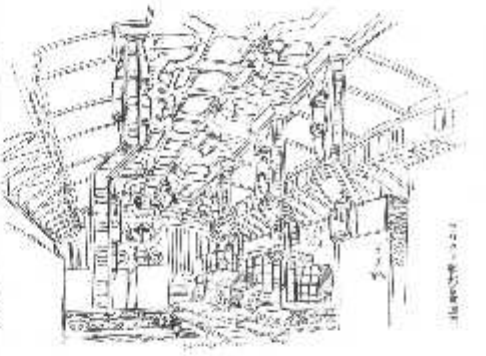


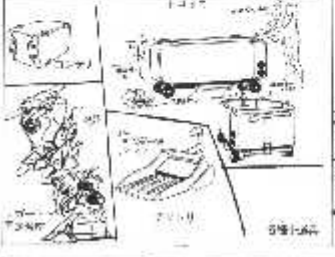


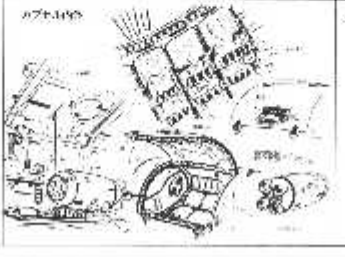


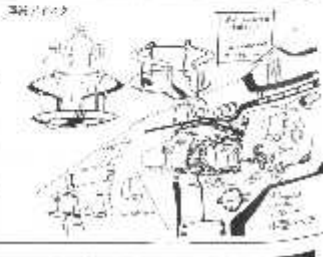








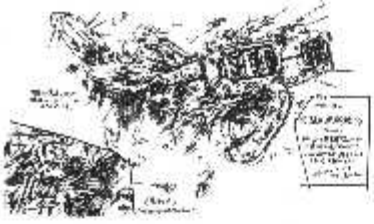


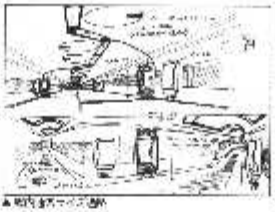


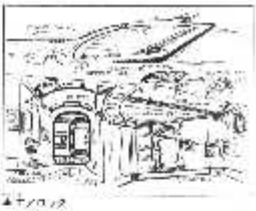
Thuverl Salan

標準戦艦
スヴァール・サラン

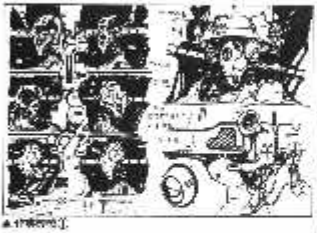
監察軍戦艦(クラッシュド)

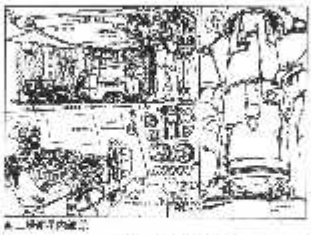


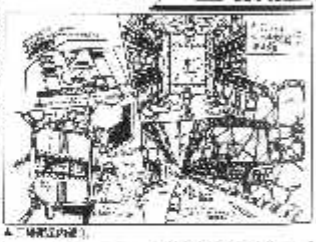


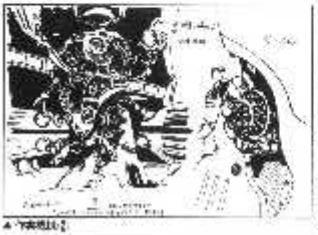


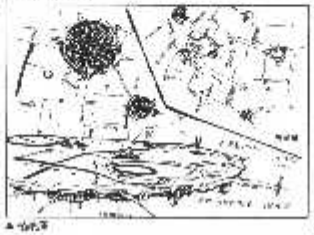
工場衛星





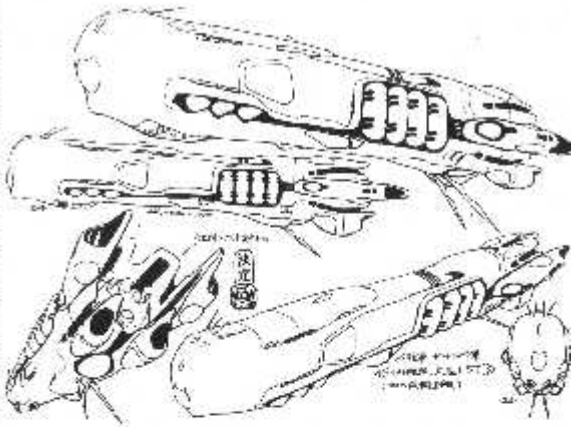




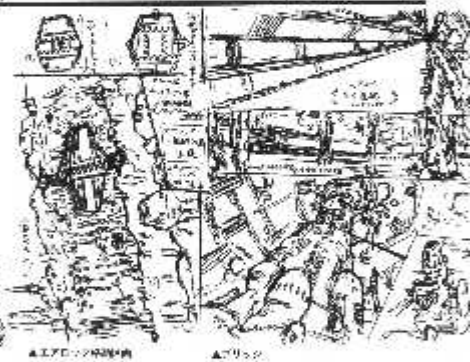


Quiltra Queleual

惑星揚陸強襲艦
キルトラ・ケルエール(LST)

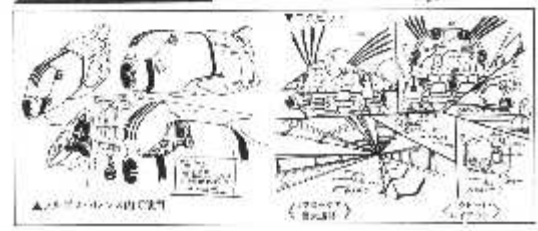


超巨大母艦フルブス・バレンスIV II X I



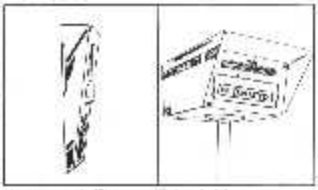
斥候艦(ピケット艦)

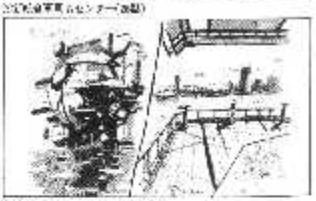
小型連絡艇

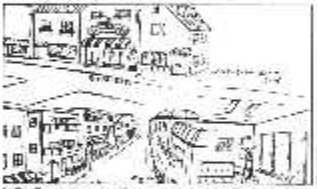


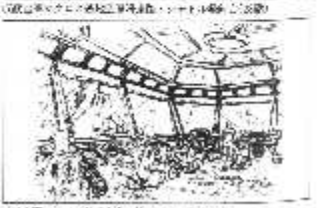
ART

マクロスシティ







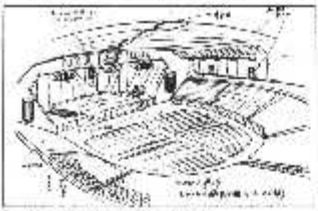


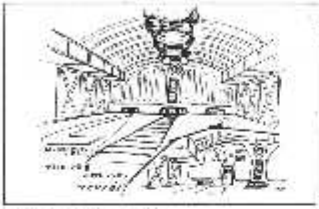
オノギシティ

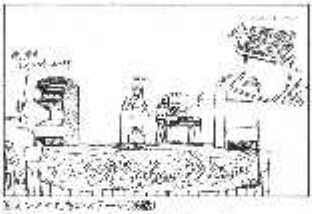
サウスコーストシティ

ハイランダーシティ

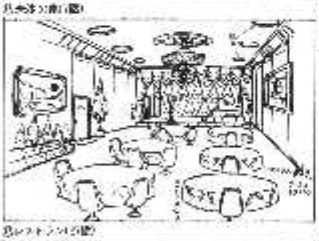
グランテシティ



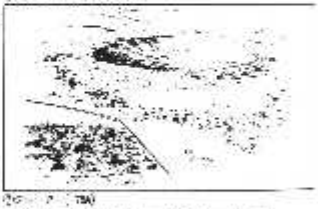


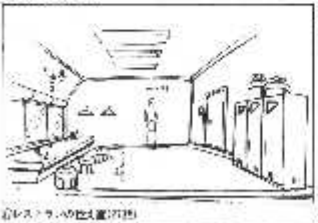


オンタリオ自治区

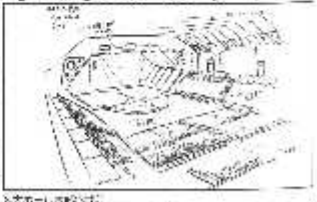


トラッドシティ

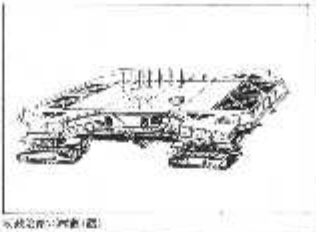


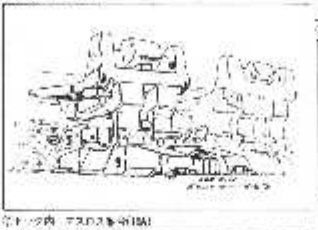


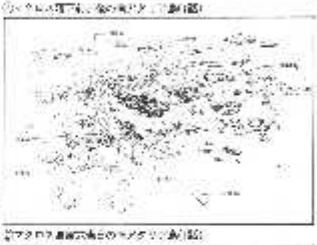
イヨネスコシティ

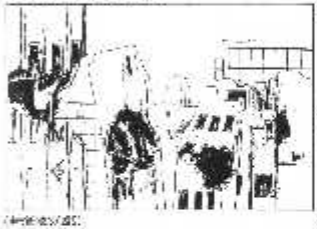


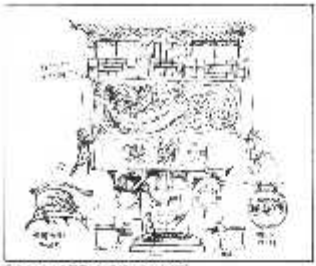
南アタリア島

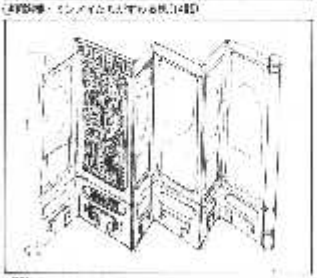


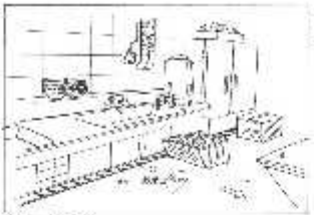


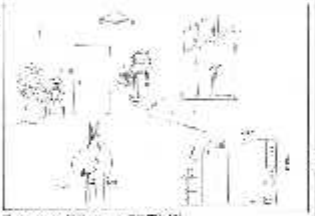






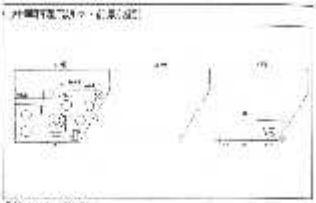


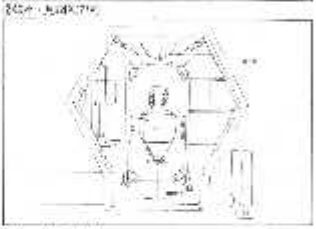


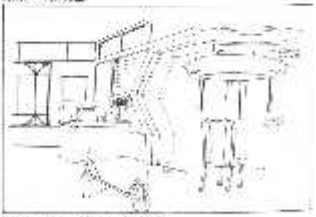


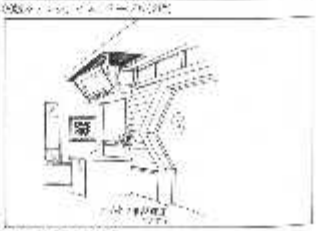
横浜中華街

中華料理店　娘々

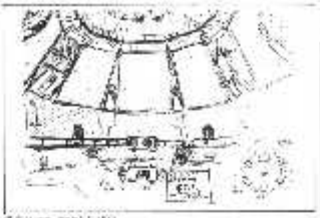


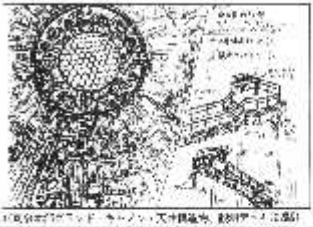


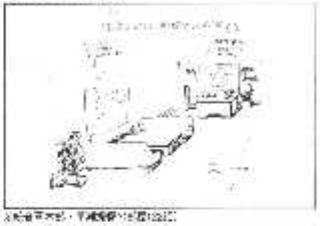


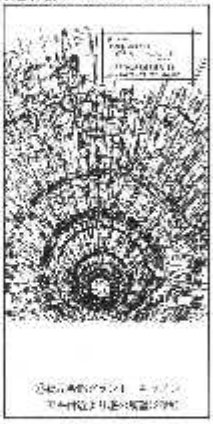


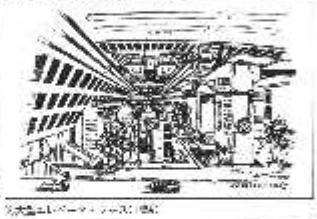
統合軍アラスカ本部基地

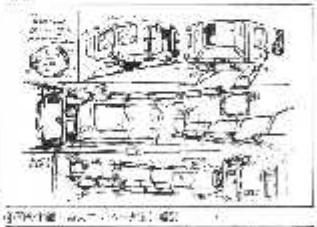


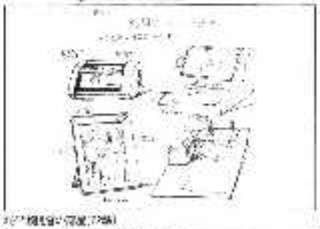


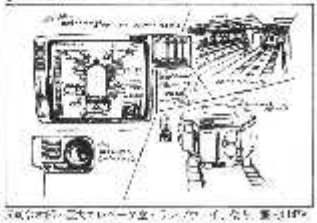


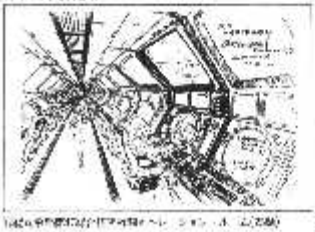




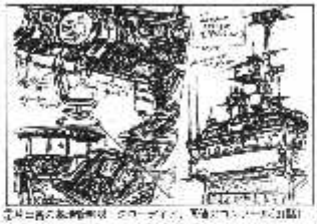


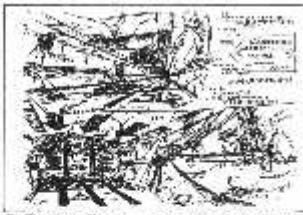


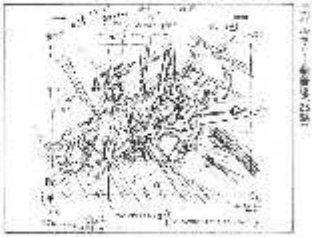


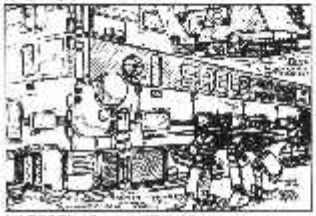


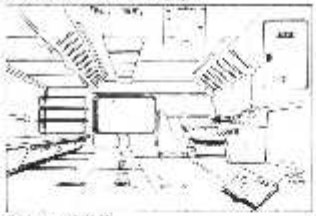
火星サラ基地



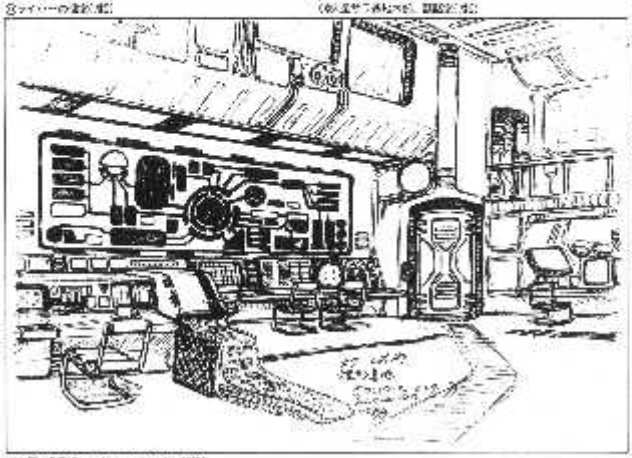




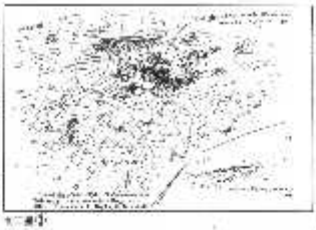


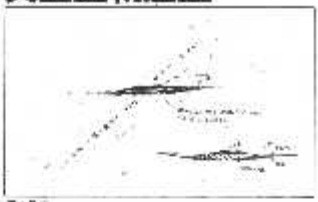


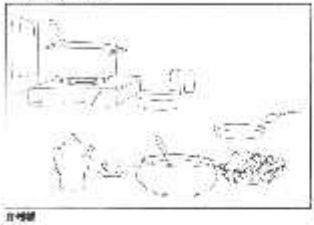
片田舎の基地



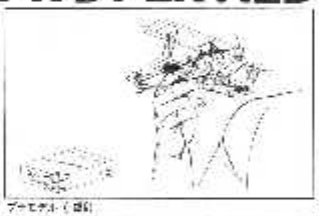
冥王星軌道上

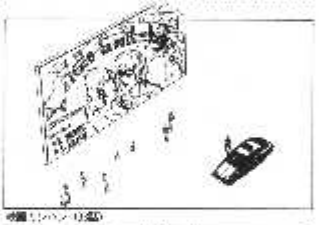


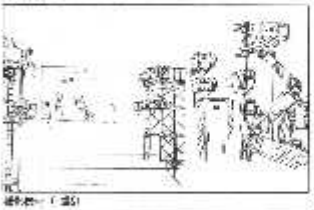


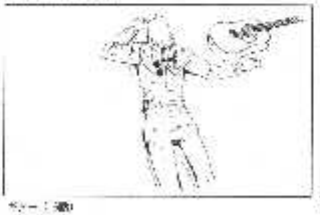


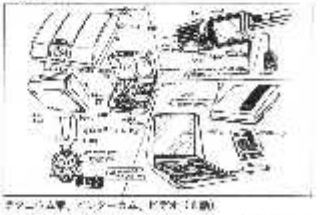
PROPERTIES

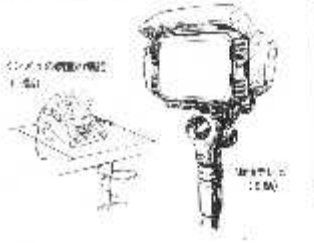


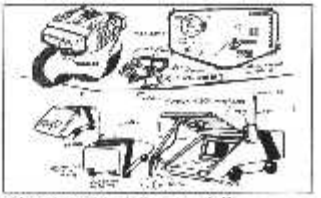


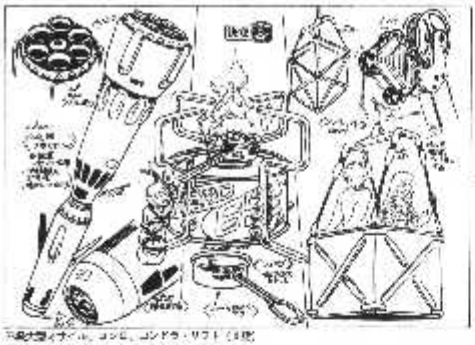


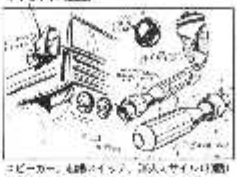


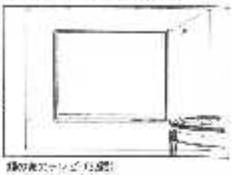


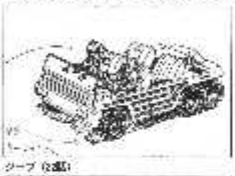


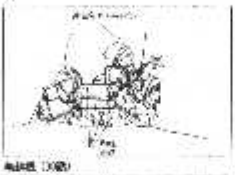


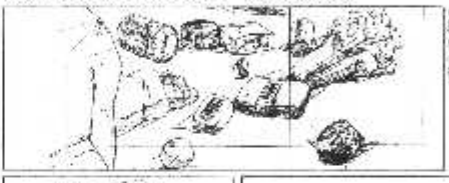


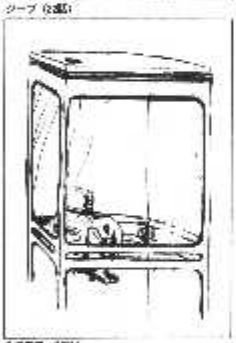


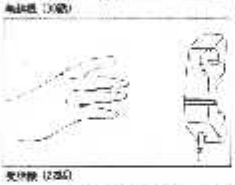


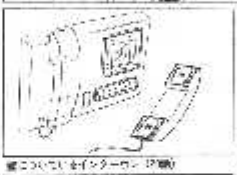


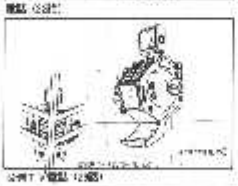


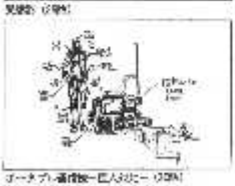


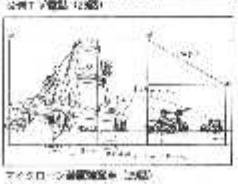


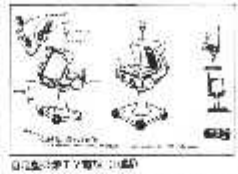


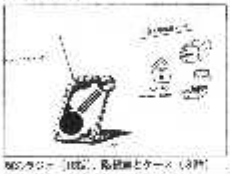


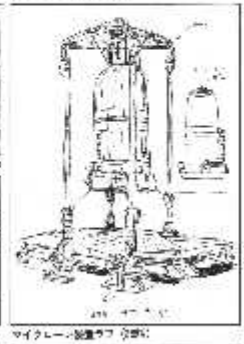


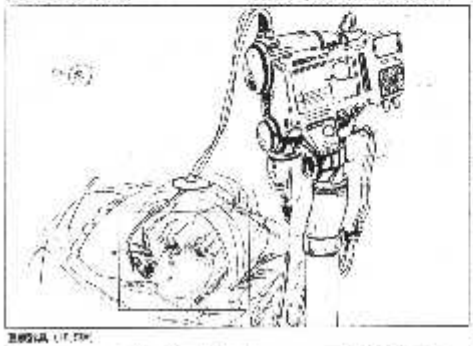


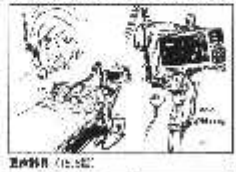




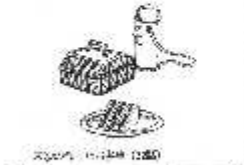


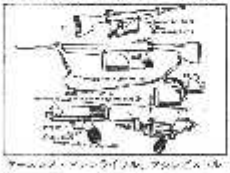


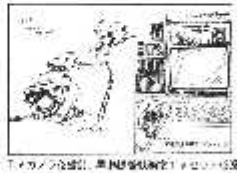


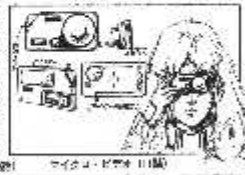


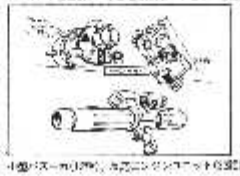
LYNN
MINMAY











原画セレクション

ここに掲載したのは、作画監督による修正原画と原画である。

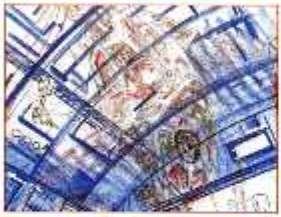
全36話のうちで、こちらで、セクトした、かぎられたページ数で、載せるにはやはり無理がでてしまった。涙とした中には、おしいものも……。

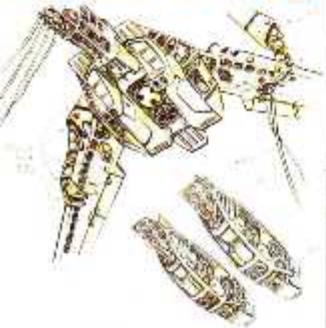
Shoji-Kawamori

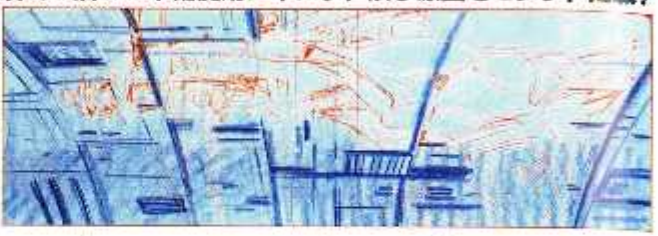
レイアウト&原画

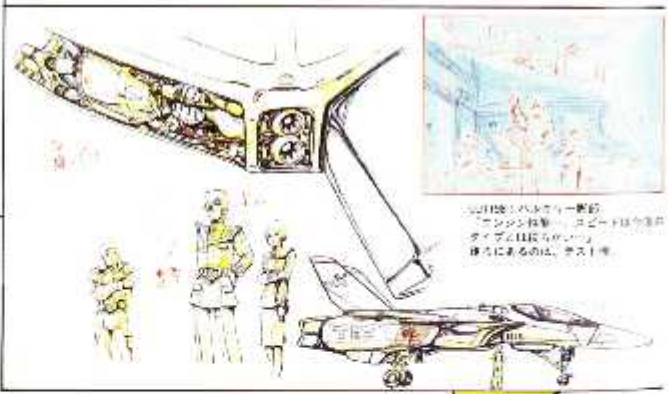
メカデザインの河森正治氏が描いた本編使用レイアウト及び原画をセレクト掲載！

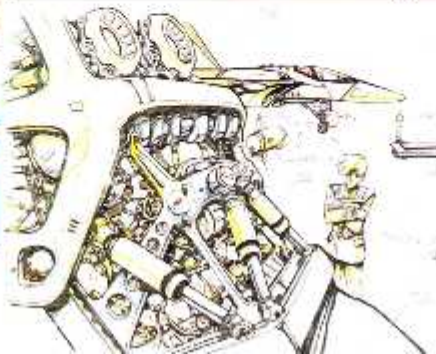
●#33「レイニー・ナイト」より

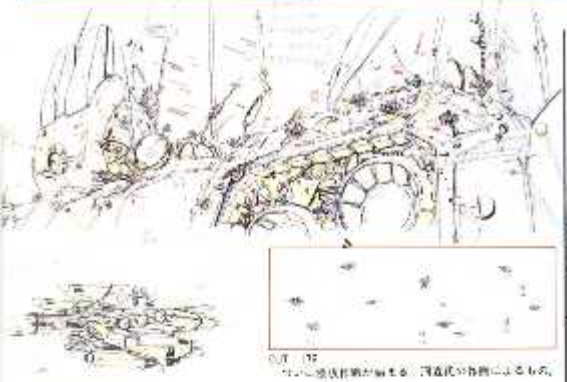




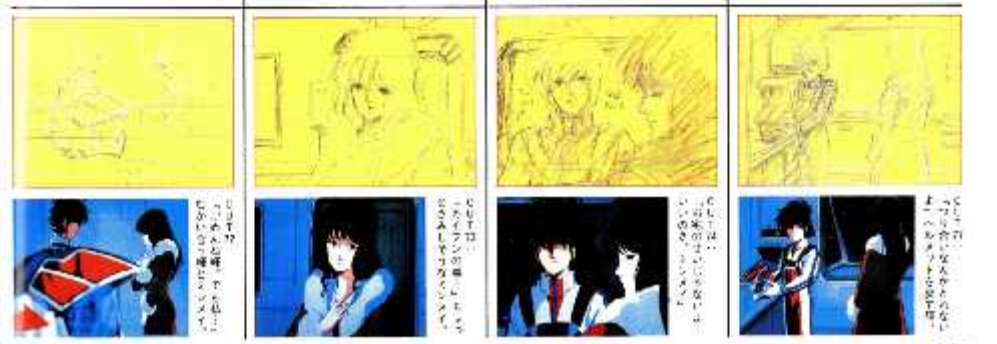


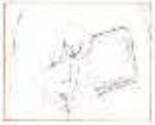


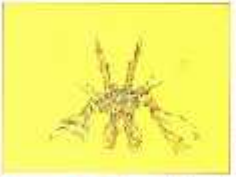




ぼくも出てこんのよ







ビジュアル・ストーリー補足カット

ここに掲載したカットは、第11話「ファースト・コンタクト」のリテークカットの一部です。本放送の際に、制作時間が足りなかったために仕上、撮影の間に合わなかった部分が手直しされています。

また、一部絵コンテで削られたシーンも新たに制作され、つけ加えられました。したがって、再放送からは違ったフィルムが放映されています。

Visual Story

両手でバトロイドをとりおさえる（C－35）

頭にせまるプリクイ（C－30）

機銃掃射に倒されても平気なプリクイを見て驚くマックス（C－4）

装甲をはがしてコクピットをのぞきこむプリクイ（C－42A）

マルチスクリーンに映し出されるプリクイ（C－35）

ガムドとマックス機（C－50）

C－30）

雲い巻う輝と天沙（C－0）

消えかかった輝（C－12）

(C－01)

未来のいないブリッジ。ミのひとりシャイーは甘に乗って操作しています（C－118）

2人を見て涙を流すマリタイ（C－84）

公園でさびしげに蝉の声をつぶやくミンメイ（C－134）

蝉のことを聞きたがろうとしないミンメイ（C－25）

宿先でたばこをふかしながらミンメイを待つファッカー（C－124）

蝉の写真。デストロイドこの後時、が撮されている（C－126）

バルキリーの前でポーズをとる一日組長のミンメイ（C－156）

（C－134）

Visual Story

ゼントラーディ軍の本隊を見て、絶句とする柿と未沙（C－175）

プリタイ艦のトイレにひそむマックス（C－188）

TV局の屋上で話をしているミンメイ（C－169）

話し合う柿崎と未沙（C－304）

隊たちを発見するマックス（C－298）

ゼントラーディ兵を気絶させ服をうばうマックス、兵士がもたれているのは便器（C－230）

真剣に話し合う3人（C－311）

ゼントラーディ人の耳について話し合う3人（C－308）

（C－315）

THE MAKING OF MACROSS

はじめに

この「ザ・メイキング・オブ・マクロス」は、「超時空要塞マクロス」の最初の企画書からの流れを簡単にまとめたものです。

スタジオぬえの河森正治氏の壮大なシリーズ全体の設定及び宇宙一番星とのメカニック設定を平代的に掲載し、キャラクター設定の美樹本晴彦氏の描いた「マクロス」のキャラクター群をいっしょに掲載しました。

▼初期ストーリー設定ボード。1982年3月上旬から下旬にかけて描かれたものである。なおこのボードは、1982年5月10日に描かれたもの

▼キャラクター設定
ラフ・スケッチ'82
年4月～5月ごろ

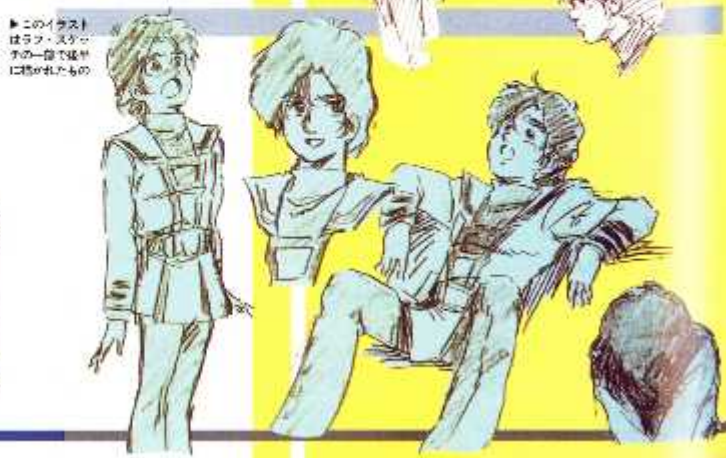
THE MAKING OF MACROSS

▶ラフ・スケッチの一部で、やはり後神に描かれたもの

▶一条輝のラフ・スケッチ

▼このイラストは1981年12月～1982年1月頃に描かれたものである

▶ラフ・スケッチの段はかなりリン、アスタッチに描かれてある



▶このイラストはラフ・スケッチの一部で後半に描かれたもの

一条　輝

●イメージ・ラフ・スケッチ

●キャラクター・イメージ・ボード

▲キャラクター設定ラフ・スケッチ②

▼キャラクター設定ラフ・スケッチ①

◀1983年3月～5月頃に描かれた一枚絵

▶決定間のキャラクター表に近い一枚絵

◀「マクロス」企画書のキャラクター紹介に掲載された設定

▲初代の設定
ラフ・スケッチ①

▶初代の設定
ラフ・スケッチ
②

▶初代の設定
ラフ・スケッチ
③

▲1982年2月～
3月頃に描かれ
たー条達のコス
チューム②

▶1982年2月～
3月頃に描かれ
たー条達のコス
チューム①

▲1982年2月～3月頃に描かれた一条輝のパイロットスーツ①

▲1982年2月～3月頃に描かれた一条輝のパイロットスーツ②

▶1982年2月～3月頃に描かれた一条輝のヘルメット

▲1982年2月～3月頃に描かれた一条輝のパイロットフォーム①

▼1982年2月～3月頃に描かれた一条輝のパイロットフォーム②

▲1982年2月～3月頃に描かれた一条輝のパイロットフォーム③

▶苫　明美のラフ・スケッチ①

▲リン・ミンメイの私服のラフ・スケッチ

▶このラフ・スケッチは1983年12月頃に描かれたもの

▼初めの頃のミンメイの衣装は「苫　明美」だった

▲苫　明美のラフ・スケッチ②

リン・ミンメイ

●イメージ・ラフ・スケッチ

●キャラクター・イメージ・ボード

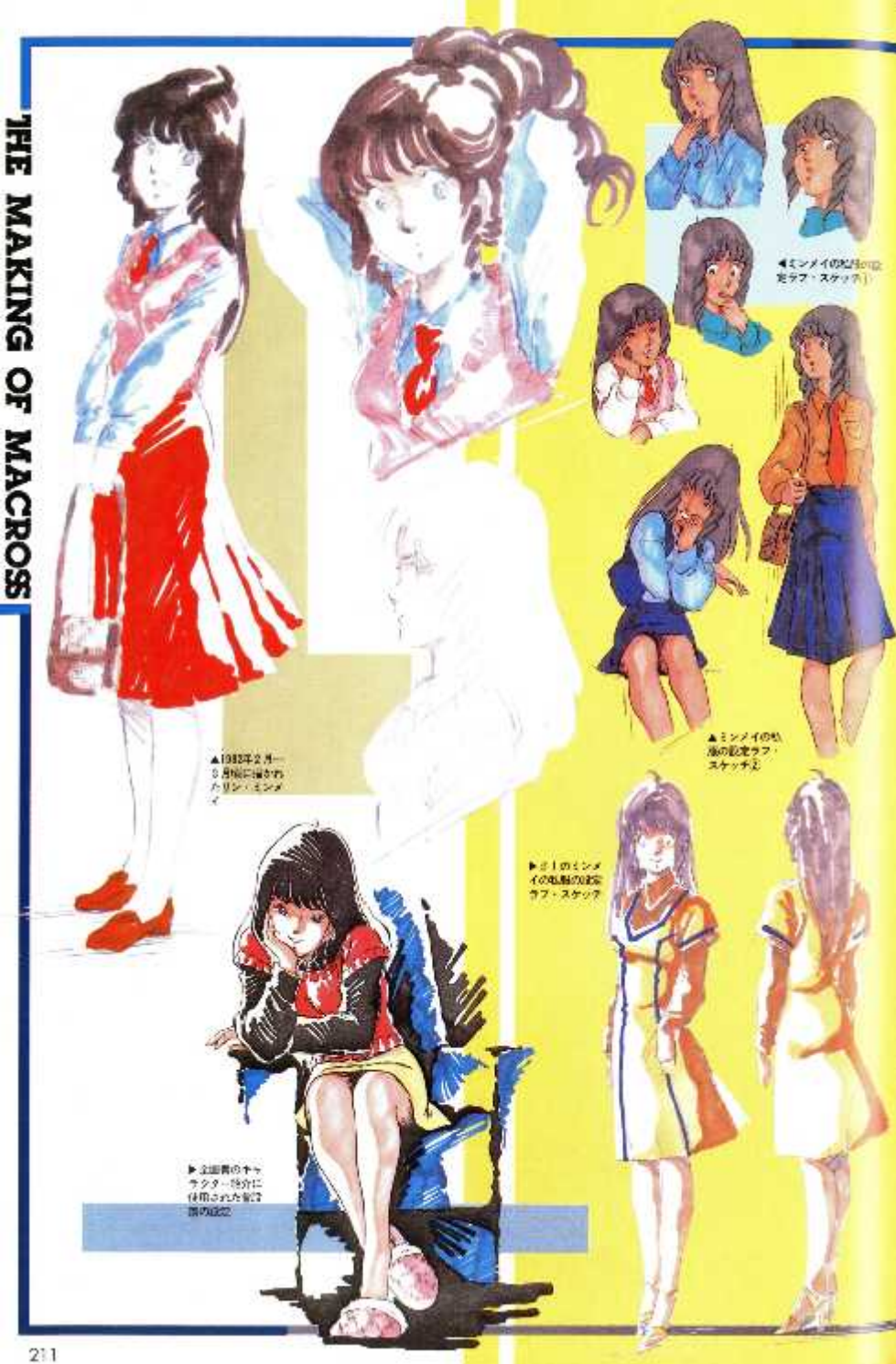
▶決定稿のキャラクター表に近いリン・ミンメイ

◀「マクロス」企画書のキャラクター紹介に使用された設定

◀決定稿のキャラクター表に近いリン・ミンメイの表情

▼この頃のミンメイの名前は"飯島 純美"になっている

◀キャラクター設定ラフ・スケッチ



◀ミンメイの私服の設定ラフ・スケッチ

▲ミンメイの私服の設定ラフ・スケッチ2

▲1982年2月～3月頃に描かれたリン・ミンメイ

▶21のミンメイの私服の設定ラフ・スケッチ

▶主要男のキャラクター紹介に使用された制服の設定

●ストーリーボード・ラフ・スケッチ

▲キャラ・ストーリー設定ボードラフスケッチ

▲1983年2月～3月頃にかけて描かれた設定ボードのラフスケッチ

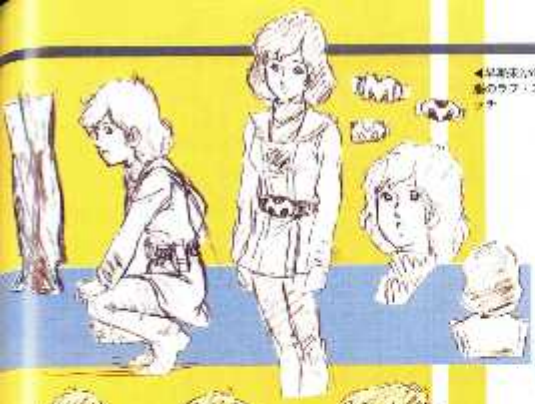
▶キャラ・ストーリー設定ボードラフスケッチ

◀キャラ・ストーリー
設定ボードラフスケッチ(5)

▼キャラ・ストーリー
設定ボードラフスケッチ(6)

▼キャラ・ストーリー
設定ボードラフスケッチ(5)

早瀬未沙
●イメージ・ラフ・スケッチ



◀早瀬未沙の全身のラフ・スケッチ

◀早瀬未沙の私服のラフ・スケッチ

◀早瀬未沙の初めの頃の名前は"早瀬理沙"だった

▼早瀬未沙の表情のラフ・スケッチ

◀このラフ・スケッチは1982年12月頃に描かれたもの

▲1982年2月～3月頃に描かれた準備稿。右頭に刺繍らしきものがついている

▲キャラクター設定ラフ・スケッチ

▶全裏面のキャラクター設定に使用された設定

●キャラクター
イメージ・ボード

●ストーリーボード・ラフ・スケッチ

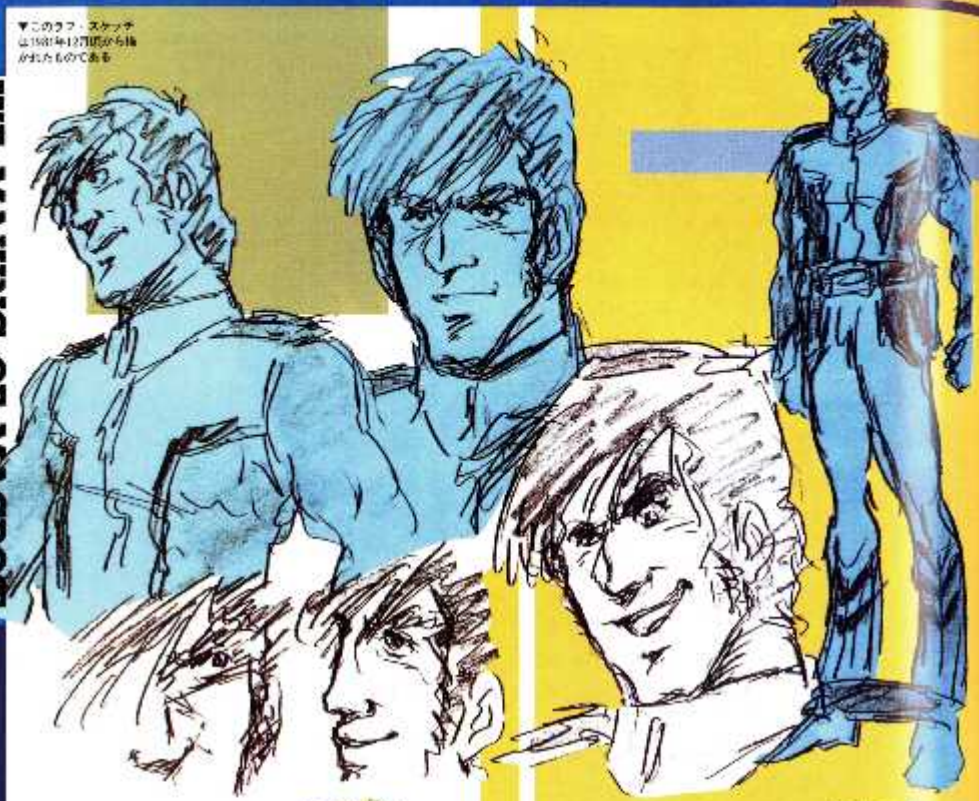
◀1982年2月～3月頃にかけて描かれた設定ボードラフスケッチ①

▼キャラ・ストーリー設定ボードラフスケッチ②

▲キャラ・ストーリー設定ボードラフスケッチ①

▶キャラ・ストーリー設定ボードラフスケッチ③

▼このラフ・スケッチは1981年12月頃から描かれたものである



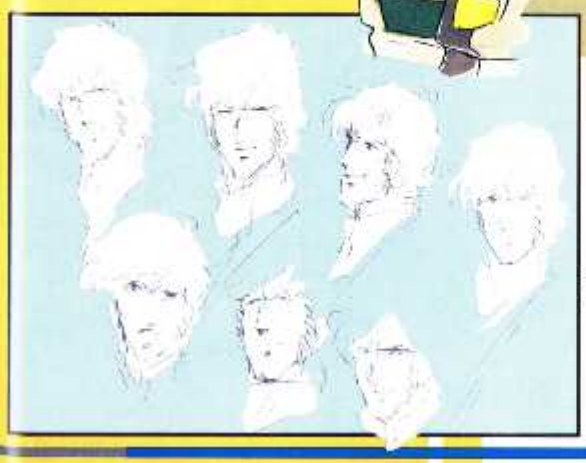
▶ラフ・スケッチ2

ロイ・フォッカー

●イメージ・ラフ・スケッチ

●キャラクター・イメージ・ボード

◀キャラクター設定ラフ・スケッチ



◀1932年2月～3月に描かれたラフ・スケッチ

▲「マクロス」の企画書のキャラ紹介に使用された絵

▶キャラクター設定ラフ・スケッチ

▶クローディアのイメージ・ラフ・スケッチ

▼「マクロス」の企画書のキャラクター紹介に使用された設定

▶1982年2月～3月頃に描かれたラフ・スケッチ

クローディア・ラサール

グローバル艦長

▲イメージ・ラフ・スケッチ①

▲「マクロス」の小説版のキャラクター紹介に使用された設定

▼設定ラフ・スケッチ。グローバルの名前は未確認。だって

▶イメージ・ラフ・スケッチ②

マクシミリアン・ジーナス

▶1982年2月～3月頃に描かれたラフ・スケッチ

▶最初マックスの設定ラフ・スケッチ

▲「マクロス」の企画書のキャラクター紹介に使用された設定

◀キャラクター設定ラフ・スケッチ

◀「マクロス」企画書のキャラクター紹介に使用された設定

◀設定ラフ・スケッチ

▶初期ラフ・スケッチ　タツノコプロとの初めての打ち合せの時に描いたもの

柿崎速雄

フリタイ・クリタニク

◀企画書のキャラクター紹介に使用された設定

▶「マクロス」の企画書のキャラクター紹介に使用された設定

エキセドル・フォルモ

カムジン・クラヴシェラ

◀企画書のキャラクター紹介に使用された設定

◀企画書のキャラクター紹介に使用された設定

ミリア・ファリーナ

◀キャラ・ストーリー設定ボード①

◀キャラ・ストーリー設定ボード②

▶キャラ・ストーリー設定ボード③

このイラストは1982年3月から4月頃までに描かれた「マクロス」のキャラ・ストーリー設定ボード。スタッフの間でも誤解が生じやすいために、その解消のために描かれたものである。

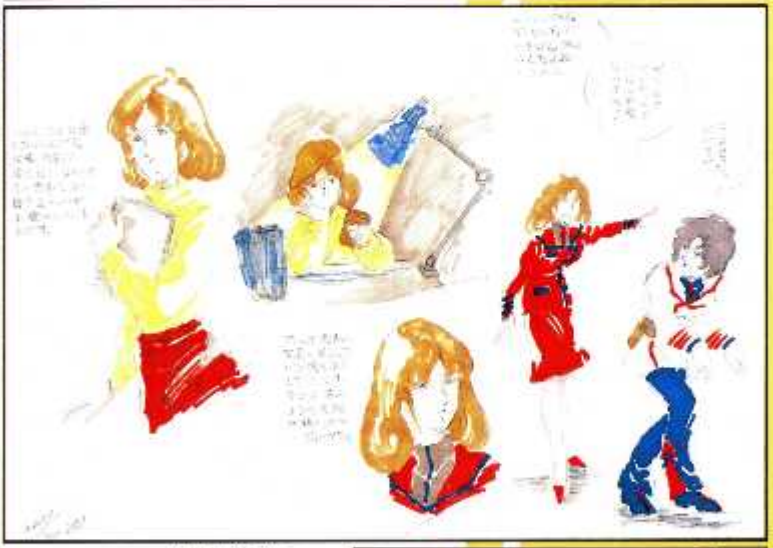
●ストーリー設定ボード

▲キャラ・ストーリー設定ボード(2)

▼キャラ・ストーリー設定ボード(3)

▶キャラ・ストーリー設定ボード(4)

◆キャラ・スト
ーリー設定ボー
ド⑦



◆キャラ・ストーリー
設定ボード⑧

◆キャラ・スト
ーリー設定ボー
ド⑨

▶キャラ・ストーリー
設定ボード(1)

▲キャラ・ストーリー
設定ボード(2)

◀キャラ・ストーリー
設定ボード(3)

▲メガロード・カラーリングテスト①

▲メガロード強攻型・カラーリングテスト②

▲マクロス・カラーリングテスト

▲VF-1J・バルキリー
カラーリングテスト①

▲カラーリングテスト②

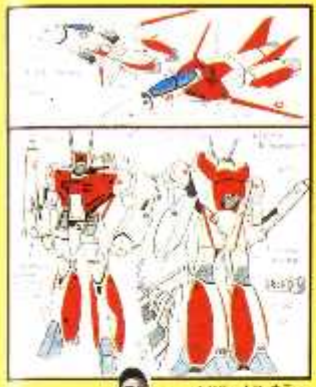
▲VF-1J・バトロイド
カラーリングテスト①

▲カラーリングテスト③

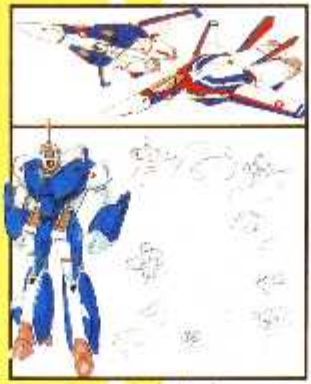
▲アーマード・VF-1J
カラーリングテスト

▲VF-1S・バルキリー

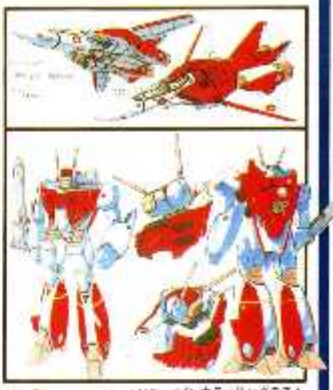
●メカニック・
イメージ・ボード



▲VF-1D・カラーリングテスト

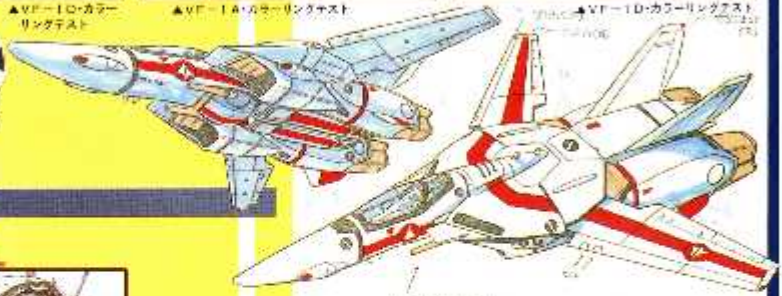


▲VF-1A・カラーリングテスト



▲VF-1D・カラーリングテスト

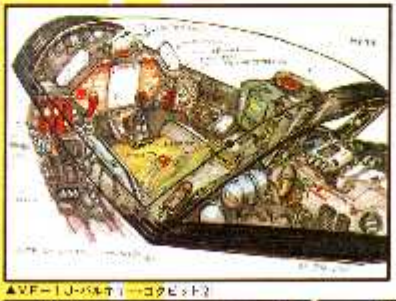
▶リン・ミンメイ&早瀬・未沙・カラーリングテスト



▲VF-1J・バルキリー・カラーリングテスト

▲VF-1J・バルキリー・コクピット①

▲マクロス・ブリッジ



▲VF-1J・バルキリー・コクピット②

●ストーリー・ボード

▲格納ポット・ガレージ

▲SDF-1・マクロス戦艦型

▲デストロイド・モンスター

河森正治氏「マクロス」全52話ストーリーシノプシス

#1 正規発射
#2 バルキー襲来
#3 ダムルーズ出現
#4 ノーノ
#5 大工業
　可変戦闘機開発
#6 愛トゥーユー
#7 スクルード入港
　ゴボットの修理依頼できず
#8 恋愛一方通行
　サインオン好き
#9 二機めのガルド
　訓練開始
#10 アメニフォークマーケット
　ボリー帰還
　緊急事態
#11 光り雪野
　ハイトーンボイスバイオ人
#12 スリーミリオン
#13 地球来訪人
　アンのバラシュート ボタン
#14 街上遊びの子供達
#15 恋愛一方通行ロボット
　メンバー出発
　レノイユー
#16 急行 各駅止まり 遅いが最強
#17 ちょ地下マイクロン潜入
#18 ヴァンクレッカーメン登場
#19 ゴーバーザーにゃのほうき #2
#20 訓練一戦場
　一対多数
#21 静かに
　緑にトリトリーツ元気
　特別番組ロボット大作戦
#22 最後のコンサート
#23 初めてのデート 一緒の行動
　休日リバンの冒険（前後半共）
#24 よい最後の夜
#25 大きの大空の島
#26 指揮官 十年ぶ

#27 ボロ発射
　緊急出撃命令
#28 最高の報酬
#29 十歳の男子
　ガンで悩む人に出てもらいたい
#30 静かな湖畔
　ロンとの一人だけの為のスペシャルボットを探そう
#31
#32 結婚パワー
　結婚式場へ ヘレーボ
　ノアの結婚パンダ
#33 ヴァンクレッカー 地獄ラン
　決戦 ブレードフロンクス
#34 ラッシュ生活
　恋愛電子新聞
#35 天使の休息（前半休暇）
　バルマ基地奪還
#36 七夕ぬりかい
　ミリミニミニ結婚会社（仮）
　ニューイン誕生
#37 ラブレター ラブ
#38 ハンバガー人気
#39 ブルーカラーの反撃
#40 ボロボロ上ボロ上ボロ
#41 イヤミな男
#42 ハンバガー人気
#43 ハンバガー開発
#44 最終全滅 ニューイン消え
#45 最後の出撃結婚式
　宇宙へ
#46 宇宙内結婚
#47 星座の告白場
#48 大公主 真ゆい最後
#49 スイ ま走る
#50 結婚式 新婚旅行記事へ
#51 天使 帰る
#52 伝説人物出かけ
#53 最後の戦闘 前編へ

河森正治氏「マクロス」全48話ストーリーシノプシス

#1 ボルテクスエクスプローダー登場
#2 バルア 登場
#3 メガロード 発進
　実戦訓練
#4 ワルキューデュランダル発進
#5 ミミ 新聞
　白雪姫対抗戦!!
#6 ニューメン潜入 ミリヒ死亡
　メガロード人気王 ヒロインたち自由に
#7 恋愛一方通行
　ミ 消え上げ完成
#8 ロボットでよろしく結婚式をぜひ
　メガロード初めての料理
　料理のプロバンク！ 参加 作ってください 応募
#9 発進 ロボット入り
　リイスにも乗る
　ライバル女性はのぞき
#10 一発逆転の巻!!
　メステロイドシューター
#11 発表 ゴボットのヒロ 結婚へ
　変形機能 異常発生
#12 ライバルライバル 新
　主人公女性 の結婚のムードに
#13 第二回 結婚 新人作戦 リーフ ライバル登場
　ゴーブ システム 発動の 巻で 発生 なるか
#14 今度 消去 そして 残りの 結婚 これも
　ライフ ニューメン 参加
　ミミ ニューカード!!
#15 大型機 突入 メンバー ライフ ニード
　可愛 発生 ミ 結婚 成功
　メガロード 初 登場
#16 変形のシステム ムード 参加
　変形 ニアピール
#17 今度の 春 ミ ミ
　ミ 今度 地下 の 神殿
　女 ライフ ヒーン スパイ 潜入
#18 メガロード 最後の 戦闘 前
#19 ロボ 新 ゲート
　ボロ ミ 結婚 と 結婚 ミ 結婚 ミ 結婚 ミ 結婚 ミ
#20 変形 の 結婚 最後 の 最後 スパイ
　各人 の ラブ ニューメン 潜入
#21 最終 結婚
　参加 5 機
#22 クリプラス
#23 ゼネラル 作戦

	物語のつながり	登場人物	〈表現技法①〉	〈表現技法②〉	論理的文章
1	大切な人物像 登場人 （物語の主人公）の描写	主題のもとの人物「」の主人公は、それぞれの場面ごとの人物像を通して、大切な人物像を描いている。「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、
2	大切な人物像 （物語の主人公） 大切な人物像 （物語の主人公）の描写	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、
3	大切な人物像 （物語の主人公）の描写	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、
4	大切な人物像 （物語の主人公） 大切な人物像 （物語の主人公）の描写	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、
5	大切な人物像 （物語の主人公）の描写	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、
6	大切な人物像 （物語の主人公） 大切な人物像 （物語の主人公）の描写	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、
7	大切な人物像 （物語の主人公）の描写	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、
8	大切な人物像 （物語の主人公） 大切な人物像 （物語の主人公）の描写	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、
9	大切な人物像 （物語の主人公）の描写	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、
10	大切な人物像 （物語の主人公） 大切な人物像 （物語の主人公）の描写	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、
11	大切な人物像 （物語の主人公）の描写	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、
12	大切な人物像 （物語の主人公） 大切な人物像 （物語の主人公）の描写	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、	大切な人物像を描くために、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、「」の主人公は、物語の中で、大切な人物像を通して、

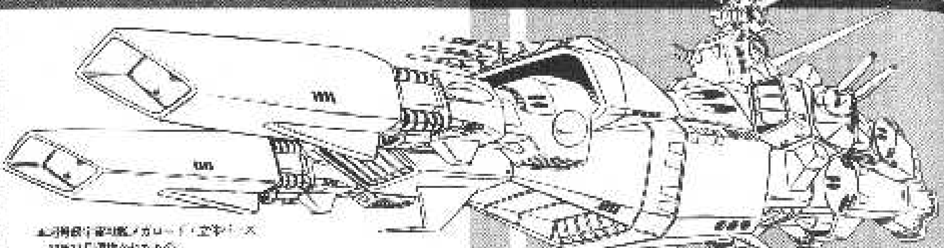
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					

27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					

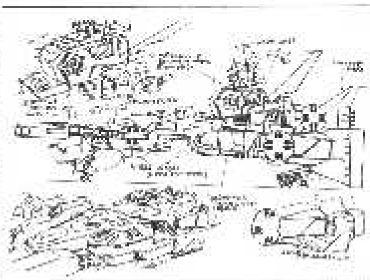
ルーツ・オブ マクロス

BY.河森正治

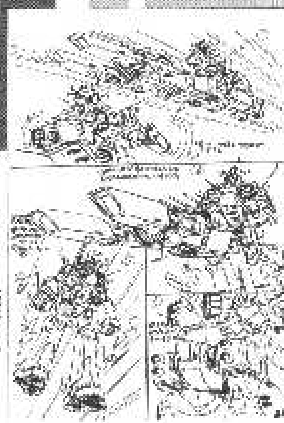
THE MAKING OF MACROSS



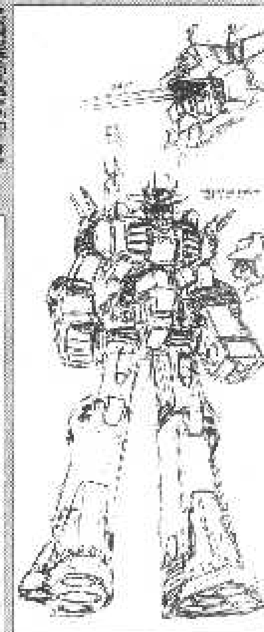
▲超弩級宇宙戦艦メガロード「宇宙[illegible]」
1981年11月頃描かれたもの



▲メガロード＝変形システム



▲メガロード＝[illegible]パターン



▲超弩級宇宙戦艦メガロード＝デザインスケッチ

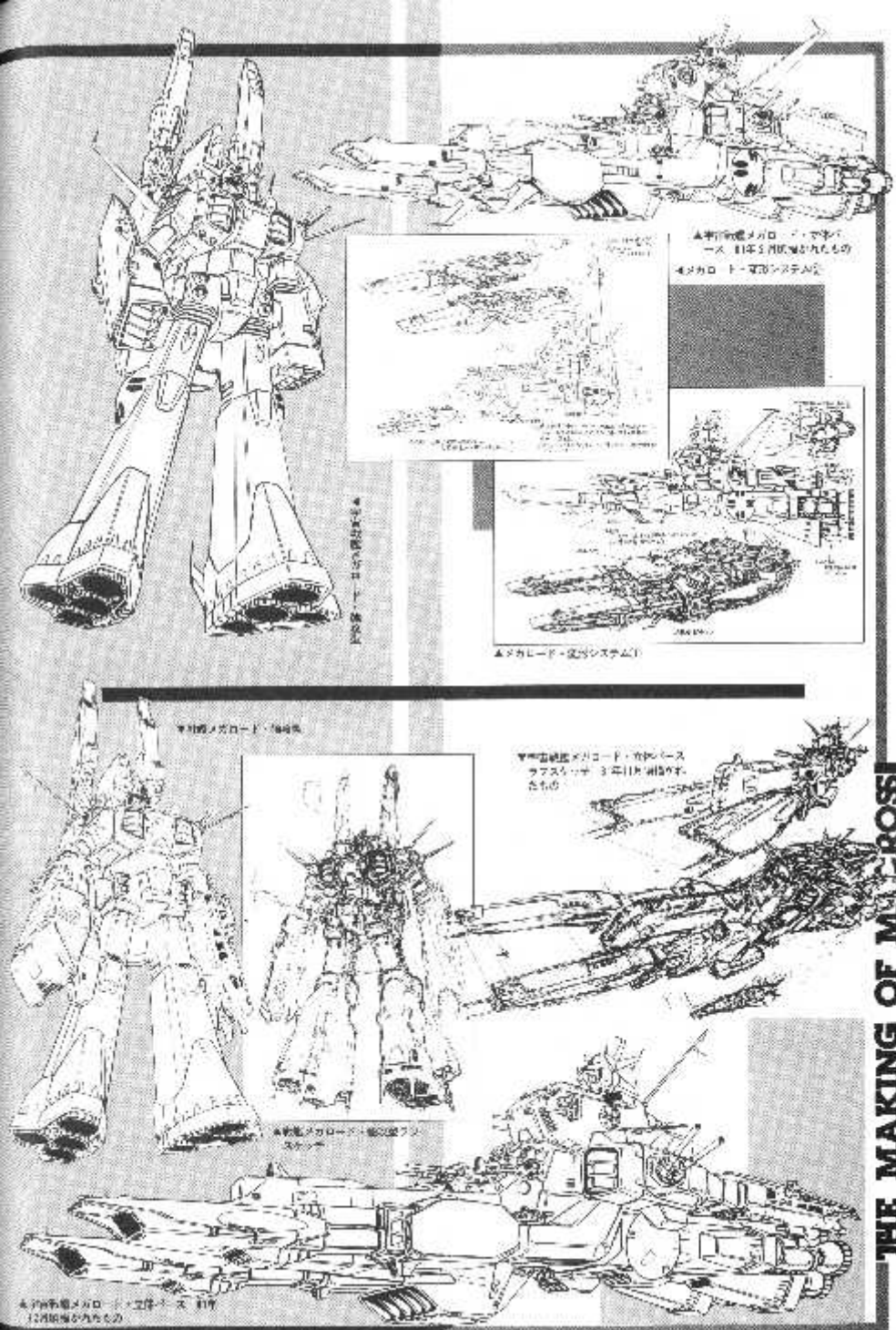
●この円盤・付までの「超弩級宇宙戦艦メガロード」の設定資料は「超時空要塞マクロス」の原型になったものです。描いた年代順に構成してあります。

●超弩級宇宙戦艦メガロード

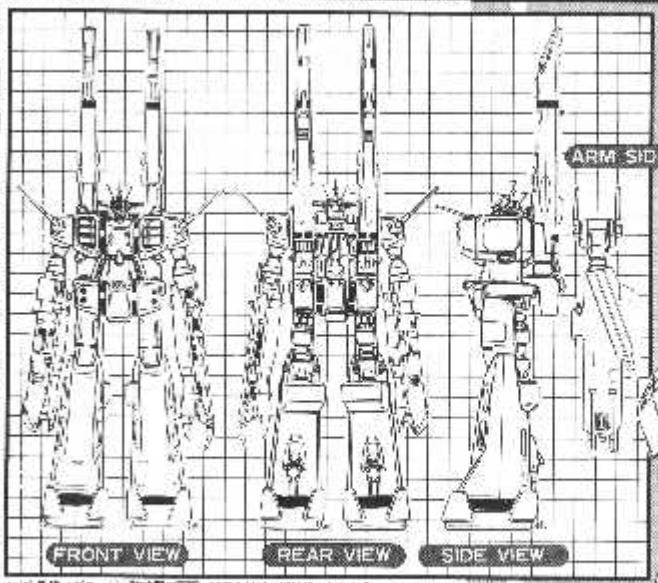
〈超弩級宇宙戦艦メガロード〉
全長1200mの巨大宇宙戦艦。巨大ロボット「[illegible]」に変形可能。
戦艦時にはメインコクピットで航行できるが、バスターキャノンは使用不能。ロボット時には反対に、バスターキャノンを撃てるが、メインコクピットが使用不能で、補助[illegible]しか使用できない。
[illegible]は、[illegible]（全長300m）
[illegible]は、[illegible]（全長300m）
いずれも、[illegible]に[illegible]している。
巨大な艦[illegible]、[illegible]である。[illegible]、レーザーホログラフィ[illegible]、[illegible]の艦[illegible]できる。
[illegible]用し、[illegible]、ロボット時においても、[illegible]の上[illegible]。

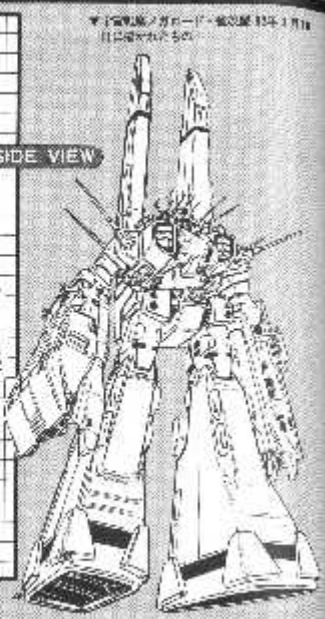
〈メガロードの装備〉
バスターキャノン
[illegible]の巨大主砲、一[illegible]を[illegible]することができない。
[illegible]、[illegible]は、[illegible]。
ピンポイントバリアー
[illegible]10mの[illegible]しか[illegible]できない[illegible]バリアー。全長1200mのメガロードで[illegible]、[illegible]。
航空戦力
[illegible]（[illegible]300、[illegible]）[illegible]15機以上、[illegible]、[illegible]、[illegible]、ヘリコプター、[illegible]、それぞれに[illegible]。
陸戦兵力
[illegible]、[illegible]、[illegible]。
ミサイル、各種[illegible]
いくつもある。

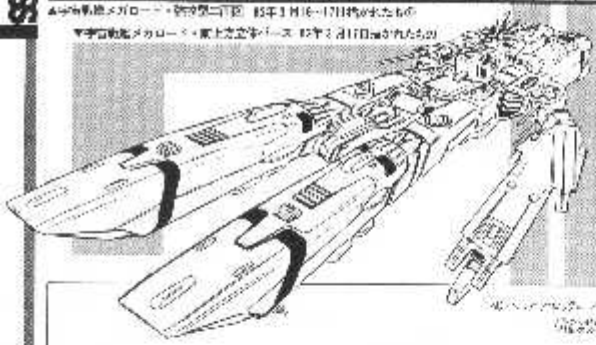
〈メガロードの[illegible]〉
[illegible]
巨大戦艦メガロードから、巨大ロボット[illegible]への変形（[illegible]）に[illegible]、[illegible]の変形[illegible]。
[illegible]。
[illegible]には、[illegible]、[illegible]。
このため、[illegible]、[illegible]。
ダイダロス・アタック
ロボット時に、[illegible]、ピンポイントバリアー[illegible]、[illegible]のハッチを開いて、[illegible]ミサイルを打ち込み、内側から[illegible]。
サンライザー
[illegible]。
ロボット時、[illegible]、メガロード[illegible]、[illegible]。
[illegible]、[illegible]。

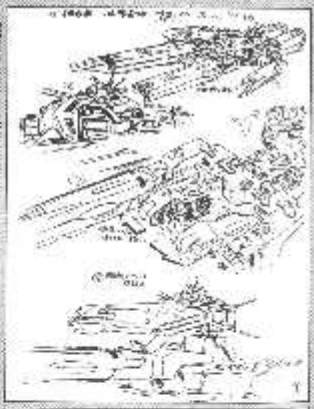


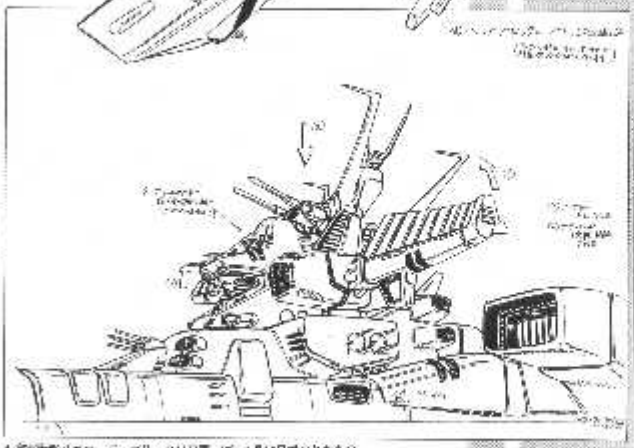
THE MAKING OF MACROSS

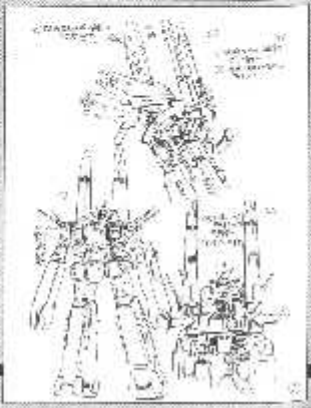

FRONT VIEW
REAR VIEW
SIDE VIEW

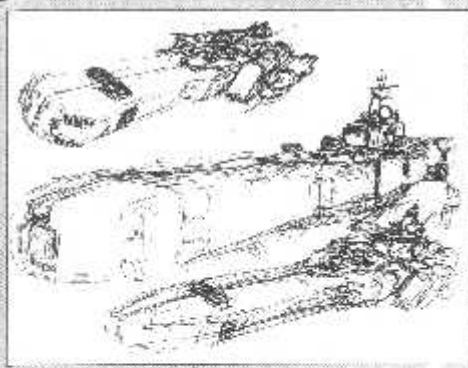

ARM SIDE VIEW



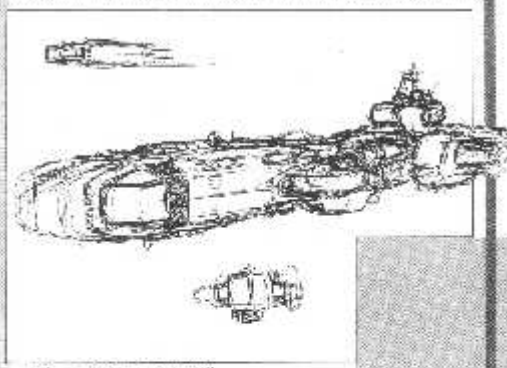




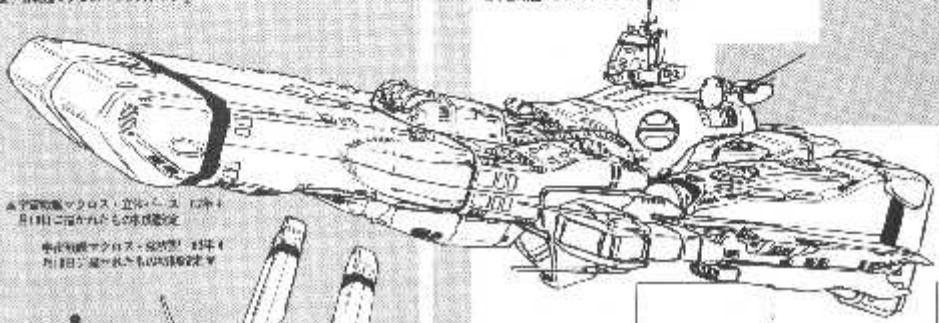




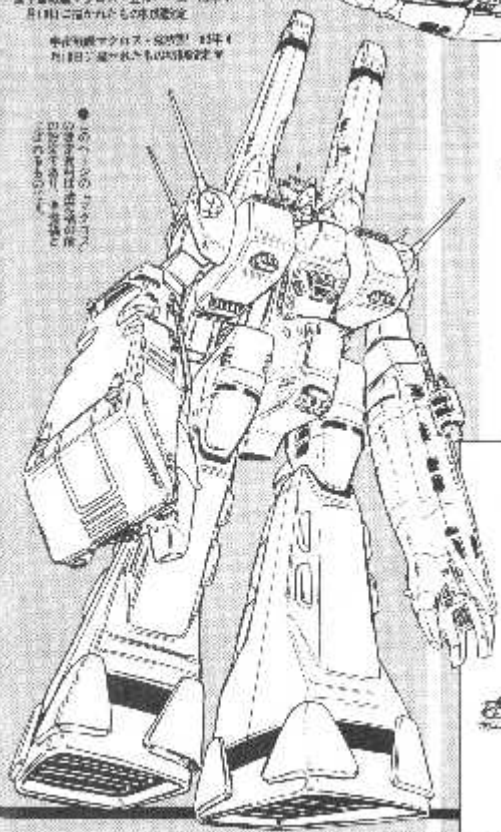
▲宇宙戦艦マクロス・ラフスケッチ1



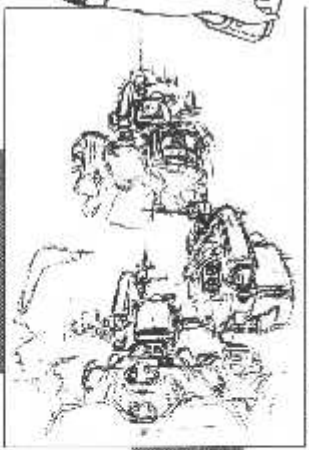
▲宇宙戦艦マクロス・ラフスケッチ2



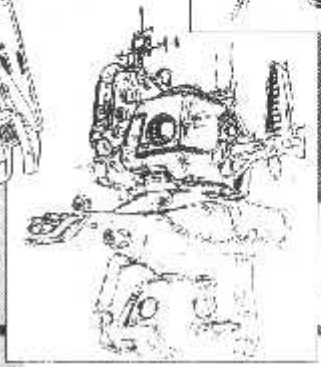
▲宇宙戦艦マクロス・立体ラフスケッチ
※1/1000に組み立てられた状態を想定



●この1/100のラフスケッチは、後に1/1000の縮小模型として製作されたものです。



宇宙戦艦マクロス・ブリッジ・ラフスケッチ1



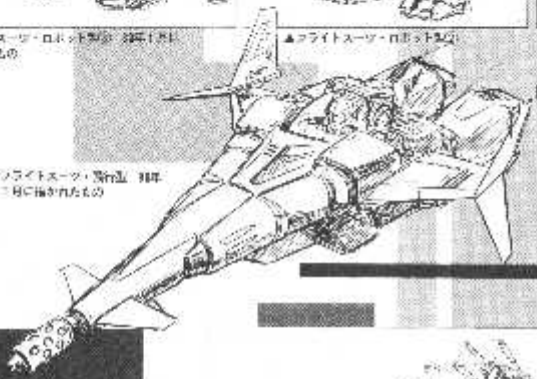
宇宙戦艦マクロス・ブリッジ・ラフスケッチ2

THE MAKING OF MACROSS

▲ファイトスーツ・ロボット形態 初期に描かれたもの

▲ファイトスーツ・ロボット形態

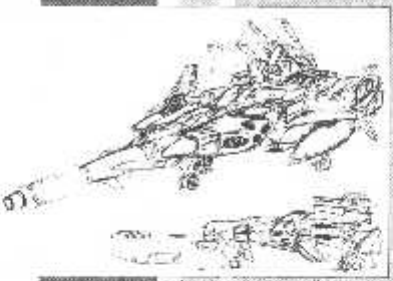
▲ファイトスーツ・ロボット形態 初期に描かれたもの



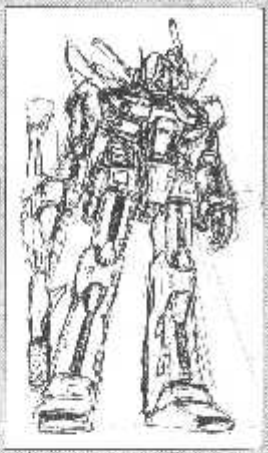
▼ファイトスーツ・戦闘機 初期に描かれたもの

●可変戦闘機VF-1J・バルキリーナバトロイド

可変戦闘機スターチャイルド
VF-1J・バルキリー
全長15.2m可変戦闘機。主人公たちの搭乗機。大気圏内飛行時で大型ミサイル6発、宇宙飛行時は推力重視2発「装備」。主に、ガウォーク・フルメタルスから発進。
全機2つのパーツに変形できて、ガウォークで、主に大気圏内飛行時に使用。
グレネード・クラッシャー
機体各部から、250の誘導爆弾ミサイルやミサイルターゲットに命中し爆発の衝撃をあたえる。
誘導は非常に正確で、1回しか使用できないが、敵の攻撃に耐えられるように非常に有効な兵器である。
30mm機関砲ポッド
4門600発、弾倉式、バルキリー時に装着。ナバトロイド時には、格闘戦用武器として使用。
90mmマシンガン
バトロイドの専用武器、一連射後では使えず、弾倉交換が必要。敵の攻撃に対応するタイプの武器。
とりわけすごい武器ばかりである。



▲プレスト・ファイター・ラフ絵

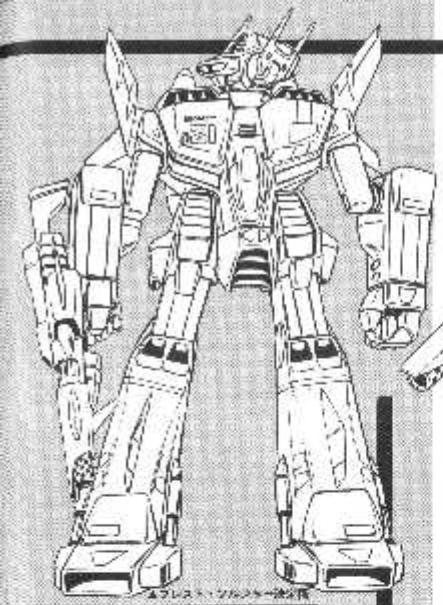


▲プレスト・ソルジャー・ラフ絵

▲プレスト・ソルジャー・ラフ絵2

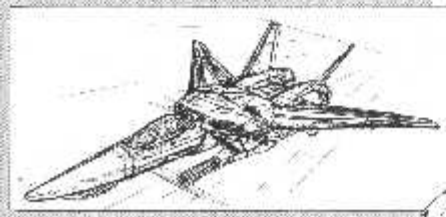
▲プレスト・ソルジャー・ラフ絵3

●この3点のプレスト・ソルジャーラフは、1982年7月に描かれたもの

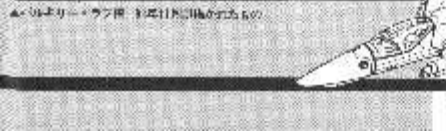


▲プレスト・ソルジャー決定稿

▲プレスト・ファイター決定稿



▲バルキリー・ラフ画（初期ロボットデザインの1点）



▲プレスト・ファイター決定稿

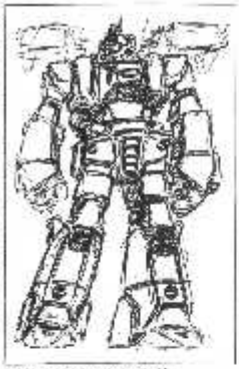
▲プレスト・ファイター決定稿

▲バルキリー・ラフ画（初期ロボットデザインの1点）

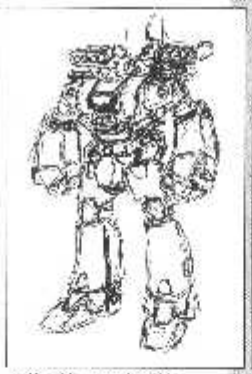
▲プレスト・ファイター決定稿

▲プレスト・ファイター決定稿

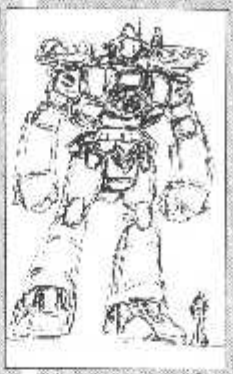
▲バルキリー・ラフ画（初期ロボットデザインの1点）



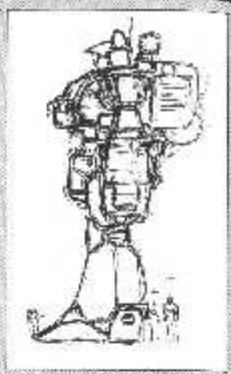
▲バトロイド・ラフスケッチ①



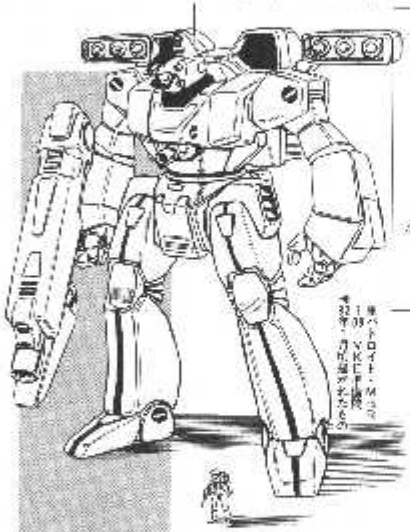
▲バトロイド・ラフスケッチ②

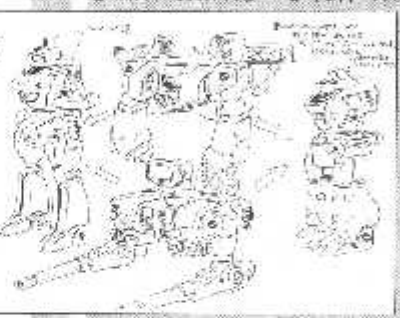


▲バトロイド・ラフスケッチ③

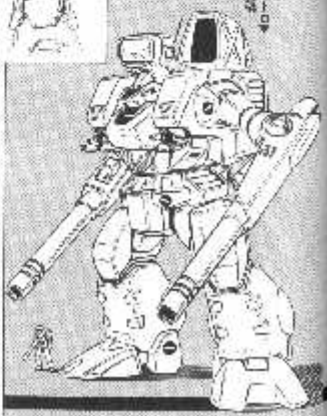


▲バトロイド・ラフスケッチ④



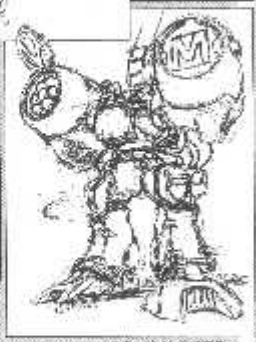


▲最終バトロイド・コンバージョン・ラフ①

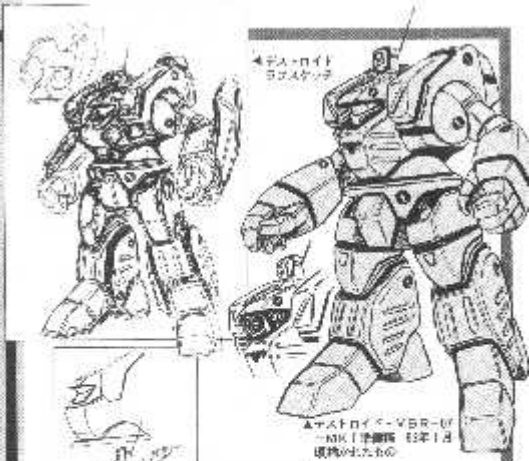


●バトロイド・デストロイド

▲ディフェンダー・ADR-MK1ラフスケッチ



▲ファランクス・ADR-MK1ラフスケッチ　87年3月28日に描かれたもの



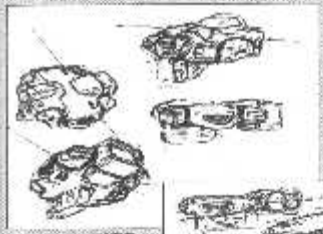
◀デス・ロイド ラフスケッチ

▲デストロイド・VBR-07-MK1「準備稿」87年1月頃描かれたもの

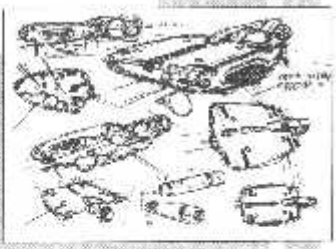
◀デストロイド・初期ID

●宇宙戦闘機編

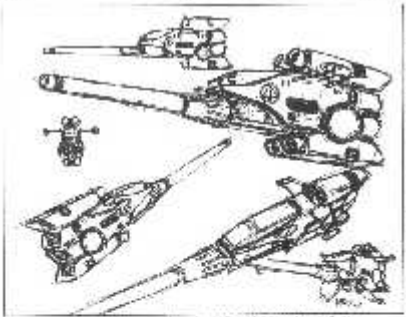
企画コンセプト決定前の資料。
新人類ゲ　　を探るにあたり宇宙戦闘機
を飾るべく描かれた初期段階。
スクランブルに向けては、VF-1ファイバルキリー陸戦ポリカン装備、同形態でサイクロプス・バーサルシン砲による「敵の撃ち込み」を狙うもの。



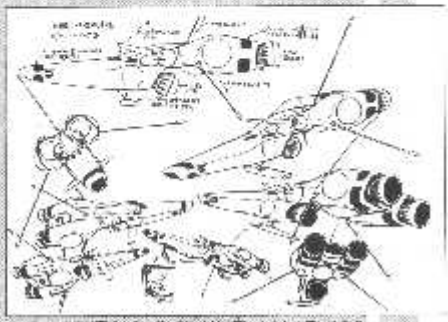
▲VF-1偵察ミサイル戦闘機ラフスケッチ　87年4月1日頃描かれたもの



◀宇宙戦闘機ミサイル戦闘機ラフスケッチ



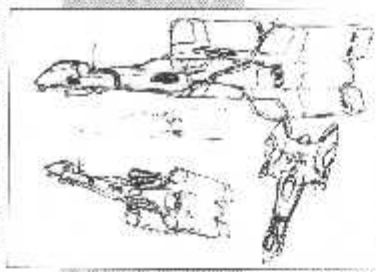
▲宇宙戦闘ランサーIIラフスケッチ　87年1月頃に描かれたもの



▲87年4月1日頃描かれたもの

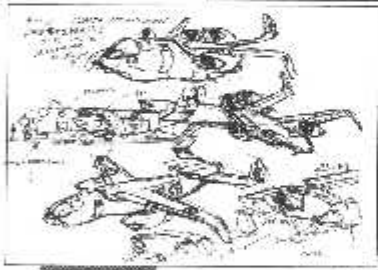
▲新人類機体コーストマスケッチ　87年1月21日に描かれたもの

THE MAKING OF MACROSS



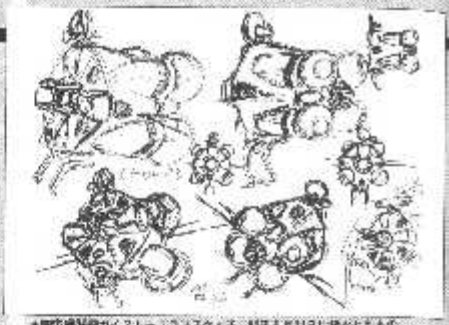
▲マクロス艦内小型電車両ラフスケッチ

▲甲冑装備型ラフスケッチ2

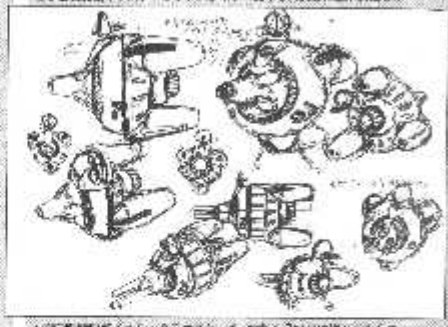


◀甲冑装備型ラフスケッチ

▲マイクロ・シャトルラフスケッチ

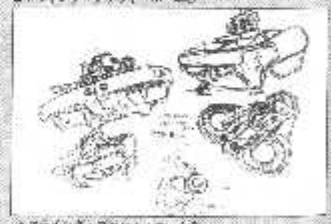


▲甲冑装備型ガイストークラフスケッチ 83年1月21日に描かれたもの

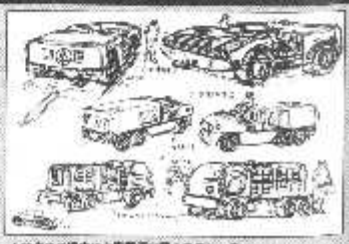


▲甲冑装備型ガイストークラフスケッチ 83年1月21日に描かれたもの

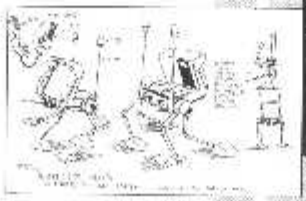
▲ファイング・フラット・ホーム2



▲ファイング・フラット・ホーム5
スカルチャに初登場した頃のもの



▲マクロス艦内小型電車両線ラフスケッチ



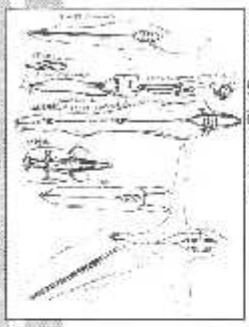
▲1/72のSF3A企業マン電話セット前

●地球の主力兵器

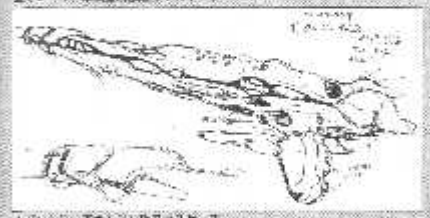
●巨人族の主力兵器

巨人族戦艦
全長 約1キロ以上のメガロードクラスから、約5キロ級の超巨大スターダストユニバーサルまで、様々なタイプがある。
1回ワープすると、1光年の距離をワープできない。
地球人の記録は、巨人族の情報にかなり記載されているため、地球人の感知システムやバロイドが利用しやすい。特に、バイラットの技術は、戦闘機以外で地球人を知る事ができる。
巨人族の外観には、大小様々なデザインがあり、戦艦以外は、巨人族にとってバトロイドにとって、絶好の狩りの獲物と言える。

▲ゼントラーデ級戦艦ラフスケッチ



▲ゼントラーデ級戦艦ラフスケッチ

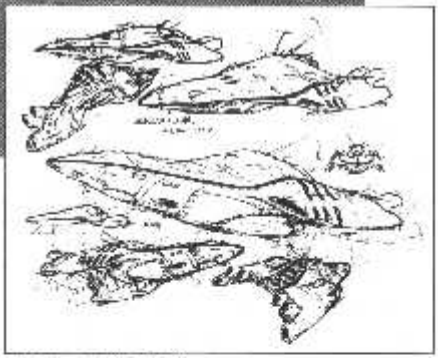


▲ゼントラーデ級ガルジン戦ラフスケッチ

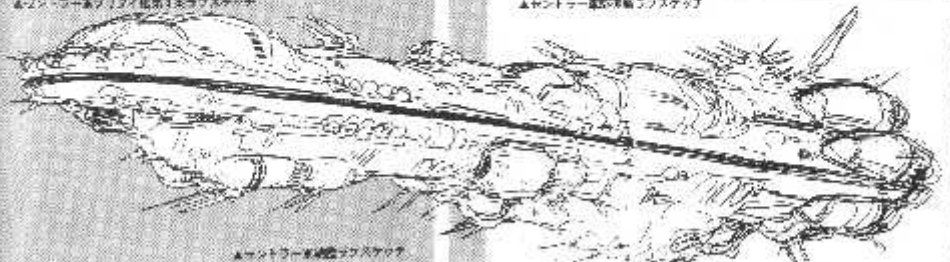
▲可動ゼントラーデ級戦艦ラフスケッチ

▲ゼントラーデ級バリアイ戦闘艦ラフスケッチ

▲ゼントラーデ級バリアイ戦闘艦ラフスケッチ

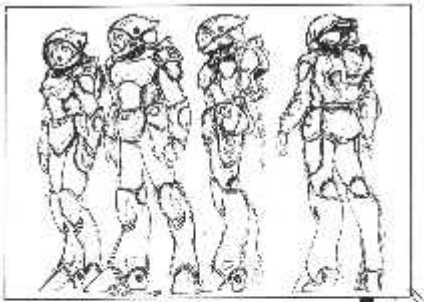


▲ゼントラーデ級空母ラフスケッチ



▲ゼントラーデ級戦艦ラフスケッチ

THE MAKING OF MACROSS

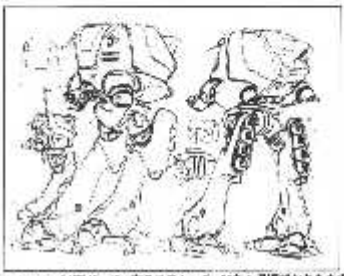


▲ゼントラーデ宇宙仕様ラフスケッチ　82年4月頃描かれたもの

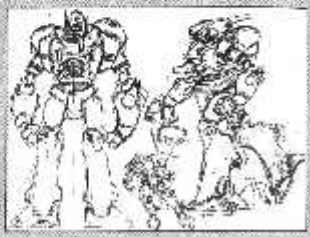
▲リガード系統ラフスケッチ　82年4月頃描かれたもの

▲マクシミリアン戦闘ポッド原型機　82年1月頃に描かれたもの

▲ワンマン戦闘ポッド量産ラフスケッチ

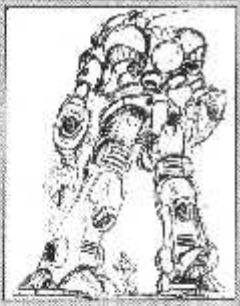


▲ワンマン戦闘ポッド量産ラフスケッチ　82年3月頃描かれたもの

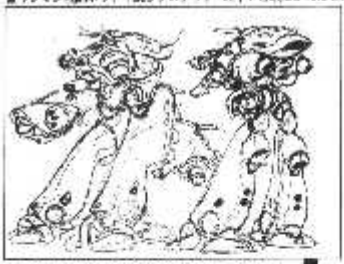


▲スーパーアーマー　ラフスケッチ

▲戦闘ポッド量産ラフスケッチ

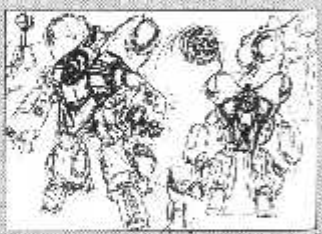


▲スーパーアーマー　ラフスケッチ



▲ワンマン戦闘ポッド2型ラフスケッチ（82年3月頃描かれたもの）

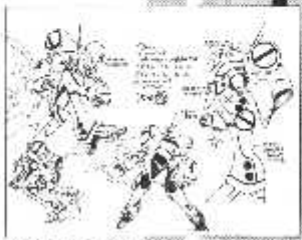
▲戦闘プラン・スーツ　ラフスケッチ



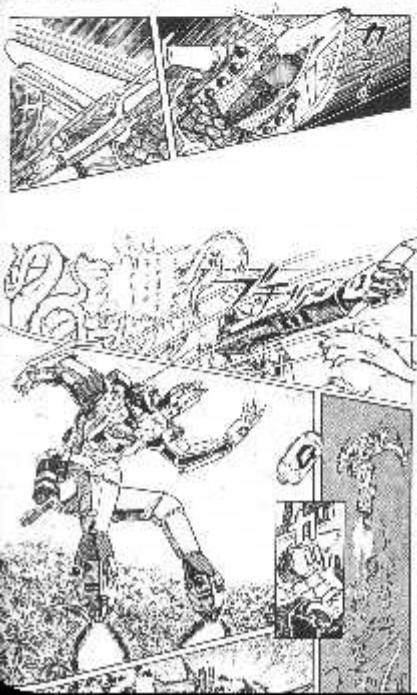
▲サイドランニー　ラフスケッチ　82年6月27日に描かれたもの

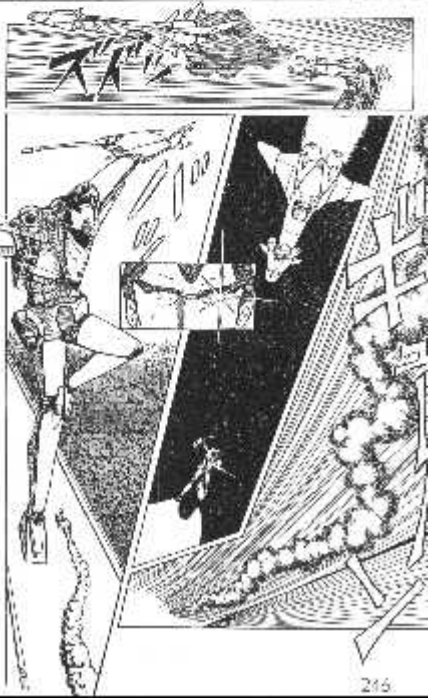
●巨人族のバトルスーツ

バトルスーツ
巨人族の着用するパワードスーツ。これを着用した巨人族の身長はバルキリーの約3倍に達する。
現在可能型、試験型の2種類があり、2クールの時において前5の主力兵器となるが、ただし、巨人族は、スーツを着用しなくても充分に戦えているため、実際の戦闘においてバトルスーツを着用する場合は少ないと予想される。



▲ファドラン・ヒー　82年4月頃





「最終戦士」に関して

この物語は、星空真紀の画稿用に描かれた後で、私の和に等身大有り、マンガ家の舞台二役をこなして、数人の新聞記者との記者会見による30ページ程度の代物です。

制作期間は実質3ヶ月の6月から9月まで、1977年の夏から秋にかけての事です。

この時にデザインした、衝撃のノイライト・スーツの、衝撃の折りたたみ方式や、背中の可変翼、それから、主役のバトルスーツの機能については、つまり先ほどのカットが合わさってノズルになる機構等が、現在のバトロイドバルキリーの変形システムの原形になっています。

このページに登場した絵は、マンガの原稿が見当たらなかった時、当時のコピーを頼りにした物で、青メカのページばかりでなく、スタッフ四人かの協力で行ったものです。

（文・河森正治）

スタッフ&キャスト コメント

マクロス 放映完了予定 記念パーティー

「マクロス」その仕掛け人

監督 ビデオシリーズ 総監督

初めてのロボットものということで、自分なりに勉強をしたのですが、ロボットものの面白さというのが理解できなかったんです。ですから、ロボットものの面白さというのを、まずこの作品で探ってみようと思ったのです。

ロボットものの面白さというのは、ロボットが出てきて、ロボットが戦うことだと思うのですが、ロボットが戦うことの面白さというのが、どうしても理解できなかったんです。

ですから、ロボットが戦うことの面白さというのを、この作品の中で探ってみようと思ったのです。

「マクロス」それぞれの天使たち

美術ディレクター 美術監督

一年間、長いようで短い作業でした。

「マクロス」の美術で心がけたことは、とにかく、ロボットものの美術にしないということでした。

ロボットものの美術というと、どうしても、ロボットが戦うための舞台装置のようになってしまいがちなんです。

でも、「マクロス」は、ロボットが戦うだけの話ではありませんから、美術も、ロボットが戦うための舞台装置にしないように心がけました。

「マクロス」のアニメ

「マクロス」の絵でスタートしたときに、まず、アニメーターの方々に、どうやって絵を描いてもらうかということが、一番大きな問題でした。

「マクロス」は、ロボットものですから、ロボットの絵を描くわけですが、ロボットの絵というのは、アニメーターの方々にとって、あまり描きやすいものではないんです。

ですから、ロボットの絵を描くことに、アニメーターの方々が、抵抗を感じるのではないかと、心配していました。

ところが、この点については、アニメーターの方々から、ロボットの絵を描くことに、抵抗を感じるという話は、ほとんど聞かれませんでした。

それどころか、アニメーターの方々は、皆さん、ロボットの絵を描くことを、とても楽しんでやってくださったように思います。

「マクロス」それぞれの天使たち

音響ディレクター 音響効果

一年間、「マクロス」のアフレコをやってきて、「マクロス」の音響づくりは、ほとんど、ゼロからのスタートだったと言えます。

ですから、音響効果のスタッフ、ミキサーの方々、そして、音響監督の方々と、一緒に、「マクロス」の音響をつくりあげていくことは、とても、楽しい作業でした。

「マクロス」それぞれの天使たち

音楽プロデューサー 音楽制作

「マクロス」の音楽は、ロボットものの音楽ではなく、ロボットものの音楽を、どうやって、ロボットものの音楽ではなくしていくかということが、音楽制作の、最大のテーマでした。

ロボットものの音楽というと、どうしても、ロボットが戦うための音楽というイメージがありますが、「マクロス」は、ロボットが戦うだけの話ではありませんから、音楽も、ロボットが戦うための音楽にしないように心がけました。

「マクロス」それぞれの天使たち

音響ディレクター 音響効果

一年間、長いようで短い作業でした。

「マクロス」の音響づくりは、ほとんど、ゼロからのスタートだったと言えます。

ですから、音響効果のスタッフ、ミキサーの方々、そして、音響監督の方々と、一緒に、「マクロス」の音響をつくりあげていくことは、とても、楽しい作業でした。

スタジオぬえ

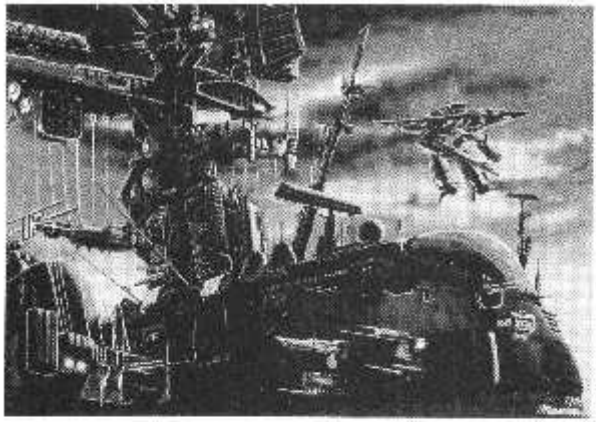
岡本 倫

人間木 貴

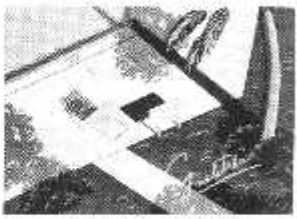
藤川 桂介

石黒昇

Staff



ART LAND COMPOSITION I



近影

石黒 光

ARTLAND CORPORATION II

ふたりでの夜

制 服

某雑誌の表

小生意気

北村文平

雨上がり

高山文彦

古館伸人

福原愛

吉村作治

小泉今日子

川田亜子

三浦広志

石田純一

西川貴教

高山祐一

羽田健太郎（若手）

西脇いつき

後 来

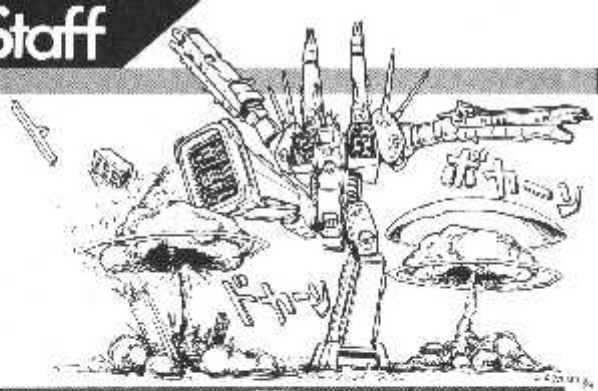
池 定宏

藤原一起

藤島康介

平野俊弘

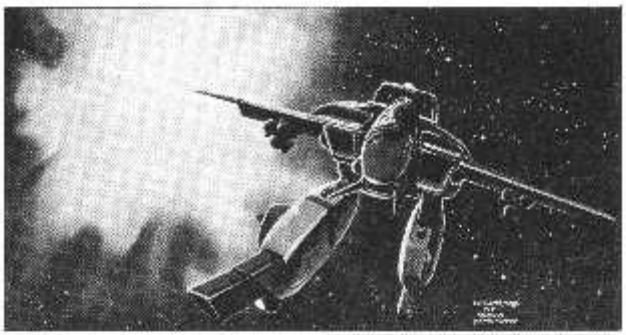
Staff



井出 二郎(スーパーバイザー)

タツノコプロ

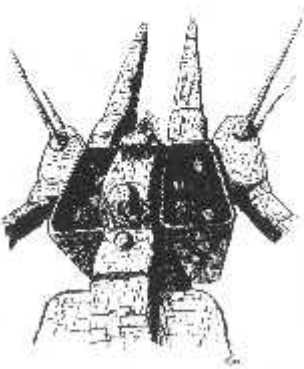
アニメフレンド



山元雅生

金田恵介(メカデザイナー)

二階堂



井出 浩

上川正人

下川直哉

Cast

●長谷有洋（はせ）——笑顔がなんともチャーミングな女の子。ファンの皆さんからのお便りも楽しみにしています。

●飯島真理——「超時空要塞マクロス」に参加させていただいて、とても楽しかったです。皆さんにも楽しんでいただけたらうれしいです。

●土井美加（どい）——人前で歌うということは、いつもドキドキしてしまうのですが、この作品に参加させていただいて、とても楽しかったです。

●神谷明（かみや）——ロイ・フォッカーという主人公の先輩役であり、性格的にもいちばん大人な役どころでしたので、とてもやりがいがありました。

●鈴置洋孝（すずおき）——放初、マクロスのスタジオにいた時、まず驚いたのは、僕のからだほどもある大きなヘッドホンでした。

●速水奨（はやみ）——マックスの来次第です。

●羽佐間道夫（はざま）——短波の送受信機が、マクロスの目にあたります。

Cast

●小原乃梨子——マクロスには、二つの初めての経験をした。

●飯塚ひろみ——今日は！よろしくお願いします

●佐々木るん——夏がやってきましたヤッホー！ヤッホー！もう海へは行った？

●真井深雪——アイドルは、あまり知られていない私の家族と私の生いたちを

●中原茂——佐原一曲をアテさせていただいたのは

●竹田えり——「マクロス」って私にとってすごーいお仕事!?

●鈴木静美——許さん、今日は、あの市時速雄と言う、スーパー非現的ヒーローが

●河合勇雄——「マクロス」ファンのみなさんこんにちは。

●小林よう子——さて、とにかく制作陣。

●米山あつ子——マクロス、マヨネーズ、ジャミ、スーメリンを始め、P.P.P.ピアノ、女生一色など

●水倉久美子——「コンニチハ、水倉久美子です。

●市川治——アニメファンの皆さん、こんばんは。

Cast

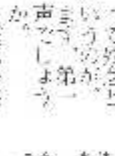
堀江栄司——ブリッジ／リグニク!!

大林隆介——

風 芳野——ラブ・ラビズ——シコ

白鳥裕一——

藤井つとむ



稲葉 実——

広瀬信一——

List

CONTENTS

MACROSS
PERFECT MEMORY

VISUAL STORY 1 (1話～12話) ——— 5
OUTSIDE STORY ——— 53
マクロス年表 ——— 54
追悼座談 / 小松崎 茂 ——— 56
空白の二年間 / 河森正治 ——— 60
VISUAL STORY 2 (28話～36話) ——— 69
CONBAT ACTION ——— 85
MISS MACROSS / 美樹本晴彦 ——— 93
THE CHARACTER OF MACROSS ——— 101
THE MECHANIC OF MACROSS ——— 138
THE ART OF MACROSS ——— 183
原画集 ——— 193
VISUAL STORY 補足 ——— 200
THE MAKING OF MACROSS ——— 205
STAFF & CAST COMMENTS ——— 247
STAFF LIST ——— 258

●編集後記●

「マクロス」のこのムック(くらいしか適当な言葉がありませんが)、やっとこうして日の目を見ることになりました。企画が持ち上がってから、実に1年以上経ってしまいました。1981「超時空要塞マクロス」全26話終了時、放映直後ということもあり、「まだ二度とこのような本は作りたくない」と思ったものの、そのころからどんどんたまっていった、画面写真、資料、特にラフスケッチ、でも、なかなかまとめてしまうのがもったいなくて、それほどこの作品に思い入れがあったからかもしれません。しかしあるとき、みんなの前にだしてやりたい、マクロスが再放送されて再び注目されたときにもあわてないで、見ていて思ったのは「あの日本でもこういう面白い番組があった、懐かしいアニメ作品だった」ということでした。そこで、今、現役アニメファンのスタッフ・メンバーに参加を呼びかけ、もうひとりでも多くの人々に喜ばれるものを、と思いました。多少の危険はあるものの、見ていて楽しくなるようにと、編集方針を決めました。結果として、予想外に大幅に遅れてしまったり、という恐ろしいトラブルもありましたが、大変だったけれども、とても良い仕事ができたと思います。

さて最後のこの「マクロス・パーフェクト・メモリー」ですが、2500円という決定はほとんどなされた以上、印刷もより良い紙を使用するなどの工夫をしました。ページ数は多くなり本人仕事の割合によっては定価もそれなりに上がるところですが、ぎりぎりまで努力しました。最後に、スタッフのみなさんの協力をお願いしてありがとうございました。ファンのみなさんアニメ作品を愛してください。編集のスタッフ25名の熱いメッセージが詰まっています。

(OUT編集部)

MACROSS PERFECT MEMORY マクロス・パーフェクト・メモリー
1984年1月10日初版印刷 1984年1月20日発行 定価2500円
編集人●大瀬広志 発行人●小野耕世 印刷人●鈴木和幸
印刷所●大日本印刷株式会社
発行所●株式会社ぴあ
〒153 東京都目黒区下目黒1-8-15 朝日ビル
電話 編集 03(719)9271 営業 03(713)8480
●表紙デザイン/石川 直、中野不二男 ●カバーデザイン/竹中宏至 ●製版/ピアスクリーン・アートセンター・プラスワン
●イラスト・マップ/今村研究室
●本文デザイン/石川 直、中野不二男、岡崎美保子 ●組版/ピアスクリーン・アートセンター・プラスワン
●本文組版/(株)写研 ●印刷/大日本印刷株式会社 ●製本/牧製本印刷株式会社
●本文レイアウト/石川 直(表紙)、井手裕之、菅谷修司、ダム制作、シュリンプ、ピーアイ、神林美智子
●撮影/スタジオ・ハル、スタジオ・ピーエス、千葉写真、小野寺伸介
●下レタリング/石川 直、関口恵子、三井美保、小林美子、内田哲男
●アニメ・フォトセレクト/千葉伸彦
●協力/ファンクション、内田企画室、東京ラテックス、スタジオ・ハル、アニメランド、アートランド

©1983 BIG WEST/MACROSS ©ビックウエスト・毎日放送

MAGICIAN'S

PERFECT MEMORY

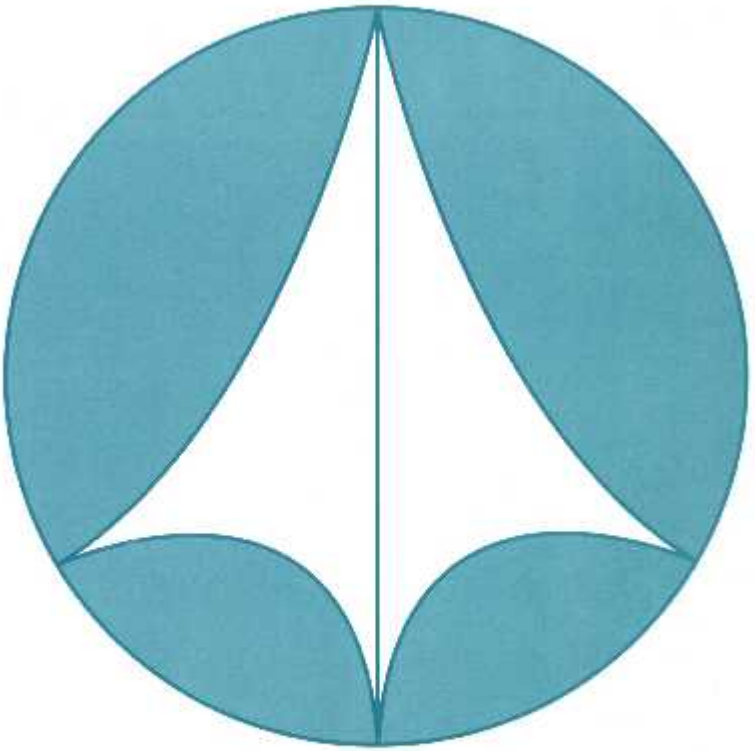
OUT 10月号増刊 みのり書房

MACROSS PERFECT MEMORY

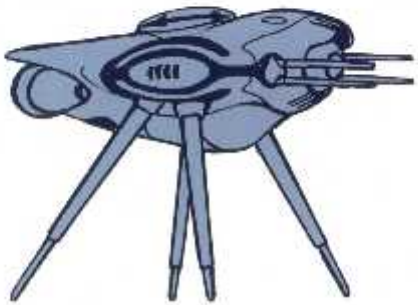
OUT 10月号増刊 みのり書房

MACROSS PERFECT MEMORY

●マクロス パーフェクトメモリー● MACROSS PERFECT MEMORY●

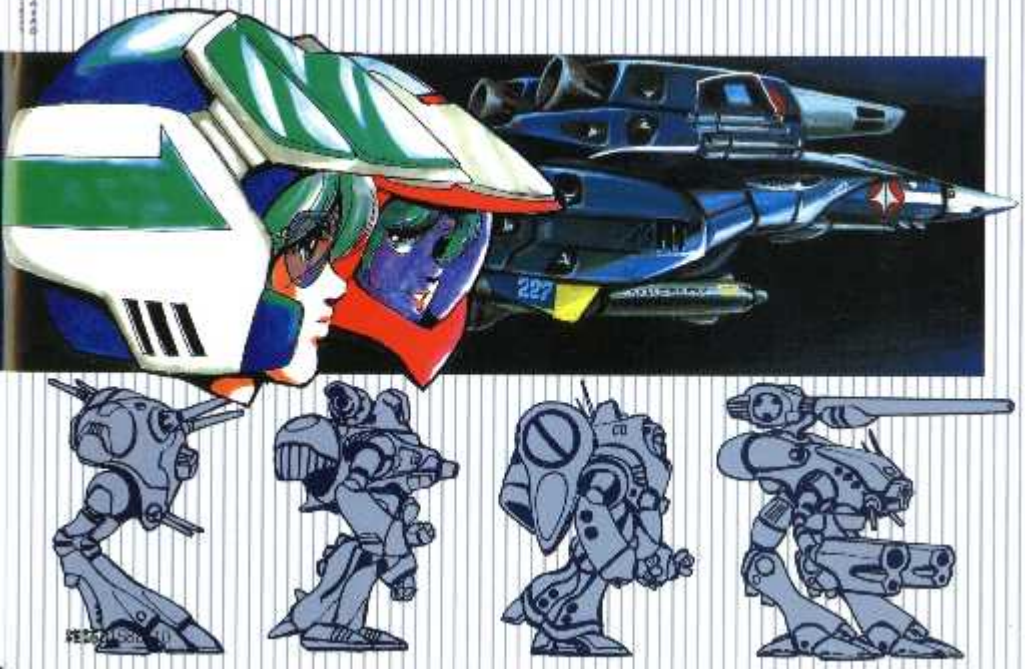


定価2800円



定価2800円
©みのり書房
印刷／凸版印刷株式会社
1983 Printed in Japan

●ジュピター出版事業部●MACROSS PERFECT MEMORY●



定価2800円
㈱みのり書房
印刷／凸版印刷株式会社
1983 Printed in Japan

●B5判●128頁●並製 MACROSS PERFECT MEMORY ●発行所 株式会社 みのり書房

記録全集＋（プラス）オリジナルの新形式で贈る「超時空要塞マクロス」の豪華版ムック

定価2800円
発行 みのり書房

マクロス・パーフェクト・メモリー内容紹介

1. ビジュアル・ストーリー（マクロスの全話フィルムストーリー）
2. アウトサイド・ストーリー（「流離艦隊」文・松崎健一、「空白の二年間」文・河森正治）
3. コンバット・アクション（マクロスのメカ・戦闘シーンの迫力をフィルムで構成）
4. ミス・マクロス（美形本精密描き下ろし）
5. 設定資料集（キャラクター・メカ・美術等の設定資料を収録）
6. ザ・メイキング・オブ・マクロス（マクロスの制作過程をイラストと文章で構成）
7. スタッフ・コメント集（制作スタッフ・声優のコメント集）

雑誌01588-10

MACROSS